ISSN 1883-132X

沖縄県立博物館・美術館年報

（平成30年度実績報告）

No. 12

２０１９

沖縄県立博物館・美術館

目　次

概要・・・ 1

Ⅰ　沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
Ⅱ　日誌抄・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
Ⅲ　施設・設備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
Ⅳ　組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
Ⅴ　沖縄県立博物館・美術館協議会・・・・・・・・・・・・ 17
Ⅵ　予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
Ⅶ　収蔵資料現在高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

利用統計・・・21

Ⅰ　入館者統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
１．総入館者集計　２．団体別入館者集計　３．展覧会別入館者集計
４．2018年度（平成30）月間別入館者数　５．年間入館者数の年次推移　６．減免申請集計
７．団体入館内訳
Ⅱ　施設利用者統計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
１．月別施設利用集計　２．当館主催及び施設貸出内訳　３．県民ギャラリー貸出件数

博物館・・・43

Ⅰ　調査研究等の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
１．調査研究の概要　２．博物館総合調査ー伊是名・伊平屋総合調査ー
３．「一括交付金」活用事業　４．調査・研究・講演・著作論文等
５．職員研修
Ⅱ　展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
１．展示活動概要　２．常設展
３．常設展　部門展示替え／ミニ企画 ／ロビー展示
４．特別展　「縄文と沖縄ー火焔型土器のシンボリズムとヒスイの道ー」
５．企画展　「新収蔵品展ー平成29年度収蔵資料ー」
６．企画展　「琉球三線楽器保存・育成会創立30周年記念事業　「沖縄が誇る家宝の三線展」」
７．企画展　「大嶺薫コレクション展ー吉祥ー」
Ⅲ　教育普及活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
１．博物館教育普及活動の概要　２．学校連携事業　３．博物館体験学習教室
４．博物館文化講座　５．学芸員講座　６．学芸員による常設展示解説会
７．学芸員によるバックヤードツアー　８．夏休み！博物館学芸員教室　９．博物館ボランティア活動
10. ふれあい体験室　11. 常設展に関する取り組み　12. 普及資料の貸出
13. 職場体験受入　14. ボランティアによる展示ガイド
Ⅳ　資料収集・保存管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
１．収蔵資料現在高　２．2018年度（平成30）新収蔵資料高
３．2018年度（平成30）新収蔵資料目録　４．所蔵指定文化財　５．修理事業
６．資料保存管理事業　レプリカ・剥製製作（生物資料）　７．資料収集事業
８．資料貸出　９．写真貸出

美術館・・・93

Ⅰ　調査研究等の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
１．調査研究の概要　２．調査・研究・講演・著作論文等
Ⅱ　展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
１．展示活動概要　２．コレクション展（常設展）
３．企画展　「涯テノ詩聲　詩人　吉増剛造展」
４．企画展　「沖縄の美術シリーズⅦ　宮城健盛展ー人と美術をつなぐものー」
Ⅲ　教育普及活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
１．美術館教育普及活動の概要　２．鑑賞活動支援　３．ミュージアム・ツアー
４．コレクション・企画展関連催事　５．ワークショップ　６．美術館招待事業（美術館へ行こう2018）
７．アートコンクール　８．移動展 in 伊平屋島
９．Okinawaアートワークショップ　2018　10. 学芸員講座　11. 教職員講座・実技研修会
12. ボランティア活動　13. 学芸員実習　14. 職場体験
15. 出前授業　16. 名画を贈ろう！「私たちの学校へ沖縄の名画を贈ろう！キャンペーン」への協力

Ⅳ　資料収集・保存管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
1．収蔵作品現在高　2．2018年度（平成30）新収蔵作品高
3．2018年度（平成30）新収蔵作品目録　4．作品収集事業　5．保存管理事業
6．作品貸出

一般財団法人　沖縄美ら島財団（指定管理者）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・131

Ⅰ　沖縄美ら島財団概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 132
Ⅱ　運営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 132
1．管理・運営の基本方針　2．管理理念　3．運営方針
Ⅲ　組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135
1．管理組織図
Ⅳ　展示活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 136
1．展示活動概要　2．指定管理者主催企画展等
Ⅴ　教育・イベント活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 146
1．ワークショップ等　2．その他
Ⅵ　広報事業に関する業務・・・・・・・・・・・・・・・・・ 151
Ⅶ　調査・研究・講演・著作論文等の活動・・・・・・・・・・ 154
1．調査・研究等
Ⅷ　その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 155
1．職員研修

全館共同事業・・157

Ⅰ　学芸員実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 158
1．博物館実習　2．美術館実習
Ⅱ　国際博物館の日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 159
Ⅲ　移動展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 160
Ⅳ　燻蒸・消毒処理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 164
Ⅴ　刊行物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 165
Ⅵ　展示会一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 167

その他の活動・・175

Ⅰ　沖縄県博物館協会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 176
Ⅱ　全国の組織との関わり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 176
1．日本博物館協会　2．九州博物館協議会
Ⅲ　沖縄県立博物館友の会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 178
Ⅳ　特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会　happ・・・・ 179

関係法規抄録・・183

○博物館法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 184
○博物館法施行令・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 186
○博物館法施行規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 186
○博物館の登録に関する規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 189
○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及び
その管理に属する行政機関の長に委任する規則・・・・・・・・・・・ 193
○沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための
組織に関する規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 193
○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例・・・・・・・・ 195
○沖縄県立博物館・美術館管理規則・・・・・・・・・・・・・・・・・ 198
○沖縄県立博物館・美術館館長執務規程・・・・・・・・・・・・・・・ 206
○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領・・・・・・ 206
○沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領・・・・・・ 214

概　要

Ⅰ 沿革
Ⅱ 日誌抄
Ⅲ 施設・設備
Ⅳ 組織
Ⅴ 沖縄県立博物館・美術館協議会
Ⅵ 予算
Ⅶ 収蔵資料現在高

Ⅰ 沿革

【前史】

1936年（昭和11）、旧首里城北殿に沖縄県教育会附設郷土博物館が創設されたが、沖縄戦により全焼した。終戦後、米国海軍軍政府ウィラード・Ａ・ハンナ少佐とＪ・Ｔ・ワトキンス少佐が、アメリカに沖縄の歴史文化を紹介するために焼土の中から仏像や陶器などの文化財を収集し、1945年（昭和20）８月石川市（現うるま市）東恩納に沖縄陳列館を創設した。

一方、首里城周辺では、廃墟の中から残欠文化財の収集が行われ、1946年（昭和21）３月頃、首里市汀良に首里市立郷土博物館が設立された。

【創設】

1946年（昭和21）４月24日、沖縄陳列館は沖縄民政府に移管され、東恩納博物館と改称した。また、1947年（昭和22）12月には、首里市立郷土博物館も沖縄民政府に移管され、首里博物館と改称した。

【発展】

1953年（昭和28）、東恩納博物館が移転して、首里博物館と合併した。５月には、龍潭池畔に赤瓦屋根の本館とペルリ記念館が建設され、落成式の当日、戦後アメリカに持ち去られていた「おもろさうし」等の文化財が返還された。

1955年（昭和30）９月、沖縄民政府立首里博物館から琉球政府立博物館に改称した。さらに、1966年（昭和41）には首里大中町の旧中城御殿跡に新館を建設して移転した。

1972年（昭和47）の日本復帰に伴い、名称を沖縄県立博物館と改め、1973年（昭和48）に２階部を増築し、展示スペースを拡充した。

1980年代末（昭和60年代）頃から建物の老朽化が顕著になり、新館建設・移転が具体的に計画される。

2004年（平成16）、那覇新都心（おもろまち）に新館の建設を着工した。首里在の博物館（旧博物館）は新館への移転準備のため、2006年（平成18）３月に閉館した。

2007年（平成19）11月１日、美術館を併設した沖縄県立博物館・美術館として開館した。

【あゆみ】

1946（昭和21）	４月	沖縄陳列館を「東恩納博物館」と改称し、沖縄民政府の所管となる。（24日）
1947（昭和22）	12月	前年３月に首里汀良町に設立された「首里市立郷土博物館」が民政府に移管され、「沖縄民政府立首里博物館」に改称する。
1953（昭和28）	３月	「東恩納博物館」を「首里博物館」に移転合併する。
	５月	「首里博物館」は汀良町から当蔵町に移り、龍潭池畔に瓦葺の本館が完成した。 米国民政府によりペルリ来琉百周年記念事業の一環として、「ペルリ記念館」を附設して落成、贈呈される。 落成当日、米国大統領から戦後にアメリカに渡っていた「おもろさうし」等文化財が返還された。（26日）
1954（昭和29）	８月	ハワイから三線「江戸与那」が返還される。
1955（昭和30）	９月	「首里博物館」の名称を「琉球政府立博物館」に改称する。
1963（昭和38）	４月	米国民政府から河島コレクションが贈呈される。
1965（昭和40）	９月	大中町の旧尚家屋敷跡（中城御殿）を購入する。
1966（昭和41）	10月	米国による援助で鉄筋コンクリート建の新館を新敷地に建設し移転する。
	11月	新館開館記念「現代美術展」が開催され、同時に尚家所蔵文化財も特別陳列された。（３日）
1968（昭和43）	９月	太宰府天満宮から鄭元偉書「徳高」扁額が寄贈される。（30日）
1970（昭和45）	10月	沖縄タイムス社及びG.H.カー博士より前庭に花園を贈呈される。
1971（昭和46）	２月	八重山出土の陶器類約500点、検察庁より譲渡される。
1972（昭和47）	２月	サントリー美術館との共催で、『50年前の沖縄』写真展が開催される。 サントリー美術館寄贈の植樹造園譲与式が行われた。（27日）
	５月	琉球切手原画及び切手類、郵政庁より譲渡される。（13日） 日本への復帰に伴い「沖縄県立博物館」と改称する。
1973（昭和48）	２月	国庫補助により２階部を増築し、展示室を３室増設する。
	５月	「田名家文書」の寄託をうける。（９日）
	７月	琉球切手原画が沖縄郵政管理事務所より譲渡される。（16日）
	12月	琉球新報社から映画フィルム「沖縄」「海の民・沖縄島物語」「南の島・琉球」の３巻を寄贈される。（17日）

1973（昭和48）　12月　多和田真淳氏考古資料の寄託をうける。（19日）
1974（昭和49）　11月　大阪天満宮から浦添王子朝熹書「徳馨」の寄託をうける。（27日）
糸満市摩文仁の平昌博物館から全資料譲与される。
1976（昭和51）　４月　創立30周年記念式典を行う。(24日)
７月　大英博物館から皇太子殿下に贈られた始祖鳥のレプリカ標本が寄贈される。
12月　『博物館30年の歩み展』開催。
1977（昭和52）　９月　玉陵石獅子を玉陵へ移管。
11月　円覚寺の鐘、前庭に展示。
1978（昭和53）　３月　G.H.カー博士より資料寄贈。
７月　円覚寺の鐘楼が前庭に完成。
1979（昭和54）　２月　尚裕氏より玉陵石獅子レプリカ２体が寄贈される。
６月　特別展『沖縄の洞穴と洞穴生物』開催。
1980（昭和55）　１月　特別展『日本の美－救世熱海美術館名品展－』及び『沖縄県立博物館名品展』開催。
２月　「移動博物館」を久米島の具志川・仲里両村で開催する。以後、離島市町村で毎年実施する。（2008年度からは「移動展」に改称）
８月　特別展『琉球のシダ植物』開催。
11月　特別展『失われた生物たち－大恐竜展』開催
1981（昭和56）　３月　博物館法に基づき「登録博物館」として登録される。（３月30日付け）
５月　仲嶺俊子氏より貝類標本約2,000点が寄贈される。
８月　G.H.カー博士より図書、写真等が寄贈される。
10月　特別展『沖縄の美－日本民芸館蔵－』及び『戦前の沖縄写真展』開催。
1982（昭和57）　５月　新たに常設展として自然部門を設置。
７月　企画展『沖縄の昆虫』開催。
10月　特別展『熊本県・沖縄県交流展－熊本の歴史と文化』開催。
1983（昭和58）　５月　企画展『琉球の漆工芸』開催。
11月　特別展『沖縄県・熊本県交流展－沖縄の美 風土と美術工芸』を熊本県立美術館にて開催。
1984（昭和59）　６月　企画展『玉城朝薫生誕三百年記念展－琉球芸能の世紀』開催。
７月　企画展『沖縄のシダ・貝・昆虫標本展』開催。
10月　企画展『今帰仁グスク展』開催。
1985（昭和60）　２月　企画展『紅型衣装と型紙展』開催。
３月　大嶺薫コレクションが贈呈される。
11月　特別展『グスクーグスクが語る古代琉球の歴史とロマン』開催。
1986（昭和61）　２月　特別展『大嶺薫コレクション－美術工芸の美を求めて』開催。
12月　天野鉄夫コレクション1,588点の寄贈をうける。
1987（昭和62）　７月　「旧大安禅寺の鐘」が米国より返納寄贈され、泊高校で贈呈式が行われる。
天野ハル氏より亡夫鉄夫氏収集コケ類1,562点が寄贈される。
10月　スポーツ芸術・特別展『沖縄の自然･歴史･文化』『沖縄近代の絵画－物故作家』開催。
企画展『田名家収蔵品展－ある首里士族の400年』開催。
12月　企画展『現代沖縄の陶芸－天野鉄夫コレクション』開催。
1988（昭和63）　８月　特別展『ヤンバルの自然』開催。
11月　特別展『三線名器100挺展』開催。
1989（平成元）　11月　特別展『岡田コレクション・インドネシア更紗展』開催。
12月　企画展『真境名由康生誕100年記念「芸能資料展」』開催。
1990（平成２）　１月　特別展『大アンデス文明展』開催。
６月　湧田窯搬入。
８月　企画展『沖縄の野鳥』開催。
11月　企画展『沖縄の祭り』開催。
1991（平成３）　２月　企画展『技と美－大城志津子の世界－』開催。
８月　企画展『沖縄のチョウ展』開催。
９月　企画展『壺屋陶工遺作展』開催。
10月　特別展『アジアの祭りと芸能』開催。
1992（平成４）　２月　企画展『琉球の香り・あわもりの歴史と文化』開催。
３月　仲嶺俊子氏より貝類コレクションを寄贈される。
４月　旧中城御殿の石牆整備工事に伴う第１次埋蔵文化財発掘調査開始。（～７月３日）
６月　特別展『古代メキシコ至宝展』開催。

1992（平成４）　８月　特別展『沖縄の貝類－海からの贈りもの』開催。
　　10月　復帰20周年記念特別展『琉球王国－大交易時代とグスク』開催。
1993（平成５）　１月　特別展『尚家継承琉球王朝文化遺産展』開催。
　　２月　企画展『謝花雲石展』開催。
　　３月　ハワイ在住の伊福盛寿氏から50点余のコレクションが寄贈される。
　　７月　旧中城御殿石垣工事にかかる第２次発掘調査開始。（～９月２日）
　　企画展『芭蕉布と平良敏子』開催。
　　８月　特別展『沖縄の川と生きもの』開催。
　　10月　企画展『刻まれた歴史－沖縄の石碑と拓本』開催。
　　企画展『琉球王朝時代の楽器－三線と御座楽』開催。
1994（平成６）　７月　特別展『子どもの世界』開催。
　　旧中城御殿石垣工事にかかる第３次発掘調査開始。（～８月20日）
1995（平成７）　３月　横浜国立大学教授長谷川善和氏より鹿類の化石約25,000点が寄贈された。
　　６月　戦後50周年記念特別展『甦る沖縄・戦災文化財と戦後生活資料展』開催。
1996（平成８）　３月　栗田文子氏よりワラザン資料を寄贈される。
　　７月　特別展『大久米島展－しぜん・ひと・もの』開催。
　　10月　『新収蔵品展・ワラザン展』開催。
　　福田経子氏より「フクダコレクション」贈呈
　　12月　企画展『沖縄県立博物館50年の歩み』開催、創立50周年式典を行う。
1997（平成９）　４月　特別展『アルゼンチンの大恐竜展』開催。
1998（平成10）　７月　企画展『琉球王国時代の植物標本－ペリーが持ち帰った植物たち』開催。
　　11月　特別展『包むこころ　ふろしき』開催。
1999（平成11）　８月　特別展『三線のひろがりと可能性』開催。
　　10月　企画展『日本の技－伝統のかたち』開催。
　　（第７回全国重要無形文化財保持団体秀作展『日本の伝統美と技の世界』巡回展）
　　11月　ホノルル美術館からG.H.カー博士コレクション（考古資料6,000点余）寄贈。
2000（平成12）　２月　企画展『工芸王国－きらめく手わざの世界を沖縄から』開催。
　　７月　サミット開催記念特別展『大琉球展』開催。
　　11月　ハワイ移民100周年記念特別展『日系移民１世紀展－From Bento to Mixed Plate』開催。
2001（平成13）　２月　企画展『沖縄の繊維・染料植物展』開催。
　　３月　企画展『工芸王国－人・技・心』開催。
　　11月　特別展『かざりとかたち』開催。
2002（平成14）　８月　特別展『港川人展』開催。
　　10月　企画展『沖縄の文化財展』開催。
2003（平成15）　２月　企画展『おきなわナースものがたり』開催。
　　７月　企画展『旅する種子－運ばれるための巧妙なしかけ』開催。
　　10月　企画展『あじまぁ　沖縄の伝統とくらし－沖縄県立博物館収蔵資料展』を国立民族学博物館で開催。
　　特別企画展『沖縄織物へのメッセージ－田中俊雄の研究』開催。
2004（平成16）　２月　企画展『戦前・戦後の文化財保護－仲座久雄の活動をとおして』開催。
　　３月　企画展『工芸王国－てわざの今、そして未来へ』開催。
　　８月　企画展『沖縄歴史を綴る秘宝展』（沖縄コレクター友の会主催）開催。
　　11月　企画展『自然界のエイリアン－海をこえて持ちこまれた動物たち』開催。
2005（平成17）　２月　特別展『いま・むかし、おもちゃ大博覧会－入江正彦　児童文化史コレクション』開催。
2006（平成18）　２月　閉館記念特別展『柳宗悦の心と眼－柳宗悦の民藝と巨匠たち展』開催。
　　３月　『ありがとう・さよなら』キャンペーン。（22日～31日　無料入館）
　　企画展『わたしの宝もの展』（博物館友の会主催）開催。
　　４月１日から博物館新館移転準備のため2007年（平成19）10月末まで休館する。
　　７月　博物館新館展示工事安全祈願祭。（於：波之上）
　　８月　宮城宏友氏より鳥籠７点寄贈。（11日）
　　10月　尚順男爵関係資料寄贈。（19日）
　　謝花雲石書「萬國陽和」屏風の寄贈。（26日）
　　12月　稲嶺一郎関係資料寄贈。（26日）
2007（平成19）　２月　坂口總之輔氏カメラ寄贈。（16日）

2007（平成19） ３月 新館へ事務所移転(29日)。首里在の沖縄県立博物館閉館式(30日)を行い、全ての組織・機能等は教育庁文化施設建設室に、また首里の博物館敷地及び建物の管理は教育庁文化課にそれぞれ引き継ぐ(31日)。
４月 新館での事務を開始する。（１日）
７月 沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として文化の杜共同企業体が指定を受ける。
８月 指定管理者・文化の杜共同企業体が開館事前準備のため事務をはじめる。
11月 那覇市おもろまちに沖縄県立博物館・美術館が開館する。（１日）
同時に、博物館新館開館記念展『人類の旅－港川人の来た道－』と美術館開館記念展『沖縄文化の軌跡 1872-2007』を開催する。
2008（平成20） ２月 博物館企画展『新収蔵品展－平成17・18年度収蔵資料』開催。
３月 指定管理者企画展『世界の現代アーティスト50人展』開催。
美術館常設展開会式。（25日）
５月 博物館企画展『新収蔵品展－平成19年度収蔵資料』開催。
指定管理者企画展『情熱と戦争の狭間で－無言館・沖縄・画家たちの表現』開催。
美術館企画展『新収蔵品展　ポリエドールー沖縄・アジアの多様性』開催。
７月 指定管理者特別展『恐竜ミュージアム2008』開催。
指定管理者企画展『しまくとぅば』開催。
９月 博物館企画展『ずしがめの世界』開催。
開館一周年記念博物館特別展『甦る琉球王国の輝き』開催。
11月 美術館企画展『美術家たちの「南洋群島」』開催。
2009（平成21） １月 博物館企画展『発掘された日本列島2008』開催。
博物館企画展『沖縄考古学ニュース』開催。
美術館企画展『移動と表現－変容する身体・言語・文化』開催。
４月 指定管理者企画展『アトミックサンシャインの中へ　in　沖縄』開催。
５月 博物館企画展『新収蔵品展－平成20年度資料』開催。
指定管理者自主事業『王昭展』開催。
７月 指定管理者企画展『豊潤の美を求めて－金城安太郎と高畠華宵』開催。
指定管理者企画展『琉球絵画展』開催。
９月 指定管理者企画展『オキナワデザインの現在』開催。
10月 博物館特別展『琉球使節、江戸へ行く！』開催。
美術館企画展『名渡山愛順展－名渡山愛順が愛した沖縄』開催。
12月 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
2010（平成22） １月 美術館企画展『タカエズトシコ展』開催。
２月 博物館企画展『造礁サンゴ展－楽園をつくった偉大な建築家』開催。
博物館企画展『ものづくり今昔』開催。
４月 総務班が設置され、３班体制となる。
指定管理者企画展『いわさきちひろ』展開催。
指定管理者自主事業『石川直樹写真展』開催。
５月 博物館企画展『新収蔵品展－平成21年度収蔵資料』開催。
指定管理者企画展『遠き道－はて無き精進の道程』開催。
７月 指定管理者企画展『沖縄マンガ』展開催。
９月 指定管理者企画展『風土と建築』開催。
博物館特別展『海のクロスロード　八重山展』開催。
11月 美術館企画展『母たちの神－比嘉康雄』展開催。
12月 博物館・指定管理者企画展『アイヌ－美を求める心』開催。
2011（平成23） １月 美術館企画展『安谷屋正義』展開催。
博物館企画展『琉球陶器の来た道』開催。
２月 博物館企画展『骨の科学』開催。
３月 博物館企画展平成22年度『大嶺薫コレクション展』開催。
４月 博物館企画展平成23年度『大嶺薫コレクション展』開催。
指定管理者企画展『國吉清尚』開催。
５月 博物館企画展『新収蔵品展－平成22年度収蔵資料』開催。
指定管理者企画展『生誕100年記念展　岡本太郎と沖縄－ここが世界の中心だ』開催。
７月 指定管理者企画展『ロボット展』開催。
指定管理者企画展『印象派の誕生展』開催。
９月 美術館企画展『東松照明展＜太陽へのラブレター＞』開催。

2011（平成23） 10月 博物館企画展『第19回全国重要無形文化財保持団体秀作展「日本の伝統美と技の世界」』開催。
博物館企画展『沖縄県無形文化財工芸技術保持団体協議会設立10周年記念「工芸王国ー受けつがれる琉球のわざと美」』開催。
11月 博物館特別展『宇宙ー遙かなるロマンを求めて』開催。
2012（平成24） １月 博物館企画展『檀王法林寺開創400年記念「琉球と袋中上人ーエイサーの起源をさぐる」』開催。
美術館企画展『沖縄の美術シリーズ３　玉那覇正吉』開催。
３月 指定管理者企画展『本土復帰40周年記念「田中一村展ー琉球弧で開花した美の世界」』開催。
４月 博物館企画展『沖縄復帰40周年記念「紅型BINGATA　琉球王朝のいろとかたち」』開催。
５月 指定管理者企画展『土門拳の昭和と沖縄』開催。
６月 博物館企画展『新収蔵品展ー平成23年度収蔵資料』開催。
博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
７月 指定管理者企画展『旅する仮面』開催。
指定管理者自主事業『お化け屋敷で科学する』展開催。（沖縄テレビ共催）
９月 美術館企画展『山田實展ー人と時の往来』開催。
博物館特別展『本土復帰40年記念「OKINAWAから沖縄へ」』開催。
11月 美術館企画展『復帰40周年記念「アジアをつなぐー境界を生きる女たち1984-2012」』開催。
12月 博物館企画展『大山盛保生誕100年記念　発見への情熱』開催。
2013（平成25） ２月 指定管理者自主事業『マリー・アントワネット物語』展開催。（沖縄タイムス共催）
指定管理者企画展『スタジオジブリ・レイアウト展』開催。
５月 博物館企画展『大嶺薫コレクションー探求する心とその世界ー』展開催。
博物館企画展『新収蔵品展ー平成24年度収蔵資料』開催。
指定管理者企画展『佐川美術館蔵　平山郁夫ー大唐西域画への道ー』開催。
７月 博物館特別展『海山川のおくりもの　目からウロコの大生き物展ー生物多様性ホットスポットJAPAN』開催。
指定管理者自主事業『ジミー大西作品展ー挑戦と革新ー』開催。
９月 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ４　安次嶺金正展ー緑の抒情ー』開催。
11月 指定管理者企画展『京都　清水寺展』開催。
2014（平成26） １月 美術館企画展『森山大道　終わらない旅　北/南』開催。
２月 博物館企画展『サキタリ洞遺跡発掘調査速報展』開催。
博物館企画展『三線のチカラー形の美と音の妙ー』開催。
４月 指定管理者企画展『木下晋展　生命の旅路』開催。
５月 指定管理者企画展『麗しき琉球の記憶ー鎌倉芳太郎が発見した“美”』開催。
博物館企画展『新収蔵品展ー平成25年度収蔵資料』開催。
７月 指定管理者企画展『20世紀フランス絵画展ー山形美術館　服部コレクションー』開催。
９月 博物館企画展　久米崇聖会創立100周年記念『久米村（クニンダ）ー琉球と中国の架け橋ー』開催。
美術館企画展『色彩と風のシンフォニー　内間安瑆の世界』開催。
11月 博物館企画展『大嶺薫コレクションーアジアへの眼差しー』開催。
博物館特別展『水中文化遺産～海に沈んだ歴史のカケラ～』開催。
2015（平成27） １月 美術館企画展『ゴー・ビトゥイーンズ展　こどもを通して見る世界』開催。
２月 博物館企画展『イノシシとブタと私たち』開催。
３月 指定管理者企画展『報道カメラマン大城弘明×山城博明写真展ー二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後』開催。
４月 博物館企画展『うちくいー沖縄のふろしきー』開催。
指定管理者企画展『ディズニー 夢と魔法の90年展ーミッキーマウスからピクサーまで』開催。
６月 美術館特別企画展『戦後70年 特別企画展　ニシムイ 太陽のキャンバス』開催。
７月 指定管理者企画展『深海探検　海底二万里の世界』開催。
指定管理者自主事業『大哺乳類展　ぼくらのなかまたち』開催。
９月 美術館企画展『石田尚志　渦まく光』開催。
博物館特別展『琉球弧の葬墓制ー風とサンゴの弔いー』開催。

2015（平成27） 11月 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ５　大嶺政寛展－情熱の赤瓦　沖縄の原風景を求めて－』開催。
12月 博物館企画展『新収蔵品展－平成26年度収蔵資料－』開催。
博物館企画展『大嶺薫コレクション－探求する心とその世界－』開催。
2016（平成28） １月 博物館企画展『大気と気象～見えない空気の“力と技”～』開催。
九州歴史資料館×沖縄県立博物館・美術館　企画展『沖縄の旧石器人と人類の起源』を九州歴史資料館にて開催。
２月 美術館企画展『木梨憲武展×20years』開催。
沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画展『芸大の御宝展～ものとひとを つくる～』開催。
３月 美術館企画展『パブロ・ピカソ　ゲルニカ（タピスリ）沖縄特別展－戦後70年、今ゲルニカで考える－』開催。
４月 美術館企画展　文化勲章受章記念『志村ふくみ－母衣への回帰－』開催。
５月 博物館企画展『大嶺コレクション展－美をもとめて－』開催。
博物館企画展『新収蔵品展－平成27年度収蔵資料－』開催。
７月 博物館企画展『目からウロコの生物実験展～今年の夏は、ジッケン、タイケン、大ハッケン！』開催。
９月 博物館企画展　日本民藝館80周年『沖縄の工芸展－柳宗悦と昭和10年代の沖縄』開催。
11月 博物館特別展『港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類の起源と展開－』開催。
12月 美術館企画展『夢の美術館－めぐりあう名画たち－　福岡市美術館・北九州市立美術館名品コレクション』開催。
2017（平成29） １月 博物館企画展『琉球・沖縄の地図展～時空を超えて沖縄がみえる～』開催。
２月 博物館常設展示の充実強化を図るため、県指定文化財の梵鐘７口を加えて展示をリニューアル。屋外に大聖禅寺鐘（実物）を設置。
３月 美術館企画展　沖縄の美術シリーズⅥ『山元恵一展－まなざしのシュルレアリスム－』開催。
４月 美術館特別展『写真家が見つめた沖縄1972～2017』開催。
美術館特別企画展『開館十周年企画　安次富長昭展』開催。
５月 指定管理者企画展『やんばるの森の美』開催。
博物館企画展『新収蔵品展－平成28年度収蔵資料－』開催。
博物館企画展『博物館70年のあゆみ』開催。
美術館『《今帰仁城盛衰記》－知られざる金城安太郎の仕事』開催。
指定管理者企画展『やんばるの森の美－写真展－』開催。
７月 美術館『ベトナム絵画展』開催。
指定管理者企画展『水族館でも出会えない、海のビックリ生物展』開催。
大阪府立弥生博物館共催『沖縄の旧石器人と南島文化』（場所：弥生博物館）開催。
９月 博物館企画展『ウィルソンが見た沖縄』開催。
11月 博物館特別展『開館10周年特別展　海の沖縄』開催。
美術館企画展『開館10周年特別企画展　彷徨の海－旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄』開催。
12月 美術館企画展『開館10周年特別企画展　邂逅の海－交差するリアリズム』開催。
2018（平成30） １月 人間国宝島袋正雄氏より県指定有形文化財「三線　与那城型　名玉城與那」の寄贈を受ける。
２月 博物館企画展『大嶺コレクション展－かざる－』開催。
美術館『大和コレクションⅧ』開催。
４月 美術館企画展『涯テノ詩聲　詩人　吉増剛造展』開催。
５月 博物館企画展『新収蔵品展－平成29年度収蔵資料－』開催。
７月 美術館『儀間比呂志の世界』開催。
９月 美術館企画展『宮城健盛展』開催。
11月 博物館特別展『縄文と沖縄－火焔型土器のシンボリズムとヒスイの道』開催。
サキタリ洞遺跡の発掘調査で、県内最古となる5500年前（縄文時代前期）の赤色顔料を確認。
12月 新島ユキ氏より、亡き夫で植物学者の新島義龍氏の植物関係写真資料9,881点が寄贈される。
2019（平成31） １月 美術館『伊志嶺隆と平敷兼七』開催。
博物館企画展『大嶺薫コレクション展－吉祥－』開催。

2019（平成31）　２月　博物館企画展『琉球三線楽器保存・育成会創立30周年記念事業　沖縄が誇る家宝の三線展』開催。
３月　『沖縄県立博物館・美術館開館10周年記念　10年のあゆみ』刊行。

【歴代館長】

東恩納博物館
大嶺　　薫（1946年４月～1953年３月）

首里博物館
豊平　良顕（1947年12月～1948年３月）
原田　貞吉（1948年８月～1953年３月）

沖縄民政府立首里博物館
原田　貞吉（1953年３月～1955年５月）

琉球政府立博物館
山里　永吉（1955年５月～1958年８月）
金城増太郎（1958年９月～1961年12月）
大城　知善（1962年２月～1969年11月）
外間　正幸（1969年12月～1972年４月）

沖縄県立博物館
外間　正幸（1972年５月～1981年３月）
大城徳次郎（1981年４月～1983年３月）
大城　立裕（1983年４月～1986年３月）
大城　宗清（1986年４月～1992年３月）
宜保榮治郎（1992年４月～1994年３月）
糸数　兼治（1994年４月～1996年３月）
當間　一郎（1996年４月～1999年３月）
大城　将保（1999年４月～2000年３月）
平田　與進（2000年４月～2002年３月）
當眞　嗣一（2002年４月～2005年３月）
名嘉　政修（2005年４月～2006年３月）
宮城　清志（2006年４月～2007年３月）
新垣　隆雄（2007年４月～2007年10月）

沖縄県立博物館・美術館
牧野　浩隆（2007年11月～2011年３月）
白保　台一（2011年４月～2013年２月）
安里　　進（2013年５月～2016年３月）
田名　真之（2016年４月～　　）

Ⅱ 日誌抄（2018年４月１日～2019年３月31日）

2018年（平成30年）

４月　２日　平成30年度人事異動発令式
10日　内閣府沖縄振興局官房審議官（馬場竹次郎氏）当館視察
20日　博物館ボランティア登録証交付式（館長）
27日　「吉増剛増展」開会式（館長）
27日　10周年刊行事業「収蔵品目録」「博物館収蔵資料100選」記者発表

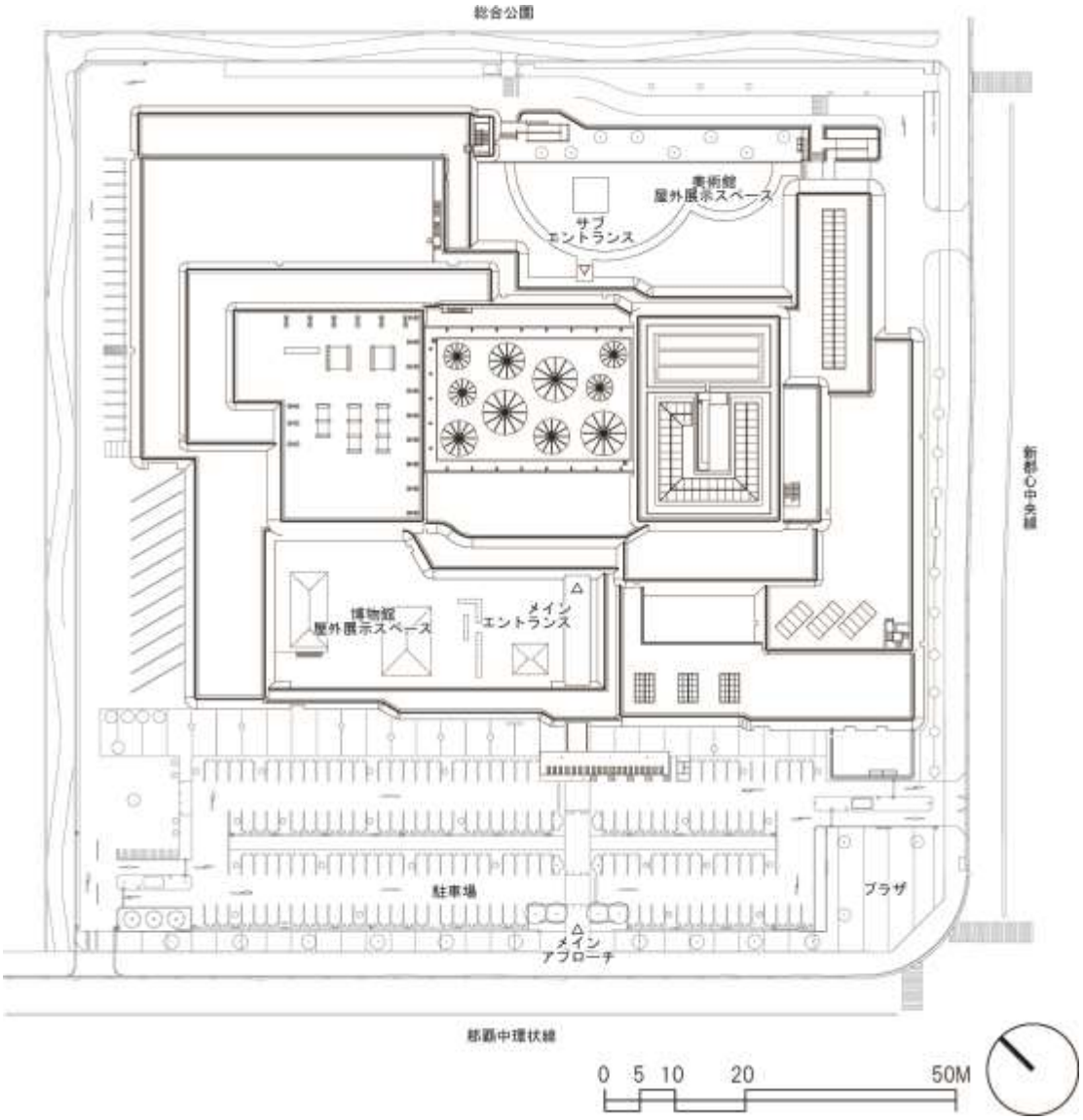
５月　２日　館内IPM研修会
12日　沖縄県立博物館・美術館入場者500万人達成セレモニー
８日　愛鳥週間特別企画「くちばし総選挙」（エントランスホール）
10日　九州博物館協議会（理事会、総会、現地研修）（～11日）
19日　国際博物館の日常設展無料開放
22日　「平成29年度新収蔵品展」開会式（館長）
28日　平成29年度琉球王国文化遺産集積・再興事業報告会
29日　会計課かい指導

６月　５日　「高校野球展」開会（歴史部門展示室、～６月24日）
12日　博物館学芸員実習（前期）（～６月25日）
12日　慰霊の日特別展示「大田昌秀と平和創造」（～６月23日）
19日　上海芸術品博物館職員視察（館長）
21日　淡江大学障害者プロジェクトセンター職員視察
22日　済州道立美術館館長来館（館長）
23日　福井照沖縄担当大臣視察（館長）
28日　全館燻蒸・消毒（～７月６日）

７月　３日　日本博物館協会参与会、全国博物館館長会議（～５日、館長）
３日　台湾新北市立十三行博物館展覧会開会式（博物館副館長）
11日　「追悼水木しげるーゲゲゲの人生展」開会式（館長）
12日　「ティラノサウルス展」開会式（博物館副館長）
13日　「儀間比呂志展」開会式（館長）

８月　　６日　美術館学芸員実習（～17日）
　　10日　ムンナーク在日タイ国大使視察
　　14日　博物館学芸員実習（後期）（～８月24日）
　　24日　学芸員実習ミニ企画展開会式（館長）
９月　　12日　「宮城健盛展」開会式（館長）
　　13日　指定管理者制度運用委員会
　　14日　浦添市美術館「きらきらひかる展」開会式（博物館副館長）
10月　　２日　平成30年度博物館長研修（美術館副館長、～５日）
　　３日　美術館副館長等事務責任者会議（博物館副館長、～５日）
　　６日　「MONGOL800展」開会式（館長）
　　28日　琉球中国交渉史シンポジウム中国出張（館長、～11月１日）
11月　　３日　県功労者表彰式出席（館長）
　　７日　沖縄県内最古の顔料の発見について記者発表（館長）
　　７日　九州博物館協議会秋の研修会（館長）
　　９日　国立公文書館理事（福井仁史氏）視察
　　14日　広島市議会議員行政視察
　　20日　大井川和彦茨城県知事視察（館長）
　　22日　「縄文と沖縄展」開会式（館長）
12月　　17日　テロ（NBC）対処合同訓練
　　18日　「新海誠展」開会式（館長）
　　19日　「故新島義龍氏」寄贈資料記者発表
　　28日　仕事納め
2019年（平成31年）
１月　　４日　仕事始め
　　11日　「伊志嶺隆と平敷兼七展」開会式（館長）
　　17日　千葉県市川市議視察
　　18日　沖縄県立博物館・美術館移動展開会式（伊平屋村）
２月　　５日　「沖縄が誇る家宝の三線展」開会式（館長）
　　８日　「大嶺薫コレクション展」開会
　　13日　沖縄県立芸術大学卒業作品展開会式（館長）
　　20日　社会教育主事講習
　　22日　沖縄県立博物館・美術館協議会
　　25日　全館燻蒸・消毒（～27日）
３月　　１日　監査委員事務局定期監査
　　22日　『沖縄県立博物館・美術館開館10周年記念　10年のあゆみ』刊行

Ⅲ 施設・設備



建築概要

●敷地面積……	31,287㎡
●建築面積……	13,452㎡
●延床面積……	23,721㎡
博物館専有面積…	10,478㎡
美術館専有面積…	7,537㎡
共有面積……	5,708㎡
●高さ‥最高高さ…	GL＋21.8m
●駐車場	
一般駐車場……	158台
（うち身障者用4台）	
大型バス駐車場…	10台
駐輪場……	25台
関係者駐車場……	22台

供用施設

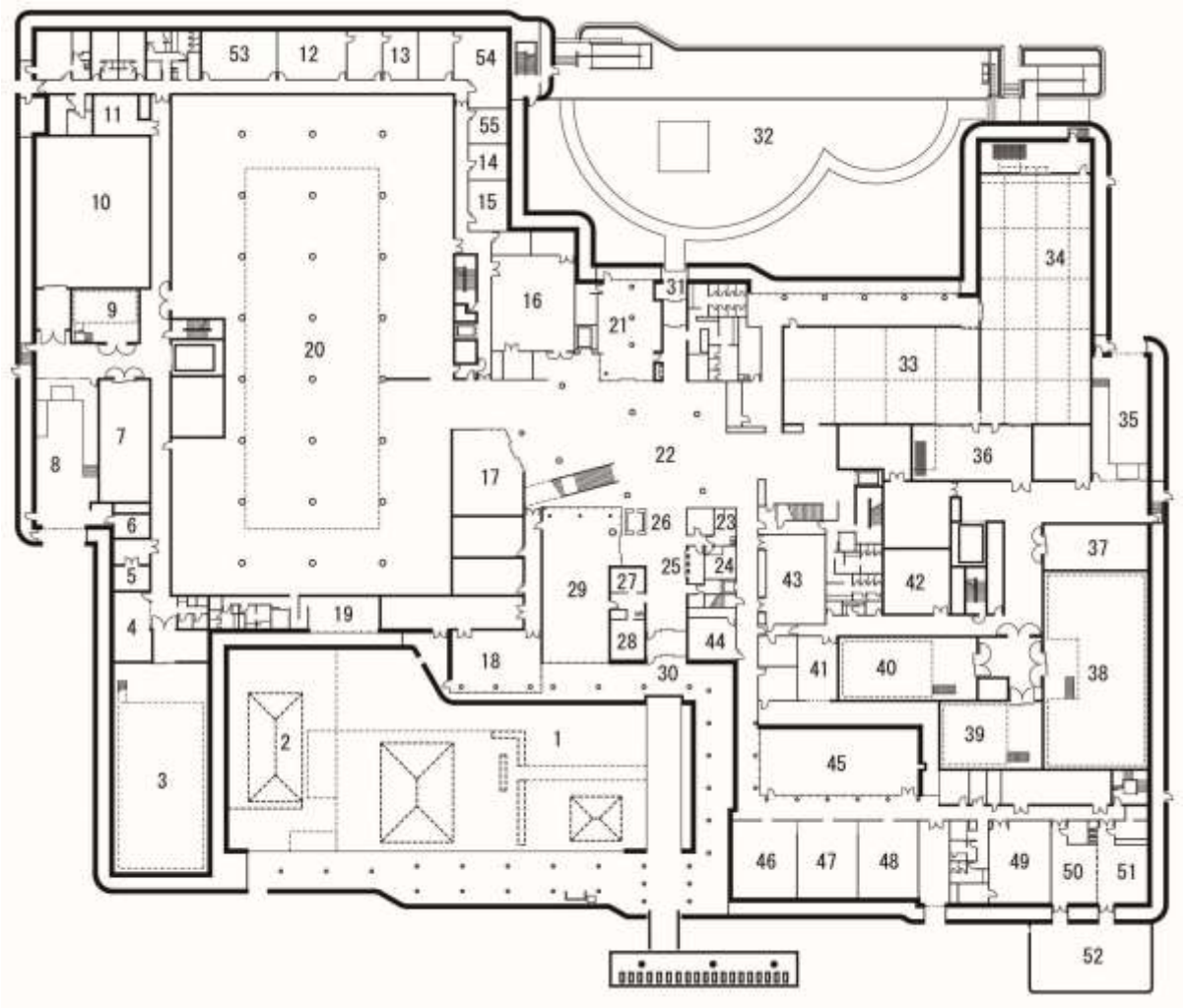
●エントランスホール	724㎡
●情報センター……	217㎡
●講堂（212席）…・	349㎡

博物館の主たる施設

●展示施設	
総合展示室……	1,252㎡
部門展示室……	1,344㎡
自然史部門‥	360㎡
考古部門……	262㎡
美術工芸部門	180㎡
歴史部門……	120㎡
民俗部門……	421㎡
屋外展示場……	1,425㎡
企画展示室……	351㎡
特別展示室……	459㎡
●教育普及施設	
ふれあい体験室	110㎡
博物館講座室‥	191㎡
実習室……	108㎡
●収蔵施設（ダブルデッキ含む）	
自然史収蔵庫……	417㎡
化石収蔵庫……	245㎡
考古・陶磁器収蔵庫……	613㎡
特別収蔵庫……	439㎡
民俗収蔵庫……	668㎡
大型収蔵庫……	358㎡
液浸標本室……	97㎡
一時保管庫……	119㎡
●調査研究施設	
研究室……	176㎡
研究資料室……	111㎡
会議室……	72㎡

美術館の主たる施設

●展示施設	
企画ギャラリー１……	394㎡
企画ギャラリー２……	490㎡
コレクションギャラリー１	164㎡
コレクションギャラリー２	284㎡
コレクションギャラリー３	370㎡
県民ギャラリー（１～３）‥	277㎡
県民ギャラリー（スタジオ）	111㎡
県民アトリエ……	65㎡
こどもアトリエ……	70㎡
屋外展示場……	1,368㎡
●教育普及施設	
美術館講座室……	109㎡
●収蔵施設（ダブルデッキ含む）	
収蔵庫Ａ……	683㎡
収蔵庫Ｂ……	248㎡
収蔵庫Ｃ……	204㎡
●調査研究施設	
研究室……	98㎡
研究資料室……	98㎡
会議室……	58㎡



1階

1階

（博物館）

1　博物館野外展示
2　湧田古窯
3　民俗収蔵庫
4　写真撮影室
5　冷凍庫
6　石工室
7　一時保管庫
8　トラックヤード
9　液浸標本室
10　大型収蔵庫
11　修理修復室
12　博物館・美術館庶務室
13　館長室
14　支援会室
15　博物館ボランティア室
16　博物館講座室
17　博物館ふれあい体験室
18　博物館実習室
19　博物館常設展示休憩室
20　博物館常設展示室

（共有）

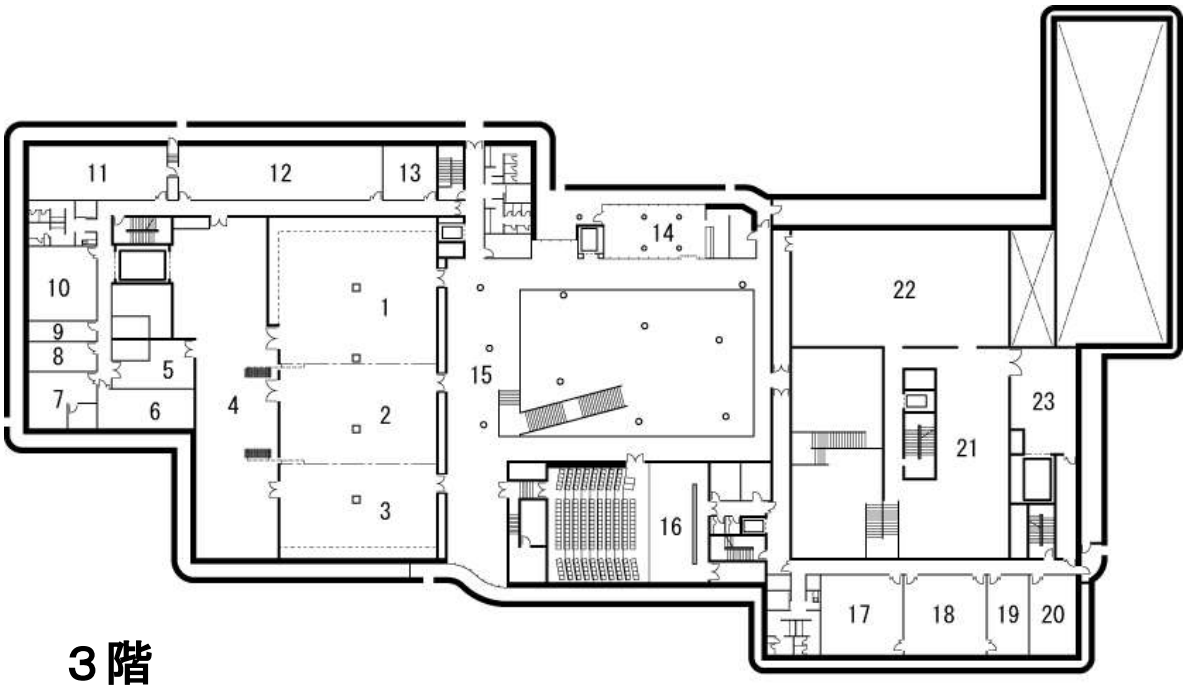
21　ミュージアムショップ
22　エントランスホール
23　授乳室
24　託児室
25　券売
26　総合案内
27　救護室
28　コインロッカー
29　情報センター
30　メインエントランス
31　サブエントランス

（美術館）

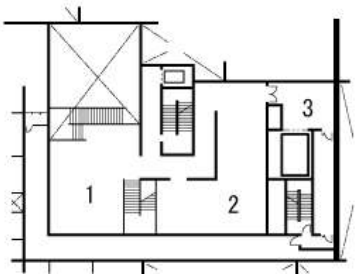
32　美術館野外展示
33　美術館企画ギャラリー１
34　美術館企画ギャラリー２
35　トラックヤード
36　展示準備室
37　一時保管庫
38　収蔵庫Ａ
39　収蔵庫Ｂ
40　収蔵庫Ｃ
41　保存修復室
42　工作室
43　美術館講座室
44　美術館ボランティア室
45　中庭
46　県民ギャラリー１
47　県民ギャラリー２
48　県民ギャラリー３
49　県民ギャラリー（スタジオ）
50　県民アトリエ
51　こどもアトリエ
52　屋外活動スペース

（指定管理者）

53　会議室
54　事務室
55　展示交流員控室



３階



２階

地階

３階

（博物館）

1　企画展示室
2　特別展示室１
3　特別展示室２
4　展示準備室
5　工作室
6　自然史実験室
7　保存科学室
8　フィルム保管庫
9　映像編集室
10　学芸員会議室
11　研究資料室
12　学芸員研究室
13　研修室

（共有）

14　喫茶室
15　ホワイエ
16　講堂

（美術館）

17　研究資料室
18　学芸員研究室
19　情報処理室
20　学芸員会議室
21　コレクションギャラリー２
22　コレクションギャラリー３
23　展示準備室

地階

（博物館）

1　特別収蔵庫
2　考古陶磁器収蔵庫
3　自然史収蔵庫
4　劣化フィルム収蔵庫
5　写真パネル収蔵庫
6　化石収蔵庫

２階

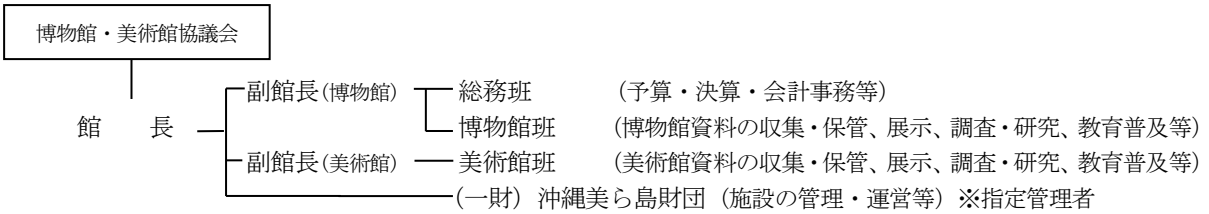
（美術館）

1　ホワイエ
2　コレクションギャラリー１
3　展示準備室

Ⅳ 組　織

【組織】

沖縄県立博物館・美術館の組織は、「総務班」「博物館班」「美術館班」の県組織と、指定管理者である（一財）沖縄美ら島財団の４つにより構成されている。なお、（一財）沖縄美ら島財団に関しては別項にて記述しているので参照頂きたい。



【職員構成】　2018年４月１日　現在

職　名	氏　名	担　当　業　務
館　長	田名　真之	◎博物館・美術館の総括に関すること
参　事　兼 副　館　長	金城　健	◎博物館業務の統括に関すること ◎総務班・博物館班の指揮監督に関すること
副　館　長 兼美術館班長	池原　盛浩	◎美術館業務の統括に関すること ◎美術館班の総括に関すること

（総務班）

職　名	氏　名	担　当　業　務
総務班長	大城　美千代	◎総務班の総括に関すること ◎出納員に関すること ◎指定管理者との調整に関すること ◎指定管理者制度に関すること ◎視察対応の総括に関すること ◎博物館・美術館協議会に関すること ◎博物館・美術館の広報宣伝に関すること ◎防災・危機管理に関すること ○その他特に上司が命ずる事項に関すること
主　任	野原　寿浩	◎予算及び決算に関すること ◎博物館班の会計業務に関すること ◎職員の給与、福利、服務及び研修業務に関すること ◎情報管理に関すること ◎労働安全衛生業務に関すること ○その他特に上司が命ずる事項に関すること
主　任	上原　隆大	◎出納業務に関すること ◎美術館班の会計業務に関すること ◎博物館・美術館保全修繕事業に関すること ◎監査・会計検査に関すること ◎物品に関すること ◎歳入に関すること ◎施設・財産関連業務に関すること ◎文書の管理業務に関すること ◎防災・危機管理に関すること ◎公用車の管理業務（支出含む）に関すること ◎公印の管理に関すること ○その他特に上司が命ずる事項に関すること
事務補助	古堅　幸絵	○文書受付に関すること ○業務補助に関すること
事務補助	古波蔵　奈央子	○文書受付に関すること。 ○業務補助に関すること。

（博物館班）

職　　名	氏　　名	担　　当　　業　　務
副参事兼班長	園原　謙	◎博物館班の総括に関すること ◎平成30年度博物館班予算に関すること ◎沖縄県博物館協会、九州博物館協会、日本博物館協会に関すること ◎県議会対応に関すること ◎視察対応に関すること ◎学芸員実習・県職員研修等の受け入れに関すること ◎博物館特別展示室・企画展示室の管理・運営に関すること ◎指定管理者との調整に関すること ◎学芸員ゼミの運営に関すること ◎毒物劇物管理責任者（博物館班）に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主　　幹 （美術工芸）	與那嶺　一子	◎人文系（歴史・美工）グループの統括に関すること ◎美術工芸資料（染織・書跡・彫刻）の収集・保管・整理・調査研究・展示公開等に関すること ◎博物館総合・部門展示（美術工芸等）に関すること ◎写真資料等の整理に関すること ◎大嶺薫コレクション展に関すること ◎博物館資料修理事業に関すること ○博物館資料収集事業(博物館美術品購入基金)に関すること ○琉球王国文化遺産集積･再興事業（一括交付金）に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主任学芸員 （民　　俗）	大湾　ゆかり	◎民俗資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎デジタルミュージアム推進事業（一括交付金）に関すること ◎常設展総合・部門展示（民俗）・屋外展示（民家・高倉）に関すること ◎IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること ◎文化財公開承認施設及び登録博物館に関すること ◎企画展「三線展」に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （歴　　史）	外間　一先	◎歴史資料（近・現代）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門展示（歴史分野）に関すること ◎「国際博物館の日」関連事業に関すること ◎収蔵品台帳に関すること ◎写真資料の貸出、博物館資料の撮影等に関すること ◎博物館『年報』の編集・発行に関すること ◎琉球王国文化遺産集積･再興事業（陶芸・漆芸）（一括交付金）に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主任学芸員 （歴　　史）	久部良　和子	◎歴史資料（古琉球・近世）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎常設展総合・部門展示（歴史「古琉球・近世」）に関すること ◎資料収集事業に関すること ◎次年度企画展の準備に関すること ◎歴史資料の購入に関すること ◎琉球王国文化遺産集積・再興事業（木彫）（一括交付金）に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （考　　古）	山本　正昭	◎考古資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門（考古分野）・屋外展示（湧田窯）に関すること ◎移動博物館に関すること ◎琉球王国文化遺産集積・再興事業（金工・石彫）（一括交付金）に関すること ◎新収蔵品展に関すること ◎次年度、特別展の準備に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること

職　　名	氏　　名	担　　当　　業　　務
主任学芸員 （自然史・生物）	菊川　章	◎自然史資料（動物・植物）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎総合調査に関すること ◎常設展総合・部門展示（自然史「動物・植物」）・屋外展示（植生）に関すること ◎毒物劇物管理担当に関すること ◎S-netに関すること ◎毒物劇物管理担当に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （自然史・地学）	宇佐美　賢	◎自然史資料（岩石・化石）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎収蔵品WEB図鑑発信事業に関すること ◎博物館総合・部門（地質化石等）に関すること ◎博物館班広報連絡調整に関すること ◎博物館ホームページに関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （人　　類）	山崎　真治	◎自然史資料（先史人類学）の収集・保管（港川人骨）・整理・調査研究・公開等に関すること ◎特別展「縄文と沖縄」に関すること ◎図書資料に関すること ◎常設展総合・部門展示（自然史「先史人類学」）に関すること ◎共同研究事業に関すること ◎博物館班情報の発信の取りまとめに関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （教育普及）	大川　剛	◎教育普及資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎教育普及資料の収集・購入・受入・保管・整理に関すること ◎学校連携事業に関すること ◎文化講座・学芸員講座の企画調整に関すること ◎展示ガイド養成、博物館友の会・ボランティア活動事業に関すること ◎体験学習教室の企画及び野外展示の活用に関すること ◎学校連携及び博物館教育普及モデル事業に関すること ◎ふれあい体験室の運営に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員 （民俗・歴史）	萩尾　俊章	◎民俗、歴史に関する学芸補助に関すること ◎10周年刊行事業に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
学　芸　員 （美術工芸）	篠原　あかね	◎美術工芸（絵画・陶器・漆器）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎常設展総合・部門展示（美術工芸等）に関すること ◎博物館資料収集事業（美術品購入基金）に関すること ◎博物館資料修復事業に関すること ◎琉球王国文化遺産集積・再興事業（絵画・陶器）（一括交付金）に関すること ◎大嶺薫コレクション展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
学芸業務 補 助 員	勝連　涼子	◎『博物館・美術館年報』の編集・発行に関すること。 ◎写真資料の貸出、博物館資料の撮影等の受付に関すること。 ○写真資料等の整理に関すること。 ◎展示公開事業の補佐に関すること。 ○学芸研究資料室の図書に関すること。 ◎学芸員の補佐に関すること。 ◎寄贈図書類の回覧に関すること。

職　　名	氏　　名	担　　当　　業　　務
教育普及業務 補　助　員	玉城　ちひろ	○ふれあい体験室、実習室、講座等に関すること。 ○教育資料の収集・購入・受入・保管・整理等に関すること。 ○博物館学習等の調査研究、照会事項対応の補助に関すること。 ◎ボランティア活動の連絡調整に関すること。 ○総合・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関すること。 ◎教育普及担当学芸員の補佐に関すること。
事務補助	大底　ひろみ	○「琉球王国文化遺産集積・再興事業」の補助に関すること。 ○業務補助に関すること。

（美術館班）

職　　名	氏　　名	担　　当　　業　　務
副館長兼 美術館班長	池原　盛浩	◎美術館業務の総括に関すること ◎館長の補佐に関すること ◎外郭団体等への対応に関すること ◎指定管理者との連絡調整に関すること ◎近現代美術の研究に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員	豊見山　愛	◎展示公開活動に関すること ◎近現代美術の研究に関すること ◎展覧会計画策定に関すること ◎「儀間比呂志」展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員	富原　圭子	◎教育普及活動に関すること ◎教育普及活動の調査・研究に関すること ◎移動展に関すること ◎教育普及事業・団体見学受入・出前授業等に関すること ○その他特に上司の命じる事項に関すること
主　　任	玉那覇　英人	◎調査研究活動に関すること ◎近現代美術の研究に関すること ◎10周年記念誌に関すること ◎「吉増剛造」展に関すること ◎「沖縄美術の流れ」展に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
学　芸　員	梶原　正史	◎資料保存管理活動に関すること ◎保存修復の研究に関すること ◎「宮城健盛」展に関すること ◎収蔵作品データベース管理に関すること ○その他特に上司が命じる事項に関すること
学　芸　員	亀海　史明	◎資料収集活動に関すること ◎近現代美術の研究に関すること ◎「伊志嶺隆と平敷兼七」展に関すること ◎美術品等取得基金に関すること（美術館分） ○その他特に上司が命じる事項に関すること
美術品調査員	謝花　聡恵	○作品の調査に関すること ○収蔵品のデータベース及び画像管理・貸出に関すること
学芸業務補助員	渡邉　愛依	○美術館資料調査、収集及び整理に関すること ○展示公開事業の補佐に関すること
事務補助	大西　弘美	◎文書の収受、発送に関すること ◎図書の受付、整理に関すること ○文書等の整理、保管に関すること ○業務補助に関すること

※◎は主担当業務、○は副担当業務。

【人事異動】　　2018年４月１日　現在

	班　名	職　名	氏　名	摘　要
転　出	総 務 班	主　査	稲嶺　桂子	自然保護課
	博物館班	主任学芸員	山﨑　仁也	県立八重山高校
	美術館班	主任学芸員	島筒　格	伊良波中学校
転　入		参事兼副館長	金城　健	県立看護大学
	総 務 班	主　任	上原　隆大	地域保健課
	博物館班	主任学芸員	菊川　章	県立知念高校
		主任学芸員	萩尾　俊彰	再任用
	美術館班	学 芸 員	亀海　史明	新採用
退　職		参事兼副館長	村山　剛	定年退職

Ⅴ 沖縄県立博物館・美術館協議会

日　時：2019年２月22日（金）　14:00～16:00
場　所：沖縄県立博物館・美術館　博物館実習室
会　議
あいさつ（田名真之沖縄県立博物館・美術館館長）
第６期博物館・美術館協議会委員について
協議会会長及び副会長の選任
議題
・平成30年度事業実績報告
・平成31年度事業計画

沖縄県立博物館・美術館協議会委員名簿　　（任期：2018年７月10日～2020年７月９日）

分　野		氏　名	所　属	職　名
学識経験者	自然史	○新城　和治	元琉球大学教育学部	元 教 授
	歴　史	里井　洋一	琉球大学教育学部	教　授
	考　古	池田　榮史	琉球大学法文学部	教　授
	民　俗	稲福みき子	元沖縄国際大学	名誉教授
	人　類	土肥　直美	元琉球大学医学部	元准教授
	美術（画）	◎宮城　篤正	元沖縄県立芸術大学	元 学 長
	美術（立体）	西村　貞雄	元琉球大学教育学部	名誉教授
	美術（写真）	仲本　賢	沖縄県立芸術大学美術工学部	教　授
	観光行政学	下地　芳郎	琉球大学観光産業科学部	学 部 長
学校教育関係者	小学校教育	安里　恒男	沖縄県小学校長会	副 会 長
	中学校教育	山里　望	沖縄県中学校長会	副 会 長
	高校教育	與那嶺　国彦	沖縄県高等学校長会	副 会 長
社会教育・家庭教育関係者	※		沖縄県社会教育委員連絡協議会	会　長
	家庭教育	宮里　憲	沖縄県高等学校PTA連合会	会　長

※沖縄県社会教育委員連絡協議会会長は2019.3.31時点で空席。　　（◎会長、○副会長　2019年３月31日現在）

Ⅵ 予　算

2018歳出状況（決算）　　単位：千円

	博物館･美術館指定管理費	博物館･美術館費	博物館・美術館管理運営費	博物館･美術館保全修繕事業	琉球王国文化遺産集積･再興事業	デジタルミュージアム推進事業	開館10周年記念刊行事業	映像フィルム作品の修復･デジタル化事業	美術館展示物劣化度調査	合　計
報　酬		11,976	6,000		1,646					19,622
報償費		315			286					601
旅　費		8,014	47		1,375	105				9,541
需用費		19,115		3,780	38					22,933
役務費		2,162								2,162
委託料	302,470	34,437			99,500	19,335	1,296	1,886	2,820	461,744
使用料及び賃借料		1,475				6				1,481
備　品購入費		19,794		13,962						33,756
負担金、補助及び交付金		5,609								5,609
公課費		47								47
繰出金		24								24
合　計	302,470	102,968	6,047	17,742	102,845	19,446	1,296	1,886	2,820	557,520

※本庁執行分を含む

2018歳入状況（決算）　　単位：千円

	収入金額	説　　明
土地使用料	24	自動販売機土地使用料等
建物使用料	3,034	喫茶室、ミュージアムショップの建物使用料
国庫補助金	97,833	沖縄振興特別推進交付金
雑　　入	2,253	喫茶室、ミュージアムショップ、自動販売機の電気・水道料金等
展示会等助成金	1,307	芸術文化振興基金助成金（独立行政法人日本芸術文化振興会）
合　　計	104,451	※本庁収納分を除く

Ⅶ 収蔵資料現在高

当館が所蔵する資料の件数は以下の通りである。詳しい内訳は博物館、美術館それぞれの章において詳しく記述しているのでその頁をご参照頂きたい。

2019年３月31日　現在

	分　類	件　数	小　計
博物館	自然史	57,098	100,071
	人類	128	
	美術工芸	10,932	
	歴史	14,273	
	考古	9,757	
	民俗	7,883	
美術館	平面	1,770	4,576
	立体	259	
	写真・映像	2,518	
	その他	29	
総計			104,647

（注1）博物館収蔵高については、2017年度（平成29）年度をまとめるにあたり、収蔵資料高の数値の修正を行った。

（注2）美術館の収蔵品の分類で、昨年度までの「映像」分類を「写真・映像」に変更した。

利用統計

Ⅰ 入館者統計
Ⅱ 施設利用者統計

Ⅰ 入館者統計

1 総入館者集計

（単位：人）

年	月	博物館												美術館									全体				総入館者	開館日数	1日平均入館者数
		常設展			企画展			特別展			全体			コレクション展			企画展			全体			展示室合計			展示以外（共有）			
		有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	合計					
2018（平成三十）	4	5,470	2,006	7,476			0				5,470	2,006	7,476	2,224	1,036	3,260	192	103	295	2,416	1,139	3,555	7,886	3,145	11,031	20,917	31,433	26	1,209
	5	4,571	2,442	7,013	499	284	783				5,070	2,726	7,796	1,796	1,333	3,129	978	334	1,312	2,774	1,667	4,441	7,844	4,393	12,237	17,330	28,513	26	1,097
	6	6,099	2,776	8,875	1,237	408	1,645				7,336	3,184	10,520	1,673	986	2,659	852	221	1,073	2,525	1,207	3,732	9,861	4,391	14,252	15,348	28,207	23	1,226
	7	7,234	2,627	9,861	23,023	2,594	25,617				30,257	5,221	35,478	2,910	876	3,786	7,558	1,148	8,706	10,468	2,024	12,492	40,725	7,245	47,970	14,189	56,994	21	2,714
	8	10,999	4,221	15,220	41,641	4,300	45,941				52,640	8,521	61,161	6,103	1,696	7,799	17,643	2,550	20,193	23,746	4,246	27,992	76,386	12,767	89,153	13,651	88,184	27	3,266
	9	5,284	1,634	6,918	11,262	1,103	12,365				16,546	2,737	19,283	2,869	857	3,726	4,077	820	4,897	6,946	1,677	8,623	23,492	4,414	27,906	13,624	38,961	25	1,558
	10	5,462	2,499	7,961	4,252	732	4,984				9,714	3,231	12,945	1,896	729	2,625	878	462	1,340	2,774	1,191	3,965	12,488	4,422	16,910	17,435	33,302	26	1,281
	11	5,781	5,646	11,427	3,760	578	4,338	1,064	154	1,218	10,605	6,378	16,983	2,889	3,179	6,068			0	2,889	3,179	6,068	13,494	9,557	23,051	23,062	43,638	27	1,616
	12	6,303	2,227	8,530			0	2,818	311	3,129	9,121	2,538	11,659	2,360	1,114	3,474	2,426	147	2,573	4,786	1,261	6,047	13,907	3,799	17,706	21,350	35,959	24	1,498
2019（平成三十一）	1	5,634	3,176	8,810			0	2,960	430	3,390	8,594	3,606	12,200	2,230	853	3,083	7,269	479	7,748	9,499	1,332	10,831	18,093	4,938	23,031	17,612	37,772	24	1,574
	2	5,771	3,915	9,686	2,850	933	3,783			0	8,621	4,848	13,469	2,725	1,474	4,199	2,167	243	2,410	4,892	1,717	6,609	13,513	6,565	20,078	23,570	40,627	22	1,847
	3	6,003	1,885	7,888	1,400	447	1,847			0	7,403	2,332	9,735	2,979	977	3,956			0	2,979	977	3,956	10,382	3,309	13,691	30,303	41,304	28	1,475
合計		74,611	35,054	109,665	89,924	11,379	101,303	6,842	895	7,737	171,377	47,328	218,705	32,654	15,110	47,764	44,040	6,507	50,547	76,694	21,617	98,311	248,071	68,945	317,016	228,391	504,894	299	1,689
目標		50,400			91,400			7,280			149,080			11,000			52,760			63,760			212,840						
達成率(%)		148.04%			98.39%			93.98%			114.96%			296.85%			83.47%			120.29%			116.55%						

※欄右端の「全体」欄の展示室合計の入館者数は317,016。展示室以外（ふれあい体験室、県民ギャラリー、講座受講者等）との入館者数の合計は常設展や企画展を観覧した人数をダブルカウントした延べ入館者の数値（545,407人）として算出しているため、総入館者数（1人が複数の展覧会を観覧して1カウント算出）との差(40,513）が生じた。

2 団体別入館者集計

（単位：人）

項目	県内										県外										国外								合計	
	小中生		高大生		特別支援		その他		小計		小中生		高大生		特別支援		その他		小計		小中生		高大生		特別支援		小計			
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	4	640	0	0	0	0	2	55	6	695	0	0	3	95	0	0	0	0	3	95	2	75	1	25	0	0	3	100	12	890
5月	7	447	1	14	0	0	2	43	10	504	2	88	2	63	0	0	0	0	4	151	0	0	0	0	1	36	1	36	15	691
6月	7	336	13	748	3	73	1	22	24	1,179	0	0	1	99	0	0	0	0	1	99	1	20	0	0	0	0	1	20	26	1,298
7月	8	273	7	292	4	114	16	622	35	1,301	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	67	0	0	0	0	1	67	36	1,368
8月	2	34	3	63	0	0	74	2,721	79	2,818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	47	0	0	0	0	1	47	80	2,865
9月	5	135	3	208	0	0	7	304	15	647	0	0	4	275	0	0	0	0	4	275	0	0	0	0	0	0	0	0	19	922
10月	20	1,335	2	26	3	81	1	13	26	1,455	1	40	5	469	0	0	0	0	6	509	0	0	1	34	0	0	1	34	33	1,998
11月	32	2,531	1	4	3	53	1	24	37	2,612	1	295	10	426	0	0	0	0	11	721	0	0	0	0	0	0	0	0	48	3,333
12月	13	833	3	443	5	183	2	60	23	1,519	2	208	7	1,246	0	0	0	0	9	1,454	0	0	0	0	0	0	0	0	32	2,973
1月	23	1,847	9	432	1	9	1	17	34	2,305	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	2,305
2月	19	1,863	2	143	2	58	1	91	24	2,155	2	115	3	253	0	0	0	0	5	368	2	65	0	0	0	0	2	65	31	2,588
3月	6	281	3	81	0	0	0	0	9	362	0	0	3	306	0	0	0	0	3	306	0	0	0	0	0	0	0	0	12	668
合計	146	10,555	47	2,454	21	571	108	3,972	322	17,552	8	746	38	3,232	0	0	0	0	46	3,978	7	274	274	59	1	36	10	369	378	21,899

※「その他」の団体に含まれるのは、保育園、幼稚園、学童クラブなどの教育施設団体

3 展覧会別入館者集計

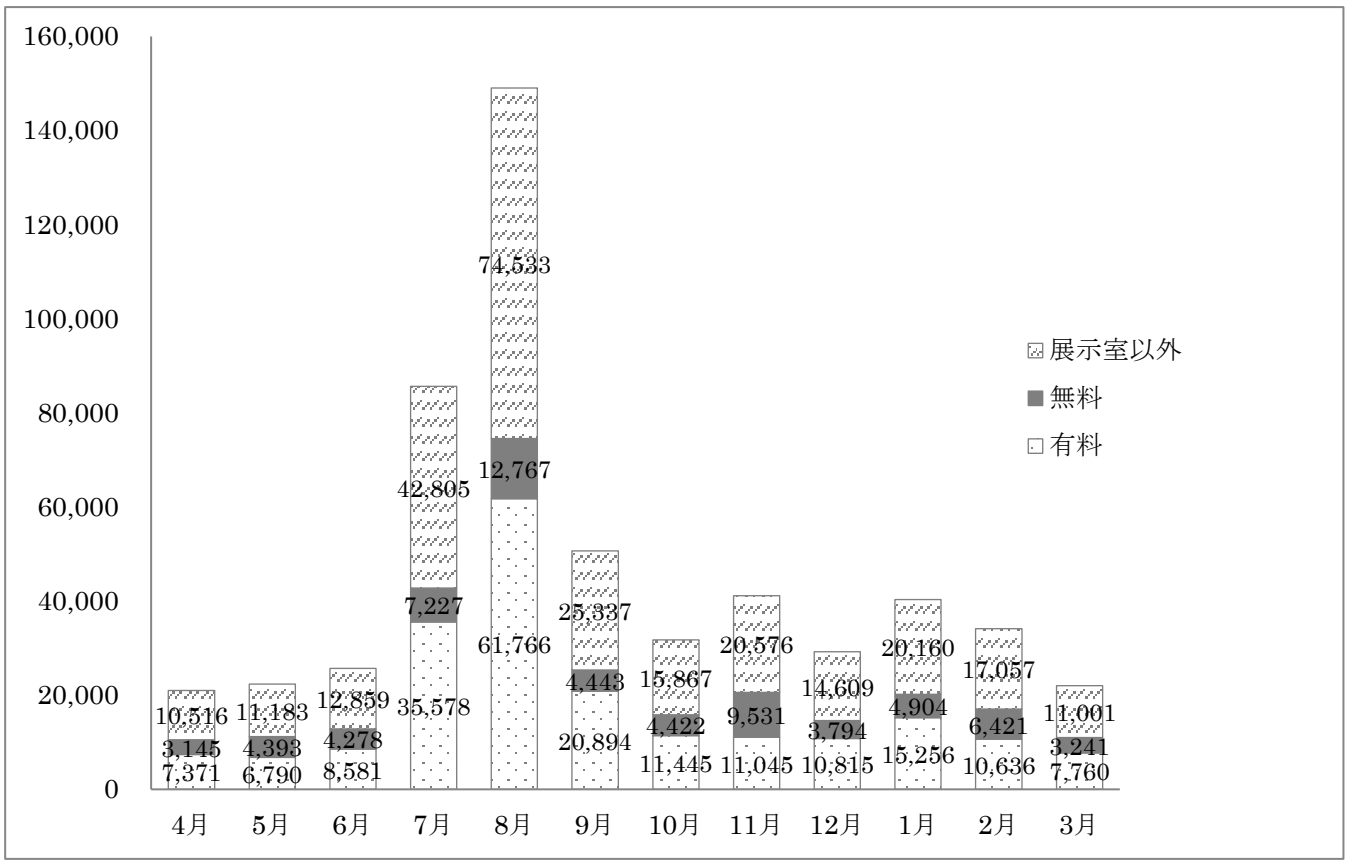
（単位：人）

展覧会名		観覧者区分	当日券	団体券	前売券	1Day passport	年間パス	その他割引	優待(障がい)	有料者合計	優待(障がい)	無料者数	総合計
博物館	企画展「新収蔵品展－平成29年度収蔵資料－」	一般	1,012	0	0	465	79	21		1,577	250	407	2,234
		高・大学生	40	0	0	60	0	6		106	0	0	106
		小・中学生	40	0	0	13	0	0		53	1	34	88
	特別展「縄文と沖縄－火焔型土器のシンボリズムとヒスイの道」	一般	3,095	0	151	1,894	259	299	223	5,921	0	625	6,546
		高・大学生	165	0	9	188	0	49	10	421	0	0	421
		小・中学生	294	0	29	128	0	41	8	500	0	270	770
	企画展「大嶺薫コレクション展－吉祥－」	一般	215	6	0	0	39	0	0	260	0	260	520
		高・大学生	20	0	0	0	0	0	0	20	0	0	20
		小・中学生	5	0	0	0	0	0	0	5	0	15	20
	企画展「沖縄が誇る家宝の三線展」	一般	1,930	105	28	1,285	97	61	0	3,506	321	669	4,496
		高・大学生	89	0	0	206	0	15	0	310	1	0	311
		小・中学生	65	0	2	75	0	7	0	149	3	111	263
美術館	企画展「涯ハテ詩聲　詩人吉増剛造展」	一般	658	0	11	906	121	49	30	1,802	0	600	2,402
		高・大学生	64	0	0	82	0	31	1	178	0	0	178
		小・中学生	22	0	0	19	0	1	0	42	0	58	100
	企画展「宮城健盛展」	一般	557	0	6	805	102	12	28	1,510	0	647	2,157
		高・大学生	35	0	0	73	0	5	0	113	0	0	113
		小・中学生	16	0	0	17	0	0	0	33	0	59	92
指定管理者	企画展「ティラノサウルス－進化の謎に迫る－」	一般	25,475	431	5,751	3,749	573	2,680	1,651	40,310	0	2,180	42,490
		高・大学生	1,013	48	178	214	0	101	54	1,608	0	0	1,608
		小・中学生	21,762	2,295	5,008	1,985	0	2,407	551	34,008	0	5,817	39,825
	企画展「追悼水木しげるゲゲゲの人生展」	一般	10,089	104	2,828	3,510	414	1,779	1,163	19,887	0	428	20,315
		高・大学生	665	34	104	186	0	132	87	1,208	0	0	1,208
		小・中学生	3,701	292	588	1,995	0	636	193	7,405	0	3,846	11,251
	企画展「MONGOL800 ga EXHIBITION モンパチ展 in OKINAWA - 20th Anniversary」	一般	4,622	0	779	333	146	1,386	135	7,401	0	640	8,041
		高・大学生	199	0	17	36	0	53	4	309	0	0	309
		小・中学生	229	0	24	4	0	37	8	302	0	670	972
	企画展「新海誠展「ほしのこえ」から「君の名は。」まで」	一般	5,027	7	601	1,467	203	832	310	8,447	0	520	8,967
		高・大学生	1,231	145	138	201	0	307	34	2,056	0	0	2,056
		小・中学生	903	0	97	170	0	163	26	1,359	0	349	1,708
	合計	一般	52,707	542	10,127	13,129	1,897	7,058	3,540	86,855	250	6,047	98,168
		高・大学生	3,521	227	452	1,772	102	691	218	7,396	0	647	6,330
		小・中学生	26,967	2,587	5,746	4,331	0	3,285	786	43,702	1	11,103	55,806

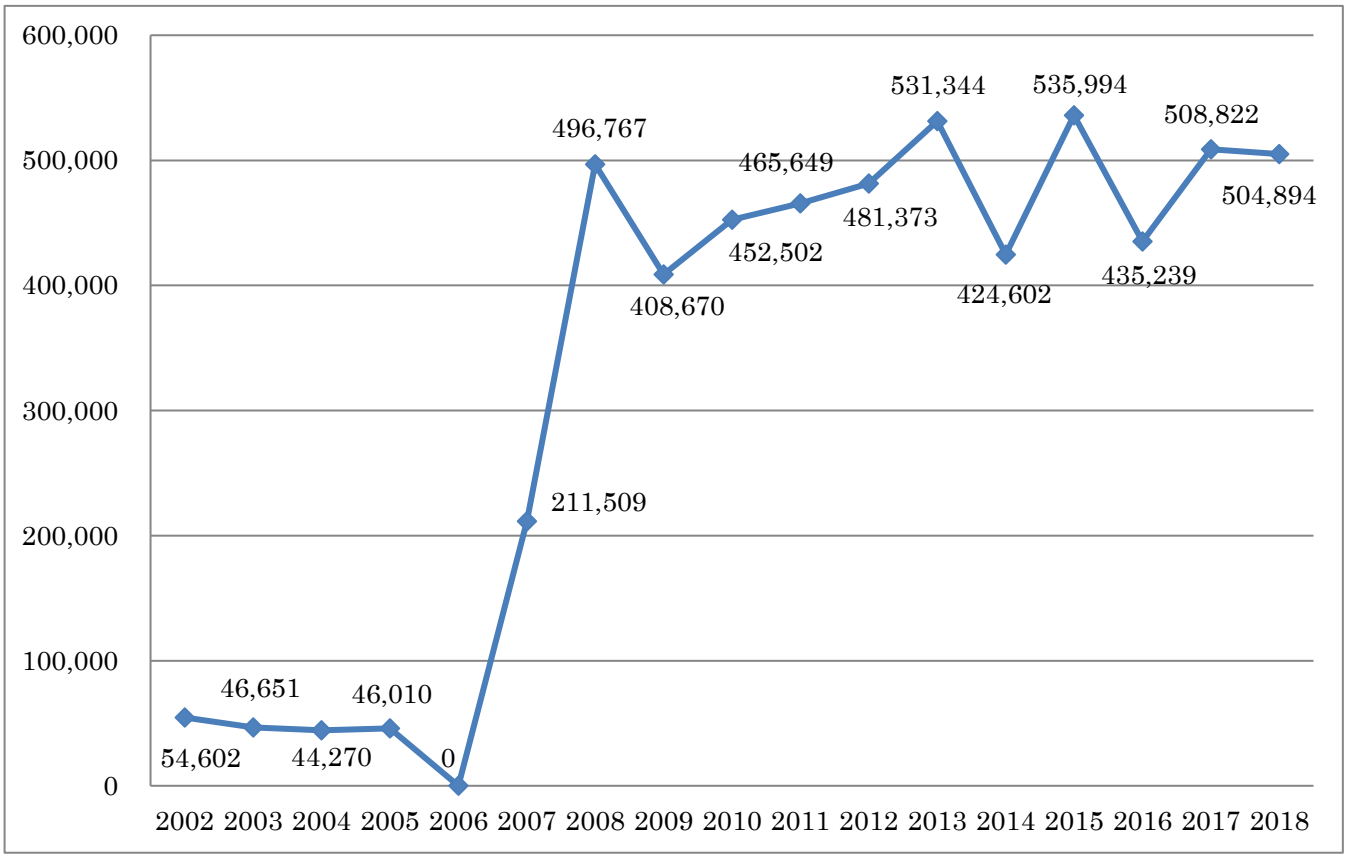
※博物館企画展に関しては、優待（障害者）は無料者数へ含む。

※博物館企画展「大嶺薫コレクション展」は、常設券で観覧できるため無料者へ含む。

4　2018年度（平成30）月間別入館者数



5　年間入館者数の年次推移



6 減免申請集計

（単位：人）

項　目		学校関係（下見）		旅行社関係（視察・引率）		ﾏｽｺﾐ関係（視察）		福祉関係（引率）		博物館・美術館関係者（視察）		その他		合計	
		団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
2017	4月	2	8	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10
	5月	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	7
	6月	6	19	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	7	23
	7月	5	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	14
	8月	25	119	0	0	0	0	0	0	1	41	1	1	27	161
	9月	1	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7
	10月	3	11	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12
	11月	10	38	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	13	43
	12月	13	55	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	15	60
2018	1月	12	71	2	3	0	0	0	0	0	0	1	2	15	73
	2月	11	56	1	2	0	0	1	2	0	0	0	0	13	60
	3月	5	18	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	19
合　計		96	417	13	29	0	0	1	2	1	41	2	3	113	492

7 団体入館内訳

県内　小学校　　のべ133校　9,603名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	18	真嘉比小学校	91	45	10	26	伊江小学校	18	89	12	21	宮森小学校	60
2		20	浦城小学校	172	46		30	石嶺小学校	149	90		27	琉球大学ｼﾞｭﾆｱﾄﾞｸﾀｰ育成塾	19
3		26	松川小学校	86	47	11	1	諸見小学校	94	91	1	11	座安小学校	78
4	5	2	高良小学校	143	48		2	豊見城小学校	106	92		16	さつき小学校	111
5		9	西城小学校	13	49			北玉小学校　5年生	102	93		17	松島小学校	102
6		16	城辺小学校	17	50			黒島小学校	9	94			城岳小学校	104
7		25	下地小学校	32	51			山田小学校	30	95		18	曙小学校	63
8		29	久松小学校	60	52			天底小学校	30	96			ｵｷﾅﾜｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｽｸｰﾙ	53
9		30	New Life Academy	9	53			与那原東小学校	95	97			天久小学校	31
10	6	1	New Life Academy	15	54			崎枝小学校	6	98			喜納小学校	88
11			東小学校	97	55		7	船越小学校	65	99		22	宇栄原小学校	101
12		2	南小学校	66	56		8	北中城小学校	137	100			銘苅小学校	120
13		8	海星小学校	12	57		9	古蔵小学校	157	101		24	城南小学校	76
14		15	鏡原小学校	40	58		16	大宜味小学校	24	102			北谷小学校	67
15		22	北小学校	50	59			東小学校	21	103			天久小学校	67
16	7	13	天久小学校	137	60			とよみ小学校　3年生	97	104		25	識名小学校	110
17			適応指導教室すだち	13	61			今帰仁小学校	48	105			名護小学校	153
18		24	沖縄カトリック小学校	33	62			泡瀬小学校	108	106			羽地小学校	63
19		27	ﾀﾞ･ｳﾞｨﾝﾁ ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｽｸｰﾙ	17	63			とよみ小学校　5年生	123	107			ｵｷﾅﾜｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｽｸｰﾙ	20
20			真嘉比小学校	20	64		20	比屋根小学校	126	108		29	垣花小学校	29
21	8	15	ﾉｱｽﾞ･ｱｰｸ･ﾁｬｰﾁｽｸｰﾙ	18	65		21	翔南小学校	91	109			港川小学校	169
22	9	6	粟国小学校	18	66		22	室川小学校	43	110		30	開南小学校	64
23		13	伊是名小学校	17	67			豊崎小学校	160	111		31	小禄小学校	88
24		20	野底小学校	15	68			北谷第二小学校	94	112			天久小学校	32
25			大名小学校	5	69			仲西小学校	106	113	2	1	上間小学校	98
26		27	西原東小学校	80	70		27	具志頭小学校	72	114		5	那覇小学校	81
27	10	2	狩俣小学校	15	71		28	大宮小学校	133	115		6	琉球大学附属小学校	34
28		3	沖縄カトリック小学校	114	72			北玉小学校　6年生	50	116		7	壺屋小学校	58
29		4	はごろも小学校	163	73		29	天久小学校	65	117			津嘉山小学校	161
30		11	屋我地小学校	15	74		30	天久小学校	98	118			琉球大学附属小学校	34
31		12	喜名小学校	78	75			本部小学校	98	119			天久小学校	173
32			米須小学校3年生	28	76			松田小学校	21	120		8	糸満小学校	88
33			米須小学校4年生	34	77			大謝名小学校	111	121		15	泊小学校	149
34		16	新城小学校	57	78	12	2	平真小学校	93	122			古堅小学校	98
35		17	中城小学校	39	79		5	上原小学校	14	123		21	真嘉比小学校	99
36		18	百名小学校	67	80		9	石垣小学校	51	124			壺屋小学校	44
37			北谷第二小学校	71	81		11	小禄南小学校	133	125			浦城小学校	157
38		19	阿波連小学校	4	82		13	城東小学校	112	126		22	城北小学校	139
39			美原小学校	149	83		14	真和志小学校	41	127		28	安謝小学校	104
40		23	潮平小学校	124	84		16	新川小学校	95	128			座安小学校	57
41		25	川崎小学校	76	85		19	瀬底小学校	22	129	3	1	真和志小学校	87
42			中の町小学校	83	86			普天間第二小学校	102	130			大道小学校	51
43			仲里小学校	21	87		20	平敷屋小学校	43	131		7	城西小学校	61
44		26	久米島小学校	30	88		21	若狭小学校	48	132		8	城西小学校	61

No.	月	日	学校名	人数
133	3	26	ニューライフアカデミー	16

県内　中学校

のべ13校　952名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	27	小禄中学校	291	6	7	26	三和中学校大渡分校	15	10	2	14	上山中学校	19
2	5	2	大里中学校	173	7	8	15	ﾉｱｽﾞ・ｱｰｸ・ﾁｬｰﾁｽｸｰﾙ	16	11		15	沖縄東中学校	236
3	6	22	東中学校	56	8	11	27	伊良波中学校	11	12		16	伊良波中学校	34
4	7	18	興南中学校	13	9	1	24	国頭中学校	58	13	3	14	寄宮中学校	5
5		24	琉球大学附属中学校	25										

県内　高校

のべ26校　1,505名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	6	5	沖縄水産高校	25	10	7	11	西原高校	35	19	1	16	浦添工業高校	20
2		8	石川高校	161	11	8	15	ﾉｱｽﾞ・ｱｰｸ・ﾁｬｰﾁｽｸｰﾙ	9	20		25	興南高校	31
3			美里高校	219	12	9	4	球陽高校	119	21		31	南風原高校	39
4		9	小禄高校	36	13		27	沖縄尚学高校	13	22			具志川高校	24
5		12	沖縄水産高校	24	14	10	16	嘉手納高校	14	23	2	14	浦添工業高校	80
6		15	中部商業高校	41	15	11	15	那覇高校	4	24	3	14	浦添工業高校	29
7		20	中部商業高校	23	16	12	13	浦添工業高校	79	25		15	星槎国際高校	22
8			沖縄水産高校	26	17		19	前原高校	329	26			浦添工業高校	30
9	7	7	沖縄尚学高校	29	18	1	11	北部農林高校	44					

県内　専門学校・大学

のべ21校　949名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	26	沖縄国際大学経済学部	14	8	7	12	沖縄国際大学	21	15	10	27	沖縄県立芸術大学	12
2	6	6	サイ・テク・カレッジ那覇	20	9		19	日本文化経済学院	98	16	12	21	ﾋｭｰﾏﾝｱｶﾃﾞﾐｰ那覇校	35
3		7	沖縄国際大学	21	10		27	沖縄国際大学	25	17	1	8	沖縄こども専門学校	106
4		15	沖縄看護専門学校	87	11		29	ｴﾙｹｱ医療保育専門学校	39	18		10	沖縄福祉専門学校	36
5		21	サイ・テク・カレッジ那覇	29	12	8	8	サイ・テク・カレッジ那覇	20	19		14	琉球大学教育学部	35
6		22	サイ・テク・カレッジ那覇	36	13			ﾋｭｰﾏﾝｱｶﾃﾞﾐｰ那覇校	34	20		16	ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙﾃﾞｻﾞｲﾝｱｶﾃﾞﾐｰ	97
7	7	7	琉球大学	45	14	9	14	ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙﾃﾞｻﾞｲﾝｱｶﾃﾞﾐｰ	76	21	2	20	ｽﾃｯﾌﾟﾜｰﾙﾄﾞ日本語学院	63

県内　特別支援学校

のべ21校　571名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	6	13	大平特別支援学校	35	8	10	2	泡瀬特別支援学校	12	15	12	11	山内小学校特別支援学級	43
2			那覇特別支援学校	19	9		10	島尻特別支援学校	32	16		18	森川特別支援学校	61
3		20	那覇特別支援学校	19	10		17	大平特別支援学校	37	17		21	上田小学校特別支援学級	25
4	7	11	大平特別支援学校	29	11	11	2	大平特別支援学校	14	18			沖縄盲学校	33
5		12	大平特別支援学校	50	12		14	西原中学校特別支援学級	11	19	1	31	大平特別支援学校	9
6		18	西崎特別支援学校	31	13		21	西崎特別支援学校	28	20	2	5	美咲特別支援学校	29
7		19	鏡が丘特別支援学校	4	14	12	7	沖縄ろう学校	21	21		8	浦添中学校特別支援学級	29

県内　幼稚園・保育園・その他

のべ108校　3,972名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	12	首里当蔵保育園	20	24	8	1	かぐらこども園	34	47	8	9	開南児童クラブ	80
2			ミナミ保育園	35	25		2	当山学童クラブ第二	34	48			みつばち学童クラブ	41
3	5	8	小禄南保育園	20	26			すぎの子児童クラブ	29	49		10	首里当蔵保育園	20
4		25	安謝保育園	23	27			よなは第２学童クラブ	29	50			八重瀬町立東風平幼稚園	58
5	6	8	オール真嘉比	22	28			南風原町立兼城児童館	24	51			風の子学童クラブ	35
6	7	18	第２かぐら保育園	21	29			宮里キッズ学童クラブ	33	52			沖縄キッズクラブ学童	39
7			なないろキッズ保育園	12	30			学童塾　琉童	28	53		11	支援センターパレット	33
8		24	銘苅こども園	29	31		3	さうんど保育園	42	54		14	みらい児童館	23
9			児童ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽﾘﾄﾙｽﾀｰ	21	32			平安幼稚園	86	55			美原学童クラブ	32
10		25	銘苅こども園	30	33			よなは学童クラブ	49	56		15	沖縄カトリック学童	44
11			小禄南・緑児童ｸﾗﾌﾞ	90	34			みらい学童クラブ	39	57			学童館	97
12			ｵｷﾅﾜｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｽｸｰﾙ	25	35			りらく浦添	23	58			平良川学童クラブ	65
13			Dukids なないろ	19	36		4	なでしこ学園	24	59			サウンド学童	25
14		26	銘苅こども園	19	37		5	久志こども会	20	60		16	美原学童クラブ	37
15		27	にこにこ学童	42	38		7	さくらんぼ学童園	45	61			木の国学童クラブ	108
16			わかめこども園	36	39			さざなみ学童クラブ	37	62			志真志幼稚園	42
17			むーｓこどもクラブ	54	40		8	ｱﾎﾟﾛｻｲｴﾝｽ科学実験教室	26	63			どりーむ保育園	39
18		31	城東児童クラブ	103	41			児童ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽﾄﾞﾘｰﾑ	26	64			みどりが丘保育園	30
19			さつき学童クラブ	70	42			放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｱﾈﾓﾈ	28	65			みやび学童クラブ	25
20			楽学喜サポートｱﾈﾓﾈ	28	43			リーフアフタースクール	28	66		17	首里児童クラブ	34
21			ｺﾛﾆｰﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽやまうち	23	44		9	しののめこども園	26	67			沖縄カトリック学童クラブ	46
22	8	1	児童ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ・ｱﾆﾏｰﾄ	25	45			沢岻学童クラブ	65	68			ｱﾎﾟﾛｻｲｴﾝｽ科学実験教室	29
23			大地の子児童クラブ	37	46			すぎの子児童クラブ	21	69			銘苅こども園	24

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
70	8	17	べいふれんど学童クラブ	23	83	8	21	ｺﾛﾆｰﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽちゃたん	20	96	9	4	ｵｷﾅﾜｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｽｸｰﾙ	33
71			おもちゃ箱なご	19	84		22	海の子学童クラブ	21	97			そよ風おもろ保育園	40
72			ちばな発達支援	9	85			いしだ丘保育園	20	98			ドーム認定こども園	52
73		18	ラポール学童クラブ	53	86		23	星のしずく保育園	58	99		5	さつき認定こども園	43
74			當山子供会	41	87			大芽学童クラブ	75	100		6	松川こども園	93
75		21	与那原東幼稚園	31	88		24	ｻﾝｼｬｲﾝﾓﾝﾃｯｿｰﾘｽｸｰﾙ	71	101			清ら風保育園	21
76			みらい学童クラブ	39	89			児童ｻﾎﾟｰﾄﾊｳｽくれよん！	16	102		8	ｺﾛﾆｰﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽやまうち	22
77			本部町ことばの教育	16	90		28	小川保育園	24	103	10	25	さくら幼稚園	13
78			海の子学童クラブ	44	91		30	わかば児童クラブ	42	104	11	15	がじゅまる保育園	24
79			津嘉山学童クラブ	35	92			ｺﾛﾆｰﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽまえじま	16	105	12	27	なは小児童クラブ	27
80			第３風の子学童クラブ	36	93			ゆいキッズ	12	106		28	マナブ倶楽部	33
81			学童ちびっこハウス	47	94		31	はるゆめ・ほるとのきこども園	50	107	1	24	第二エミール保育園	17
82			津嘉山うむさ学童	32	95			くまの子保育園	7	108	2	6	泊幼稚園	91

県外　小学校　　のべ１校　96名

No.	月	日	学校名	人数
1	2	5	雙葉小学校(神奈川県)	96

県外　中学校　　のべ７校　650名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	11	高雄中学校(和歌山県)	18	3	10	5	四日市ﾒﾘﾉｰﾙ学院中学校(三重県)	40	5	12	13	泗水中学校(熊本県)	129
2		13	和歌山大学付属中学校(和歌山県)	70						6	12	14	三原中学校(広島県)	79
					4	11	1	愛知淑徳中学校(愛知県)	295	7	2	5	羽黒中学校(山形県)	19

県外　高校学校　　のべ31校　3,027名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	18	拝島高校(東京都)	40	13	11	8	宇治山田高校(三重県)	39	22	12	2	浜松啓陽高校(静岡県)	112
2	5	11	野津田高校(東京都)	29	14		11	吾妻中央高校(群馬県)	11	23		2	宇都宮短期大学付属高校(栃木県)	347
3		15	駒場学園高校(東京都)	34	15		14	日本大学三島高校第３集団(静岡県)	38					
4	6	19	明法高校(東京都)	99						24		4	静岡城北高校(静岡県)	85
5	9	26	浜松大平台高校(静岡県)	170	16		15	野沢南高校(長野県)	210	25		13	甲府城西高校(山梨県)	36
6	10	16	野沢北高校(長野県)	43	17			日本大学三島高校第２集団(静岡県)	27	26		19	神奈川大学附属高校(神奈川県)	30
7		17	浜松日体高校(静岡県)	139										
8		19	科学技術学園高校(東京都)	62	18		16	吉田高校(山梨県)	15	27		26	桐光学園高校(神奈川県)	18
9			君津高校(千葉県)	38	19			日本大学三島高校第１集団(静岡県)	2	28	2	16	南山高校(愛知県)	208
10		20	ノートルダム清心高校	187						29	3	13	同志社女子高校(京都府)	268
11	11	1	芸術総合高校(埼玉県)	38	20		18	木更津高校(千葉県)	6	30		14	法政大学国際高校(神奈川県)	13
12		7	前橋育英高校(群馬県)	40	21	12	1	宇都宮短期大学付属高校	618	31		22	盛岡中央高校(岩手県)	25

県外　専門学校・大学　　のべ７校　205名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	4	金沢美術工芸大学(石川県)	41	4	9	12	鶴見大学(神奈川県)	21	6	2	20	立教大学(東京都)	26
2		17	東洋きもの専門学校(大阪府)	14	5		16	神戸女子大学(兵庫県)	58	7		28	今泉女子専門学校(福島県)	19
3	9	11	明治大学(東京都)	26										

国外　その他（基地内含む）　　のべ10校　369名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	10	中華ｷﾘｽﾄ教会基華小学校(中国)	43	3	4	17	Hans Adventure	25	7	8	2	ｳﾁﾅｰｼﾞｭﾆｱｽﾀﾃﾞｨｰ事業	47
					4	5	19	台中特殊教育学校(台湾)	36	8	10	14	HeepWohCollege(香港)	34
2		12	ﾊｲﾊﾟｰ小学校、ﾕｺﾞﾝﾜﾝｸﾞ小学校(香港)	32	5	6	16	靈糧堂秀德小學(香港)	20	9	2	1	徳信中学(香港)	40
					6	7	18	Himawari SAC(ｱﾒﾘｶ)	67	10		16	甘泉外国語学校中学部(上海)	25

Ⅱ 施設利用者統計

1 月別施設利用集計

（単位：日数）

項目	博物館					美術館											共有		その他							
	企画展示室	特別展示室	博物館講座室	博物館実習室	博物館屋外展示場	企画ギャラリー1	企画ギャラリー2	美術館講座室	県民アトリエ	こどもアトリエ	スタジオ	県民ギャラリー1	県民ギャラリー2	県民ギャラリー3	美術館屋外展示場	中庭	講堂	エントランス	3階回廊	講堂前ホワイエ	正面玄関雨端	計	貸出可能日	貸出可能時間	貸出可能日（金・土除く）	貸出可能日（金・土）
4月	26	26	19	9	0	14	14	15	4	1	1	10	13	13	0	0	13	16	0	1	1	196	26	250	18	8
5月	26	26	20	11	0	26	26	19	3	3	4	23	12	6	0	0	12	23	0	0	0	240	26	250	18	8
6月	23	23	18	10	0	23	23	18	6	5	9	21	6	0	0	0	11	0	0	0	0	196	23	223	15	8
7月	21	21	16	13	1	21	21	19	10	8	13	16	15	14	0	0	16	21	0	0	0	246	21	199	14	7
8月	27	27	23	13	1	27	27	21	8	9	5	23	23	17	0	0	16	27	0	27	0	321	27	261	18	9
9月	25	25	20	13	0	25	25	21	21	23	17	21	22	17	0	0	15	20	0	10	0	320	26	250	18	8
10月	26	26	21	17	0	26	26	16	10	10	8	26	26	26	0	0	16	19	0	24	0	323	26	241	18	8
11月	27	27	24	17	0	23	23	24	9	11	19	24	24	24	0	0	22	27	0	6	0	331	27	261	18	9
12月	24	24	19	17	0	23	23	17	13	8	11	17	13	16	1	0	15	24	0	0	0	265	24	232	16	8
1月	24	24	16	18	0	24	24	21	8	6	12	17	15	13	1	0	16	3	0	0	0	242	24	232	16	8
2月	22	22	16	18	0	17	13	20	15	10	17	18	12	17	0	0	19	19	0	3	0	258	22	214	14	8
3月	28	28	26	20	0	8	8	23	14	5	14	27	24	15	0	0	19	16	0	0	0	275	27	263	17	10
貸出件数	299	299	238	176	2	257	253	234	121	99	130	243	205	178	2	0	190	215	0	71	1	3,213	299	2,876	200	99
今年度稼働率	100.0%	100.0%	79.6%	58.9%	0.7%	86.0%	84.6%	78.3%	40.5%	33.1%	43.5%	81.3%	68.6%	59.5%	0.7%	0.0%	63.5%	71.9%	0.0%	23.7%	0.3%					

※３階回廊、講堂前ホワイエ、正面玄関、博物館屋外展示場、美術館屋外展示場、中庭は県主催、指定管理者主催イベントのみ稼働。

2 当館主催及び施設貸出内訳

【2018年４月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	日	博　講座室	一般社団法人表千家同門会沖縄県支部 表千家同門会沖縄県支部　教授者連絡会	24	14	土	こどもアトリエ	沖縄県造形教育連盟
2			博　講座室	ビオライズ沖縄　ビオライズ オープンセミナー	25			講堂	明治安田生命 労働組合　明治安田生命 労働組合
3			博　実習室	フリーベル天久新都心第2管理組合/松山ハウジング フリーベル天久新都心第2管理組合臨時総会	26			博　講座室	平成30年度博物館学芸員講座「沖縄の城、その起源について-グスクの意味を考える-」
4	3	火	博　講座室	沖縄医療生活協同組合　2018年度新入職員研修	27			県民アトリエ	石こう版画の会　石こう版画
5	4	水	博　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　（一財）沖縄美ら島財団 広報会議	28			美　講座室	美術館班　沖縄美術の流れ ギャラリートーク
6			博　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　（一財）沖縄美ら島財団 新人研修	29	15	日	講堂	新崎 誠実　ピアノ発表会
7			県民アトリエ	㈱地域科学研究所　㈱地域科学研究所 1次採用試験	30			博　講座室	㈱本分社　家づくりコミュニケーションとお金で幸せになる方法
8			美　講座室	オム・ファム㈱　第24期経営計画発表会	31	17	火	講堂	㈱ディック学園/マイン高等学院　平成30年度 マイン高等学院　沖縄・中部キャンパス入学式
9	5	木	博　講座室	沖縄医療生活協同組合　2018年度新入職員研修	32			博　講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　サンコム安全衛生協議会
10			美　講座室	リクルーティング・パートナーズ㈱　新入社員研修 「ディスカバリー」	33	18	水	講堂	沖縄弁護士会　遺言の日記念講演会
11	6	金	博　講座室	（一財）沖縄美ら島財団 会議	34			博　講座室	沖縄弁護士会　遺言の日記念　無料法律相談会
12			博　実習室	（一財）沖縄美ら島財団 会議	35			博　講座室	オリエンテーション/那覇市立真嘉比小学校
13			美　講座室	リクルーティング・パートナーズ㈱　新入社員研修 「ディスカバリー」	36			美　講座室	株式会社JTB沖縄　新規事業発表記者会見
14	10	火	博　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　全体研修	37			美　講座室	㈱イスラン　㈱イスラン　健康セミナー
15			美　講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　700MTVキックオフ	38	19	木	講堂	（一財）沖縄美ら島財団　オリエンテーションリハーサル
16	11	水	博　講座室	盛和塾沖縄　盛和塾沖縄　定例会	39			博　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　広報会議
17			博　講座室	公文教育研究会　BK特別講座	40			美　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　財団本部合同会議
18	12	木	講堂	米国総領事館　米国連邦年金に関するイベント	41	20	金	講堂	オリエンテーション/浦添市立浦城小学校
19			博　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　打ち合わせ	42			博　講座室	博物館班　平成30年度博物館ボランティア春の全体会議
20			博　実習室	大相撲沖縄場所実行委員会/㈱オペラ 大相撲沖縄場所実行委員会ミーティング	43			博　実習室	博物館班　カガクノジカン準備
21	13	金	講堂	㈱エフアンドエム　'F&M マネジメントスクール成果発表＆合同修了式	44			県民アトリエ	インテリアン　DIY体験会
22			県民アトリエ	一般財団法人　沖縄美ら島財団　打合せ	45			美　講座室	ＨＩＶ人権ネットワーク　研修会「外国人受け入れと沖縄の可能性」
23			美　講座室	(一財)沖縄美ら島財団　首里城公園連携広報会議	24	14	土	こどもアトリエ	沖縄県造形教育連盟

【2018年４月】

25	14	土	講堂	明治安田生命 労働組合　明治安田生命 労働組合
26			博　講座室	平成30年度博物館学芸員講座「沖縄の城、その起源について-グスクの意味を考える-」
27			県民アトリエ	石こう版画の会　石こう版画
28			美　講座室	美術館班　沖縄美術の流れ ギャラリートーク
29	15	日	講堂	新崎 誠実　ピアノ発表会
30			博　講座室	㈱本分社　家づくりコミュニケーションとお金で幸せになる方法
31	17	火	講堂	㈱ディック学園/マイン高等学院　平成30年度 マイン高等学院　沖縄・中部キャンパス入学式
32			博　講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　サンコム安全衛生協議会
33	18	水	講堂	沖縄弁護士会　遺言の日記念講演会
34			博　講座室	沖縄弁護士会　遺言の日記念　無料法律相談会
35			博　講座室	オリエンテーション/那覇市立真嘉比小学校
36			美　講座室	株式会社JTB沖縄　新規事業発表記者会見
37			美　講座室	㈱イスラン　㈱イスラン　健康セミナー
38	19	木	講堂	（一財）沖縄美ら島財団　オリエンテーションリハーサル
39			博　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　広報会議
40			美　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　財団本部合同会議
41	20	金	講堂	オリエンテーション/浦添市立浦城小学校
42			博　講座室	博物館班 平成30年度博物館ボランティア春の全体会議
43			博　実習室	博物館班　カガクジカン準備
44			県民アトリエ	インテリアン　DIY体験会
45			美　講座室	ＨＩＶ人権ネットワーク　研修会「外国人受け入れと沖縄の可能性」
46	21	土	講堂	㈱海燕社　海燕社の小さな映画会2018年4月会 「鬼に訊け宮大工西岡常一の遺言」
47			講堂	博物館文化講座 「沖縄と台湾、歴史の接点を考える」
48			講堂前ホワイエ	博物館文化講座 「沖縄と台湾、歴史の接点を考える」交流会
49	21	土	正面玄関雨端	博物館班　カガクジカン2018 「海洋科学技術に触れてみよう！小型ROV操縦体験」
50			博　講座室	カガクジカン2018「科学あそびコーナー」
51			博　実習室	博物館班　カガクジカン2018「沖縄の砂の正体を調べよう！」
52			美　講座室	沖縄人財クラスタ研究会 ドリームプラン・プレゼンテーション沖縄大会2018 相互支援会
53	22	日	講堂	公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会　写真展 闇から光へ 関連催事「シンポジウム＆映像私宅監置の実態を知り、今後を考える」
54			博　講座室	NPO法人ピースメーカーズネットワーク/亀田　隆 アースデイ 喜納昌吉 特別講演「地球こそが人類の聖地である」軍事のキーストーンから平和のキーストー
55			博　実習室	ブルーコンシャス㈱　面接会場
56			美　講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会
57	24	火	博　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　「ティラノサウルス-進化の謎に迫る-」会議
58			美　講座室	㈱アドスタッフ博報堂 平成30年度沖縄観光コンテンツ開発支援事業　事業選定委員会
59	25	水	講堂	沖縄国税事務所 泡盛仕次古酒・秘蔵酒コンクール感謝状贈呈式・仕次講演会
60			博　講座室	沖縄県精神神経科診療所協会/日本精神神経科診療所協会/山本クリニックメンタルヘルスクリニック・
61			博　実習室	琉球三線楽器保存・育成会/博物館班　三線鑑定会
62			美　講座室	美術館班　美術館ボランティア研修①(美術館班)
63	26	木	博物館講座室	㈱大城マネジメント研究所　人事・賃金改善セミナー
64			博　実習室	オリエンテーション/那覇市立松川小学校
65			美　講座室	TV沖縄　特別講演会
66	27	金	博　実習室	（一財）沖縄美ら島財団　荷物保管　/小禄中学校
67			博　実習室	博物館班　デジタルミュージアム推進事業 動画コンテンツ制作委託業務」審査
68	28	土	博　講座室	SHIMA　358　映画「アリシャ（夏）」試写会
69	29	日	スタジオ	Hobbyworldmarin　「地方創生は海洋創生」講演会
70			講堂	吉増剛造シンポジウム①(美術館班)
71			博　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　H30年度交流員全体研修
72			美　講座室	とめよう戦争への道！ 百万人署名運動・沖縄の会　講演会

【2018年５月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	2	水	講堂	オリエンテーション/南城市立大里中学校
2			美　講座室	東洋言語文化学院/HIV人権ネットワーク「日本語学校関係者の集まり」
3	3	木	博　講座室	自主憲法設定沖縄県民会議　新しい憲法をつくる沖縄県民の集い
4	6	日	講堂	真の家庭運動推進沖縄協議会　家庭講演会
5	7	月	博　講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団　全体研修
6	9	水	講堂	JAIFA 公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 JAIFA沖縄、H29年度報告会＆春の研修会
7			美　講座室	美術館ボランティア研修②(美術館班)
8	10	木	講堂	博物館班　九州博物館協議会総会
9			博　講座室	博物館班　九州博物館協議会
10	11	金	博　講座室	博物館班　九州博物館協議会
11	12	土	講堂	NPO法人HIV人権ネットワーク　毛受敏治　講演会　シンポジウム
12			講堂	「七色のみずうみ」上映会　練習　準備
13			博　講座室	博物館班　博物館学芸員講座 「沖縄・高校野球ネバーエンディングストーリー～熱闘本気の夏100回目～」
14			博　実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団　ふれあい専属ボランティア養成講座①
15	12	土	美　講座室	沖縄の教育を良くする会　テレビ「生命の光」を観る会
16			こどもアトリエ	造形教育連盟　総会
17	13	日	講堂	琉球王朝禮樂王府御座楽研究会 台北市北管音楽団と御座楽の交流演奏会
18			博　実習室	琉球王朝禮樂王府御座楽研究会 台北市北管音楽団と御座楽の交流演奏会の交流
19			県民アトリエ	インテリアン　DIY体験会
20			美　講座室	ビオライズ沖縄　ビオライズ株式会社オープンセミナー
21	15	火	博　講座室	メットライフ生命　沖縄営業所　メットライフ生命新商品説明会
22			博　講座室	株式会社ソフィア通信　平成29年度決算報告会
23			美　講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社　職長教育（新規）
24	16	水	博　講座室	メットライフ生命　沖縄営業所
25			博　講座室	2018年度 沖縄県立博物館友の会　総会
26			美　講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社　職長教育（新規）
27	17	木	博　講座室	県総務班　高所作業車入札
28			博　講座室	㈱オリエンタルコンサルタンツ　平成30年度沖縄県観光2次交通機能強化事業観光2次交通のオープンデータに係る勉強会

【2018年５月】

29			美　講座室	㈱ＪＴＢ沖縄　社内研修
30	18	金	講堂	博物館班　博物館ボランティア養成講座②
31			博　講座室	のはら元気クリニック/ハッピーライフまほろば のはら元氣クリニック『元氣塾講演会』第23回サイモント療法・講演会
32			博　講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　平成30年度サンコム上期安全大会
33			博　実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団　面接会場
34			美　講座室	Tプロフェッショナルコンソーシアム ガリレオスコープ株式会社 ITキャリア沖縄2018年度事業説明会
35	19	土	講堂	真の家庭運動推進協議会　「希望の家庭」講演会
36			講堂	博物館班　平成30年度博物館文化講座「阿児奈波と大和」
37			講堂	Team19/松島里奈　「七色のみずうみ」上映会
38			博　講座室	干瀬の会　第30回講演～源氏物語を読む～
39			博　実習室	博物館班　古代衣装体験（博物館班）
40			博　実習室	博物館班　平成30年度博物館文化講座「阿児奈波と大和」第2会場
41			スタジオ	㈲照正興産　’相続対策セミナー
42			美　講座室	美術館班　大和コレクション　ギャラリートーク
43			こどもアトリエ	県総合美術教育展実行委員会
44	20	日	講堂	アステラス製薬㈱/社会医療法人友愛会豊見城中央病院　第8回 腎移植市民フォーラム
45			博　講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　総会
46			美　講座室	公益社団法人沖縄県柔道整復師会 公益社団法人沖縄県柔道整復師会　定期総会
47	22	火	講堂	九州経済研究所　「沖縄本社開設記念講演会」
48			博　講座室	沖縄コングレ/沖縄県労働局　早期離職者定着セミナー
49			博　実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団　面接会場
50			美　講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社　登録点検講習会
51			美　講座室	地方研修会in沖縄
52			こどもアトリエ	ALASH　説明会
53	23	水	講堂	博物館班　博物館ボランティア養成講座③
54			博　講座室	㈱JTB沖縄/㈱JTB首都圏 JTBクルーズ2019年サンプリンセス　世界一周チャータークルーズ説明会
55			博　実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
56	24	木	美　講座室	大鏡建設㈱　中小企業が行う業績向上のための不動産戦略
57			博　講座室	㈱リクルートマーケティングパートナーズ　ゼクシィトレンドセミナー
58			美　講座室	㈱タナベ経営　第5回建設ソリューション成長戦略研究会
59	25	金	博　講座室	平成30年度　沖縄県文化協会定期総会
60			博　講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　700MHZ緊急安全周知
61			博　実習室	沖縄県自然保護課　サンゴ礁ウィーク実行委員会及び第23回理事会
62			スタジオ	楽天生命保険株式会社
63			美　講座室	沖縄県地域つくりネットワーク 平成30年度沖縄県地域つくりネットワーク　総会
64			美　講座室	盛和塾 沖縄　自主例会
65	26	土	博　講座室	琉球新報社/一財)沖縄美ら島財団　総合研究センター新報サイエンスクラブ事前講演会
66			県民アトリエ	石こう版画の会
67			スタジオ	ＮＰＯ法人沖縄県マンション管理組合連合会 平成30年度第2回マンション管理組合のための情報交換会
68			美　講座室	沖縄県立美術館支援会happ平成30年度　総会
69			美　講座室	沖縄タイムス社　非常識合格法セミナー＆3時間で7点アップ セミナー
70	27	日	講堂	博物館班　王国文化遺産の報告会(博物館班)
71			博　実習室	楽天生命保険株式会社
72			スタジオ	Hobbyworldmarin　「地方創生は海洋創生」講演会
73			美　講座室	美術館班　吉増剛造ギャラリートーク(美術館班)
74	29	火	博　講座室	公正取引委員会　業種別講習会(大規模小売業者向け)
75			博　実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団　ティラノサウルス展会議
76			美　講座室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部 若手社員向け賃貸管理教育セミナー
77	30	水	博　講座室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部 若手社員向け賃貸管理教育セミナー
78			博　実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団　面接会場
79			博　実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団　本部広報会議
80			県民アトリエ	インテリアン　DIY体験会
81			美　講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社　職長教育（新規）
82	31	木	博　講座室	JAIFA　JAIFA　勉強会
83			美　講座室	医療法人沖縄徳洲会　南部徳洲会病院　医療講演会

【2018年６月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	金	博　講座室	株式会社沖縄銀行　個人部 特別セミナー「家族信託を利用した賢い相続対策」
2			博　実習室	オリエンテーション/New Life Academy
3			美　講座室	博物館班　博物館ボランティア養成講座④
4	2	土	講堂	円隣株式会社　金城幸政　新刊出版記念講演会
5			博　講座室	博物館班　平成30年度博物館学芸員講座 「染織こぼればなし -美の秘密を探る-」
6			美　講座室	美術館班　沖縄美術の流れキュレータートーク(美術館班)
7	3	日	講堂	Edel　music　ピアノ発表会
8			博　講座室	株式会社トリムフーズ社員総会
9			博　実習室	ハサミのちからＯＫＩＮＡＷＡ　こども「おうちカット教室」
10			美　講座室	琉球古典音楽安冨祖流絃聲会 平成29年度師範・教師免許合格者研修会
11	5	火	スタジオ	株式会社リミックスポイント新入社員研修
12			美　講座室	株式会社ケイオーパートナーズ　就業体験受入事業所向け説明会
13	6	水	博　講座室	名古屋第一法律事務所　事業説明会
14			博　実習室	SPC GLOBAL理美容事業協同組合　組合定例会議
15			美　講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社　高所キーロック講習
16	7	木	講堂	沖縄県保健医療部衛生薬務課 平成30年度ハブ・ハブクラゲ等危険生物講習会
17			博　講座室	沖縄県国民健康保険団体連合会 平成30年度国民健康保険及び後期高齢者医療関係職員等研修会
18	8	金	博　講座室	沖縄県国民健康保険団体連合会 平成30年度国保担当者新任職員研修会
19			こどもアトリエ	沖縄県造形教育連盟
20	9	土	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団　『gozoCine』『変魚路』上映会
21			博　講座室	ヌリ路製作委員会　教育観光ツアー沖縄ヌリ路
22			博　講座室	首里城公園友の会 平成30年度 首里城公園友の会定期総会及び記念講演
23			博　実習室	株式会社イスラン　’健康セミナー
24			県民アトリエ	石こう版画の会

【2018年６月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
25	9	土	スタジオ	有限会社照正興産　相続対策セミナー
26			スタジオ	NPO法人沖縄県立美術館支援会happ/日本ファシリテーション協会沖縄サロン 対話型鑑賞会及び研修会
27			美　講座室	GOGOENGLISH「英語のブレーキを外すセミナー頭に入っている英語を使えるようになる！」
28	10	日	講堂	さのギター教室　ギター愛好家による演奏会
29			博　講座室	美術館班　吉増剛造展ワークショップ “k-oto-ba”（こ・と・ば)コレクティブ・オーケストラ
30			県民アトリエ	美術館班　吉増剛造展ワークショップ “k-oto-ba”（こ・と・ば)コレクティブ・オーケストラ
31			美　講座室	（一般社団法人)沖縄県美術家連盟　理事会
32			こどもアトリエ	美術館班　吉増剛造展ワークショップ “k-oto-ba”（こ・と・ば)コレクティブ・オーケストラ
33	12	火	博　講座室	博物館班　博物館講座
34			県民アトリエ	インテリアン　’DIY体験会
35			こどもアトリエ	株式会社ANZY　A’LASH　説明会
36	13	水	講堂	株式会社沖縄建設新聞　平成30年度公共事業動向について
37			博　講座室	盛和塾沖縄　定例会
38			博　実習室	富田祐美子　子育て情報交換会
39			県民アトリエ	イトキン株式会社　スタッフ研修
40			美　講座室	美術館班　美術館ボランティア研修③(美術館班)
41			美　講座室	博物館班　博物館ボランティア養成講座⑤
42	14	木	県民アトリエ	イトキン株式会社　スタッフ研修
43			こどもアトリエ	ヴェーネレ沖縄　スタッフ勉強会
44	15	金	講堂	沖縄総合事務局総務部調査企画課　沖縄子供の貧困緊急対策事業シンポジウム ～見えてきたソリューションと一層の連携に向けて～
45			美　講座室	沖縄オーブンラボラトリ　フォーラム（spinnaker勉強会）
46	16	土	講堂	株式会社海燕社　海燕社の小さな映画会2018/6月会 「ふじ学徒隊」「老いる 5人の記録」
47			講堂	博物館班　平成30年度博物館文化講座「沖縄と東京大学野球部」
48			博　講座室	博物館班　平成30年度博物館文化講座 「沖縄と東京大学野球部」　第二会場
49			県民アトリエ	キッズクラブ/美術館班　OKINAWAアートワークショップ2018
50			美　講座室	有限会社グローバルスタッフ　スタッフ講習
51			美　講座室	沖縄伝統舞踊保存協会　講話会
52			こどもアトリエ	沖縄県造形教育連盟
53			こどもアトリエ	キッズクラブ/美術館班　OKINAWAアートワークショップ2018
54	17	日	講堂	株式会社学習受験社ガゼット　保護者セミナー
55			博　講座室	沖縄工業高等専門学校　学校説明会
56	17	日	スタジオ	株式会社プレナスワールド　北原梨紗シンボディプレスレッスン
57			美　講座室	沖縄工業高等専門学校　学校説明会
58	19	火	博　実習室	株式会社ANZY　まつ毛エクステの講習会
59			スタジオ	株式会社リミックスポイント　社員研修
60	20	水	博　講座室	2019年度 株式会社求人おきなわ　新卒採用試験
61			スタジオ	株式会社リミックスポイント　社員研修
62			美　講座室	沖縄県中小企業団体中央会 不利な取引を避けるための契約書のポイントについて ～契約トラブルを未然に防ごう～
63	21	木	博　実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団　ガイドミーティング
64			スタジオ	株式会社リミックスポイント　社員研修
65			美　講座室	株式会社エッカ商事　第2回売掛金保証サービスセミナー
66	22	金	講堂	美術館班　おきみゅーシネマラボ
67			博　講座室	沖縄県社会福祉協議会/福祉人材研修センター　オープニングセミナー「人口2400名の離島に福祉人材が集まる理由」
68			博　実習室	博物館班　博物館ボランティア養成講座⑥
69			スタジオ	株式会社リミックスポイント　社員研修
70			美　講座室	日本メナード化粧品株式会社　ハッピー健康セミナー
71			美　講座室	盛和塾沖縄自主例会
72	23	土	博　講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団　’しまくとぅば鼎談 「慰霊の日」企画「沖縄戦（うちなーせ）のーちゃーし継承さんねーならが？」
73			美　講座室	Wadachi Lab　UP　WOMAN大学 「キャリアアドバイザーから教わる！望むキャリアの築き方」
74			美　講座室	しかたに自然案内　台湾・サンゴ礁環境教育
75	24	日	講堂	真の家庭運動推進協議会　家庭講演会
76			博　講座室	沖縄県眼科医会(琉球大学眼科)/ファイザー株式会社 第134回沖縄眼科集談会
77			博　講座室	一般社団法人すでぃる/すでぃるRegenerationプロジェクト実行委員会 マブニピースプロジェクト沖縄2018シンポジウム 「済州島・沖縄-戦場の記憶とアート」
78			博　実習室	沖縄眼科集談会における託児室
79			スタジオ	Hobbyworldmarin　「地方創生は海洋創生」講演会
80			美　講座室	沖縄語普及協議会　定期総会
81	26	火	博　講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社　サンコム安全衛生協議会
82			スタジオ	一般社団法人　IIOT 平成30年度　沖縄型産業中核人材育成事業　第1回実行委員会
83			美　講座室	沖縄県中小企業団体中央会　沖縄県交易促進協議会 第4回運営会議
84	27	水	博　講座室	那覇市民生委員児童委員連合会 第1回主任児童委員研修会（児童福祉部会）
85			博　実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
86			美　講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 「ティラノサウルス展-進化の謎に迫る-」打ち合わせ

【2018年７月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	7	土	講堂	音楽教室ミュージックステップ ミュージックステップピアノ発表会
2			美　講座室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る会
3			美　講座室	沖縄県文化協会（しまくとぅば普及センター） しまくとぅば普及人材養成講座
4	8	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄 食を通して健康についての勉強会
5			講堂	在日本大韓民国民団沖縄県地方本部 第12回韓国語弁論大会
6			講堂	沖縄ワタベウェディング㈱ 沖縄ワタベウェディング㈱2019年度　会社説明会
7			県民アトリエ	平成30年度通常総会
8			博　講座室	株式会社学習受験社ガゼット　開邦中・球陽中模試会場
9			美　講座室	株式会社学習受験社ガゼット　開邦中・球陽中模試会
10	10	火	美　講座室	沖縄県三線製作事業協同組合 第7回県産三線普及ブランド委員会
11			美　講座室	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄芸術文化を支える環境形成推進事業意見交換会
12	11	水	美　講座室	株式会社　金秀木社　社員研修（C100%）
13			講堂	ゲゲゲの人生展　上映会試写
14			博　講座室	盛和塾沖縄　定例会
15			博　実習室	大平特別支援学校小学部/民具体験自主開催
16			美　講座室	打ち合わせ（スターシアターズ）
17	12	木	スタジオ	沖縄ITイノベーション戦略センター ISCO　FORUM2018　DAY2
18			講堂	沖縄総合通信事務所 沖縄デジタル映像祭2018　コンテンツセミナー
19			博　講座室	木学会西部支部沖縄会　土木学会沖縄会運営委員・総会
20	13	金	スタジオ	沖縄ITイノベーション戦略センター　ISCO　FORUM2018　DAY2
21			講堂	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展関連催事 夜の上映会「琉球トラウマナイト　リアルストーリー」
22			講堂	JAおきなわ女性部　「いただきます」試写会

【2018年７月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
23	13	金	博　講座室	沖縄ITイノベーション戦略センター ISCO　FORUM2018
24			博　実習室	博物館ボランティア養成講座⑦
25			博　実習室	オリエンテーション/天久小学校
26			美　講座室	沖縄ITイノベーション戦略センター　ISCO
27	14	土	こどもアトリエ	聖書と日本フォーラム　沖縄支部　聖書の歴史を学ぶ
28			講堂	博物館文化講座「日本の恐竜化石-篠山層群の化石を中心として-」
29			県民アトリエ	石こう版画の会
30			博　講座室	博物館文化講座「日本の恐竜化石-篠山層群の化石を中心として-」 第二会場
31			博　実習室	沖縄県文化協会（しまくとぅば普及センター） 平成30年度しまくとぅば普及人材養成講座
32			美　講座室	戦場体験放映保存の会 私は沖縄・南洋戦で何を失ったか ～体験談パネル展示とゆんたく～
33	15	日	こどもアトリエ	OKINAWAアートワークショップ2018
34			スタジオ	戦場体験放映保存の会 私は沖縄・南洋戦で何を失ったか ～体験談パネル展示とゆんたく～
35			講堂	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展関連催事 京極夏彦さん講演会「水木サンの見ていたもの」
36			県民アトリエ	OKINAWAアートワークショップ2018
37			博　講座室	平成30年度博物館学芸員講座 「きれいな【模様】、おもしろい【形】-琉球の工芸品に表される意匠-」
38			博　実習室	ティラノザウルス展関連催事　せいた先生と行く！ ティラノサウルス展！！
39			美　講座室	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展関連催事 京極夏彦さん講演会「水木サンの見ていたもの」　第二会場
40	16	月	スタジオ	戦場体験放映保存の会 私は沖縄・南洋戦で何を失ったか～体験談パネル展示とゆんたく～
41			県民アトリエ	インテリアン　DIY体験会
42			博　講座室	EQWEL　チャイルドアカデミー保護者セミナー
43	18	水	美　講座室	株式会社リクルートキャリア　新卒採用総括セミナー
44			こどもアトリエ	ヴェーネレ沖縄スタッフ研修会
45			講堂	NPO法人フロム沖縄推進機構 （仮）平成30年度　沖縄振興税制活用セミナー
46			博　講座室	一般財団法人総合福祉研究会　社会福祉会計簿記「入門講座」
47			博　実習室	夏休みこどもフェスタボランティア事前勉強会
48			美　講座室	ボランティア勉強会
49	19	木	スタジオ	スターシアターズ控室
50			スタジオ	沖縄ジクシス会　沖縄ジクシス会勉強会（C100%）
51			講堂	一般財団法人沖縄県建設技術センター 平成30年度　災害復旧事業実務講習会
52			博　講座室	上原労務管理事務所主催セミナー
53			博　実習室	夏休みこどもフェスタボランティア事前勉強会
54			美　講座室	琉球大学医学部付属病院第一内科 沖縄県肝炎医療コーディネーターミーティング
55	20	金	こどもアトリエ	沖縄造形教育連盟/美術館班
56			講堂	一般社団法人沖縄心臓腎臓機構 第4回　特定検診研究班報告会イン沖縄
57			県民アトリエ	株式会社バンダイナムコアミューズメント社内研修
58			県民アトリエ	沖縄造形教育連盟/美術館班
59			博　講座室	沖縄人財クラスタ研究会 「働きがい」と「働きやすさ」が両立する職場づくり勉強会
60			博　実習室	株式会社リミックスポイント　沖縄ビジネスセンター会社説明会
61			美　講座室	水木しげる展関連イベント「沖縄妖怪話」（雨天時）
62	21	土	県民アトリエ	㈱バンダイナムコアミューズメント社内研修
63			美　講座室	美術館学芸員講座「儀間比呂志の世界」展について
64	22	日	こどもアトリエ	武庫川女子大学　研究ミーティング
65			講堂	グリーフワークおきなわ グリーフワークおきなわ設立10周年記念講演
66			県民アトリエ	インテリアン　DIY体験会
67			美　講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　沖縄県美術家連盟理事会
68	24	火	スタジオ	美術の先生がつくった作品展実行委員会
69			講堂	一般社団法人エーシーオー沖縄 りっかりっかフェスタ2018
70			博　講座室	一般社団法人エーシーオー沖縄 りっかりっかフェスタ2018
71			博　実習室	平成30年度博物館夏休み学芸員教室
72			美　講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社　情報セキュリティ研修
73			美　講座室	大鏡建設株式会社　中小企業が行う業績向上の為の不動産戦略
74	25	水	美　講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社　情報セキュリティ研修
75			こどもアトリエ	ブルーコンシャス株式会社　選考会
76			スタジオ	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展VOL.6
77			講堂	一般社団法人エーシーオー沖縄 りっかりっかフェスタ2018 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ
78			博　講座室	一般社団法人エーシーオー沖縄 りっかりっかフェスタ2018 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ
79			博　実習室	平成30年度博物館夏休み学芸員教室
80			美　講座室	平成30年度 九州高等学校 公民科教育研究協議会 第1回 代表者会議
81	26	木	スタジオ	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展VOL.6
82			講堂	一般社団法人トロピカルテクノプラス 成長分野リーディングプロジェクト創出事業シンポジウム
83			講堂	九州高等学校　公民科教育研究協議会 平成30年度九州高等学校公民科教育研究協議会 第15回 研究大会(沖縄大会)
84			県民アトリエ	九州高等学校　公民科教育研究協議会 平成30年度九州高等学校公民科教育研究協議会 第15回 研究大会(沖縄大会)
85			博　講座室	九州高等学校　公民科教育研究協議会 平成30年度九州高等学校公民科教育研究協議会 第15回 研究大会(沖縄大会)
86			博　実習室	平成30年度博物館夏休み学芸員教室
87			美　講座室	九州高等学校　公民科教育研究協議会 平成30年度九州高等学校公民科教育研究協議会 第15回 研究大会(沖縄大会)
88	27	金	美　講座室	メットライフ生命　新規契約事務勉強会
89			スタジオ	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展VOL.6
90			講堂	一般社団法人エーシーオー沖縄 りっかりっかフェスタ2018国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ
91			博　実習室	こどもフェスタ準備
92			美　講座室	盛和塾沖縄　自主例会
93	28	土	美　講座室	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会happ 第3回happ理事会
94			美　講座室	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展VOL.6　　講演会
95			こどもアトリエ	夏休みこどもフェスタ/美術館班
96			スタジオ	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展VOL.6
97			講堂	沖縄玉水ネットワーク 平成30年度 沖縄玉水ネットワーク総会および河川講演会
98			講堂	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展関連催事 夜の上映会 「琉球トラウマナイト　リアルストーリー」
99			県民アトリエ	夏休みこどもフェスタ/美術館班
100	29	日	博　講座室	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展関連催事「鳥取県の観光PRイベント 鬼太郎来たる！」　控室
101			博　実習室	沖縄県文化協会（しまくとぅば普及センター） しまくとぅば普及人材養成講座
102			博　実習室	夏休みこどもフェスタ/美術館
103			美　講座室	沖縄県文化協会（しまくとぅば普及センター） しまくとぅば普及人材養成講座
104			こどもアトリエ	夏休みこどもフェスタ/美術館班
105			スタジオ	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の先生がつくった作品展VOL.6
106			県民アトリエ	夏休みこどもフェスタ/美術館班
107			博　講座室	追悼水木しげる ゲゲゲの人生展関連催事 「鳥取県の観光PRイベント 鬼太郎来たる！」　控室
108			博　実習室	Body wake salon くくる 沖縄初！お客様の体を深く知る腸活勉強会
109			美　講座室	株式会社Hobbyworldmarin 「地方創生は海洋創生」講演会
110	31	火	スタジオ	日本メナード化粧品株式会社　ハッピー健康セミナー
111			博　講座室	株式会社阪急交通社　沖縄支店 阪急交通社トラピックス海外旅行説明会
112			美　講座室	株式会社阪急交通社　阪急交通社 トラピックス海外旅行説明会

【2018年８月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1			県民アトリエ	日本語学校有志会　沖縄県日本語学校懇話会
2			博　講座室	博物館班　平成30年度博物館教員向け講座
3	1	水	博　実習室	博物館班　平成30年度博物館教員向け講座
4			美　講座室	メットライフ生命保険株式会社　メットライフ生命新規契約事務研修
5			こどもアトリエ	子育て世代のくらしとお金の教室
6			博　講座室	モンパチ展展示施工説明会
7	2	木	博　講座室	那覇市民生委員児童委員連合会　平成30年度　地区別合同研修会
8			博　実習室	「ちゅらら担当者会議」
9			博　実習室	子育て世代のくらしとお金の教室（C50%）
10			こどもアトリエ	ブルーコンシャス株式会社　選考会
11			博　屋外展示場	水木しげる展関連イベント「沖縄妖怪話」
12			博　講座室	南部広域市町村圏事務組合 平成30年度自治体職員政策形成セミナー（第3回一般研修）
13	3	金	美　講座室	南部徳洲会病院　医療講演会
14			美　講座室	水木しげる展関連イベント「沖縄妖怪話」（雨天時）
15			スタジオ	㈲照正興産　相続対策セミナー
16			講堂	沖縄県認知症疾患医療センター 認知症講演会「認知症の人の意志決定について」
17			博　講座室	南部徳洲会病院　医療講演会
18	4	土	博　実習室	平成30年度博物館学芸員講座「バックヤードたんけん」
19			美　講座室	儀間比呂志の世界展関連催事　ギャラリートーク 「南洋から沖縄へ－儀間比呂志と丸木俊の交錯する まなざし」
20			美　講座室	沖縄県文化協会（しまくとぅば普及センター） しまくとぅば普及人材養成講座
21			スタジオ	ミキ・ワールド沖縄
22	5	日	博　講座室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会　沖縄県地方部会 市民公開講座　鼻の日講演会
23			美　講座室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会　沖縄県地方部会　相談会
24	6	月	博　講座室	講堂　調光設備修繕に関する入札
25			講堂	国立大学法人琉球大学地域連携推進機構 「子どもの貧困解消のための学校と福祉の連携について届けたい教育は何ですか」
26	7	火	県民アトリエ	株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 〈ゼクシィ沖縄エリア〉ｚｅｂｒａ勉強会
27			博　講座室	沖縄県国民健康保険団体連合会 平成30年度国保共同電算及び共同事業業務に係る 保険者説明会
28			講堂	妖怪の日　控室
29	8	水	博　講座室	公文教育研究会　公文認定テスト
30			美　講座室	公益財団法人北那覇法人会　年金セミナー
31			こどもアトリエ	沖縄造形教育連盟
32			講堂	株式会社エスエフシー　タイムス就職フォーラム 「人事・採用担当者セミナー」
33	9	木	博　講座室	株式会社エスエフシー　タイムス就職フォーラム 「人事・採用担当者セミナー」
34			美　講座室	株式会社国際旅行社　ハワイ親善交流の旅　旅行説明会
35			こどもアトリエ	「おきみゅーでほうかご美術のきょうしつ 【第1期わざをみがこう手のワーク】」
36			スタジオ	公益財団法人沖縄県国際交流人材育成財団 ウチナーンチュ子弟等留学生歴史学習研修
37	10	金	講堂	追悼水木しげる　ゲゲゲの人生展関連催事 琉球トラウマナイト「リアルストーリー」
38			県民アトリエ	「おきみゅーでほうかご美術のきょうしつ 【第1期わざをみがこう手のワーク】」
39			こどもアトリエ	アートキャンプ2001実行委員会　夏休み造形ワークショップ
40			講堂	JAおきなわ女性部　食育”ドキュメンタリー 「いただきます」上映会
41			県民アトリエ	アートキャンプ2001実行委員会　夏休み造形ワークショップ
42			博　講座室	沖縄人財クラスタ研究会　人材育成推進者養成講座 第1節
43	11	土	博　実習室	「アンコール開催決定」 せいた先生と行く！テェラノサウルス展！」
44			美　講座室	沖縄語普及協議会　第11回沖縄語教養講座
45			美　講座室	ゲゲゲの人生展関連イベント「沖縄妖怪話」（雨天時）
46			講堂	真の家庭運動推進沖縄協議会　希望の家庭講演会
47			博　講座室	株式会社三省堂　2018小学校英語セミナー
48	12	日	博　実習室	琉球岳風会　詩吟研修及び定例会
49			美　講座室	NPO法人 HIV人権ネットワーク沖縄 第一回 ハンセン病問題に関するシンポジウム実行委員会
50			美　講座室	沖縄朝鮮友好の会　朝鮮統一と自主・平和に関するセミナー
51	13	月	博　実習室	焼き物づくり講習会（博物館班）
52			講堂	那覇市民生委員児童委員連合会 平成30年度那覇市民児童地区別合同研修会（真和志地区）
53	14	火	博　講座室	博物館実習　開講式
54			県民アトリエ	インテリアン　DIY体験会
55			博　講座室	沖縄コングレ/沖縄県労働局　早期離職者定着セミナー
56	15	水	博　実習室	オリエンテーション/ノアズ・アーク・チャーチスクール
57			美　講座室	美術館ボランティア研修⑤(美術館班)
58			美　講座室	追悼水木しげる　ゲゲゲの人生展関連催事 終戦記念日特別企画「沖縄戦を語る」
59	16	木	博　講座室	株式会社オリエンタルコンサルタンツ H30年度観光2次交通機能強化事業に関する説明会
60			こどもアトリエ	沖縄造形教育連盟/美術館班
61			講堂	追悼水木しげる　ゲゲゲの人生展関連催事 琉球トラウマナイト「リアルストーリー」
62			博　講座室	沖縄県国民健康保険団体連合会 平成30年度 第三者行為求償事務担当者研修会
63	17	金	博　講座室	追悼水木しげる　ゲゲゲの人生展関連催事琉球 トラウマナイト「リアルストーリー」
64			博　実習室	株式会社ピータイム　会議
65			博　実習室	ティラノ展のワークショップ　準備
66			美　講座室	平成30年度一般財団法人沖縄美ら島財団 事業説明・意見交換会
67			こどもアトリエ	OKINAWAアートワークショップ2018
68			講堂	平成30年度博物館文化講座　「最新恐竜学」
69			講堂	株式会社ＡＳファクトリー　YOU海×ハビットコントロール 体幹トレーニング体験会
70	18	土	講堂	海燕社の小さな映画会2018/8月会 「山に生きるまつり」「竹富島の種子取祭」
71			県民アトリエ	OKINAWAアートワークショップ2018
72			博　講座室	うちなーんちゅ進学応援EXPO2018　学生団体OPE
73			博　実習室	ティラノサウルス展関連催事 「化石のレプリカ作り体験」
74			美　講座室	沖縄語普及協議会　第11回沖縄語普及協議会
75			こどもアトリエ	ブルーコンシャス株式会社　選考会
76			スタジオ	一般社団法人日本肝臓学会 沖縄県肝炎医療コーディネーター活動報告
77			講堂	沖縄文化芸能発信協会　沖縄文化講演会
78	19	日	講堂	一般社団法人日本肝臓学会（沖縄県） 肝臓の病気を正しく理解するために
79			博　実習室	ティラノサウルス展関連催事 「化石のレプリカ作り体験」
80			美　講座室	沖縄県子育て支援課 平成30年度沖縄県認可外保育施設 指導監督指針基準説明会
81			こどもアトリエ	沖縄造形教育連盟
82	21	火	県民アトリエ	沖縄造形教育連盟
83			美　講座室	株式会社安田総合事務所　ISO45001 労働安全衛生マネジメントシステム説明会説明会
84			講堂	沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 インテリアセミナー 「インテリアで長寿社会の生き方革命」
85			県民アトリエ	ジブラルタ生命保険株式会社 ジブラルタ生命集合研
86			博　講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社 安全衛生協議会
87	22	水	博　講座室	沖縄県外国人介護事業協同組合準備室 組合員募集、事業説明会
88			博　実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
89			美　講座室	沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 平成30年度沖縄県各市町村国際交流連絡会議
90	23	木	美　講座室	大鏡建設株式会社 中小企業が行う業績向上のための不動産戦略
91	25	土	博　講座室	沖縄県保険医療総務課 自治医科大学大学説明会
92			こどもアトリエ	POLAおもろまち店 POLAと身近に！気軽に！体験できる美容イベント
93			スタジオ	㈱Hobby　World　Marine沖縄 地方創生は海洋創生
94	26	日	講堂	㈱JTB沖縄　平成30年度おきなわ国際協力人材育成事業国際協力レポーター事業成果報告会
95			博　講座室	㈱あらかき美容医学研究所　分子栄養学講演会
96			博　実習室	㈱JTB沖縄 平成30年度おきなわ国際協力人材育成事業国際協力レポーター事業成果報告会　控室
97			美　講座室	ライフコンシェルジュ株式会社　説明会、勉強会
98			美　講座室	沖縄県美術家連盟　理事会
99			博　講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社 700MHgテレビ受信障害対策　沖縄エリア安全大会
100	28	火	美　講座室	合同会社インフォウィズ 平成30年度営繕積算システムRIBC2講習会
101	29	水	講堂	沖縄県保健医療部衛生薬務課 平成30年度食品安全安心講習会 「知ろう！輸入食品守ろう！食品の安全」
102			博　講座室	沖縄県キャリアセンター　セミナー
103			博　実習室	葬墓制からみた琉球史研究会
104			美　講座室	合同会社インフォウィズ　平成30年度営繕積算システムRIBC2講習会
105	30	木	講堂	光文堂コミューニケーションズ株式会社 沖縄県アジア経済戦略構想セミナー
106			博　講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究所センター 「沖縄の剪定技術書に関する検討委員会」
107			美　講座室	合同会社インフォウィズ 平成30年度営繕積算システムRIBC2講習会
108			講堂	追悼水木しげる　ゲゲゲの人生展関連催事 琉球トラウマナイト「リアルストーリー」
109	31	金	講堂	沖縄県消防長会 平成30年度　消防職員惨事ストレス研修会
110			博　講座室	盛和塾沖縄
111			美　講座室	合同会社インフォウィズ　平成30年度営繕積算システムRIBC2講習会
112			美　講座室	追悼水木しげる　ゲゲゲの人生展関連催事 琉球トラウマナイト「リアルストーリー」

【2018年９月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1			こどもアトリエ	ブルーコンシャス㈱　選考会
2			スタジオ	(有)照正興産　相続対策セミナー
3			講堂	歌あしびなぁ研究会　サロンコンサートシリーズ
4	1	土	博　講座室	博物館学芸員講座「沖縄の民話からみた民俗文化の世界」－デジタル民話ミュージアムの開設に向けて－
5			博　実習室	フリーベル天久新都心第2管理組合　総会
6			博　実習室	沖縄県文化協会（しまくとぅば普及センター） しまくとぅば普及人材養成講座
7			美　講座室	沖縄美術の流れギャラリートーク①(美術館班)
8			スタジオ	ミキ・ワールド沖縄
9			講堂	沖縄県立博物館友の会　文化講演会
10	2	日	博　講座室	(有)ヒューマンギルド 決定版！アドラ心理学であなたの子育てが変わる
11			博　実習室	フォトパラダイス　家族撮影
12			美　講座室	独立行政法人国際交流基金アジアセンター日本語事業第2チーム 日本語パートナーズ説明会
13			博　講座室	㈱沖縄タイムス社　第32回沖縄県トータルリビングショウ
14	4	火	美　講座室	玉木流琉装からじし研究所　くしの日　美ら姿　結い遊び
15			講堂	沖縄県営農支援課　平成30年度沖縄県農薬危害防止講習会
16	5	水	博　講座室	沖縄県青色申告会連合会　青色申告会特別セミナー
17			博　実習室	沖縄県青色申告会連合会　青色申告会特別セミナー
18			美　講座室	ボランティア証交付式（美術館班）
19			こどもアトリエ	ブルーコンシャス㈱　選考会
20			講堂	沖縄県農林水産部 森林管理課 第58回林業研究グループ九州地区交換研修会
21	6	木	博　講座室	㈱東京リーガルマインド　「職場定着セミナー」
22			博　実習室	沖縄県農林水産部 森林管理課 第58回林業研究グループ九州地区交換研修会
23			こどもアトリエ	（一財）沖縄美ら島財団　放課後夏の教室　自主事業
24	7	金	講堂	専門学校ITカレッジ沖縄　プレゼンテーション大会
25			県民アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団　放課後夏の教室　自主事業
26			博　講座室	㈱社オーシーシー　病院・診療所・健診センター向けセミナー 「働き方改革」～最適な改革をナビゲートする～
27			美　講座室	アジア航測㈱　3Dバートナーへの技術紹介
28			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭　書道部門審査会準備
29			スタジオ	沖縄県文化振興会　県芸祭　準備
30			講堂	琉球・沖縄史研究会　設立総会シンポジウム
31	8	土	県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　書道部門審査会準備
32			博　講座室	㈱ラジカル沖縄　経営方針発表会
33			博　実習室	沖縄県文化協会（しまくとぅば普及センター） しまくとぅば普及人材養成講座
34			美　講座室	沖縄内観研究会　内観懇話会
35			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭　書道部門審査会
36			スタジオ	沖縄県文化振興会　県沖縄県芸術文化祭　公開審査会場
37			講堂	（一社）地球化学会　日本地球化学会 市民講演会
38			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　書道部門審査会
39	9	日	博　講座室	沖縄県産婦人科医会 子宮頸がんから女性を守る市民公開講座(沖縄県産婦人科医会)
40			博　講座室	沖縄県眼科医会/琉球大学眼科　第135回沖縄眼科集談会
41			博　実習室	沖縄眼科医会　「第135回沖縄眼科集談会」における託児室
42			博　実習室	（一社）JANCBPM　BPM言語技術説明会
43			美　講座室	（有）ライブアップ　「効果的なお金の貯め方・増やし方」～iDecoやNISAの活用法～
44			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭沖縄県芸術文化祭　写真部門　作品保管
45			スタジオ	沖縄県文化振興会　県芸祭準備
46	11	火	県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭にて使用
47			博　講座室	宮城健盛展　勉強会
48			美　講座室	南部徳洲会病院 医療講演会
49			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭沖縄県芸術文化祭　写真部門　作品保管
50			スタジオ	沖縄県文化振興会　県芸祭準備
51			講堂	土木学会西部支部沖縄会　特別講演会
52	12	水	県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭にて使用
53			博　講座室	現場マネジメント研修
54			博　実習室	拓本作業
55			美　講座室	Tax Professional of the future Sep－Oct2018
56			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭沖縄県芸術文化祭　写真部門　作品保管
57			スタジオ	沖縄県文化振興会　県芸祭準備
58			講堂	SMBC日興証券㈱　電話応対社内コンクール
59	13	木	県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭にて使用
60			博　講座室	㈱地域科学研究所　第35回MIA固定資産評価全国実務研修会
61			美　講座室	源泉所得税　研修会
62			美　講座室	指定管理者運用委員会
63			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭沖縄県芸術文化祭　写真部門　作品保管
64	14	金	スタジオ	沖縄県文化振興会　県芸祭準備
65			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭にて使用
66			博　講座室	㈱ビッグビート　GRAPHISOFT全国ロードショー2018
67			美　講座室	南部徳洲会病院　医療講演会
68			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭沖縄県芸術文化祭　写真部門　作品保管
69			スタジオ	沖縄県文化振興会　県芸祭準備
70	15	土	講堂	平成30年度博物館文化講座「修復師の手わざ-文化継承の裏側に迫る-」
71			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭にて使用
72			博　講座室	邪馬台国＝沖縄説を検証する「赤椀の世なおし」シンポジウム
73			美　講座室	平成30年沖管連マンション管理セミナー
74			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭沖縄県芸術文化祭　写真部門　審査会
75	16	日	スタジオ	沖縄県文化振興会　'県沖縄県芸術文化祭　公開審査会場
76			県民アトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭沖縄県芸術文化祭　写真部門　審査会
77			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭沖縄県芸術文化祭　写真部門　審査会
78			スタジオ	沖縄県文化振興会　'県沖縄県芸術文化祭　公開審査会場
79	17	月	講堂	株式会社沖縄コングレ　沖縄県消防防災ヘリ導入を考えるシンポジウム2018～防災体制の強化に向けて～
80			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　写真部門　作品保管
81			美　講座室	㈱サンクチュアリ　ビジネストレーニング
82			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭
83			スタジオ	沖縄県芸術文化祭
84			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　写真部門　作品保管
85	19	水	博　講座室	（公財）沖縄県文化振興会 文化芸能の環境づくりに向けた-沖縄アーツカウンシルを語る
86			博　実習室	ぶどうの木　笑顔をお届けするソーシャルビジネス
87			美　講座室	㈱近代美術　平成30年度沖縄大交易会オフィシャルセミナー「基礎から分かる貿易実務・海外での知的財産の保護方法
88			美　講座室	美術館ボランティア勉強会
89			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭
90			スタジオ	沖縄県文化振興会　県芸祭準備
91			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　写真部門　作品保管
92			博　講座室	金城達也税理士事務所　TKC経営支援セミナー2018
93	20	木	博　実習室	沖縄コングレ　面接会
94			美　講座室	EY税理士法人　Tax Professional of the future Sep－Oct2018
95			美　講座室	㈱近代美術　平成30年度沖縄大交易会オフィシャルセミナー　「基礎から分かる貿易実務・海外での知的財産の保護方法
96			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭
97			スタジオ	沖縄県文化振興会　県芸祭準備
98	21	金	県民アトリエ	沖縄県文化振興会　県芸祭で使用
99			博　講座室	㈱日本証券新聞リサーチ　IR会社説明会・株式講演会
100			美　講座室	（一財）ヒートポンプ・蓄熱センター 平成30年度 電力負荷平準化・省エネルギー社会実現セミナー
101			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術部門　作品保管
102			スタジオ	沖縄県文化振興会　県芸祭準備
103			講堂	沖縄の美術シリーズシンポジウム①(美術館班)
104			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　写真部門選外返却
105			博　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　'しまくとぅばプロジェクト「しまくとぅば復興への取り組みと出版物」
106	22	土	博　講座室	TSUNAGU　OKINAWA　ねこサミット2018　ひと、うちのこ、よそのこ、そとのこもみんなが幸せに暮らせる社会を考えてみません
107			博　実習室	㈱オペラ　個人向け経済勉強会『金持ち老後　貧乏老後』
108			博　実習室	沖縄県文化協会（しまくとぅば普及センター） しまくとぅば普及人材養成講座
109			美　講座室	（一社）沖縄県美術家連盟　沖縄県美術家連盟理事会
110			美　講座室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る会
111			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術部門審査会
112			スタジオ	県沖縄県芸術文化祭 公開審査会場沖縄県文化振興会
113			講堂	真の家庭運動推進沖縄協議会　希望の家庭講演会
114	23	日	県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術部門審査会
115			博　講座室	面接会場
116			博　実習室	（株）Hobby　World　Marine沖縄 地方創生は海洋創生
117			美　講座室	㈱沖縄タイムス社 給与計算実務能力検定公式対策講座
118			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭
119	24	月	講堂	沖縄国際音楽祭「第九in　OKINAWA」実行委員会 沖縄国際音楽祭「第九in　OKINAWA」合唱練習
120			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術選外作品保管
121			美　講座室	安里千佳　沖縄ビオライズ1DAYセミナー
122			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭
123			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術選外作品保管
124			博　講座室	EY税理士法人 Tax Professional of the future Sep－Oct2018
125	26	水	博　実習室	ジブラルタ生命保険㈱ ジブラルタ生命会計事務所向けセミナー
126			博　実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
127			美　講座室	全館合同IPM会議
128			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭
129			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術選外作品保管
130	27	木	博　講座室	EY税理士法人 Tax Professional of thefuture Sep－Oct2018
131			美　講座室	美術館へ行こう　控室(美術館班)
132			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭
133	28	金	県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術選外作品返却
134			博　講座室	阪急交通社　沖縄支店 飛鳥Ⅱスプリングクルーズ説明会
135			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭
136	29	土	講堂	沖縄の美術シリーズシンポジウム②(美術館班)
137			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術選外作品返却
138			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭
139			スタジオ	新海展会議
140	30	日	県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭
141			博　実習室	沖縄県文化協会（しまくとぅば普及センター） しまくとぅば普及人材養成講座

【2018年10月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1			講堂	（一財）沖縄ITイノベーション戦略センター　ISCO Semina
2			美 講座室	メットライフ生命保険㈱　報酬規定勉強会
3	2	火	美 講座室	EY税理士法人　Tax Professional of the future Sep－Oct2018
4			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭
5			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭
6			講堂	（一社）日本和裁士会沖縄支部　第48回　全国和裁研修会
7	3	水	博 講座室	EY税理士法人 Tax Professional of the future Sep－Oct2018
8			博 実習室	一般社団法人日本和裁士会沖縄支部 一般社団法人日本和裁士会沖縄支部　役員会
9			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭
10			博 実習室	オリエンテーション/読谷村立喜名小学校
11	4	木	県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭
12			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭
13	5	金	県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術選外作品返却
14			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術選外作品返却
15			博 講座室	平成30年度博物館学芸員講座「『おきなわ生きものカルタ』で学ぶ沖縄の自然と生きものたち」
16			美 講座室	沖縄朝鮮友好のつどい
17	6	土	美 講座室	第11回　沖縄語教養講座
18			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術選外作品返却
19			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭　美術選外作品返却
20			スタジオ	(有)照正興産　相続対策セミナー
21			講堂	沖縄工業高等専門学校　学校説明会
22			博 講座室	沖縄工業高等専門学校　学校説明会
23	7	日	博 実習室	回復整体リセット　浦添　ヨガ勉強会
24			県民アトリエ	沖縄県芸術文化祭
25			こどもアトリエ	沖縄県芸術文化祭
26	8	月	講堂	沖縄県整形外科医会/エーザイ㈱ 骨と関節の日市民フォーラム
27			博 実習室	沖縄県整形外科医会/エーザイ㈱ 骨と関節の日市民フォーラム　第2会場
28			講堂	NPO法人沖縄県学童・保育支援センター 平成30年度放課後児童支援員等資質向上研修
29	10	水	講堂	ジブラルタ生命㈱　学校担当LC研修会
30			博 講座室	盛和塾沖縄　定例会
31	11	木	博 講座室	沖縄県社会保険労務士会　社労士会セミナー
32			博 講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス 自社で作る採用率アップのための会社説明パワーポイント資料
33	12	金	博 実習室	オリエンテーション/米須小学校
34			美 講座室	（一社）沖縄オープンラボラトリー 沖縄オープンラボラトリー会員意見交換会、フォーラム
35			講堂	第58回沖縄県生徒科学賞作品展　表彰式＆発表会
36			博 実習室	（一財）沖縄美ら島財団　総合研究センター 活動報告会
37	13	土	美 講座室	宮城健盛キュレータートーク(美術館班)
38			県民アトリエ	石こう版画の会
39			こどもアトリエ	販社ブルーアース　勉強会
40			博 講座室	RYUKYU カマDo！プロジェクト カマDO塾無料体験講座「沖縄の暮らしを知る」
41	14	日	博 講座室	しまくとぅばプロジェクト鼎談/座談 「南米んじ　琉球しまくとぅばーちゃー　なとーが？」
42			美 講座室	沖縄いのちの電話相談員研修会
43			スタジオ	ミキワールド沖縄　食を通しての勉強会
44			講堂	（一社）沖縄住宅産業協会 平成30年度一般社団法人沖縄住宅産業協会セミナー
45	16	火	博 講座室	沖縄総合事務局総務部公正取引室 入札談合等関与行為防止法等研修会
46			美 講座室	美術館へ行こう　控室(美術館班)
47			県民アトリエ	沖縄県衣類縫製品工業組合経営マネジメント研修（C100%）
48			講堂	沖縄広告株式会社/沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課　沖縄県ちゃーがんじゅう地域大賞表彰式及びちゃーがんじゅう地域づくり講演会
49			博 実習室	自主民具体験/中城村立中城小学校
50	17	水	県民アトリエ	第２回アートコンクール審査会
51			県民アトリエ	沖縄県衣類縫製品工業組合経営マネジメント研修（C100%）
52			こどもアトリエ	第２回アートコンクール審査会
53			博 講座室	ボランティア秋の全体会
54	18	木	博 講座室	社会保険労務士法人パァソネルマネジメント　勉強会
55			美 講座室	美術館へ行こう　控室(美術館班)
56			博 講座室	家庭倫理の会　那覇市　全役職者研修
57	19	金	博 実習室	ステップワールド日本語学院 沖縄県日本語学校懇話会
58			博 実習室	オリエンテーション/渡嘉敷村立阿波連小学校
59			美 講座室	NHK営業サービス㈱関西支社　NHK新技術セミナー
60			スタジオ	（一社）しまのわ/沖縄県企画部地域離島課第3回地域の世話役育成塾
61			講堂	平成30年度博物館文化講座「孫億の絵画」
62			博 講座室	沖縄税理士会　成年後見及び相続税に関する無料相談
63	20	土	博 実習室	（一財）沖縄美ら島財団　総合研究センター活動報告会
64			県民アトリエ	OKINAWAアートワークショップ2018
65			こどもアトリエ	OKINAWAアートワークショップ2018
66			講堂	（一財）沖縄美ら島財団　総合研究センター活動報告会 美ら島再発見～動物、植物、琉球文化から迫る～
67			博 講座室	久米島郷友会女性部会員の介護予防勉強会
68			博 講座室	沖縄県眼科医会/琉球大学眼科　第33回沖縄緑内障研究会
69	21	日	博 実習室	琉球大学眼科　「第33回沖縄緑内障研究会」における託児室
70			美 講座室	沖縄タイムス社　給与計算実務能力検定公式対策講座
71			スタジオ	沖縄県文化協会（しまくとぅば普及センター） 平成30年度しまくとぅば普及人材養成講座
72			博 講座室	㈱　屋部土建　働き方改革の導入による人事制度の説明会
73	23	火	博 実習室	自主民具体験/糸満市立潮平小学校
74			美 講座室	メットライフ生命保険㈱　新商品研修会
75			講堂	一般社団法人しまたて協会 平成30年度技術環境研究所研究発表会
76			博 講座室	冒険王㈱　レンアイ型採用戦略セミナー
77			博 講座室	沖縄総合事務局　改正バリアフリー法説明会
78			博 実習室	新海展造作説明会
79	24	水	博 実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
80			美 講座室	総務省沖縄総合通信事務所　平成30年度信書便制度説明会
81			美 講座室	メットライフ生命保険㈱　新商品研修会
82			スタジオ	日新火災㈱　代理店研修会
83			スタジオ	（一財）沖縄美ら島財団
84			講堂	一般社団法人沖縄県ビルメンテナンス協会 第14回環境衛生シンポジウム
85			博 講座室	（公財）北那覇法人会　研修会
86			博 講座室	新海展造作説明会
87	25	木	博 実習室	オリエンテーション/久米島町立　仲里小学校
88			博 実習室	オリエンテーション/うるま市立川崎小学校
89			美 講座室	労働保険事務組合　福働会　会社を元気にする！！ 『使いやすい助成金』活用術
90			美 講座室	ジブラルタ生命保険㈱　会計事務所様向けセミナー
91			講堂	光文堂コミュニケーションズ 平成30年度　沖縄県地産地消シンポジウム
92			講堂	おきみゅーシネマラボ　「何が変わり、何が変わらないのか-50年めの『沖縄列島』-」
93	26	金	博 講座室	（公財）土木学会　CIM講演会2018
94			博 実習室	㈱土屋鞄製所　親子で楽しむ革のワークショップ準備
95			美 講座室	盛和塾沖縄　自主例会
96			美 講座室	メナード化粧品㈱　ハッピー健康セミナー④
97			博 講座室	琉球岳風会　秋季審査会
98			博 実習室	㈱土屋鞄製造所　親子で楽しむ革のワークショップ
99			美 講座室	沖縄語普及協議会　第11回沖縄語教養講座
100	27	土	県民アトリエ	沖縄県造形教育連盟
101			こどもアトリエ	聖書と日本フォーラム　沖縄交流会
102			スタジオ	(有)照正興産　相続対策セミナー
103			講堂	（公財）沖縄県保健医療福祉事業団　臓器移植を知るシンポジウム2018
104			博 講座室	NPO法人　統合医療と健康を考える会 がん治療の健講演会
105	28	日	博 実習室	㈱土屋鞄製造所 親子で楽しむ革のワークショップ
106			スタジオ	㈱Hobby　World　Marine沖縄　地方創生は海洋創生
107			講堂	ドテラエンジェルズ After Convention in Okinawa
108			講堂	㈱アカネクリエーション 沖縄らしい風景づくりに係るシンポジウム
109	30	火	博 講座室	三井生命保険㈱　沖縄県宅建業協会会員向けセミナー 「フラット35」活用セミナー
110			博 実習室	新海展スカイプ会議
111			美 講座室	㈱プラスキャリア　労働環境課題改善セミナー
112			スタジオ	TV沖縄　研修会
113			講堂	㈱アカネクリエーション 沖縄らしい風景づくりに係るシンポジウム
114			博 講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ サンコム下期安全大会
115			博 講座室	日本労働安全衛生コンサルタント会沖縄支部 受動喫煙防止対策の説明会
116	31	水	美 講座室	EXPLORERS　CLUB　1部： モナコ富豪KATO流子育て論　2部： これからの社会を生き抜く超絶リーダー論
117			美 講座室	平成30年度　沖縄県工芸公募展 表彰式　準備

【2018年11月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	木	美　講座室	沖縄県商工労働部ものづくり推進課　平成30年度　沖縄県工芸公募展　表彰式
2	2	金	講堂	博物館班/沖縄生物教育研究会　第65回高校生による生物科学展　表彰式＆発表会
3			博　講座室	オリエンテーション/北谷町立北玉小学校
4			博　実習室	（仮）自主民具体験/与那原東小学校
5			スタジオ	（一財）沖縄美ら島財団「マルチ決済サービス　おきぎんStarpay」研修
6			県民アトリエ	博物館班/沖縄生物教育研究会第65回高校生による生物科学展
7			こどもアトリエ	博物館班/沖縄生物教育研究会第65回高校生による生物科学展
8	3	土	講堂	文教楽器㈱英語教室の発表会　準備
9			博　講座室	沖縄士業等ネットワーク協議会合同よろず相談会
10			博　実習室	（一財）沖縄美ら島財団文化の日　誕生祭（控室）
11			美　講座室	沖縄語普及協議会　第11回沖縄語教養講座
12			県民アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団文化の日　誕生祭　控室
13			こどもアトリエ	（一財）沖縄美ら島財団文化の日　誕生祭　控室
14	4	日	講堂	文教楽器㈱英語教室の発表会
15			博　講座室	医療法人かねや　屋宜内科医院いちの会講演会
16			博　実習室	（一財）沖縄美ら島財団　総合研究センター　琉球玩具への招待　17　第３回講座
17			美　講座室	（公社）沖縄県柔道整復師会　保険・学術研修会
18	5	月	スタジオ	沖縄県文化振興会沖縄県芸術文化祭準備
19	6	火	講堂	内閣府沖縄総合事務局　環境省九州地方環境事務所　平成30年度沖縄地域エネルギー温暖化対策推進シンポジウム
20			博　講座室	那覇商工会議所やさしい事業継承セミナー
21			美　講座室	沖縄県三線製作事業協同組合　第八回県産三線普及プランド化委員会
22	7	水	講堂	株式会社OKINAWA　J-Adviser沖縄インデペンデンツクラブ
23			博　講座室	記者会見（博物館班）
24			博　講座室	沖縄県行政書士会平成30年度行政書士会「文化講演会」
25			博　実習室	オリエンテーション/南城市立船越小学校
26			美　講座室	沖縄県中小企業団体中央会H30年度　第2回運営会議
27			スタジオ	（一社）ゼンコロ理事会総会
28	8	木	講堂	農業農村工学会農地保全研究部会農地保全研究部会第39回研究集会および現地研修会
29			博　講座室	沖縄県慢性期医療協会　看護部会研修会
30			スタジオ	（一社）ゼンコロ理事会総会
31	9	金	講堂	沖縄県文化振興会平成30年度　沖縄県芸術文化祭　表彰式　準備
32			博　講座室	博物館班民具体験自主開催/古蔵小学校
33			博　講座室	（有）グローバルゲイトＷＩＳ　AG研修
34			博　実習室	自主民具体験/古蔵小学校
35			美　講座室	沖縄県自治研修所歴史文化講座
36			スタジオ	㈱インテリジェンスアンリミテッド　インテリジェンス・セルフプロデュース・コーチング
37	10	土	講堂	海燕社の小さな映画会　11月会/「水俣の図・物語」
38			講堂	沖縄県文化振興会平成30年度　沖縄県芸術文化祭　表彰式
39			博　講座室	平成30年度博物館学芸員講座 台湾原住民セーダッカ族の「祖霊観」「共同墓地」30年の変容から考える
40			博　講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会研究協議会
41			博　実習室	生活協同組合　コープおきなわ新綜代懇談会
42			美　講座室	沖縄の教育を良くする会テレビ「生命の光」を観る会
43			スタジオ	㈱インテリジェンスアンリミテッド　インテリジェンス・セルフプロデュース・コーチング
44			県民アトリエ	生活協同組合　コープおきなわ新綜代懇談会　託児室
45			こどもアトリエ	沖縄県造形教育連盟
46	11	日	講堂	文教楽器㈱文教ミュージックサロン　ソロコンサート
47			博　講座室	㈱あらかき美容医学研究所脳に対する分子栄養学
48			博　実習室	フォトパラダイス七五三撮影
49			美　講座室	北星学園余市高等学校教育講演・相談会
50			美　講座室	沖縄県美術家連盟　理事会
51	13	火	講堂	JALスカイエアポート沖縄㈱　2019年度JALスカイエアポート沖縄㈱内定者懇親会
52			博　講座室	SOIE足から創る健康　ウォーキング講座
53			博　実習室	（一社）沖縄県損害保険代理業協会VOS説明会
54			美　講座室	（公社）北那覇法人会助成金活用セミナー
55			スタジオ	（一社）沖縄しまたて協会中学・高校生写真コンクール2018　～第8回沖縄ふるさとづくりコンクール～
56	14	水	講堂	（一社）日本インフラ保全機構士木の日関連行事　沖縄県におけるコンクリート構造物の維持保全の講習会
57			博　講座室	盛和塾沖縄　定例会
58			美　講座室	那覇商工会議所　「クワンソウ」で挑戦する6次産業座間味久美子セミナー
59			スタジオ	（一社）沖縄しまたて協会中学・高校生写真コンクール2018　～第8回沖縄ふるさとづくりコンクール～
60	15	木	講堂	沖縄税理士会「税を考える週間」税に関する講演会
61			博　講座室	沖縄税理士会「税を考える週間」税に関する無料相談会
62			美　講座室	（一社）沖縄県労働基準協会　コミュニケーションスキル等向上コース（研修会）
63			スタジオ	（一社）沖縄しまたて協会中学・高校生写真コンクール2018　～第8回沖縄ふるさとづくりコンクール～
64	16	金	講堂	（公財）母子衛生研究会母子保健指導者研修会
65			博　講座室	沖縄県高齢者福祉介護課　平成30年度沖縄県認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員連絡会
66			博　実習室	自主民具体験/豊見城市立とよみ小学校
67			美　講座室	（一財）ヒートポンプ蓄熱センター　業務用ヒートポンプ給湯システム設計研修会
68			スタジオ	（一社）沖縄しまたて協会中学・高校生写真コンクール2018　～第8回沖縄ふるさとづくりコンクール～
69	17	土	講堂	平成30年度博物館文化講座「北東アジアの中世城郭」
70			博　講座室	千瀬の会第31回講演～源氏物語を読む～
71			美　講座室	美術館学芸員講座「沖縄における現代彫刻の変遷」
72	18	日	スタジオ	（一社）沖縄しまたて協会中学・高校生写真コンクール2018　～第8回沖縄ふるさとづくりコンクール～
73			県民アトリエ	石こう版画
74			こどもアトリエ	「聖書と日本フォーラム　沖縄交流会」
75			講堂	ソナーレピアノ教室　ピアノ発表会
76			博　講座室	うちま歯科医院桑炎・いびき・ぜん息の改善！？　子どもの健康矯正について歯医者さんに聞いてみよう！（仮）
77			博　講座室	TV沖縄特別講演会
78			美　講座室	BDCドローン検定協会　無人航空従事者試験
79			スタジオ	（一社）沖縄しまたて協会中学・高校生写真コンクール2018　～第8回沖縄ふるさとづくりコンクール～
80			こどもアトリエ	ヴェーネレ沖縄　スタッフ勉強会
81	20	火	博　講座室	サンワコムシステエンジニアリング㈱サンコム安全衛生協議会
82			美　講座室	大鏡建設㈱企業の不動産活用とこれからの社宅のあり方
83			スタジオ	（一社）沖縄しまたて協会中学・高校生写真コンクール2018　～第8回沖縄ふるさとづくりコンクール～
84			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会県沖縄県芸術文化祭　美術入選作品保管
85	21	水	講堂	（一社）沖縄県作業療法士会　第11回こころの芸術文化フェスティバル開会式
86			博　講座室	（一社）日本下水道施設管理業協会　会議
87			博　講座室	沖縄労働局/㈱沖縄コングレ良い人材を育て定着させるセミナー
88			博　実習室	自主民具体験/南風原町立翔南小学校
89			美　講座室	美術館へ行こう　控室（美術館班）
90			美　講座室	（一財）沖縄美ら島財団　総合研究センター　第2回 沖縄の剪定技術書に関する検討委員会　総合研究センター
91			スタジオ	（一社）沖縄しまたて協会中学・高校生写真コンクール2018　～第8回沖縄ふるさとづくりコンクール～
92			県民アトリエ	（一社）日本下水道施設管理業協会/名鉄観光　一般社団法人日本下水道施設管理業協会　理事会
93			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会県沖縄県芸術文化祭　美術入選作品保管
94	22	木	博　講座室	第24回　日本アパタイト研究会/培養インテグレーション
95			博　実習室	第24回　日本アパタイト研究会　控室
96			美　講座室	美術館へ行こう　控室（美術館班）
97			スタジオ	（一社）沖縄しまたて協会中学・高校生写真コンクール2018　～第8回沖縄ふるさとづくりコンクール～
98			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会県沖縄県芸術文化祭　美術入選作品保管
99	23	金	講堂	ピアノ教室「わ」ピアノコンサート
100			講堂	生物文化プロジェクト実行委員会　「人と自然が織りなす世界一奄美沖縄の生物文化」
101			博　講座室	琉球大学大学院医学研究科　小児科講座こども健康週間～市民公開講座～
102			博　実習室	SCSKニアショアシステムズ㈱CAMP　IN　沖縄
103			美　講座室	幸福の科学グループ（メディア）　出版映画「宇宙の法」大ヒット記念上映会
104			スタジオ	（一社）沖縄しまたて協会中学・高校生写真コンクール2018　～第8回沖縄ふるさとづくりコンクール～
105			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会県沖縄県芸術文化祭　美術入選作品保管
106	24	土	講堂	特別展「縄文と沖縄」関連催事シンポジウム『縄文のシンボリズムとネットワーク』
107			博　講座室	首里城公園友の会首里城文化講演会「冠船芸能の日程と踊番組」
108			博　実習室	SCSKニアショアシステムズ㈱CAMP　IN　沖縄
109			美　講座室	㈱沖縄コングレPBコミュニケーションズ社内研修
110			美　講座室	NPO法人沖縄語普及協議会第11回沖縄語養成講座
111			スタジオ	NPO沖縄県マンション管理組合連合会第13期通常総会
112			県民アトリエ	日本再育協会
113			県民アトリエ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合11月度定例理事会
114			こどもアトリエ	沖縄県文化振興会県沖縄県芸術文化祭　美術入選作品保管
115	25	日	講堂	美らピアノ教室第16回　ピアノ発表会
116			講堂	真の家庭運動推進課協議会家庭講演会
117			博　実習室	㈱プレナスワールド　北原梨紗シンポディプレスセミナー
118			美　講座室	独立行政法人国際交流基金アジアセンター　日本語専業第2チーム国際交流基金"日本語パートナーズ"説明会
119			スタジオ	㈱Hobby　World　Marine沖縄地方創生は海洋創生
120			県民アトリエ	日本再育協会
121			こどもアトリエ	NPO法人日本キャリア開発協会（JCDA）
122	27	火	講堂	（一社）沖縄県食品衛生協会　ノロウイルス食中毒の予防と対策講習会
123			博　講座室	沖縄県市町村教育委員会連合会　学校管理職マネジメント研修（C100%）
124			博　講座室	弁護士法人　琉球法律事務所　第3回社労士向けセミナー
125			美　講座室	沖縄県市町村教育委員会連合会　学校管理職マネジメント研修
126			県民アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団
127	28	水	講堂	医療法人天仁会　天久台病院　「もっと知ろう、てんかんのこと」
128			博　講座室	沖縄県市町村教育委員会連合会　学校管理職マネジメント研修（C100%）
129			博　実習室	オリエンテーション/北谷町立北玉小学校
130			博　実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
131			美　講座室	沖縄県市町村教育委員会連合会　学校管理職マネジメント研修
132			県民アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団
133	29	木	博　講座室	沖縄県市町村教育委員会連合会　学校管理職マネジメント研修（C100%）
134			博　実習室	自主民具体験　天久小学校
135			美　講座室	沖縄県市町村教育委員会連合会　学校管理職マネジメント研修
136			スタジオ	ジブラルタ生命保険㈱相続強化セミナー
137	30	金	講堂	社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会　平成30年度かりゆし美術展表彰式　準備
138			博　講座室	那覇市民生委員児童委員連合会　平成30年度地域福祉部会研修会
139			博　実習室	自主民具体験　天久小学校
140			美　講座室	ビオライズコンプライアンスセミナー
141			美　講座室	盛和塾沖縄　自主例会
142			博　講座室	とまと社労士オフィス働き方改革　待ったなし！～今から準備すること～

【2018年12月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	土	講堂	園ピアノ教室 合同ピアノ発表会
2			講堂	社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 第10回沖縄ねんりんピック記念大会かりゆし美術展 表彰式
3			博 講座室	博物館班　平成30年度博物館学芸員講座 解説！特別展「縄文と沖縄」のミドコロ
4			博 実習室	南日本カルチャーセンター　ウィンターホームステイ プログラムオリエンテーション
5			美 講座室	NPO法人沖縄語普及協議会　第11回沖縄語養成講座
6	2	日	講堂	(公社)久米国鼎会 公益社団法人久米国鼎会　平成30 年度公開文化講座
7			博 講座室	（公社）日本リウマチ友の会沖縄支部　関節リウマチ の最良の治療を考える
8			博 講座室	表千家同門会沖縄県支部　役員・教授者連絡会議
9			博 実習室	社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会　第10回沖縄ねん りんピック記念大会かりゆし美術展ワークショップ
10			美 講座室	全国中小企業団体中央会 平成30年度中小企業組合検定試験
11			スタジオ	社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 第10回沖縄ねんりんピック記念大会かりゆし美術展 ワークショップ
12	4	火	美 講座室	（公財）北那覇法人会　プロセスナジメントセミナー
13	5	水	博 講座室	（公社）農林水産・食品産業技術振興協会 アグリ技術シーズンセミナーin沖縄
14			博 実習室	博物館班 民具体験学習
15	6	木	博 講座室	（一財）沖縄美ら島財団　総合研究センター サンゴ礁保全シンポジウム-知る・共有する・発信する-
16			美 講座室	税理士法人リモト　第64回リモトセミナー 「消費税法の改正に伴う実務上の留意点」
17			県民アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団　出張報告会
18			こどもアトリエ	（一財）沖縄美ら島財団　出張報告会
19	7	金	博 講座室	（一財）沖縄美ら島財団　動物研究室 沖縄ザトウクジラ会議　2018
20			博 実習室	博物館班 民具体験　沖縄ろう学校
21			美 講座室	イオン琉球㈱HACCPセミナー
22	8	土	講堂	MOIAUSSIBE FREE SCHOOL 第2回アーティスト・トーク
23			博 講座室	九州旧石器文化研究会
24			博 実習室	社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 第10回沖縄ねんりんピック記念大会かりゆし美術展 ワークショップ
25			美 講座室	美術館班　儀間比呂志ギャラリートーク②(美術館班)
26			スタジオ	沖縄朝鮮友好の会　沖縄朝鮮友好のつどい
27			県民アトリエ	オフィス佐藤　女性のための起業講座
28	9	日	講堂	国立大学法人琉球大学　国立大学協会九州沖縄支部 シンポジウム第9回琉大21世紀フォーラム
29			講堂	真の家庭運動推進沖縄協議会 家庭講演会
30			講堂	キーナピアノスタジオキーナピアノスタジオ ピアノ発表会
31			博 講座室	回復整体リセット浦添 三点バランスインソール勉強会
32			博 実習室	社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会　第10回沖縄ねん りんピック記念大会かりゆし美術展ワークショップ
33			美 講座室	EIGO那覇校　第８回EIGOコンテスト
34			美 講座室	沖縄県美術家連盟　理事会
35			県民アトリエ	BodyMakeSalonくくる 沖縄開催お客様の体を深く知る腸内勉強会
36			こどもアトリエ	BodyMakeSalonくくる 沖縄開催お客様の体を深く知る腸内勉強会
37	11	火	博 講座室	弁護士法人琉球法律事務所 第2回　介護事業所向けセミナー
38			博 実習室	博物館班 民具体験学習小禄南小学校
39			博 実習室	オリエンテーション/山内小学校特別支援学級
40			美 講座室	㈱Eファン　Eファン非分解プラセンタの勉強会
41	12	水	講堂	在沖米国領事館 知識の普及向上を図る 今日のスミソニアン協会（仮）
42			博 講座室	㈱さんだん花　Pepper活用セミナー
43			博 実習室	博物館班 特別展ワークショップ練習
44			美 講座室	（一財）沖縄観光コンベンションビューロー 沖縄MICEプロジェクトPCOFAMツアーMICEセミナー
45			美 講座室	㈱沖縄TLO　平成30年度離島特産品等マーケティング 支援事業（沖縄県委託事業）食品表示セミナー
46			スタジオ	沖縄労働局/㈱沖縄コングレ　良い人材を育て定着さ せるセミナー
47			県民アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団　おきみゅー ISO14001内部監査
48	13	木	博 講座室	NPO法人沖縄県学童・保育支援センター 平成30年度放課後児童支援員等資質向上研修
49			博 実習室	博物館班 民具体験学習城東小学校
50	14	金	講堂	公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会　2018年度公 益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会フォーラム
51			博 講座室	㈱東京リーガルマインド（若年者地域連携事務局） 企業担当者向けセミナー
52			博 実習室	博物館班 特別展「縄文と沖縄」関連催事 「土偶マイム」　控室
53			博 実習室	オリエンテーション/那覇市立真和志小学校
54			美 講座室	沖縄国税事務所　消費税の軽減税率制度説明会
55			スタジオ	(一財)沖縄美ら島財団　paypay説明会
56			県民アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団 おきみゅーでほうかご美術の教室
57			こどもアトリエ	（一財）沖縄美ら島財団 おきみゅーでほうかご美術の教室

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
58	15	土	講堂	博物館班 特別展縄文と沖縄展関連催事 「沖縄と縄文文化」
59			博 講座室	博物館班　特別展「縄文展」関連催事 「土偶マイム」控室
60			博 講座室	鍼灸フェスタ実行委員会 健康沖縄はり灸フェスタ2018　準備
61			博 実習室	博物館班 特別展「縄文と沖縄」関連催事 体験教室「ドッキーをつくろう！！！」
62			美 講座室	NPO法人沖縄語普及協議会　第11回沖縄語教養講座
63			美 講座室	㈱照正組　（仮）ホテルによる土地活用セミナー
64			県民アトリエ	美術館班　OKINAWAアートワークショップ2018
65			こどもアトリエ	美術館班　OKINAWAアートワークショップ2018
66	16	日	講堂	ライリッシュオカリナ連盟沖縄県那覇支部 おとだまアンサンブルコンサート
67			博 講座室	鍼灸フェスタ実行委員会 健康沖縄はり灸フェスタ2018
68			美 講座室	JTMA 日本トータルマスタリー協会 ガイアの書入門講座
69			県民アトリエ	日本専門薬局同志会 沖縄連合会 12月部会
70	18	火	博 講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジェクト事務局 経団連採用選考に関する指針廃止をチャンスに変える対策セミナー
71			博 講座室	金城達也税理士事務所 第二回　TKC経営支援セミナー2018
72			博 実習室	博物館班 琉球王国文化遺産集積再興事業
73			美 講座室	（一社）全国専門学校教育研究会　平成30年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」「専修学校における情報公開等の促進とその取組を通じた研修体制等の構築」情報公開セミナー
74			スタジオ	(一財)沖縄美ら島財団 新海誠展関連催事『ほしのこえ』準備
75	19	水	講堂	県総務　プロジェクターの調整
76			博 講座室	博物館班記者発表
77			博 講座室	（一財）沖縄コンベンションビューロー うちなー観光ナビゲーター養成講座
78			博 実習室	博物館班 琉球王国文化遺産集積再興事業
79			美 講座室	公文教育研究会 公文教育研究会顧客感動を生むセミナー
80			スタジオ	(一財)沖縄美ら島財団 新海誠展関連催事『ほしのこえ』準備
81	20	木	博 講座室	沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課/㈱オリエンタルコンサルタンツ 公共交通等のオープンデータに係る勉強会（仮）
82			博 実習室	博物館班 琉球王国文化遺産集積再興事業
83			スタジオ	(一財)沖縄美ら島財団 新海誠展関連催事『ほしのこえ』準備
84			県民アトリエ	沖縄県文化振興会　沖縄県芸術文化祭 写真選抜展作品搬入
85	21	金	講堂	第一生命保険㈱那覇支社　第一生命研修会
86			博 講座室	沖縄総合事務局経済産業部企画振興課 沖縄RESASデータ分析フォーラム2018
87			博 実習室	博物館班 自主民具体験　若狭小学校
88			美 講座室	中部広域市町村圏事務組合 自治体職員政策形成セミナー全体研修
89			美 講座室	沖縄県立美術館支援会happ　happ芸術講座
90			スタジオ	(一財)沖縄美ら島財団 新海誠展関連『ほしのこえ』上映会
91			県民アトリエ	沖縄県文化振興会　沖縄県芸術文化祭 写真選抜展作品保管
92	22	土	講堂	那覇市/那覇市文化協会王朝禮樂部会 琉球王朝禮樂部会発表会
93			博 講座室	（公社）沖縄県精神保健福祉会連合会記録映画 「夜明け前」上映と公演
94			スタジオ	(一財)沖縄美ら島財団　新海誠展関連催事 「『ほしのこえ』を聴こう！冬の星空観察会」
95			県民アトリエ	沖縄県文化振興会　沖縄県芸術文化祭 写真選抜展作品返却
96			こどもアトリエ	沖縄造形教育連盟
97	23	日	講堂	NPO法人沖縄県食育協会　NPO法人沖縄県食育協会設立記念講演会＆パネルディスカッション
98			講堂	（一社）沖縄県発明協会 第35回未来の化学の夢絵画展（県内展）受賞者の表彰
99			博 講座室	NPO法人沖縄県国際理解・異文化交流国際観光支援センター/尚学院国際ビジネスアカデミー　イングリッシュフェスティバル2018スピーチ＆ミュージックコンテスト
100			美 講座室	（一財）沖縄美ら島財団 ミュージアムコンサート　控室
101			美 講座室	（一財）沖縄美ら島財団　新海誠展関連　「『ほしのこえ』」を聴こう！冬の星空観察会」
102	26	水	講堂	(一財)沖縄美ら島財団 新海誠展関連催事 1日上映会
103			博 実習室	琉球三線楽器保存育成会/博物館班　三線鑑定会
104			スタジオ	(一財)沖縄美ら島財団　新海誠展関連催事 1日上映会『ほしのこえ』
105			県民アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団　備品チェック
106			こどもアトリエ	（一財）沖縄美ら島財団　備品チェック
107	27	木	講堂	(一財)沖縄美ら島財団 新海誠展関連催事　『雲のむこう、約束の場所』上映会
108			博 実習室	琉球大学ジュニアドクター育成塾（琉大ハカセ塾）琉球大学ジュニアドクター育成塾（琉大ハカセ塾）講義
109			県民アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団　備品チェック
110			こどもアトリエ	（一財）沖縄美ら島財団　備品チェック
111	28	金	講堂	(一財)沖縄美ら島財団 新海誠展関連催事 『雲の、約束の場所』上映会
112			スタジオ	(一財)沖縄美ら島財団　新海誠展関連催事のため使用
113			県民アトリエ	（一財）沖縄美ら島財団　備品チェック
114			こどもアトリエ	（一財）沖縄美ら島財団　備品チェック

【2019年１月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	4	金	スタジオ	新海誠展関連催事　1日上映会「ほしのこえ」　上映会場
2			講堂	新海誠展関連催事　1日上映会
3	5	土	こどもアトリエ	新海誠展関連催事　紙吹雪制作ワークショップ
4			講堂	新海誠展関連催事　『秒速5センチメートル』上映会
5			県民アトリエ	新海誠展関連催事　紙吹雪制作ワークショップ
6			美　講座室	経済教育ネットワーク 先生のための経済教室（沖縄）
7	6	日	スタジオ	HIV人権ネットワーク沖縄　人権フォーラムi2019n那覇　出演者控室
8			講堂	HIV人権ネットワーク沖縄　人権フォーラム2019in那覇
9			博　講座室	美肌サロン　なかゆくい 佐伯チズ　新春トークイベント「願えば！かなう」 講師控室
10			博　実習室	美肌サロン　なかゆくい 佐伯チズ　新春トークイベント「願えば！かなう」
11	8	火	美　講座室	㈱JTB沖縄　「第133回社の賑い沖縄」幹施業務説明会
12	10	木	博　講座室	沖縄総合事務局　財政融資資金（地方資金）借入要領説明会
13			美　講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　フルハーネス特別講習会
14	11	金	こどもアトリエ	おきみゅーでほうかご美術の教室
15			スタジオ	株式会社ピータイム　研修
16			講堂	全国共済農業協同組合連合会沖縄本部 平成30年度JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスター沖縄県コンクール　表彰式準備
17			県民アトリエ	おきみゅーでほうかご美術の教室
18			博　講座室	株式会社りゅうせきビジネスサービス ハイサイプロジェクト事務局　求人票閲覧会in那覇
19			博　実習室	民具体験学習/座安小学校
20			博　実習室	AWJ恩田先生講演会
21			美　講座室	㈱工業所有権情報・研修館　知財活用支援セミナー
22			美　講座室	光文堂コミュニケーションズ㈱　アジケイコンペプレゼン説明会
23	12	土	スタジオ	新海誠展関連催事　アフレコ体験ワークショップ
24			講堂	全国共済農業協同組合連合会沖縄本部 平成30年度JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスター沖縄県コンクール表彰式
25			県民アトリエ	新海誠展関連催事　組紐風・カード織ワークショップ
26			博　講座室	平成30年度博物館学芸員講座「骨を分けるコツ-考古学入門-」
27			博　講座室	新海誠展関連催事　「紙飛行機を作ってみよう！」
28			博　実習室	神奈川工科大学　電子ロボ実行委員会　ロボットを作ろうin那覇
29			美　講座室	沖縄語普及協議会　第11回沖縄語教養講座
30	13	日	スタジオ	新海誠展関連催事　アフレコ体験ワークショップ
31			講堂	高次脳リハビリテーション実行委員会高次脳リハビリテーション講習会
32			県民アトリエ	新海誠展関連催事　組紐風・カード織ワークショップ
33			美　講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会
34	14	月	博　実習室	新海誠展関連催事「鉱石ラジオ制作ワークショップ」
35			美　講座室	ＩROAS　イロアス沖縄説明会
36	16	水	こどもアトリエ	一般社団法人創元会沖縄支部 第15回創元会沖縄支部展の作品講評・実技研修会
37			県民アトリエ	一般社団法人創元会沖縄支部 第15回創元会沖縄支部展の作品講評・実技研修会
38			博　実習室	自主民具体験/さつき小学校
39			美　講座室	南部地区個人住民税徴収対策協議会 連帯納税義務及び納税義務の承継に係る研修会
40	17	木	こどもアトリエ	一般社団法人創元会沖縄支部 第15回創元会沖縄支部展の作品講評・実技研修会
41			県民アトリエ	一般社団法人創元会沖縄支部 第15回創元会沖縄支部展の作品講評・実技研修会
42			博　講座室	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー うちなー観光ナビゲーター養成講座
43			博　実習室	自主民具体験/城岳小学校
44			美　講座室	株式会社海邦総研　かいぎんビジネスセミナー
45	18	金	こどもアトリエ	ヴェーネレ沖縄　ヴェーネレスタッフ勉強会
46			スタジオ	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校　「卒業・進級展示会」
47			講堂	那覇東地区宅地建物取引業者会 家主セミナー「過去時の原状回復について（仮）」
48			博　講座室	公益信託白血病研究基金 '19先端医学研究交流セミナーイン沖縄 「地域から始まる新しい医療を目指して」
49			博　実習室	ステップワールド日本語学院 沖縄県日本語学校交流会
50			博　実習室	自主民具体験/那覇市立曙小学校
51			美　講座室	株式会社　阪急交通社　海外旅行説明会
52	19	土	スタジオ	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校 「卒業・進級展示会」
53			県民アトリエ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 1月度定例理事会
54			県民アトリエ	新海誠展関連催事 「鉱石ラジオ制作ワークショップ」
55			博　講座室	新海誠展関連催事上映会 『星を追う子ども』『ほしのこえ』『言の葉の庭』
56			博　実習室	沖縄語普及協議会
57			美　講座室	沖縄の教育を良くする会　テレビ「生命の光」を観る会
58	20	日	スタジオ	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校　「卒業・進級展示会」
59			講堂	新海誠展関連催事上映会 『雲の向こう、約束の場所』『秒速5センチメートル』
60			講堂	新海誠展関連催事「講演会」
61			博　講座室	株式会社照正組　ホテル（簡易宿所）建築セミナー
62			博　講座室	一般社団法人すでぃる 「沖縄と済州　交流美術展」報告会
63			博　実習室	AWJ　美と健康長寿講演会
64			美　講座室	BDC　ドローン検定協会 無人航空従事者試験
65	22	火	講堂	沖縄県土木建築部施設建築課 第6回沖縄県アンダー40コンペ設計競技 ティーダフラッグス2018　公開審査
66			博　講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱　サンコム安全衛生協議会
67			博　実習室	オリエンテーション/銘苅小学校
68			美　講座室	公益社団法人北那覇法人会　1、2月決算法人説明会
69	23	水	講堂	那覇市民生委員児童委員連合会　平成30年度 民生委員児童委員全体研修
70			講堂	沖縄県工業教育研究会 第24回沖縄県工業高等学校生徒意見・体験発表会並びに第29回沖縄県工業高等学校生徒研究成果作品発表大会
71			県民アトリエ	（一社）日本福祉のまちづくり学会事業委員会・九州沖縄支部
				バリアフリー整備ガイドライン改定に関するセミナー
72			博　講座室	公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
73			博　実習室	バリアフリー整備ガイドライン改定に関するセミナー
74			美　講座室	新海誠展関連催事　短歌と返歌のワークショップ
75	24	木	講堂	沖縄県工業教育研究会 第24回沖縄県工業高等学校生徒意見・体験発表会並びに第29回沖縄県工業高等学校生徒研究成果作品発表大会
76			博　講座室	オリエンテーション/北谷小学校
77			博　実習室	民具体験/城南小学校
78			美　講座室	電気学会通信研究会　電気学会通信研究会
79	25	金	こどもアトリエ	工房ＣＣ　本日は革日和♪
80			スタジオ	新海誠展関連催事　短歌と返歌のワークショップ
81			講堂	地中熱利用システム開発・普及促進シンポジウム ～大地のエネルギーを活用した快適で健康なワーク＆ライフを～
82			博　実習室	民具体験学習/識名小学校
83			美　講座室	盛和塾沖縄　自主例会
84			美　講座室	電気学会通信研究会　電気学会通信研究会
85	26	土	スタジオ	高齢者、障がい者住宅研究会沖縄支部 午前：相続税対策に有効なグループホームの活用法 午後：障がい者グループホーム開業セミナー
86			講堂	エルケア医療保育専門学校　発表会
87			博　講座室	（公社）映像文化製作者連盟 映文連アワード2018受賞作品上映会in沖縄
88			博　実習室	OKINAWAアートワークショップ
89			美　講座室	国立大学法人九州大学　九州がんプロ全体研修会
90	27	日	スタジオ	㈱Hobby wolld Morin　地方創生は海洋創生
91			講堂	エルケア医療保育専門学校　発表会
92			博　講座室	いであ㈱　基地の返還と住民参画・リスクコミュニケーション講演会
93			博　実習室	NPO法人　ｒａｃｏ　シンポジウム2000年代の沖縄における美術の検証
94			美　講座室	国立大学法人九州大学 九州がんプロ全体研修会
95			美　講座室	新海誠展関連催事上映会『言の葉の庭』
96	29	火	講堂	一般財団法人沖縄観光コンベンション・ビューロー 沖縄フィルムツーリズム振興セミナー
97			博　講座室	文教楽器㈱ 文教楽器株式会社・ヤマハ音楽教室全体講師会
98			博　実習室	自主民具体験/那覇市立垣花小学校
99			美　講座室	法相宗大本山薬師寺　「般若心経の法話とお写経会」
100	30	水	講堂	沖縄総合事務局 平成30年度エネルギー管理功績者及びエネルギー管理優良工場等表彰式
101			講堂	㈱環境エネルギー総合研究所 エネルギー使用合理化シンポジウム
102			博　講座室	那覇地区学校保健会 第39回那覇地区健康教育研究発表会及び講演会
103			博　実習室	自主民具体験/那覇市立開南小学校
104			美　講座室	南部徳洲会　医療講演会
105	31	木	スタジオ	一般社団法人IIO 平成30年度沖縄型産業中核人材育成事業　第1回IIOT実行委員会
106			博　講座室	一般社団法人ＩＩＯＴ 平成30年度沖縄型産業中核人材育成事業フォーラム
107			博　実習室	民具体験学習/小禄小学校
108			美　講座室	南部徳洲会医療講演会

【2019年２月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	金	講堂	新海誠展関連催事上映会 『雲のむこう、約束の場所』『星を追う子ども』
2			博 講座室	内閣府沖縄総合事務局　（仮称）SIB説明会
3			博 実習室	オリエンテーション/那覇市立上間小学校
4			美 講座室	株式会社パラダイスプラン　第11回塩屋情報交換会
5			スタジオ	第50回全沖縄高等学校・特別支援学校美術工芸教育作品展
6	2	土	講堂	新海誠展関連催事　上映会『秒速5センチメートル』 『言の葉の庭』
7			美 講座室	新海誠展関連催事　上映会『ほしのこえ』
8			美 講座室	アルフレッサグループ労働者組合連合会　幹事会
9			スタジオ	第50回全沖縄高等学校・特別支援学校美術工芸教育作品展
10			県民アトリエ	沖縄県樹木リサイクル事業協同組合 沖縄県樹木リサイクル事業協同組合設立総会
11	3	日	講堂	楽読沖縄安里スクール　楽読創業者　平井ななえ　講演会
12			講堂	真の家庭運動推進協議会　家庭講演会
13			博 実習室	楽読沖縄安里スクール　楽読創業者　平井ななえ講演会　託児所
14			スタジオ	第50回全沖縄高等学校・特別支援学校美術工芸教育作品展
15			県民アトリエ	第50回全沖縄高等学校・特別支援学校美術工芸教育作品展「理事会」
16	5	火	講堂	三線保存育成会30周年記念式典
17			博 講座室	（公財）日本賃貸住宅管理協会 相続支援コンサルタントフォローアップセミナー
18			博 実習室	（公財）日本賃貸住宅管理協会　相続支援研修会
19			博 実習室	博物館班　民具体験学習/那覇小学校
20			美 講座室	株式会社ケイオーパートナーズ 平成31年度未来の産業人材育成事業　第2会合同会議
21			県民アトリエ	三線保存育成会30周年記念式典　控室
22			こどもアトリエ	三線保存育成会30週年記念式典　控室
23	6	水	博 実習室	一般財団沖縄美ら島財団　打ち合わせ
24			県民アトリエ	株式会社沖縄コングレ　沖縄コングレ説明会
25	7	木	講堂	沖縄県農林水産部営農支援課　「住宅地通知」に関する講習会
26			博 実習室	博物館班　民具体験学習/津嘉山小学校
27			美 講座室	沖縄オープンラボラトリー　フォーラム
28			こどもアトリエ	（一社）倫理研究所 平成31年度秋津書道会しきなみ短歌歌会講師資格認定試験
29	8	金	講堂	尚学院国際ビジネスアカデミー「卒業制作発表会」リハーサル
30			博 講座室	㈱SRJ沖縄支社　㈱SRJ・㈱エデュケーションネットワーク共催 通年教材展示会・教育セミナー
31			博 実習室	オリエンテーション/糸満市立糸満小学校
32			博 実習室	城西大学経営学部　石井龍太研究室　考古学から見た近世琉球
33			博 実習室	（仮）オリエンテーション/浦添中学校
34			美 講座室	株式会社りゅうせきビジネスサービス　県内就職内定者入社前セミナー
35			県民アトリエ	おきみゅーでほうかご美術の教室
36			こどもアトリエ	おきみゅーでほうかご美術の教室
37	9	土	講堂	㈱インディポンドネットワークスペシャリスト /公益財団法人沖縄県消防協会平成30年度「消防団認知度向上シンポジウム」
38			博 講座室	沖縄県立博物館・美術館博物館学芸員講座 三線の正体−棹や胴の銘書きからわかること−
39			博 実習室	城西大学経営学部　石井龍太研究室　考古学から見た近世琉球
40			美 講座室	株式会社シーヴィ・コンベンション JSTQB認定テスト技術者資格試験
41			スタジオ	旧正月イベント
42			県民アトリエ	九州工業大学九州工業大学ジュニアサイエンススクール 「模型飛行機をつくろう」「折り紙立体をつくろう」
43			こどもアトリエ	九州工業大学九州工業大学ジュニアサイエンススクール 「模型飛行機をつくろう」「折り紙立体をつくろう」
44	10	日	講堂	アクア音楽院　第15回アクア音楽院発表会
45			博 実習室	城西大学経営学部　石井龍太研究室　考古学から見た近世琉球
46			美 講座室	一般社団法人おきなわ安心サポート 人生9年周期★7次元バイオリズム　by櫻庭露樹
47			スタジオ	旧正月イベント
48			県民アトリエ	旧正月関連催事　控室
49			こどもアトリエ	旧正月関連催事　控室
50	11	月	講堂	文教楽器株式会社　ワクワクファミリーコンサート
51			博 実習室	城西大学経営学部　石井龍太研究室　考古学から見た近世琉球
52			スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術研究科 第30回 卒業・修了作品展
53			県民アトリエ	旧正月イベント
54			こどもアトリエ	旧正月イベント
55	13	水	講堂	尚学院国際ビジネスアカデミー卒業製作発表

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
56	14	木	博 講座室	盛和塾沖縄　自主例会
57			美 講座室	辻・本郷税理士法人　沖縄事務所　社福セミナー
58			美 講座室	株式会社イー・コミュニケーションズ　資産勉強会
59			スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術研究科 第30回 卒業・修了作品展
60			講堂	尚学院国際ビジネスアカデミー卒業製作発表
61			博 講座室	株式会社東京リーガルマインド（若年者地域連携事務局） 企業担当者向けセミナー
62			博 実習室	株式会社カルティベイト　公益資本主義研修
63			美 講座室	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー　内閣府平成30年度 沖縄型産業中核人材育成事業「稼げる地域づくりの中核リーダー育成プログラム」
64			スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術研究科 第30回 卒業・修了作品展
65			県民アトリエ	株式会社ｚｅｒｏ　マッサージの面接のため
66	15	金	講堂	イオン琉球（株）　2019年度　イオン琉球（株）方針発表
67			博 講座室	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー　内閣府平成30年度 沖縄型産業中核人材育成事業　「稼げる地域づくりの中核リーダー育成プログラム」
68			博 講座室	イオン琉球株式会社　イオン琉球（株）取締役会
69			博 実習室	博物館班　民具体験学習/泊小学校
70			博 実習室	株式会社ピータイム　役職者への社内研修
71			美 講座室	琉球大学医学部附属病院第一内科 沖縄県肝炎医療コーディネーターミーティング
72			美 講座室	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 内閣府平成30年度 沖縄型産業中核人材育成事業 「稼げる地域づくりの中核リーダー育成プログラム」
73			スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術研究科 第30回 卒業・修了作品展
74			県民アトリエ	株式会社バンダイナムコアミューズメント　企業理念研修会
75	16	土	講堂	株式会社海燕社　海燕社の小さな映画会2019/2月会 『岸沢鉦の美の世界』『芭蕉布を織る女たち−連帯の手わざ』
76			講堂	博物館企画展「沖縄が誇る家宝の三線展」関連催事シンポジウム 「三線が奏でるウチナーンチュの心」
77			博 講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会　研究協議会
78			博 講座室	沖縄県しまくとぅば普及センター　しまくとぅばプレ検定　～中南部言葉編～
79			博 実習室	沖縄県立芸術大学ワ卒業作品展ークショップ
80			美 講座室	フリーベル天久新都心第２管理組合　臨時総会
81			美 講座室	大鏡建設株式会社　借地セミナー
82			美 講座室	美術館招聘（伊良波中学校美術部）
83			スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術研究科 第30回 卒業・修了作品展
84			県民アトリエ	OKINAWAアートワークショップ2018
85			こどもアトリエ	OKINAWAアートワークショップ2018（仮）
86	17	日	博 講座室	沖縄県キャリアセンター　親のためのキャリア教育講演会 ～人生100年時代、親のキャリア、子のキャリアを考える～
87			美 講座室	有限会社グローバルスタッフ　琉装スタッフ講習
88			スタジオ	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部・大学院造形芸術研究科　第30回 卒業・修了作品展
89	19	火	講堂	沖縄こども専門学校　保育発表会準備、リハーサル
90			博 講座室	株日本証券新聞リサーチ　IR会社説明会・株式講演会
91			美 講座室	沖縄総合事務局運輸部　沖縄総合事務局地域公共交通に関する第三者評価委員会
92			美 講座室	公益社団法人　北那覇法人会　土地有効活用による節税対策Ｑ＆Ａ
93			こどもアトリエ	ヴェーネレ沖縄　スタッフ　技術向上のための勉強会
94	20	水	講堂	沖縄こども専門学校　保育発表会準備、リハーサル
95			博 講座室	公益財団法人沖縄県産業振興公社/一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 沖縄県委託駐在員　市場別セミナー
96			博 実習室	県総務　社会教育主事研修
97			美 講座室	辻・本郷税理士法人　沖縄事務所　平成31年度　税制改正セミナー
98			スタジオ	公益財団法人沖縄県産業振興公社/一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 沖縄県委託駐在員　市場別セミナー
99	21	木	講堂	沖縄こども専門学校　保育発表会
100			博 講座室	阪急交通社トラピックス海外旅行説明会
101			博 実習室	博物館班教育普及　ボランティアミーティング
102			美 講座室	阪急交通社トラピックス海外旅行説明会
103			スタジオ	沖縄こども専門学校　保育発表会（出演者控室）
104			県民アトリエ	再成科学研究所　商品研修会
105	22	金	講堂	沖縄県情緒教育研究会 平成30年度　第4回沖縄県情緒教育研究会　研究大会
106			講堂	沖縄こども専門学校　保育発表会
107			博 講座室	阪急交通社トラピックス海外旅行説明会
108			博 実習室	県総務　博物館・美術館協議会
109			美 講座室	盛和塾沖縄自主例会
110			美 講座室	阪急交通社トラピックス海外旅行説明会

【2019年２月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
111			スタジオ	沖縄こども専門学校　保育発表会（出演者控室）
112	23	土	講堂	Ecole de musique de SOLEIL　第6回ソレイユピアノ発表会
113			講堂	MOIAUSSIBE FREE SCHOOL実行委員会 第2期MOIAUSSIBE FREE SCHOOL第3回アーティスト・トーク（C50%）
114			博 講座室	しまくとぅばプロジェクト2018 しまくとぅば鼎談「『琉球処分』から140年-ウチナーぬ歴史とぅ文化
115			博 実習室	博物館企画展「沖縄が誇る家宝の三線展」関連催事 ワークショップ 「親子でつくろう、カンカラ三線」
116			美 講座室	沖縄県立美術館支援会happ　happ芸術講座
117			美 講座室	Detox Cafe felicidad　ツクツクEC事業説明会
118			美 講座室	沖縄内観研究会　沖縄内観懇話会
119			スタジオ	特定非営利活動法人沖縄県マンション管理組合連合会 第3回マンション管理講座
120			県民アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク2019関連催事『アートワークショップ「私の好きな海」』
121	24	日	講堂	学校法人アミークス国際学園 YEAH! AMICUS CLUB ～3nd Annual Joint Exhibition～
122			博 講座室	NPO法人統合治療と健康を考える会　がん治療の鍵講演会
123			博 講座室	株式会社りゅうせきビジネスサービスハイサプロジェクト事務局 就職活動に勇気、希望が湧いてくる求職者のためのセミナー

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
124	24	日	博 実習室	博物館班　博物館普及体験学習教室
125			美 講座室	しまくとぅばプロジェクト
126			美 講座室	一般社団法人日本プロセラピスト協会 マネジメントの常識を覆す！「成功指向型組織づくり」研修
127			スタジオ	大高酵素㈱　福岡支店　沖縄OE研究会研修会
128			スタジオ	株式会社Hobby World Maine沖縄　地方創生は海洋創生
129			県民アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク2019関連催事『紅型染でサンゴの海を染めよう！』
130			こどもアトリエ	おきみゅークラシックコンサート　控室　※イスのみ使用します。
131	28	木	博 講座室	琉球大学島嶼地域科学研究所 シンポジウム（仮）「島嶼地域科学」という挑戦　事前準備
132			博 実習室	博物館班　民具体験学習/安謝小学校
133			美 講座室	沖縄国税事務所　消費税の軽減税率制度説明会
134			スタジオ	沖縄県工芸振興センター　第45回沖縄県工芸振興センター展
135			県民アトリエ	NPO法人沖縄県工芸産業協働センター　工芸価値創造塾　勉強会
136			こどもアトリエ	美術館班/一般財団法人沖縄美ら島財団　三者会議

【2019年３月】

No.+A	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	金	講堂	沖縄県地域史協議会設立40周年記念シンポジウム 「辞令書や履歴書等から見える琉球・沖縄の地方役人（仮）」
2			博　講座室	（仮）「島嶼地域科学」という挑戦
3			博　実習室	自主民具体験/那覇市立大道小学校
4			美　講座室	第18回企業法務実務セミナー 「外国人雇用に関するトラブル予防について」
5			スタジオ	第45回沖縄県工芸振興センター展
6			県民アトリエ	工芸価値創造塾　勉強会
7	2	土	講堂	三線展覧会関連シンポジウム県産三線普及ブランド化事業報告～「三線の伝統と未来」～
8			博　講座室	琉球三線楽器保存・育成会30周年記念/沖縄県三線製作事業協同組合　三線展覧会関連シンポジウム県産三線普及ブランド化事業報告　～「三線の伝統と未来」～
9			博　実習室	博物館企画展「沖縄が誇る家宝の三線展」関連催事 ワークショップ「三線づくりの実演会」
10			美　講座室	沖縄朝鮮友好のつどい
11			美　講座室	「沖縄の美術の流れ」関連催事ギャラリートーク 「沖縄における彫刻-西村貞雄の仕事-」
12			スタジオ	第45回沖縄県工芸振興センター展
13			県民アトリエ	サンゴ礁ウィーク2019関連催事 『ゲームでサンゴを知ろう サンゴのテリトリーウォーズ』
14	3	日	博　講座室	大戸屋　大人の食育セミナー
15			博　実習室	サンサンゴーゴー
16			美　講座室	BPMセミナー
17			スタジオ	第45回沖縄県工芸振興センター展
18			県民アトリエ	サンゴ礁ウィーク2019関連催事 『ゲームでサンゴを知ろう サンゴのテリトリーウォーズ』
19	4	月	博　講座室	三線展イベント控室
20			美　講座室	（C100%）第4回　社労士向けセミナー
21	5	火	講堂	沖縄SDGSシンポジウム（仮称）
22			博　講座室	第13回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議（ICMCS-Ⅹ Ⅲ）
23			博　実習室	第13回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議（ICMCS-Ⅹ Ⅲ）
24			美　講座室	フォローアップ講習会
25	6	水	講堂	第13回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議（ICMCS-Ⅹ Ⅲ）
26			博　講座室	第13回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議（ICMCS-Ⅹ Ⅲ）
27			博　実習室	第13回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議（ICMCS-Ⅹ Ⅲ）
28			美　講座室	働き方改革推進実践セミナー
29	7	木	講堂	第13回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議（ICMCS-Ⅹ Ⅲ）
30			博　講座室	第13回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議（ICMCS-Ⅹ Ⅲ）
31			博　実習室	第13回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議（ICMCS-Ⅹ Ⅲ）
32			美　講座室	働き方改革推進実践セミナー
33	8	金	講堂	第13回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議（ICMCS-Ⅹ Ⅲ）
34			博　講座室	平成31年度 ゆいくる材の更新申請にかかる説明会
35			博　実習室	第13回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議（ICMCS-Ⅹ Ⅲ）

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
36			美　講座室	上原労務管理事務所主催セミナー
37			スタジオ	番組撮影控室
38			県民アトリエ	おきみゅーでほうかご美術の教室
39			県民アトリエ	面接
40			こどもアトリエ	おきみゅーでほうかご美術の教室
41	9	土	講堂	平成30年度博物館文化講座 「旧円覚寺仁王像に秘められた歴史と復元制作への挑戦」
42			博　講座室	沖縄から開こう！核なき世界の扉
43			博　実習室	植物が作る油（精油）を使って好きな香りを作ろう！ー My香水作り ー
44			美　講座室	美術館コレクション展「伊志嶺隆と平敷兼七」 学芸員講座+キュレータートーク
45			スタジオ	一般財団法人全国福利厚生共済会　事業説明会及びミーティング
46			県民アトリエ	沖縄のサンゴ礁研究最前線！
47	10	日	講堂	WORLD　GLAUCOMA　WEEK2019
48			博　講座室	平成30年度沖縄美ら島財団助成事業成果報告ー　動物研究報告会
49			美　講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟　理事会
50			美　講座室	中央アジアの風と雲ー新疆ウイグル「自治区」の過去現在未来ー
51			スタジオ	番組撮影控室
52			県民アトリエ	沖縄のサンゴ礁研究最前線！
53	12	火	講堂	ピアノ保守点検
54			博　講座室	ダイバーシティ経営セミナーin沖縄
55			美　講座室	沖縄県工芸製品新ニーズモデル創出事業　成果報告会
56			スタジオ	第17回那覇市障がい者美術展
57	13	水	講堂	（仮称）ISCO SEMINA 「Society5.0と沖縄の未来～新たに創る・生まれる沖縄の価値～」
58			講堂	いつくるかわからない災害の備え ～災害時外国人観光客への支援からわかること～
59			博　講座室	盛和塾沖縄　自主例会
60			美　講座室	第4回　社労士向けセミナー
61			スタジオ	第17回 那覇市障がい者美術展
62	14	木	博　講座室	（仮称）琉球語研究の可能性
63			スタジオ	第17回 那覇市障がい者美術展
64			県民アトリエ	平成30年度IIOT第3回理事会
65	15	金	講堂	文化講演「何処へ行く・沖縄人」
66			博　講座室	平成30年度産業廃棄物処理に関する研修会
67			博　実習室	オリエンテーション/星槎国際高等学校那覇キャンパス
68			美　講座室	大和ハウス工業㈱沖縄支店/大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部　安全衛生協議会
69			スタジオ	第17回 那覇市障がい者美術展
70			こどもアトリエ	ヴェーネレスタッフ勉強会

３ 県民ギャラリー貸出件数

No.	使用ギャラリー	貸出期間	イベント名	主催者
1	県民ギャラリー1.2.3	４月１日（日）	藍・絞り シボリコミュニティ 第2回合同作品展巡回展	シボリコミュニティ
2	県民ギャラリー3	４月10日（火）～４月15日（日）	「沖縄絵日記Ⅳ」　吉野孝雄写真展	吉野孝雄
3	県民ギャラリー1	４月17日（火）～４月22日（日）	写真展　闇から光へ　知られざる沖縄戦後史～精神保健の歩みを見る・聴く～	公益社団法人　沖縄県精神保健福祉会連合会
4	県民ギャラリー2.3	４月17日（火）～４月22日（日）	喜納昌吉アース＆ピース～ムーブメントの軌跡～	亀田　隆
5	県民ギャラリー1	４月24日（火）～４月26日（木）	年金者組合　文化祭	全日本年金者組合沖縄県本部
6	県民ギャラリー2	４月24日（火）～４月29日（日）	平成29年度公文大里仲間・那覇真嘉比・壺川書写教室成果発表会	公文大里仲間書写教室
7	県民ギャラリー1	５月２日（水）～５月６日（日）	ペーパーフラワー展	国吉　満
8	県民ギャラリー1.2	５月８日（火）～５月13日（日）	第14回　龍賓・曹源書道展	龍賓曹源書道会
9	県民ギャラリー1.2.3	５月15日（火）～５月20日（日）	写真個展集合体・フラグメンツ６　22の個展が集う	光画文化研究所
10	県民ギャラリー1	５月22日（火）～５月27日（日）	何かが終わるとき	玉城　綾乃
11	県民ギャラリー1	６月１日（金）～６月３日（日）	FROM ME TO YOU　～沖縄から世界へ～	町田　隼人
12	県民ギャラリー1	６月５日（火）～６月10日（日）	第23回 日本の美術大賞受賞記念　砂川　惠光　絵画個展	砂川　惠光
13	県民ギャラリー1	６月12日（火）～６月17日（日）	第36回　沖縄広告賞展	沖縄広告協会
14	県民ギャラリー1.2	６月19日（火）～６月24日（日）	第35回　日本現代美術協会　沖縄県支部展	日本現代美術協会沖縄支部
15	県民ギャラリー1	７月12日（木）～７月16日（月）	ウェルカルチャースクール　水彩・絵画教室	金城　幸也
16	県民ギャラリー2.3	７月13日（金）～７月16日（月）	私は沖縄　南洋戦で何を失ったか　～体験談パネル展とゆんたく～	戦場体験放映　保存の会
17	県民ギャラリー1.2	７月19日（木）～７月22日（日）	国際文化科学コース国際バカロレア・ディプロマプログラムVisual arts 展覧会	学校法人尚学学園沖縄尚学高等学校
18	県民ギャラリー3	７月20日（金）～７月22日（日）	「ちっぽけで貧しい人間から見た世界～ミニ回顧展～」	藤原パウラ
19	県民ギャラリー1.2.3	７月24日（火）～７月29日（日）	美術の先生がつくった作品展 VOL.6	美術の先生がつくった作品展実行委員会
20	県民ギャラリー1.2.3	７月31日（火）	第27回りゅうぎん紅型デザイン展	株式会社琉球銀行
21	県民ギャラリー1.2.3	８月１日（水）～８月５日（日）	第27回りゅうぎん紅型デザイン展	株式会社琉球銀行
22	県民ギャラリー1	８月７日（火）～８月12日（日）	うふぁがり島Ⅴ 大東島 南と北のモノローグ	石引　まさのり
23	県民ギャラリー2	８月７日（火）～８月12日（日）	比嘉ブラザーズの沖縄のマジムンと怪異展	比嘉ブラザーズ
24	県民ギャラリー3	８月７日（火）～８月12日（日）	指で描く世界 フィンガーペインター由郁子展	西村　由郁子
25	県民ギャラリー1	８月14日（火）～８月19日（日）	色彩のチャンプルー絵画展	佐川　毅彦
26	県民ギャラリー2.3	８月14日（火）～８月19日（日）	武田美通・鉄の造形「戦死者たちからのメッセージ」沖縄展	武田　美通・鉄の造形「戦死者たちからのメッセージ」を広める会
27	県民ギャラリー1.2	８月21日（火）～８月26日（日）	結展　第９回	結展実行委員会
28	県民ギャラリー1	９月６日（木）～９月９日（日）	2018OKINAWA　PHOTOFES	仲宗根　和史
29	県民ギャラリー2	９月４日（火）～９月９日（日）	バードカービング＆フェザーカービング100枚展	鈴木　隆
30	県民ギャラリー	９月４日（火）～９月９日（日）	写真サークル「カエル」作品展	砂川　めぐみ
31	県民ギャラリー1.2	９月11日（火）～９月17日（月）	JAGDA展示会　「たのしいデザイン」	JAGDA沖縄
32	県民ギャラリー3	９月15日（土）～９月16日（日）	N-CIS那覇情報システム　専門学校作品展	那覇情報システム専門学校
33	県民ギャラリー1	９月19日（水）～９月24日（月）	太陽のバトン	中島　隆太
34	県民ギャラリー2.3	９月19日（水）～９月23日（日）	村山　穂舟　書作展	村山　典子（穂舟）
35	県民ギャラリー1.2.3	９月26日（水）～９月30日（日）	沖縄国際芸術祭2018	クリエイト・アイエムエス(株)
36	県民ギャラリー1	10月２日（火）～10月８日（月）	COSMIC ART RIE	COSMIC ART RIE
37	県民ギャラリー2.3	10月２日（火）～10月８日（月）	與那嶺　芳恵　作品展	與那嶺　芳恵
38	県民ギャラリー1.2	10月10日（水）～10月14日（日）	第７回　大倫書道展	大倫書道会
39	県民ギャラリー3	10月10日（水）～10月12日（金）	下地敏一　Digital Illustration展	下地敏一
40	県民ギャラリー3	10月13日（土）～10月14日（日）	morisART　屋部憲光の作品展	屋部憲光

No.	使用ギャラリー	貸出期間	イベント名	主催者
41	県民ギャラリー1.2.3	10月16日（火）～10月21日（日）	第29回　沖美連展	一般社団法人　沖縄県美術家連盟
42	県民ギャラリー1.2	10月23日（火）～10月28日（日）	第25回　肢体不自由児・者の作品展	社会福祉法人　沖縄肢体不自由児協会
43	県民ギャラリー3	10月23日（火）～10月28日（火）	並里　幸太　焦土～緑がみる風景～	並里　幸太
44	県民ギャラリー1.2.3	10月30日（火）～10月31日（水）	平成30年度 沖縄県工芸公募展	沖縄県商工労働部ものづくり推進課
45	県民ギャラリー1.2.3	11月１日（火）～11月４日（日）	平成30年度 沖縄県工芸公募展	沖縄県商工労働部ものづくり推進課
46	県民ギャラリー1.2.3	11月６日（火）～11月11日（日）	第47回　沖縄県芸術文化祭	公益財団法人　沖縄県文化振興会
47	県民ギャラリー1.2.3	11月13日（火）～11月18日（日）	第47回　沖縄県芸術文化祭	公益財団法人　沖縄県文化振興会
48	県民ギャラリー1.2.3	11月20日（火）～11月25日（火）	第14回こころの芸術・文化　フェスティバル	一般社団法人　沖縄県作業療法士会
49	県民ギャラリー1.2.3	11月29日（木）～11月30日（金）	「小さな絵本展　Vol.9」	My Piece Art project
50	県民ギャラリー1.2.3	12月１日（土）～12月２日（日）	「小さな絵本展　Vol.9」	My Piece Art project
51	県民ギャラリー1.2.3	12月４日（火）～12月９日（日）	第45回やんばる展 北部総合芸術展	やんばる展実行委員会
52	県民ギャラリー1.2.3	12月12日（水）～12月16日（日）	沖縄県立浦添工業高等学校　インテリア科第34回卒業作品展	沖縄県立浦添工業高等学校　インテリア科
53	県民ギャラリー1	12月19日（水）～21月22日（土）	アパレル沖縄生産協同組合展示会	アパレル沖縄生産協同組合
54	県民ギャラリー3	12月21日（金）～12月23日（日）	第35回未来の科学の夢　絵画展	一般社団法人沖縄県発明協会
55	県民ギャラリー1	１月５日（土）～１月６日（日）	沖縄こども美術教室　作品展	沖縄こども美術教室（アーケイド）
56	県民ギャラリー1.2.3	１月11日（金）～１月13日（日）	平成30年度JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスター沖縄県コンクール展示会	全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部
57	県民ギャラリー1.2	１月16日（水）～１月20日（日）	第15回創元会沖縄支部展	創元会沖縄支部
58	県民ギャラリー3	１月18日（金）～１月20日（日）	第11回　卒業・進級展示会	総合学園ﾋｭｰﾏﾝｱｶﾃﾞﾐｰ那覇校
59	県民ギャラリー1.2.3	１月24日（木）～１月27日（日）	第17回沖縄県立小禄高等学校　芸術教養コース発表会	沖縄県立小禄高等学校
60	県民ギャラリー1.2.3	１月29日（火）～１月31日（木）	第１回　作業療法スタイルアート展	作業療法スタイルアート研究会
61	県民ギャラリー1.2.3	２月１日（金）～２月３日（日）	第１回　作業療法スタイルアート展	作業療法スタイルアート研究会
62	県民ギャラリー1	２月５日（火）～２月10日（日）	沖縄写真デザイン工芸学校ジュエリーデザイン科　卒業制作展	沖縄写真デザイン工芸学校　ジュエリー科
63	県民ギャラリー3	２月５日（火）～２月10日（日）	沖美連　新春展	一般社団法人沖縄県美術家連盟
64	県民ギャラリー1.2.3	２月12日（火）～２月17日（日）	沖縄県立芸術大学美術工芸学部・大学院造形芸術研究科　第30回卒業・修了作品展	沖縄県立芸術大学
65	県民ギャラリー1.2	２月23日（土）～２月24日（日）	YEAH! AMICUS CLUB ～3rd Annual Joint Exhibition～	沖縄学校法人アミークス国際学園
66	県民ギャラリー3	２月23日（土）	サンゴ礁ウィークイベント控室	サンゴ礁学会
67	県民ギャラリー1.2.3	２月28日（木）	第45回　沖縄県工芸振興センター展	沖縄県工芸振興センター
68	県民ギャラリー1.2.3	３月１日（金）～３月３日（日）	第45回　沖縄県工芸振興センター展	沖縄県工芸振興センター
69	県民ギャラリー1.2	３月５日（火）～３月10日（日）	第18回　押し花＆グラスアート合同作品展	沖縄ガイア押し花会
70	県民ギャラリー1.2.3	３月12日（火）～３月17日（日）	第17回　那覇市障がい者美術展	那覇市身体障害者福祉協会
71	県民ギャラリー1	３月19日（火）～３月24日（日）	琉球浪漫2019沖縄建築展	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部
72	県民ギャラリー2	３月20日（水）～３月24日（日）	The Beginning展	町田　隼人
73	県民ギャラリー3	３月21日（木）	無責任書道家	名嘉山　兼志
74	県民ギャラリー3	３月24日（日）	第７回　沖縄マシーネンクリーガー作品展示会	第7回沖縄ﾏｼｰﾈﾝｸﾘｰｶﾞｰ作品展示会実行委員会
75	県民ギャラリー1	３月26日（火）～３月31日（日）	東邦定写真展 Renatus	東邦定
76	県民ギャラリー2.3	３月28日（木）～３月31日（日）	琉球大・沖国大　合同写真展	琉大・沖国大　写真部

博 物 館

Ⅰ 調査研究等の活動
Ⅱ 展示活動
Ⅲ 教育普及活動
Ⅳ 資料収集・保存管理

Ⅰ 調査研究等の活動

１ 調査研究の概要

博物館の機能は、調査研究、資料収集・保管、資料の展示、教育普及活動という４つの大きな柱によって構成されている。これらは互いに相互に関連しているが、調査研究は他の機能の基礎となる重要な部分である。当館における調査研究活動は大きく３つに分けることができる。全学芸員が一地域を対象に実施する総合調査、他機関との共同研究、また学芸員自身がテーマを設けて行う個別の調査研究がある。

当館（博物館班）では、1980年から県内離島各地の自然・歴史・文化について調査・研究し、その成果を記録・報告することを目的に「博物館総合調査」を実施している。本調査が、他の学術調査と異なる点は、総合博物館の特性を活かし、各分野の学芸員を中心に調査員を構成することで分野を限定せず総合的に調査を実施している点である。そして、その成果は、報告書や展示会という形で、県民へ還元され、島々の自然・歴史・文化について理解を深めていただくとともに、自然環境の保全や文化的資料の保存に対する理解を浸透させることに役立てられている。

これまでの「博物館総合調査」をふりかえると、粟国島を皮切りに、現在までに20の島々で実施されてきた。調査報告書の刊行は、粟国島（1980年）、渡名喜島（1981年）、座間味島（1983年）、伊計島（1987年）、瀬底島（1988年）、与那国島（1989年）、浜比嘉島（1990年）、古宇利島（1991年）、久米島（1992年）、波照間島（1995年）、西表島（1997年）、小浜島（2002年）、与那国島（2005年）、竹富島（2012年）、鳩間島・新城（上地・下地）島・黒島（2016年）と続いており、2015年度から2018年度にかけては伊是名島・伊平屋島の調査を実施し、本年度は同地域の報告書を刊行した。

また、2019年度からは2023年度までを宮古諸島（宮古島市および多良間村）を調査地として決定した。今後の課題は、周辺離島の慶良間諸島においても調査は座間味島に限られており、手つかずの自然が残る無人島については調査の実績が無いので、将来の調査を課題としたい。

また、共同研究事業としては、国立科学博物館、東京大学と共同で、南城市玉城のハナンダガマ遺跡（2006・2007年度）、南城市玉城おきなわワールド内の武芸洞（2007～2010年度）、2011年度は武芸洞に加えて同敷地内のサキタリ洞を調査対象とした。2012年度から沖縄振興特別推進交付金対象事業（一括交付金）「沖縄遺産のブランド開発・発信事業」を立ち上げ、サキタリ洞遺跡の本調査を実施してきて、これまで９千年前以前のものと考えられる人骨や世界最古級（2.3万年前）の釣針が発見されたほか先史時代の貝器などが出土し、また、全国や世界的にも注目される貴重な成果を得て、同事業終了後も県予算をもって細々と調査を持続している。

また、一括交付金を活用した「琉球王国文化遺産集積・再興事業」の製作委託業務が４年目を迎え、王国ブランティングの有形無形の遺産を創出し、国内で唯一の王国文化を有した本県の文化観光の魅力の発信素材18件を製作し、これまでで65件のうち合計36件を製作した。さらに、平成28年度から開始された「デジタルミュージアム推進事業」は５か年計画の３年目を迎え、昨年度の６話につづき、本年度は25話を製作した。同事業は、3.3万話の県内各地域の民話（伝承話）テープの寄贈をうけて、無形遺産の収集、保存と活用をめざし優良民話の動画コンテンツ製作や配信し、沖縄の多様な言語文化や伝承文学を紹介する契機とするためのもので、地域性あふれる沖縄の方言の世界を紹介するもので、今後の本県の教育文化の貴重な資料になり得るものである。

学芸員個別の調査研究事業は、学芸員自身がテーマを設定し自主的に実施しているものや外部から依頼を受けて行うもの等様々である。その成果は論文の形で発表されるとともに、講演等の形でも生かされている。

2018年度における学芸員個々の調査研究等の活動状況は以下のとおりである。

（園原　謙）

２　博物館総合調査－伊是名島・伊平屋島総合調査－

総合調査事業は県内離島の自然・歴史・文化について、博物館各分野の学芸員が総合的に調査を実施し、その成果を記録・報告するとともに、当館の展示会等をとおして、島々の自然や文化を多くの県民に伝えることを目的としている。これまで、久米島、波照間島、西表島、小浜島、与那国島、竹富島、鳩間島、新城島、黒島についておもに現地調査をおこない、それらの成果をもとに、1996年に久米島展、2010年に八重山展を実施した。2016年度からは３年計画で伊是名島、伊平屋島の調査を行い、2018年度末に同調査の報告書を刊行した。2018年１月に実施された「移動展 in 伊平屋島」では、本調査結果の一部を展示し、地元の皆様へ紹介した。

【組織】

本調査組織は博物館班の学芸員(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)によって構成されるが、調査の精度を高めるため、予算の範囲内で館外の専門家を調査員として委嘱することがある。各調査員でテーマを設定し、適切な時期に調査を実施する。調査の際、テーマに沿ったデータの収集だけでなく、展示会を想定し、資料の収集（借用の可能性）や撮影にも努めている。

【2018年度調査実績】

山本　正昭（博物館班　主任学芸員）	2018年４月９日～４月13日（伊平屋島）
	2018年７月26日～７月27日（伊平屋島）
宇佐美　賢（博物館班　主任学芸員）	2018年５月２日～５月３日（伊平屋島）
	2018年７月26日～７月27日（伊平屋島）
園原　　謙（博物館班　班　　長）	2018年６月26日～６月27日（伊是名島）
大湾ゆかり（博物館班　主任学芸員）	2018年８月26日～８月28日（伊平屋島）
與那嶺一子（博物館班　主　　幹）	2018年10月16日～10月17日（伊是名島）
外間　一先（博物館班　主任学芸員）	2018年10月31日～11月１日（伊平屋島）
篠原あかね（博物館班　学　芸　員）	2018年10月16日～10月17日（伊是名島）
久部良和子（博物館班　主任学芸員）	2018年11月14日～10月15日（伊平屋島）

（菊川　章）

３　「一括交付金」活用事業

（１）琉球王国文化遺産集積・再興事業

一括交付金とは、沖縄の実情に即して、沖縄振興に資する沖縄の特殊性に基因する事業等を沖縄県が自主的に実施できる制度として創設された国から地方への交付金のことである。本事業は、それを活用し、戦後70年余を経て、戦災等により失われた王国時代の文化遺産を模造復元し、沖縄の手わざの力を、琉球王国文化のブランドとし、モノ（模造復元品）を通して、発信し沖縄をアピールする事業である。本事業には模造復元製作業務と発信業務があり、2015（平成27）年度から2021（令和３）年度までの７か年計画で、初年度の実施計画に沿って、模造復元製作（2016～2020年度：製作／2020年～2021年：報告書作成）を実施し、2019～2021年度には模造復元品を活用した発信を予定している。

2018（平成30）年度は、一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体と契約し、模造復元製作業務を実施した。2018年度は、８分野（絵画、木彫、石彫、漆芸、染織、陶芸、金工、三線）65件のうち35件の製作を行い、18件【絵画（孔子像及び四聖配像）、石彫（龍淵橋勾欄羽目）、漆芸（朱漆巴紋沈金大御供飯）、染織（木綿紺地格子に緯浮花織衣裳（袷）、木綿紺地緯絣に経浮花織衣裳、絹経縞ロートン織衣裳、苧麻紺地鶴に波頭文様紅型幕、絹紺地巴紋入松竹梅模様紅型風呂敷）、陶芸（擬宝珠型丁子風炉、赤絵枝梅竹文碗）、金工（三御飾（美御前御揃）金杯、御玉貫、千代金丸）、三線（江戸与那、志多伯開鐘、盛嶋開鐘、富盛開鐘、御拝領南風原型）】が完成した。

模造復元にあたっては、分野ごとに３名の監修者（計24名）を委嘱し、２回の監修者会議を開いた。各製作工程の中で、模造製作に当たる工人の選定、試作による製作指導、本製作の技法確認などがなされた。また、委員からは、分野を超えた横断的な本事業の成果への期待と、集積した情報の公開を希望する声が寄せられた。

模造復元の過程で新たな知見を数多く得ることができ、その成果は下記のとおり報告した。

〔報告会〕
日　　時：2018年５月27日（日）
場　　所：講堂
講　　師：喜屋武千恵・平良優季（絵画）、濱元朝和（石獅子）、仲宗根正廣（浮彫）、沖縄県立芸術大学模造復元製作チーム（紅型）、知花花織事業協同組合（経浮花織）、島袋常秀（赤絵枝梅竹文碗試作）、松田聖（御酒器・中城御殿耳盃）、仲嶺幹（三線試作）
参 加 者：150名

〔文化講座〕「円覚寺仁王像に秘められた歴史と復元制作への挑戦」
日　　時：2019年３月９日（土）
場　　所：講堂
講　　師：岡田　靖（一般社団法人木文研）
参 加 者：60名

〔発　　表〕OISTシンポジウム　ここからの芭蕉布・これからの芭蕉布　「琉球の文化遺産復元プロジェクト」
日　　時：2018年９月22日
場　　所：沖縄科学技術大学院大学（OIST）（OISTより依頼）
発 表 者：與那嶺一子

〔展　　示〕移動展 in 伊平屋島
日　　時：2019年１月18日～20日

場　　所：伊平屋村産業連携拠点センター
参 加 者：448名

〔論　　文〕
・大下浩司・下山進・下山裕子・宮城奈々・與那嶺一子「琉球王国文化遺産集積・再興事業における染織資料色材分析調査報告とその成果（Ⅰ）」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第12号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

報告会（2018年５月）の様子

模造復元品：龍淵橋勾欄羽目（龍）

（與那嶺　一子）

（２）デジタルミュージアム推進事業

本事業は、2015年度に当館に寄贈された沖縄の伝承話音声資料について、2016年度から2020年度までの５か年計画で、デジタルミュージアムを開設し、資料の体系的な保存・管理と80話の民話の動画コンテンツを制作により、Web上や常設展示室等で公開して、遠隔地へのサービス提供や来館者誘致、顧客満足度向上を実現することを目的としている。

題材とした伝承話音声資料とは、1973年から故遠藤庄治氏とその協力者たちが沖縄各地で収集した76,000話余の音声記録のうち、デジタル化済みの33,000話分の記録（カセットテープとデジタルデータ）である。沖縄では、戦争や日本語の標準語励行、生活の画一化等で口承伝承されてきた民話や伝説等が急速に失われつつある。　また、本来、地域の方言で語り継いできた話が、方言での話し手の減少や地域性が薄くなった現代では、口承だけで残すのが難しくなった。それゆえ、40年余の間に収集されたこれらの資料は沖縄県民にとって貴重な財産であり、その保存と活用は博物館の重要な使命といえる。

以上の理由により、この伝承話音声資料を無形文化遺産の一つとして捉え、適切な保管とデジタルデータを活用した展示コンテンツの開発を進めている。2018年度は、優良民話80話のうち以下に掲げた25話の動画コンテンツを制作した。これらは、2019年度に開設を予定しているデジタル民話ミュージアムで公開するとともに、当館の常設展、情報センター、上映会等で広く発信していき、また、検索システムを備えた民話のデータベースの公開も順次行う計画である。

【2018年度制作の動画コンテンツ】
・本島北部地域６件：１国頭村「猿長者」（金城ナベ）、２東村「京阿波根親方」（久高将亀）、３大宜味村「ブナガヤの材木運び」（仲村ナベ）、４名護市「海の神山の神」（山本川恒）、５伊平屋村「尚円王」（西江幸徳）、６恩納村「もの言う牛」（石川元助）
・本島中部地域７件：７与那城村「平安座ハッタラーの話」（屋宜憲史）、８西原町「犬の足」（西原裕昌）、９北中城村「雨蛙不孝」大田ヨシ子、10具志川市「長命比べ」（古謝振裕）、11うるま市石川「蛇婿入り」（新垣ミツ）、12嘉手納町「屋良ムルチ」（宮城巳知子）、13宜野湾市「猿長者」（大川ウト）
・本島南部地域４件：14南風原町「猿長者」（大城常造）、15南風原町「飛び安里」（仲村マカト）、16那覇市「黄金の瓜実」（久高ウシ）、17粟国村「神里節由来」（豊村幸徳）、18久米島仲里村「堂ヌ比屋の唐渡り」（与座春子）
・宮古地域　　３件：19伊良部町「アガリパトルマ若按司」（佐和田カニ）、20伊良部町「猿長者」（山口カナ）、21多良間村「ウズラと野火と歌」（嘉味田マシラ）
・八重山地域　４件：22石垣市「猿長者」（黒島善周）、23竹富町竹富島「ニーウスビの神の話」（大山功）、24竹富町波照間「猿長者大歳の客」（勝連文雄）、25与那国町「子売りふぁー鳥」（前栗蔵永渡）

（大湾　ゆかり）

４ 調査・研究・講演・著作論文等

園原　謙（博物館班副参事兼博物館班長／美術工芸）

○調査・研究等

・展示会事前調査：2019年度企画展「台湾展」（仮称）の事前調査及び協力機関との調整のため（国史館（台北市）、国立台湾史前文化博物館（台東市）、故宮博物院（台北市）、国立台湾博物館（台北市））（2018年６月５日～８日）

・総合調査：伊是名所在の三線調査のため（伊是名村産業支援センター）（2018年６月26日～27日）

・第66回全国博物館大会：全国博物館大会で博物館での永年勤続表彰のため参加（東京都台東区上野公園）（2018年11月27日～29日）

・展示会事前調査：企画展「沖縄が誇る家宝の三線展」（２月５日開会）の出品資料の集荷のため（鎌倉市）（2018年12月20日～21日）

・琉球王国文化遺産集積・再興事業調査：木彫（仁王像）の監修者会議（名古屋市）（2019年３月７日～８日）

○講演・学会発表等

・名　　称：歴史・文化講座（県立博物館見学）
　期　　日：2018年10月４日（木）
　場　　所：美術館講座室・博物館常設展示室
　依頼機関：沖縄自治研修所

・名　　称：2018年沖縄県博物館協会　秋の研修会　「これからの博物館－21世紀を生きぬく「対話と連携」の博物館づくり－」
　期　　日：2018年12月６日（木）
　場　　所：恩納村立博物館　研修室
　依頼機関：沖縄県博物館協会

・名　　称：学芸員講座「三線の正体－三線の正体－棹や胴の銘書きからわかること－」
　期　　日：2019年２月９日（土）
　場　　所：博物館講座室
　依頼機関：当館主催

・名　　称：県産三線普及ブランド化委員会シンポジウム
　期　　間：2019年２月16日（土）
　場　　所：講堂
　依頼機関：沖縄県三線製作事業協同組合

・名　　称：伝統的工芸品指定の小委員会
　目　　的：経済産業省産業構造審議会　製造産業分科会　第４回伝統的工芸品指定小委員会で伝統的工芸品（三線）の新規指定についての審議
　期　　間：2018年８月15日（水）～17（金）
　場　　所：経済産業省

・名　　称：クロストーク　表題「銘書き古三線とその製作者の系譜について」
　期　　日：2019年１月24日（土）14:00～16:00
　場　　所：国立劇場おきなわ
　依頼機関：アジア・太平洋文化交流ネットワーク in 沖縄

・名　　称：放送大学学園「「博物館概論2018」の講義収録のため」
　期　　間：2019年２月５日（火）～７日（木）
　場　　所：放送大学学園（千葉県）
　依頼機関：放送大学学園

○著作論文等

・「『ヤーヌタカラ（家宝）』となった三線」、「コラム　琉球三線楽器保存・育成会の活動の一例－島袋正雄・比嘉常俊両先生との思い出－」『沖縄が誇る家宝の三線展』（図録）　沖縄県立博物館・美術館　2019年２月

・「伊是名・伊平屋所在の三線について」『伊是名島・伊平屋島総合調査報告書』　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

・「銘書き三線棹・附胴とその三線製作者の系譜」共著（仲嶺幹・玉城あゆみ）『沖縄県立博物館・美術館博物館紀要』第12号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

・「コラム　カンボジア王国の博物館　トゥールスレン博物館が発信する「平和文化」創造の博物館づくり」『博物館概論2018年』　放送大学出版　2019年１月

與那嶺　一子（主幹／美術工芸）

○調査・研究等

・模造復元に係る琉球古刺繍勉強会（2018年７月31日・９月４日～５日・10月２日・11月４日）

・模造復元に係る琉縫勉強会（2018年10月22日）

・総合調査（伊是名島）（2018年10月16日～17日）

・バーゼル民族学博物館（Museum der Kulturen Basel）における琉球コレクション調査（2018年12月16日）

○講演等

・名　　称：学芸員講座「“染織こぼればなし”美の秘密を探る」
　期　　日：2018年６月３日（日）
　場　　所：博物館講座室

・名　　称：平成30年度　鳥取看護大学・鳥取短期大学公開講座「琉球の絣」
　期　　日：2018年７月20日（金）
　場　　所：倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
　依頼機関：鳥取看護大学・鳥取短期大学

・名　　称：OISTシンポジウム　ここからの芭蕉布・これからの芭蕉布「琉球の文化遺産復元プロジェクト」
　期　　日：2018年９月22日（土）
　場　　所：沖縄科学技術大学院大学（OIST）
　依頼機関：沖縄科学技術大学院大学（OIST）

・名　　称：第62回九州ブロック沖縄大会　第48回全国和裁研究会「沖縄の染織」
　期　　日：2018年10月３日（水）
　場　　所：講堂
　依頼機関：日本和裁士会沖縄県支部

・名　　称：International Symposium : Arts of the Ryukyu Kingdom “Textiles of Ryukyu　-The background of *Bingata* dyeing-”
　期　　日：2018年12月14日（金）
　場　　所：University of Zurich
　依頼機関：University of Zurich

○著作論文等

・大下浩司・下山進・下山裕子・宮城奈々・與那嶺「琉球王国文化遺産集積・再興事業における染織資料色材分析調査報告とその成果（Ⅰ）」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』12号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

・「伊平屋島・伊是名島における染織の概要」『伊是名島・伊平屋島総合調査報告書』　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

篠原　あかね（学芸員／美術工芸）

○調査・研究等

・館蔵陶磁器悉皆調査（2018年４月18日、５月16日、５月23日、12月20日）

・2018新北市考古生活フェスティバル参加、新北市立十三行博物館（台湾）（2018年４月25日～30日）

・沖縄県博物館協会総会及び春の研修会（沖縄県立博物館・美術館及び南風原町）（2018年５月10日～11日）

・琉球王国文化遺産集積・再興事業関連（2018年～2019年）
染織部会第１回監修者会議（６月６日）／陶芸部会第１回監修者会議（６月29日）／絵画部会ワーキング「孔子像及び四聖配像」模造復元の表具裂の検討（７月20日）／絵画部会ワーキング　九州国立博物館所蔵　孫億筆「花鳥図巻」熟覧調査（７月31日）／絵画部会第１回監修者会議（８月１日）／染織模造復元に係わる調査（８月３日）／染織部会ワーキング「苧麻紺地鶴に波頭文様紅型幕」調査（８月16日）／三線部会ワーキング調査（８月29日）／染織部会ワーキング紅型（名古屋松坂屋コレクション）調査（８月31日）／染織部会　琉球古刺繍ワークショップ（９月４日～５日）／陶芸部会　絵付けに係わるワーキング（９月20日）／絵画部会ワーキング「孔子像及び四聖配像」表具裂の検討（９月28日／陶芸部会「赤絵枝梅竹文碗」絵付け調査（10月６日）／陶芸部会「赤絵枝梅竹文碗」絵付けに係わるワーキング（10月27日）／陶芸部会「円覚寺鬼瓦」試作品製作立ち会い（12月17日～20日）／陶芸部会第２回監修者会議（２月24日）／絵画部会第２回監修者会議（３月６日）

・絵画資料「虎の絵」熟覧調査（2018年６月14日）

・公益財団法人陽明文庫蔵琉球関係資料調査（2018年７月３日～６日）

・大宜味村にて製作中の湧田窯調査（2018年７月18日）

・第11回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー（2018年９月10日～14日）

・島常賀作シーサー調査（万国津梁館）（2018年９月21日）
・山口宗季筆絵画調査（2018年10月５日）
・総合調査（伊是名島）（2018年10月16日～17日）
・こどものためのジオカーニバル（大阪市立自然史博物館）（2018年11月２日～３日）
・九州博物館協議会秋の研修会（2018年11月７日～10日）
・琉球絵画光学調査立ち会い（2018年11月13日～16日）
・MOA美術館シンポジウム（2018年11月24日～25日）
・漆器レントゲン撮影調査（2018年12月19日）
・「朱漆山水人物箔絵東道盆」調査（浦添市美術館蔵）（2018年12月27日）

○講演・学会発表等
・名　　称：常設展示解説会
　期　　日：2018年５月10日（木）
　場　　所：博物館常設展示室
・名　　称：学芸員講座「きれいな模様・おもしろい形」
　期　　日：2018年７月15日（日）
　場　　所：博物館講座室
・名　　称：夏休み学芸員教室「やきものを作ろう！」
　期　　日：2018年７月27日（金）
　場　　所：博物館実習室
・名　　称：球陽高校出前授業「琉球の美術工芸」
　期　　日：2018年８月28日（火）

○著作論文等
・「博物館70年のあゆみと開館10周年記念事業について」『博物館研究Vol.53　№.６　通巻600号』　公益財団法人日本博物館協会　2018年
・展評「人間国宝　金城次郎展」2018年６月22日　琉球新報
・展評「松田共司作陶展」2018年10月31日　沖縄タイムス
・「資料紹介：日輪双鳳雲牡丹文石皿片と関連資料について」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第12号　沖縄県立博物館・美術館　2019年3月29日
・「伊平屋島の陶器について－白釉獅子香炉とふれあい民俗館所蔵品の紹介」『伊是名島・伊平屋島総合調査報告書』　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

外間　一先（主任学芸員／歴史）

○調査・研究等
・歴史部門展示『熱闘　高校野球　本気の夏　100回目』展に関する調査（那覇市、宜野湾市、うるま市等）（2018年４月５日～９月８日）
・沖縄県博物館協会総会及び春の研修会（沖縄県立博物館・美術館及び南風原町）（2018年５月10日～11日）
・沖縄平和国際研究所の資料調査（那覇市、宜野湾市）（2018年５月12日～６月23日）
・九州高等学校地歴公民科教育研究会（沖縄県立博物館・美術館及び沖縄市）（2018年７月26日～27日）
・琉球王国文化遺産集積・再興事業漆芸分野「朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯」模造復元に関するワーキング会議（2018年8月14日・9月11日）
・総合調査：「伊平屋村田名区所蔵の馬の鞍について」（伊平屋村、うるま市、沖縄市）（2018年９月25日～27日、10月31日～11月１日）
・沖縄県の灯台と海図の歩みについて（第11管区海上保安本部、読谷村）（2018年９月10日～10月29日）
・県内高等学校における主権者教育の取り組みについて（那覇市、浦添市、宮古島市）（2018年９月28日～11月13日）
・第11代齋藤用之助資料に関する調査（沖縄県立博物館・美術館、佐賀県）（2018年10月17日、11月30日～12月１日）
・沖縄県博物館協会秋の研修会（恩納村博物館、世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム）（2018年12月６日～７日）
・1974年伊平屋島の映像に関する調査（沖縄県立博物館・美術館、沖縄タイムス社、八重瀬町、浦添市、伊平屋村）（2018年９月18日、12月10日、2019年１月16日、２月８日、３月７日）
・東恩納博物館跡測量資料及び現地調査（うるま市教育委員会教育部文化財課、うるま市石川東恩納）（2019年３月13日）
・資料収集に関する調査「朱漆巴紋沈金透彫足付盆」他（北海道札幌市）（2019年３月18日～19日）

○講演・学会発表等
・名　　称：博物館学芸員講座「沖縄・高校野球ネバーエンディングストーリー熱闘本気の夏100回目」
　期　　日：2018年５月12日（土）
・名　　称：琉球朝日放送QABニュースQプラス「熱闘　高校野球展　栽監督のノートについて」
　期　　日：2018年６月５日（火）
　依頼機関：琉球朝日放送株式会社
・名　　称：琉球放送RBCiラジオ「恋するお仕事　熱闘高校野球展と博物館の仕事」
　期　　日：2018年６月８日（金）、６月15日（金）
　依頼機関：琉球放送株式会社
・名　　称：FM沖縄オリオンビアブレイク知っているようで知らない沖縄「県立博物館・美術館のこと」
　期　　日：2018年７月５日（木）～26日（木）
　依頼機関：株式会社エフエム沖縄
・名　　称：NHK沖縄放送局　沖縄金曜クルーズきんくる「甲子園100回！うちな～高校野球物語～」
　期　　日：2018年７月13日（金）
　依頼機関：NHK沖縄放送局
・名　　称：こどもフェスタ夏休み学芸員教室「琉球ボードゲーム！チュンジー対決」
　期　　日：2018年７月25日（水）
・名　　称：NHK沖縄放送局ラジオ第１放送　沖縄熱中倶楽部７月号「沖縄の高校野球」
　期　　日：2018年７月27日（金）
　依頼機関：NHK沖縄放送局
・名　　称：出前授業　本部町立上本部中学校「平和学習　本島北部と南部の沖縄戦」
　期　　日：2018年９月20日（木）
　依頼機関：本部町立上本部中学校
・名　　称：出前授業　沖縄県立首里東高等学校「主権者教育　高校生と県知事選挙」
　期　　日：2018年９月27日（木）～10月２日（火）
　依頼機関：沖縄県立首里東高等学校
・名　　称：平成30年度石嶺公民館市民講座　「懐かしの沖縄　戦前の白黒映像と復帰前後の映像」
　期　　日：2018年10月24日（水）
　依頼機関：那覇市石嶺公民館
・名　　称：出前授業　沖縄県立宮古高等学校「明治維新と琉球・中国・日本そして宮古島」
　期　　日：2018年11月12日（日）～13日（火）
　依頼機関：沖縄県立宮古高等学校
・名　　称：平成30年度石嶺公民館市民講座　「懐かしの沖縄　戦後から復興していく沖縄の街並」
　期　　日：2018年11月25日（日）
　依頼機関：那覇市石嶺公民館
・名　　称：出前授業　伊平屋村高齢者生活福祉センターとらず園「1974年伊平屋島の８ミリ映像」
　期　　日：2019年１月16日（水）
　依頼機関：伊平屋村高齢者生活福祉センターとらず園
・名　　称：社会人講話「沖縄県立博物館・美術館　学芸員は雑芸員！」
　期　　日：2019年２月15日（金）
　依頼機関：沖縄県立首里高等学校
・名　　称：JICA横浜研修員スタディツアー「平和学習　日本復帰後の沖縄」
　期　　日：2019年３月４日（日）、11日（日）
　依頼機関：JICA横浜
○著作論文等
・「伊平屋島の鞍について」『伊是名島・伊平屋島　総合調査報告書』　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月15日
・「高校野球と沖縄　『熱闘　高校野球　本気の夏100回目』展より」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第12号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月29日
・展評「民藝と壺屋焼展を見て」2018年12月18日　沖縄タイムス

久部良　和子　（主任学芸員／歴史）
○調査・研究等
・平成30年度企画展「台湾　～黒潮でつながる隣ジマ～」における資料調査及び調整（台湾）（2018年６月５日～８日、2019年３月15日～18日）
・平成30年度企画展「台湾　～黒潮でつながる隣ジマ～」における資料調査及び調整（石垣島・宮古島調

査）（2018年10月10日～12日）
・平成30年度企画展「台湾　～黒潮でつながる隣ジマ～」における資料調査及び調整（大阪民族学博物館調査）（2018年10月17日～19日）
・平成30年度企画展「台湾　～黒潮でつながる隣ジマ～」における資料調査及び調整（東京調査）（2018年11月29日～12月２日）
・平成30年度総合調査（喜界島調査　2018年11月17日～19日）
・平成30年度移動展展示作業（伊平屋島調査　2019年１月19日～20日）
・平成30年度琉球王国文化遺産集積・再興事業（木彫部会）ワーキング会議（名古屋）（2018年12月21日～22日／木彫部会第２回監修者会議参加（名古屋）（2019年３月７日～８日）

○講演・学会発表等
・名　　称：2018年度　日台学術シンポジウム「台湾史研究の軌跡と展望」
　期　　日：2018年10月６日（土）
　場　　所：中京大学社会科学研究所
・名　　称：博物館学芸員講座「台湾セーダッカ族の祖霊観「共同墓地」30年の変容から考える」
　期　　日：2018年11月10日（土）
・名　　称：第44回全国歴史資料保存利用連絡協議会・沖縄大会研修会
　内　　容：「語られる沖縄戦　－『沖縄県史』編さんに用いた戦争体験証言記録と公文書館」
　期　　日：2018年11月８日（木）
　場　　所：沖縄県市町村自治会館

大湾　ゆかり（主任学芸員／民俗）

○調査・研究等
・琉球藍の藍壺調査（本部町）（2018年４月３日）
・砂辺家門中の清明祭調査（読谷村）（2018年４月10日）
・具志家古文書史料調査（2018年５月22日）
・琉球藍製造の調査（本部町・名護市・大宜味村）（2018年５月24日、５月31日、６月15日）
・久部良家33年忌儀礼調査（与那国町）（2018年５月27日～29日）
・文化庁公開承認施設会議（東京都）（2018年６月20日～21日）
・金武御殿五月ウマチー調査（那覇市）（2018年６月28日）
・民話の話者調査（石垣市・竹富町・大宜味村・国頭村等）（2018年７月19日～21日、８月16日）
・伊平屋総合調査（田名のウンジャミ）（伊平屋村）（2018年８月26～28日）
・塩屋湾のウンガミ調査・謝名城のウンジャミ調査（大宜味村）（2018年９月４日～５日）
・宇那志門中中城マーイ（中城村等）（2018年９月15日）
・平安座島古墓調査（うるま市）（2018年11月23日）
・蓼藍製造調査（徳島市）（2018年12月４日～６日）
・民話の話者調査（沖縄市・うるま市等）（2019年３月19日）

○講演等
・名　　称：夏休み！博物館学芸員教室「民具手帳を作ろう！」
　期　　日：2018年７月24日（火）
・名　　称：博物館学芸員講座「沖縄の民話からみた民俗文化の世界－デジタル民話ミュージアムの開設に向けて－」
　期　　日：2018年９月１日（土）
・名　　称：沖縄民俗学会９月例会「民話の伝承にみえる民俗文化－デジタルミュージアム推進事業を通して－」
　期　　日：2018年９月22日（土）
　依頼機関：沖縄民俗学会
・名　　称：第59回日本風俗史学会大会　特別講演「近代沖縄における琉球藍の製藍業とその社会背景について」
　期　　日：2018年12月１日（土）
　依頼機関：日本風俗史学会

○著作論文等
・「伊平屋島田名と我喜屋の祭祀儀礼と神役継承の現状について」（共著）『伊是名島・伊平屋島総合調査報告書』　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

菊川　章　　（主任学芸員／生物）

○調査･研究等

・沖縄石の文化博物館および大石林山資料調査（2018年４月26日）
・沖縄県博物館協会春の研修会参加（南風原町）（2018年５月11日）
・本部町伊豆味洞窟調査（2018年６月５日）
・夏休み学芸員教室のためのダンゴムシ調査および採集（那覇市、南風原町）（2018年６月13日）
・平成30年度　学芸員専門研修アドバンスト・コース参加（国立科学博物館）（2018年11月５日～８日）
・（有）湘南剥製研究所（神奈川県）剥製及び骨格標本製作に係る調整および資料調査（2018年11月９日）
・沖縄県博物館協会秋の研修会参加（恩納村、読谷村）（2018年12月６日～７日）
・兵庫県立人と自然の博物館展示資料および収蔵庫資料調査（2019年３月22日）
・国立科学博物館「哺乳類展２」展示資料調査（2019年３月26日）

○講演等

・名　　称：科学技術週間イベント・カガクジカン「自然史系バックヤードツアーと収蔵品の重要性」
　期　　日：2018年４月21日（土）小学生以上　15名
　場　　所：博物館バックヤード
・名　　称：夏休み学芸員教室「ダンゴムシ迷路づくり」
　期　　日：2018年７月26日（木）小･中学生　20名
　場　　所：博物館実習室
・名　　称：那覇市立天久小学校職員研修「自然史系常設展示の解説」
　期　　日：2018年７月31日（火）　20名
　場　　所：博物館常設展示室
　依頼機関：那覇市立天久小学校
・名　　称：博物館学芸員講座「おきなわ生きものカルタで学ぶ沖縄の自然と生きものたち」
　期　　日：2018年10月６日（土）　20名
　場　　所：博物館講座室
・名　　称：沖縄市サイエンスフェスタ2018　出展
　期　　日：2018年10月21日（日）
　場　　所：沖縄市立体育館（アリーナ）
・名　　称：琉大ジュニアドクター育成塾　特別講義「生物の形について考える」　小中学生　15名
　期　　日：2018年12月27日（木）
　場　　所：博物館実習室および常設展示室
　依頼機関：琉球大学
・名　　称：なごサイエンスフェスタ2019　出展
　期　　日：2019年１月26日（土）
　場　　所：名護21世紀の森体育館（メインアリーナ）
・名　　称：おきなわサンゴ礁ウィーク関連催事・サンゴの日は博物館へサンサンゴーゴー！
　内　　容：ワークショップ「砂になった生きものを探そう！」海の万華鏡づくりほか
　　常設展示解説会「サンゴ礁関連展示解説」
　期　　日：2019年３月３日（土）
　場　　所：エントランスホール、博物館常設展示室

○著作論文等

・「沖縄県立博物館・美術館における両生類および陸生爬虫類の標本資料の収蔵状況」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第12号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

宇佐美　賢（主任学芸員／地学）

○調査・研究等

・地質調査（読谷村）（2018年４月３日）
・沖縄石の文化博物館資料調査（国頭村）（2018年４月26日）
・博物館総合調査：分析試料採取（伊平屋島）（2018年５月２日～３日）
・沖縄島南部の石碑の石材調査（2018年６月２日）
・本部町洞窟調査（2018年６月５日）
・地質・地形調査（与那国島）（2018年６月14日～15日）
・地質・地形調査（沖縄島南部）（2018年７月７日）
・地質調査（本部町）（2018年７月10日）
・博物館総合調査（伊平屋島）（2018年７月26日～27日）
・地質調査：資料収集（国頭村）（2018年８月６日）
・新潟県糸魚川市調査（ヒスイ）：資料収集（2018年８月７日～10日）
・名護市天仁屋調査（嘉陽層）（2018年年９月８日）

・地質地形調査：資料収集（伊江島）（2018年10月30日）
・浦添市、八重瀬町調査（琉球石灰岩：粟石）（2018年11月６日）
・博物館総合調査：資料収集（伊平屋島）（2018年11月29日～30日）
・グスク展関連調査：資料収集（与論島調査）（2018年12月４日～５日）
・貝化石、岩石資料調査：資料収集（今帰仁村、名護市調査）（2019年２月７日）
・学芸員講座ジオツアー下見：名護市嘉陽層調査（2019年３月８日）
・地質地形調査：資料収集（石垣島調査）（2019年３月11日～12日）
・資料収集：名護市、恩納村調査（嘉陽層・名護層）（2019年３月18日）

○講演等

・名　　称：常設展示室展示解説会
　期　　日：2018年４月12日（木）
・IPM研修（博物館ボランティア対象）
　期　　日：2018年４月20日（金）
・名　　称：科学技術週間イベント「カガクジカン」（わくわく博物館の科学：自然史系バックヤードツアーと収蔵品の重要性）
　期　　日：2018年４月21日（土）
・名　　称：ボランティア養成講座
　期　　日：2018年５月18日（金）
・名　　称：バックヤードツアー
　期　　日：2018年５月26日（土）
・名　　称：夏休み　博物館学芸員教室「アンモナイトのヒミツをさがせ！」
　期　　日：2018年７月24日（火）
・名　　称：出前授業「浦添市の地形・地質」（浦添地区中学校理科教諭職員研修）
　期　　日：2018年７月28日（土）
　場　　所：浦添中学校及び浦添城跡周辺
・名　　称：こどものためのジオカーニバル
　期　　日：2018年11月３日（土）～４日（日）
　場　　所：大阪市立自然史博物館
・名　　称：博物館周辺のビル等の石材（博物館ボランティア勉強会）
　期　　日：2018年11月９日（金）
・名　　称：出前授業（天体望遠鏡のしくみと今日の星空）
　期　　日：2019年１月17日（木）
　場　　所：伊平屋中学校
・名　　称：出前授業（伊平屋島の地形・地質）
　期　　日：2019年１月18日（金）
　場　　所：伊平屋小学校
・名　　称：移動展 in 伊平屋村におけるフィールドツアー（伊平屋島の遺跡と地形・地質）
　期　　日：2019年１月19日（土）
　場　　所：伊平屋島
・名　　称：移動展 in 伊平屋村における星空観察会
　期　　日：2019年１月19日（土）
　場　　所：伊平屋島
・名　　称：名護サイエンスフェスタ
　期　　日：2019年１月26日（土）
・名　　称：慶良間諸島国立公園指定５周年記念「慶良間諸島の地形・地質観察会、講演会」
　期　　日：2019年２月23日（土）～24日（日）
　場　　所：阿嘉島、慶良間諸島国立公園さんごゆんたく館
・名　　称：サンゴ礁ウィークイベント「サンサンゴーゴー」常設展示解説会
　期　　日：2019年３月３日（土）
・名　　称：学芸員講座（ジオツアー　名護市嘉陽層の褶曲）
　期　　日：2019年３月23日（土）
　場　　所：現地

○著作論文

・「那覇市泉崎の地下層から産出した材化石とその堆積年代及び堆積環境」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第12号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

山本　正昭（主任学芸員／考古）

○調査・研究等

・総合調査事業に係る調査研究（伊平屋村）（2018年４月９日～13日、７月26日～27日）
・沖縄県博物館協会春の研修会（南風原文化センター）（2018年５月18日）
・沖縄県博物館協会秋の研修会（恩納村博物館・ユンタンザミュージアム）（2018年12月６日～７日）
・特別展『グスク・ぐすく・城』に係る資料調査（東京特別区・千葉県佐倉市）（2018年10月４日～６日）
・特別展『グスク・ぐすく・城』に係る資料調査（伊平屋村）（2018年11月28日～29日）
・特別展『グスク・ぐすく・城』に係る資料調査（東京都多摩市・埼玉県坂戸市）（2018年11月30日～12月１日）
・特別展『グスク・ぐすく・城』に係る資料調査（鹿児島県大島郡与論町）（2018年12月４日～５日、2019年３月２～３日）
・特別展『グスク・ぐすく・城』に係る資料調査（久米島町）（2018年12月20日～21日）
・特別展『グスク・ぐすく・城』に係る資料調査（愛知県名古屋市）（2019年１月７日～８日）
・特別展『グスク・ぐすく・城』に係る資料調査（鹿児島県大島郡喜界町・伊仙町）（2019年３月13日～16日）
・特別展『グスク・ぐすく・城』に係る資料調査（宮古島市）（2019年３月19日）
・特別展『グスク・ぐすく・城』に係る資料調査（福建省・上海市）（2019年３月20日～26日）
・「アジア民衆史の多重境界性に関する実証的研究」（宮古島市）2018年12月22日～24日、26日～29日）
・模造復元に係る金工調査（京都市　美術院、龍村美術織物）（2019年１月18日～19日）

○講演・学会発表等

・名　　称：沖縄県立博物館・美術館学芸員講座「沖縄の城　その起源について」
　期　　日：2018年４月14日（土）
　場　　所：講堂
・名　　称：歴史文化講座『考古学ってなんだろう』「那覇湊の周辺の城と琉球王国の倭寇対策について」
　期　　日：2018年６月３日（日）
　場　　所：那覇市歴史博物館
　依頼機関：那覇市歴史博物館
・名　　称：平成30年度県立糸満青少年の家自主事業「南部城跡巡り」・「グスクとは何か」
　期　　日：2018年８月11日（土）
　場　　所：糸満青少年の家
　依頼機関：沖縄県立糸満青少年の家
・名　　称：島嶼歴史工作坊・澎湖諸島與琉球　「グスク時代とグスクの成立」
　期　　日：2018年９月19日（水）
　場　　所：國立成功大學
　依頼機関：國立成功大學考古学研究所
・名　　称：与論郷土研究会定12月例会「与論グスクの復元模型製作プロジェクト」
　期　　日：2018年12月４日（火）
　場　　所：与論町交流センター
　依頼機関：与論郷土研究会
・名　　称：移動展 in 伊平屋村におけるジオ・遺跡ツアー
　期　　日：2019年１月20日（日）
　場　　所：伊平屋島・野甫島
・名　　称：おきみゅー旧正月イベント　考古部門展示室解説会
　期　　日：2019年２月９日（土）～10日（日）
　会　　場：博物館実習室
・名　　称：考古学から見た「近世琉球」公開対談　「『グスク時代』から見た『近世琉球』」
　期　　日：2019年２月11日（月）
　会　　場：博物館実習室
　依頼機関：城西大学経営学部石井研究室
・名　　称：沖縄県立博物館・美術館体験講座「ヤコウガイの謎（なぞ）」
　期　　日：2019年２月22日（金）
　場　　所：博物館実習室
・名　　称：公開シンポジウム　宮古諸島における15～17世紀の集落「琉球列島における15世紀から17世紀にかけての集落遺跡にみる変容」
　期　　日2019年３月９日（土）
　会　　場　宮古島市中央公民館

依頼機関　宮古島市教育委員会

○著作論文等

・「遺跡から宮古と倭寇との関係を考える②」『宮古郷土史研究会会報』№226　同会　2018年５月
・『南島考古入門―掘り出された沖縄の歴史・文化―』（共著）　沖縄考古学会編　ボーダーインク　2018年６月
・「宮古島狩俣集落　土塁調査概報」（共著）『東南アジア考古学』第38号　東南アジア考古学会　2018年11月
・「城壁の『かたち』で見る海外からの影響について―福建省の城郭と沖縄のグスク―」『しまたてぃ』№87　一般社団法人沖縄しまたて協会　2019年１月
・『沖縄の名城を歩く』（共著）　吉川弘文館　2019年２月
・「グスクの石積み遺構に係る若干の考察―周辺地域との関係性を射程に入れて―」『沖縄県立博物館・美術館紀要』第12号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月
・「伊平屋島内のグスクに見られる石積みの形態と構造について―田名グスクを中心に―『伊是名島・伊平屋島総合調査報告書』　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月
・「琉球列島における15世紀から17世紀にかけての集落遺跡にみる変容―沖縄本島を中心に―」『平成30年度地域の特色ある埋蔵文化財公開活用事業　宮古諸島における15～17世紀の集落』№３　宮古島市教育委員会　2019年３月
・「グスク時代とグスクの成立」『沖縄県史　図録編　前近代』　沖縄県教育委員会　2019年３月
・「グスクの役割(機能)の変化」同上
・「絵地図からみた集落・都市空間」同上
・「琉球王権の文様」同上
・「第２章 展示活動　第３節　特別展・企画展を振り返って 考古」『開館10周年記念誌　10年のあゆみ』沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

山崎　真治（主任学芸員／人類）

○調査・研究等

・2018新北市考古生活フェスティバル参加、新北市立十三行博物館（台湾）（2018年４月25日～30日）
・特別展「縄文と沖縄」関連資料調査（沖縄市立郷土博物館）（2018年５月22日）
・特別展「縄文と沖縄」関連資料調査（沖縄県立芸術大学）（2018年６月８日）
・資料収集（図書）（那覇市楚辺）（2018年６月28日）
・科学研究費基盤Ａ「ホモ・サピエンス躍進の初源史」会議出席（東京大学）（2018年６月24日～25日）
・特別展「縄文と沖縄」関連資料調査（沖縄県立埋蔵文化財センター）（2018年７月３日）
・特別展「縄文と沖縄」関連資料調査（沖縄県立埋蔵文化財センター）（2018年７月12日）
・医学部解剖学教室セミナー参加（琉球大学医学部）（2018年７月19日）
・基準点測量調査（おきなわワールド）（2018年７月20日）
・サキタリ洞遺跡発掘調査（2018年７月25日～８月31日）
・特別展「縄文と沖縄」関連資料調査（東京国立博物館）（2018年８月４日～５日）
・金武町洞穴遺跡発掘調査視察（金武町）（2018年８月13日）
・科学研究費に係る資料調査（岐阜県羽島市（パレオ・ラボ））（2018年９月10日～11日）
・特別展「縄文と沖縄」関連資料調査（今帰仁村歴史文化センター）（2018年９月13日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料借用（神奈川、長野、新潟、長崎、福岡）（2018年９月24日～10月２日）
・特別展「縄文と沖縄」関連資料調査（世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム）（2018年10月17日）
・特別展「縄文と沖縄」北谷会場列品作業（2018年11月２日）
・特別展「縄文と沖縄」関連資料借用（伊是名村教育委員会）（2018年11月５日～６日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る調査研究成果の記者発表（2018年11月７日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料借用（南城市、八重瀬町、糸満市）（2018年11月７日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料借用（沖縄県立芸術大学、沖縄県立埋蔵文化財センター）（2018年11月９日）
・鹿児島県伊仙町天城遺跡調査視察（鹿児島県伊仙町）（2018年12月３日～５日）
・九州旧石器文化研究会現地見学随行（石垣市白保竿根田原洞穴遺跡）（2018年12月７日～８日）
・新北市立十三行博物館特別展「Hi, 海」撤収作業（新北市立十三行博物館）（2018年12月10日～13日）
・沖縄県史図説編に係る資料調査（浦添市歴史にふれる館）（2019年１月９日）
・沖縄県史図説編に係る資料調査（沖縄県立埋蔵文化財センター）（2019年１月10日～11日）
・港川フィッシャー遺跡整備検討委員会（八重瀬町）（2019年１月15日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料返却（沖縄県立芸術大学）（2019年１月25日）

・特別展「縄文と沖縄」に係る資料返却（神奈川、長野、新潟）（2019年１月29日～２月３日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料返却（長崎、福岡）（2019年２月６日～２月８日）
・沖縄県史図説編に係る資料調査（浦添市歴史にふれる館）（2019年２月12日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料返却（糸満市、南城市）（2019年２月14日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料返却（北谷町、沖縄県立埋蔵文化財センター）（2019年２月15日）
・伊江村具志原貝塚人骨調査（伊江村）（2019年２月19日～20日）
・港川フィッシャー遺跡整備検討委員会（八重瀬町）（2019年２月22日）
・浜比嘉大あぶ遺跡踏査（浜比嘉島）（2019年２月23日）
・伊江村具志原貝塚人骨調査（伊江村）（2019年２月24日～25日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料返却（伊是名村）（2019年２月27日～28日）
・第29回九州縄文研究会宮崎大会（宮崎産業経営大学）（2019年３月１日～３日）
・科学研究費基盤Ａ「ホモ・サピエンス躍進の初源史」会議出席（国立科学博物館）（2019年３月12日～13日）
・鹿児島県天城町下原洞穴遺跡調査視察（鹿児島県天城町）（2019年３月14～17日）
・港川フィッシャー遺跡整備検討委員会（八重瀬町）（2019年３月20日）

○講演・学会など
・名　　称：国立科学博物館企画展「沖縄の旧石器時代が熱い！」関連講演会　「島に暮らした旧石器人ーサキタリ洞遺跡での発見」
　日　　時：2018年５月12日（土）
　場　　所：国立科学博物館
　依頼機関：国立科学博物館
・名　　称：日本考古学協会第84回総会研究発表会　「沖縄先史土器の起源をめぐる近年の動向と作業仮説」
　日　　時：2018年５月27日（日）
　場　　所：明治大学駿河台キャンパス
・名　　称：沖縄県高等学校長協会　研修会「沖縄の旧石器人と人類の起源」
　日　　時：2018年７月６日（金）
　場　　所：沖縄県青年会館
・名　　称：桜坂市民大学「縄文と沖縄」
　日　　時：2018年11月18日（日）
　場　　所：桜坂劇場
・名　　称：特別展関連シンポジウム「縄文のシンボリズムとネットワーク」
　日　　時：2018年11月24日（土）
　場　　所：講堂
・名　　称：学芸員講座「特別展縄文と沖縄のみどころ」
　日　　時：2018年12月１日（土）
　場　　所：博物館講座室
・名　　称：九州旧石器文化研究会沖縄大会　研究発表「沖縄県南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査」
　日　　時：2018年12月８日（土）
　場　　所：博物館講座室
・名　　称：東南アジア考古学会 2018 年度大会・総会　研究発表　「沖縄における旧石器時代研究の現状と課題」
　日　　時：2018年12月16日（日）
　場　　所：沖縄国際大学
・名　　称：桜坂市民大学「縄文と沖縄」
　日　　時：2018年12月23日（日）
　場　　所：桜坂劇場

○著作論文等
・「旧石器時代」『南島考古入門－掘り出された沖縄の歴史・文化』　2018年４月　共著
・「沖縄の歴史と文化」『Joy 愛 十三行』第７期　2018年７月
・「沖縄における土器胎土分析をめぐる諸問題」『南島考古』37　2018年７月
・「現代沖縄における野営炉址の調査―炉址研究の参照枠充実に向けた基礎作業―」『考古学研究』65　2018年９月
・博物館特別展『縄文と沖縄-火焔型土器のシンボリズムとヒスイの道』　図録　2018年11月
・「沖縄県南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査」『九州旧石器』22　2018年12月
・「沖縄県の動向」『九州旧石器』22　2018年12月

・Hiroto Takamiya, Chiaki Katagiri, Shinji Yamasaki, & Masaki Fujita. 2019. Human Colonization of the Central Ryukyus (Amami and Okinawa Archipelagos), Japan. The Journal of Island and Coastal Archaeology.
・「旧石器時代の洞穴遺跡に関する調査研究および保護活用をめぐる海外調査報告」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第12号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月
・「現代沖縄における野営炉址の調査（補遺）」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第12号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月
・「先史時代の伊平屋島をめぐるネットワーク―久里原貝塚・東原貝塚出土土器の分析から―」『伊是名島・伊平屋島総合調査報告書』　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月
・新聞記事（沖縄タイムス）唐獅子　博物館の学芸員　2018年４月４日
・新聞記事（沖縄タイムス）唐獅子　現場に立ち会う　2018年４月18日
・新聞記事（沖縄タイムス）唐獅子　台湾の情熱　2018年５月２日
・新聞記事（沖縄タイムス）唐獅子　ドクター・シノトー　2018年５月16日
・新聞記事（沖縄タイムス）唐獅子　木曜島　2018年５月30日
・新聞記事（沖縄タイムス）唐獅子　涼しい博物館への招待　2018年６月13日
・新聞記事（沖縄タイムス）唐獅子　海を越えた人類　2018年６月27日
・新聞記事（沖縄タイムス）注目を集める縄文文化　2018年11月15日

澤浦　亮平（臨時任用主事（学芸員）／人類）

○調査・研究等

・「沖縄ミネラルマルシェ2018」での化石標本調査（沖縄コンベンションセンター）（2018年５月11日）
・尻労安部洞窟調査会議への出席（慶應義塾大学）（2018年５月12日）
・沖縄考古学会例会への参加（沖縄県立埋蔵文化財センター）（2018年５月18日）
・当館特別展「縄文と沖縄」に係る資料調査（沖縄市立郷土博物館）（2018年５月22日）
・本部町洞窟調査（本部町）（2018年６月５日）
・白保竿根田原洞穴出土人骨の調査（文化財サービス沖縄営業所）（2018年６月６日）
・国立科学博物館企画展示視察（国立科学博物館）（2018年６月９日～10日）
・日本動物考古学会第６回大会への参加・研究発表（岩手県宮古市）（2018年６月15日～17日）
・寄贈図書の受け取り（那覇市）（2018年６月20日）
・白保竿根田原洞穴出土人骨の調査（文化財サービス沖縄営業所）（2018年６月22日）
・台湾十三行博物館特別展「Hi! 海」への資料の貸出および展示準備（台湾新北市立十三行博物館）（2018年６月24日～28日）
・ツヅピスキアブ洞穴出土資料の調査（宮古市）（2018年７月３日～４日）
・玉泉洞ケイブシステムの測量調査（沖縄ワールド周辺）（2018年７月20日）
・南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査（南城市ガンガラーの谷）（2018年７月25日～８月31日）
・青森県尻労安部洞窟の発掘調査（青森県下北郡東通村）（2018年８月８日～11日）
・サキタリ洞遺跡出土人骨の資料閲覧対応（海部陽介氏　当館実験室）（2018年８月17日）
・文部科学省科学研究費補助金・新学術領域「ゲノム配列を核としたヤポネシア人の起源と成立の解明」（研究代表者：斎藤成也）の会議への出席（沖縄県立埋蔵文化財センター）（2018年８月22日）
・魚骨標本の作成（沖縄県立埋蔵文化財センター）（2018年８月25日）
・白保竿根田原洞穴出土人骨の調査（文化財サービス沖縄営業所）（2018年８月27日）
・サキタリ洞遺跡土層剥ぎ取り立会い（南城市ガンガラーの谷）（2018年８月28日）
・国立科学博物館・東京国立博物館 特別展視察（東京国立博物館　2018年９月１日～２日）
・当館特別展「縄文と沖縄」に係る資料借用（早稲田大学、国立科学博物館、長崎大学）（2018年９月26日～10月１日）
・当館特別展「縄文と沖縄」に係る資料借用（鹿児島県伊仙町）（2018年10月17日～19日）
・高所作業車講習会への参加（北中城村）（2018年10月20日）
・沖縄市サイエンスフェスタへの参加（沖縄市体育館）（2018年10月21日）
・尻労安部洞窟調査会議への出席（慶應義塾大学）（2018年10月26日～27日）
・次年度移動展の調整（伊江村）（2018年10月30日）
・北谷町「北谷の縄文」展の展示準備補助（北谷町）（2018年11月２日）
・当館特別展「縄文と沖縄」に係る資料借用（伊是名村）（2018年11月５日～６日）
・サキタリ洞遺跡出土資料に付着した赤色顔料等に関する記者発表（当館講座室）（2018年11月７日）
・当館特別展「縄文と沖縄」に係る資料借用（糸満市、沖縄ワールド等）（2018年11月７日）
・当館特別展「縄文と沖縄」に係る資料借用（沖縄県立芸術大学）（2018年11月９日）
・北谷町「北谷の縄文」展の展示撤収補助（北谷町）（2018年11月13日）

・移動展に関する打ち合わせと調整（伊平屋村）（2018年11月29日～30日）
・サキタリ洞遺跡出土遺物等のマイクロX線CT撮影（東北大学歯学部）（2018年12月４日～６日）
・第44回九州旧石器文化研究会の開催（当館講座室他）（2018年12月７日～９日）
・当館特別展「縄文と沖縄」に係るワークショップの開催（当館実習室）（2018年12月15日）
・白保竿根田原洞穴出土人骨の調査（文化財サービス沖縄営業所）（2018年12月21日）
・当館特別展「縄文と沖縄」に係る資料の返却（うるま市立与那城歴史民俗資料館）（2018年12月26日）
・リュウキュウジカ化石の資料調査対応（久保麦野氏）（当館化石収蔵庫）（2018年12月27日）
・当館特別展「縄文と沖縄」に係る資料の返却（国立科学博物館）2019年１月31日～２月１日）
・白保竿根田原洞穴出土人骨の調査（文化財サービス沖縄営業所）（2019年２月２日～３日）
・当館特別展「縄文と沖縄」に係る資料の返却（早稲田大学）（2019年２月５日～６日）
・ツヅピスキアブ洞穴出土資料の調査（岩手県宮古市）（2019年２月７日～８日）
・浦添市所蔵古人骨の写真撮影（浦添市歴史にふれる館）（2019年２月12日）
・当館特別展「縄文と沖縄」に係る資料の返却（長崎大学）（2019年２月13日～14日）
・伊江島具志原貝塚出土人骨の発掘調査（伊江村）（2019年２月20日）
・浜比嘉島洞窟調査（うるま市）（2019年２月23日）
・伊江島具志原貝塚出土人骨の発掘調査（伊江村）（2019年２月24日～25日）
・徳之島下原洞穴遺跡の調査視察（鹿児島県天城町）（2019年３月15日～17日）
・今帰仁村出土人骨の調査（今帰仁村）（2019年３月18日）
・「第10回葬墓制からみた琉球史研究会」への参加（沖縄国際大学）（2019年３月24日）

○講演・学会発表等

・名　　称：日本動物考古学会第６回大会「更新世シカ類化石に残された人為的痕跡の探索」
　期　　日：2018年６月16日（土）
　場　　所：岩手県宮古市 崎山貝塚縄文の森公園複合施設
・名　　称：琉球大学大学院医学研究科人体解剖学講座セミナー「青森県尻労安部洞窟の近年の調査成果」
　期　　日：2018年７月19日（木）
　場　　所：琉球大学医学部
・名　　称：13TH ICAZ INTERNATIONAL CONFERENCE「The hunting strategy in the Hoabinhian period of Northern Vietnam」（Junmei Sawada他との共著による発表）
　期　　日：5th SEPTEMBER WEDNESDAY 2018
　場　　所：ANKARA – TURKEY
・名　　称：向陽高等学校 地歴・公民科巡検事前学習会「港川人はどのような人だったのか？」
　期　　日：2018年11月16日（金）
　場　　所：向陽高等学校
・名　　称：平成30年度　青森県埋蔵文化財発掘調査報告会「安部遺跡（尻労安部洞窟）」（太刀川彩子他との共著による発表）
　期　　日：2018年12月８日（土）
　場　　所：青森県総合社会教育センター
・名　　称：第32回東北日本の旧石器文化を語る会「青森県尻労安部洞窟」（佐藤巧庸他との共著による発表）
　期　　日：2018年12月16日（日）
　場　　所：郡山女子大学芸術館
・名　　称：特別展「縄文と沖縄」関連催事 学芸員講座「骨を分けるコツ–骨考古学入門–」
　期　　日：2019年１月12日（土）
　場　　所：博物館講座室
・名　　称：移動展関連催事 伊平屋小学校 出前授業「ヒトの骨と動物の骨」
　期　　日：2019年１月17日（木）
　場　　所：伊平屋小学校
・名　　称：法政大学国際高等学校SGHプログラム「サキタリ洞遺跡・港川遺跡の巡検」
　期　　日：2019年３月12日（火）
　場　　所：サキタリ洞遺跡・港川遺跡他
・名　　称：法政大学国際高等学校SGHプログラム「博物館常設展示の見学とバックヤードツアー」
　期　　日：2019年３月14日（木）
　場　　所：当館常設展示室、実験室、化石収蔵庫等

○著作論文等

・「Late Pleistocene hares of the Japanese archipelago: Paleobiogeographic implication at the Last Glacial Maximum」『International Journal of Osteoarchaeology』Volume28, Issue2, published online on 16 April 2018,

https://doi.org/10.1002/oa.2645
・琉球新報　書評「南島考古入門」　2018年８月５日
・「更新世シカ類化石に残された人為的痕跡の探索」『沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要』第12号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

○競争的研究資金の獲得状況
・「後期更新世大型シカ類の動物考古学的研究」『科学研究費助成事業　若手研究　平成30年度～令和３年度』
・「旧石器時代の狩猟活動復元への新視点−大型シカ類化石を対象とした領域横断的な動物考古学研究−」『2018年度　笹川科学研究助成　学術研究部門』
・「旧石器時代動物考古学研究の新展開−哺乳動物化石への多角的アプローチ−」『公益財団法人　高梨学術奨励基金　平成30年度　若手研究助成』

○兼任
・国立科学博物館　人類研究部　協力研究員
・東北大学大学院歯学研究科　口腔器官構造学分野　大学院非常勤講師

勝連　涼子（学芸業務補助員）

○調査・研究等
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料借用（浦添市、うるま市）（2018年11月６日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料借用（今帰仁村）（2018年11月12日）
・沖縄県博物館協会秋の研修会（恩納村立博物館）（2018年12月６日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料返却（今帰仁村）（2019年１月24日）
・特別展「縄文と沖縄」に係る資料返却（浦添市、うるま市）（2019年２月19日）

５　職員研修

【沖縄県博物館協会】

○総会・春の研修会・現地研修
日　　時：2018年５月10日(木)～11日（金）
場　　所：沖縄県立博物館・美術館（総会）、南風原町立南風原文化センター
参 加 者：田名真之（館長）以下博物館班職員全員

○秋の研修会・現地研修
日　　時：2018年12月６日(木)～７日（金）
場　　所：恩納村立博物館
参 加 者：園原謙、外間一先、菊川章、勝連涼子

【九州博物館協議会】

○総会・春の研修会・現地研修
日　　時：2018年５月10日(木)～11日（金）
場　　所：沖縄県立博物館・美術館（総会）、南風原町立南風原文化センター
参 加 者：田名真之（館長）、園原　謙（副参事兼博物館班長）、その他職員
そ の 他：沖縄県博物館協会と合同主催

○秋の研修会・現地研修
日　　時：2018年11月７日(木)～10日（金）
場　　所：宮崎県総合博物館
参 加 者：田名真之（館長）、篠原あかね（学芸員）

【第11回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー】
期　　間：2018年９月10日（月）～14日（金）
場　　所：京都国立博物館
参 加 者：篠原あかね（学芸員）

【博物館ゼミ（仮称）】　以下「回、期日、担当者、題」の順に記す（原則毎週月曜日に実施）

回	累計回	月日	曜日	担当者	備　考
第１回	245	04/09	月	園原　　謙	来館者は当館常設展示で何をみているか？
第２回	246	04/16	月	宇佐美　賢	ジオツアーIN　北大東島－まっしろな石がかたる島のヒミツとなぞ
第３回	247	04/23	月	野原　寿浩	会計事務の説明
第４回	248	05/07	月	與那嶺一子	琉球王国文化遺産集積・再興事業－その目的と事業概要－
第５回	249	05/14	月	篠原あかね	ユニークベニューの取り組みについて
第６回	250	06/04	月	外間　一先	沖縄の高校野球100年史
第７回	251	06/18	月	久部良和子	認識台湾（台湾を知る）
第８回	252	07/09	月	萩尾　俊章	博物館の指定管理者制度と博物館の組織運営体制
第９回	253	07/30	月	菊川　　章	世界自然遺産と自然史常設展示と自然保護
第10回	254	08/13	月	澤浦　亮平	本州最北部尻労阿部洞窟から出土した旧石器時代のウサギ
第11回	255	08/20	月	山本　正昭	特別展「グスク・ぐすく・城－動乱の琉球列島－」
第12回	256	08/28	月	大川　　剛	映画でR&Bを感じよう！
第13回	257	09/10	月	大湾ゆかり	沖縄の民話からみた民俗文化の世界 －デジタル民話ミュージアムの開設に向けて
第14回	258	09/25	火	園原　　謙	伝統的工芸品をめざす三線について
第15回	259	10/01	月	田名　真之	牧志・恩河事件
第16回	260	10/15	月	金城　　健	魅力ある博物館へ向けて＝一職員の歩みと県政
第17回	261	10/22	月	山崎　真治	現代沖縄における野営炉址の調査について
第18回	262	10/29	月	宇佐美　賢	ヒスイのヒミツ
第19回	263	11/12	月	菊川　　章	当館生物資料収蔵状況について－両性類・爬虫類を中心として－
第20回	264	11/19	月	澤浦　亮平	シリコーン印象材の物性と歯のマイクロウェア印象精度の関係性
第21回	265	11/26	月	與那嶺一子	いろいろな展示会
第22回	266	12/03	月	篠原あかね	指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー －スーパーダイジェスト版－
第23回	267	12/17	月	外間　一先	主権者教育と県知事選
第24回	268	01/07	月	久部良和子	2019年度企画展「台湾－黒潮でつながる隣ジマー」
第25回	269	02/12	火	萩尾　俊章	文化財について
第26回	270	03/11	月	山本　正昭	宮古島・狩俣遺跡の発掘調査概要
第27回	271	03/18	月	大湾ゆかり	民具の魅力　上江洲均先生の解説で聞く民族収蔵庫探訪

Ⅱ 展示活動

１ 展示活動概要

年間の展示活動としては、常設展示を中心に、特別展１本、企画展数本、大嶺薫コレクション展及び、新収蔵品展を開催することを基本としている。また、旧博物館において実施してきた「移動博物館」については、「移動展」と改称して2008年度（平成20）からは美術館と共同で開催している。

海洋性、島嶼性の地理的要因により、沖縄には豊かな自然環境が形成されるとともに、海を介して行われた日本本土や中国をはじめとするアジア諸国との交流により独自の歴史、文化が形成されてきた。常設展示では「海と島に生きる―豊かさ、美しさ、平和を求めて」をテーマとし、沖縄の自然・歴史・文化に係る総合的かつ体系的な展示を行っている。

2018年度（平成30）は特別展１本と企画展を３本、ロビー展、部門展示の展示替えを行った。具体的には特別展「縄文と沖縄－火焔型土器のシンボリズムとヒスイの道」、企画展「新収蔵品展」、企画展「沖縄誇る家宝の三線展」を開催した。

2 常設展

【総合展示】

常設展は、総合展示と部門展示からなり、沖縄の自然・歴史・文化を「海洋性」と「島嶼性」という二つの側面から読み解いている。古来より、沖縄の島々は海によって互いに隔てられると同時に、海によってアジア、太平洋地域と深く結びつけられてきた。島には固有の自然があり、人々の営みがあり、その一つひとつが沖縄県の特徴ある自然・歴史・文化を形成している。島に息づく豊かな自然と、島をとりまく海を媒介とした人々の営みを紹介するとともに、トー（唐：中国）とヤマト（日本）との間で花開いた琉球王朝文化、そして目まぐるしい世替わりを体験してきた沖縄の近代史と戦中・戦後史を射程に入れ、常設展のメインテーマを「海と島に生きるー豊かさ、美しさ、平和を求めてー」とした。常設展のうち、総合展示は、開館以来展示替えを実施してこなかったが、開館10周年を節目に、2017年（平成29）２月に展示の魅力アップをはかるため、旧首里城正殿鐘を単品で紹介する展示をはじめ、当館が所蔵する県指定文化財等の梵鐘７口を新たに加え、展示の充実強化を図る初めての展示リニューアルを行った。また、屋外（駐車場側）に鐘楼を設けて、現存する最古の鐘のひとつである大聖禅寺鐘（実物）を吊り、対外的に博物館の魅力の発信を図った。

常設展へのアプローチでは、イノー（ラグーン）に広がる珊瑚礁を足元に見ながら、あたかも島に上陸するような感覚を体験することができる。また、展示室中央に設けられた「シマの自然とくらし」のコーナーには、鹿児島から台湾まで東西1,000キロ、南北400キロの海域に散在する琉球列島の大小の島々を壮観できる大型ジオラマを配置し、島々の特徴ある自然・歴史・文化について情報端末機を用いて紹介している。また、人工衛星によって撮影された画像を用いて、島々を観察することができる。

○海で結ばれた人々～サークルホールの展示～

「化石の宝庫」沖縄から発見された様々な化石を展示している。クジラやアンモナイトなど、原始の海に暮らした生き物をはじめ、日本人のルーツとされる２万2,000年前の「港川人」や、その頃に生きていたリュウキュウジカ、ヤンバルクイナなどの化石がステージ上に展開している。また、正面のスクリーンでは、古生代から現在に至るまでの琉球列島の地史を映像で概観し、沖縄の自然・歴史・文化の旅へと誘う。

○貝塚のムラから琉球王国へ

グスク時代、それぞれの地域に有力者が登場すると、防御などを目的とした様々なグスクが築かれるようになる。また、有力者たちは中国への朝貢を通して文化の移入や交易に努め、富を築いた。各地の勢力は、やがて北山・中山・南山の３つに収斂（しゅうれん）し、激しい抗争を繰り広げた。しかし、15世紀はじめ頃に、これらの３つの勢力は尚巴志によって統一され、琉球王国が築かれた。ここからおよそ500年の長きにわたり、首里を拠点とする王国の歴史が始まる。

○王国の繁栄（古琉球）

尚巴志によって統一された琉球王国は国家として成立したが、国内の権力基盤は不安定な状態であった。そのため、第一尚氏から第二尚氏へ王統の交代が起きた。一方で、中国との冊封・進貢貿易によって富を蓄えた琉球王国は、中国・日本・東南アジアをつなぐ中継貿易を盛んに行った。東アジアの大海原の架け橋として船を操り、国際色豊かな産物が国中にあふれるさまを謳（うた）った旧首里城正殿鐘の銘文は、往時を偲ぶ貴重な資料である。この時代、琉球は東アジア有数の貿易国家として繁栄し、より強固な国家体制をつくりあげていった。展示リニューアルでは、常設展示に、旧首里城正殿鐘の単体の紹介を中心に、仏教文化と梵鐘や碑文に刻まれた王都の整備、円覚寺の創建、屋外には旧大聖禅寺鐘の展示を行った。

○薩摩の琉球支配と王国（近世琉球期）

1609年薩摩島津氏による琉球侵攻後、琉球王国は江戸幕府の影響下に置かれるようになる。しかし、中国との冊封・進貢関係は維持され、他方で江戸への謝恩・慶賀使の派遣が義務づけられた。

近世琉球期は、王国の危機を向かえて、羽地朝秀、蔡温などの強力な政治家による王国の経営が行われ、琉球独自の文化が花開く時代でもある。江戸文化の影響をうけ、組踊などの芸能が確立し、『中山世鑑』『球陽』等の歴史書が編纂され、首里王府内に多くの役職が確立した。さらに貝摺奉行所を中心に琉球漆器・紅型などの様々な工芸品が数多く製作された。

○王国の衰亡

19世紀頃には、欧米諸国の船舶がアジア進出を目指して琉球近海に頻繁に来航し、首里王府にも開国をせまってきた。一方で、中国・日本との関係を保ちながら体制を維持してきた琉球王国だが、農村の疲弊や災害などが原因で、王府の財政難は顕著となっていった。

○沖縄の近代

江戸幕府が崩壊し、明治政府が発足すると日本と琉球との関係性も変化した。1879年（明治12）に明治政府は琉球藩を廃し、沖縄県を設置した（琉球処分）。琉球王国は消滅し、近代日本国家の一部としての沖縄県が誕生した。

政府は旧慣温存政策を実施したが、その結果、沖縄県の土地所有権の確立や国政参加は大きく遅れ、教育制度の確立も大正期になってようやく整った。しかし、日本は次第に領土拡大と戦争へと突入していき、

沖縄も戦争体制に組み込まれていった。1945年（昭和20）、沖縄では住民を巻き込んだ日米両軍による地上戦が展開され、24万人余りの尊い命が失われた。焦土と化した沖縄では、多くの貴重な文化財も焼失し、破壊された。

◯戦後の沖縄

沖縄戦によって大きな戦禍をこうむった沖縄。住民たちの生活はゼロからの出発であった。沖縄の施政権は日本からアメリカに移譲され、27年間のアメリカ統治下に置かれた。アメリカは東アジアの戦略基地として沖縄を重要視し、基地の機能強化を進めた。軍事優先の政策は、住民の生活を侵害し、米軍関係の事件・事故が多発したため、日本への復帰を望む運動が高まっていった。その結果、1972年（昭和47）に沖縄の施政権は日本に返還されたが、多くの基地が残されるなど未解決の問題が山積したままである。

◯沖縄の今、そして未来へ

復帰後、沖縄では大規模な公共事業のほか、沖縄国際海洋博覧会の開催を契機にリゾート開発が各地で始まった。豊かな社会の実現を目指して開発が進められたが、同時に環境の悪化も問題化した。2000年（平成12）には九州・沖縄サミットが名護市で開催され注目を集めた。同年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録されるなど、沖縄文化の優位性が広く認知されてきている。今日では観光客や移住者の大幅増加とともに沖縄は新たな時代を迎えている。

エピローグの「沖縄の現代生活」は、開館時に募集した写真作品で構成され、まさに「現代生活」のドキュメント資料である。

【部門展示】

総合展示室の周囲には、自然史、考古、美術工芸、歴史、民俗の５つの部門展示室を設け、沖縄の自然・文化・歴史・民俗の特徴をより深く理解していただくために、それぞれのテーマをより特化した形での展示している。部門展示で扱うテーマは可変性を持ち、頻繁に展示替えを行っている。

◯自然史部門展示　「生物が語る沖縄２億年」

琉球列島の成り立ちや、島の環境に適応して独自の進化をとげた生き物の世界を展示するとともに、沖縄が世界に誇る化石人類である港川人の最新の研究成果を紹介している。またジオラマ展示では、ヤンバル（沖縄島北部）、宮古島、西表島、マングローブについて自然の成り立ちを重視した展示を行っている。

◯考古部門展示　「沖縄考古学の世界」

発掘調査によって出土した実物資料を用いて、人々の暮らしぶりや地域的な特徴、時代の変化などをわかりやすく紹介している。

◯美術工芸部門展示　「琉球の美」

島々に生きた先人たちは、自分たちの生活・文化に海外との交流によってもたらされた「モノ」や「文化」を取り入れることによって、琉球の美術工芸品を生み出した。ここでは王国時代の人々の美意識を伝えながら、現代に生きる私たちにとって、より親しみやすい形で、１年に数回テーマを決めて展示替えを行いながら、琉球の美を紹介する。

◯歴史部門展示　「モノから読む歴史」

沖縄は、独立した国家であった琉球王国の歴史に加え、近代以降、日本やアメリカなど国際社会の動向の中で、何度も世替わりを経験した。ここでは年に数回のテーマ展示を通して、沖縄をはじめ各地の様々なモノから歴史をひもとき、歴史の醍醐味や楽しさを紹介する。

◯民俗部門展示　「沖縄の伝統とくらし」

沖縄の島々に伝わる生活文化について紹介している。村落の成り立ち、信仰と祭り、人の一生、農耕と漁労、衣食住、職人の技、変容する民俗などのテーマを設けて、「観る」、「聴く」、「触る」、「調べる」といった体験的な要素を加えた展示を行っている。

３ 常設展　部門展示替え／ミニ企画／ロビー（エントランス）展示

【美術工芸部門】

沖縄は、湿潤亜熱帯の気候風土にあり、中国、朝鮮、日本、東南アジアの中継地点に位置し、独立した王国を営んできた。美術工芸部門展示室では、沖縄で育まれた琉球の美を紹介している。

当館が収蔵する美術工芸品をテーマに合わせて選定し、下記のテーマで展示替えを行った。

（１）「旅立ち」

展示期間：2018年（平成30）４月10日（火）～７月16日（日）

主　　旨：琉球にとって江戸立や冊封使の来流は大きな行事である。また、各島々への行き来もあり、「旅」は常に人々の暮らしに身近なものでした。旅立ちそのものを表現した作品、旅に必要な工芸品、旅の心情を詠んだ書芸、旅立ち使用の三線、夏には欠かせない芭蕉布などを紹介した。

展示資料：35件36点

江戸上り行列図、楽童子の図、古琉球風俗田舎娘（旅姿女人図）、長嶺宗恭「花鳥図」、月岡芳年「美談武者八景琉球の帰帆」／鄭嘉訓の書「渡桑乾」、于光甲の書「南苑水亭に題す」、読谷山朝恒の書「和歌六種」、梁文弼の書「三言対句」、魏学賢の書「賦得自君之出矣」、翁維垣の書「五言対句」、鄭元偉の書扁額「徳高」／真塗青貝兎狩模様面箱、朱漆鳳凰瑞雲箔絵小櫃、黒漆山水人物螺鈿印籠、山水堆錦印籠、龍漆絵印籠、黒漆鹿亀螺鈿印籠、黒蒔絵牛童子印籠／木綿花色地斜格子に橘梅扇文箱模様衣裳、苧麻浅地草花模様衣裳、苧麻浅地霞に松竹梅東屋模様子ども着、苧麻紺地松竹梅模様ウチュキー、芭蕉絣手巾、木綿紺地花織手巾、芭蕉バンジョー経緯絣衣裳、芭蕉桐板経縞に絣衣裳、桐板白地経緯絣衣裳／赤絵魚文皿、線彫抱瓶、緑釉碗、急須（線彫格子三つ葉文土瓶）、バーナード・リーチ作「黍文赤絵皿」、雲龍帆船貼付文壺、黒釉流飛鉋渡名喜瓶／三線「江戸与那」

（2）「模様を愛でる・詩を楽しむ」

展示期間：2018年（平成30）８月１日（火）～11月25日（日）

主　　旨：美術工芸品の「模様」や「詩歌」にスポットをあて紹介した。書籍では、作者の詩の楽しみ方を筆の動き、表装などの違いでわかるように作品を選定した。また、富貴の象徴である「牡丹」は、絵画や染織品、建築彫刻片などにみられ、さまざまな牡丹表現をとおし、琉球の人々が愛でた様子を披露した。

展示資料：33件59点

田名宗経「獅子に龍下図」、作者不詳「織婦理系図」、作者不詳「牡丹白鳩の図」、義村朝義「牡丹の図」／鄭嘉訓の書「五言対句」、尚育の書「四時」、翁宏烈の書「五言対句」、高人鑑・鄭元偉の書「扇面」、浦添朝憙の書「和歌」、李鼎元の書「詠福木」、鄭元偉書扁額「徳高」／朱塗唐草箔絵東道盆、朱漆牡丹唐草七宝繋沈金料紙箱、黒漆桐鳳凰草花螺鈿重箱、黒漆箔巴紋御玉貫置盆／木綿紺地手縞衣裳、苧麻白地経緯絣衣裳、木綿紺地花織ティサジ、芭蕉鶴に波模様ウッチャキ、木綿浅地絣つなぎあわせ胴衣、紅型型紙「牡丹模様」、木綿白地牡丹模様衣裳、苧麻紺地紋入牡丹模様ウチュキー、苧麻白地稲妻に花の丸模様胴衣／花文瓶、赤絵からから、白釉牡丹唐草人物文蓋物、紫泥色絵茶家、赤絵対瓶、緑釉蓮弁皿／円覚寺「牡丹木彫仏間羽目」、円覚寺「牡丹彫刻片」、牡丹木彫羽目板

（3）「鶴は千年、亀は万年」

展示期間：2018年（平成30）12月４日（火）～2019年（平成31）年４月７日（日）

主　　旨：琉球の美術工芸品には、様々な模様が表現されており、そこには人々の願いが込められている。今回は、その中でも「鶴」と「亀」を中心に披露した。どちらも長寿のシンボルとして知られるおめでたいモチーフである。不老長寿は万国共通でいつの時代も人々の夢であり、中国でも大和でも表現されてきた。「鶴」と「亀」の作品をとおして琉球の表現を紹介した。

展示資料：37件45点

孫億「松鶴図」、屋慶名政賀（呉著温）「雪景山水図」、長嶺宗恭「芭蕉の図」、義村朝義「寿老人」／毛允良の書「福禄寿」、鄭元偉の書「雲中鶴」、渡嘉敷兼副の書「寿」、翁維垣の書「五言対句」、宜湾朝保和歌短冊「梅告春近」、義村朝義の書「迎寿亨福」、鄭元偉書扁額「徳高」／堆黒唐人童子鶴模様硯屏、朱塗松竹双鶴沈金角盆、黒漆瑞雲鶴螺鈿香合／苧麻薄水色地霞に鶴亀松竹梅模様衣裳、紅型型紙「霞鶴亀松竹梅模様」、麻紺地緯絣着物、紅型型紙「松竹梅鶴亀丸模様」、麻薄水色地松竹梅丸模様着物、木綿染分地鶴松梅菊模様子ども着、絹焦茶地経緯絣着物、苧麻紺地鶴亀松竹梅模様ウチュキー、羊毛青地花織衣裳、紅型型紙「鶴亀菊牡丹松竹梅模様」、紅型型紙「鶴亀菊牡丹松竹梅模様」、紅型型紙「雲に鶴亀松菊模様」、紅型型紙「稲妻に鶴亀雪輪模様」、紅型型紙「梅竹桐鶴亀模様」、紅型型紙「鶴亀松梅楓模様」／赤絵鶴亀文急須と茶碗セット、白釉線彫耳付花瓶、紫泥枝梅文花生、赤絵鶴松竹文細首瓶、赤絵細首瓶、線彫カラカラ、金城次郎作「亀甲文嘉瓶」

（與那嶺　一子）

【歴史部門展示室】

歴史部門展示室では、様々な資料から歴史をひも解いていく展示を志し、「モノから読む歴史」という大テーマを設定している。また、様々なテーマに沿って年に数回の展示替えやトピック的な展示を行うなど、柔軟な展示を行う機能を備えている。

歴史部門では、「那覇港～往来する人とモノ～」というテーマの展示を通年で展示し、平成30年度は第100回全国高等学校野球選手権記念大会（いわゆる夏の甲子園大会）及び、沖縄県勢の甲子園初出場から60年を迎える節目の年にあたり「熱闘　高校野球　本気の夏100回目」展を開催した。

また、1978年（昭和53）７月30日に沖縄の交通方式が、日本本土と同じ左側交通方式に変更になった「730（ナナサンマル）」から40年目を迎え、交通方式変更に関する資料を展示した。さらに６月23日の慰霊の日にあわせて情報センターと連携して沖縄戦写真パネル展及び「大田昌秀遺品展」も開催した。

以下に、それぞれの概要を紹介する。

（１）「那覇港～往来する人とモノ～」

展示期間：通年展示

主　　旨：琉球王国から国内外への玄関口として機能し、様々な人やモノが行き交った那覇港の歴史のなかでも、17～19世紀を中心に取り上げ、３つのテーマに分けて紹介する。「１　王国の港・那覇港」では、琉球王国の王都であり政治の中心地であった「首里」と、海上交通の要所であった「那覇」の強い結びつきを示し、「２　往来する人・モノ」では、王国の玄関口である那覇港から行き来した様々な人やモノを紹介する。「３　那覇のマチ」では、歴史読史地図を手がかりとして、「那覇四町」とよばれる地域に隣接する久米村や辻・渡地・仲島という遊郭地区、女性によるマチ（市場）のようすなど、港をとりまく人々の姿を示す。

展示資料：首里那覇港図屏風、琉球国惣絵図（間切集成図）（真和志間切他）（複製）、「琉球国全図」（琉球列島并三十六島之図）、他

（２）「熱闘　高校野球　本気の夏100回目」展

展示期間：2018年（平成30）６月５日（火）～７月29日（日）

主　　旨：毎年、阪神甲子園球場で開催される全国高等学校野球選手権大会は、「夏の甲子園」とも呼ばれ、日本の夏の風物詩ともいわれるほどの一大イベントである。なかでも沖縄は、高校野球の熱狂的な県民であるといえるだろう。テレビで野球中継が始まると仕事は中断し、市場では応援団が結成され、自動車の交通量は激減するという状況であった。弱小だった県代表校は九州や全国大会で大敗を喫するが、徐々に力を付けひとつずつ勝利を重ねる姿に県民は励まされ勇気づけられた。

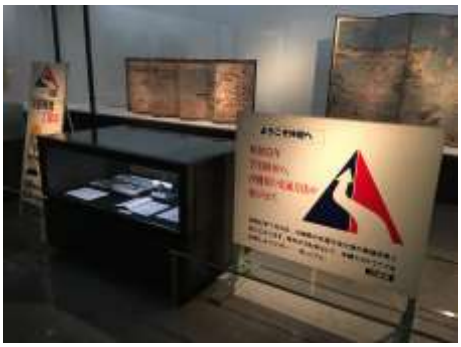
それはまさに、戦後復興と重ね合わせるような出来事であり、政治、経済、教育、インフラ整備など様々な分野で日本本土との格差是正を象徴するものであった。そして2018年夏は、第100回全国高等学校野球選手権記念大会となり、また沖縄県勢の初出場から60年目を迎える節目の大会となった。同大会のキャッチフレーズは「本気の夏、100回目。」夏の甲子園が100回という節目を迎えるにあたり、本県の高校野球の歴史をテーマに常設展歴史部門展示室において６月５日（火）から７月29日（日）まで55日間の日程でトピック展を開催した。高校野球の資料を通して県民の姿や世相を振り返ることを目的とし、高校野球の感動を呼び覚ます機会となる展示内容とした。

展示資料：全琉球学徒体育大会野球優勝旗（沖縄県高等学校野球連盟蔵）、飛田穂洲書「野球者無私道也」（個人蔵）、甲子園の土でつくった記念の皿（個人蔵）、第40回全国高等学校野球選手権出場記念アルバム（県立首里高等学校蔵）、栽弘義氏直筆ノート（個人蔵）、応援太鼓（県立沖縄水産高等学校）、興南高校春夏連覇達成に関する新聞記事（沖縄タイムス）、映像「高校野球名場面集」（琉球朝日放送）

（３）「沖縄730（ナナサンマル）40周年　道の記憶」展

展示期間：2018年（平成30）８月７日（火）～2019年（平成31）３月31日（日）

主　　旨：1978年（昭和53）７月30日に戦後31年間続いた右側交通方式が、日本本土と同じ左側交通方式に変更となる。復帰関連の処理事業としては最大級といわれた「車は左・人は右」でおなじみの通称730「ナナサンマル」である。730事業は車両のハンドル付け替えや照明の角度変更、バスの乗降口や道路標識の変更など「交通革命」といわれる出来事であった。2018年は、交通方式の変更からちょうど40年の節目にあたり、準備から実施するまでの短期間で交通方式変更を成功させた当時の県民の状況を伝える資料や映像を展示した。



展示資料：交通方法変更案内標識、7.30交通変更ワッペン、7・30人形、映像「沖縄730道の記録」他

（４）「６．２３慰霊の日関連　大田昌秀直筆原稿資料」展

展示期間：2018年（平成30）６月12日（火）～６月24日（日）

主　　旨：戦後73年目を迎え、沖縄戦を体験した人々も時とともに少なくなり記憶の風化が叫ばれる中、その悲惨な体験や沖縄戦の実相を伝えることがますます重要になっている。今年は６月23日の慰霊の日に向けて、昨年６月に92才で他界した大田昌秀元県知事が執筆した自身の体験談である鉄血勤皇隊の自筆原稿等を中心に関連する資料を、当館の情報センターにおいて展示した。展示資料のそばに沖縄戦の写真や書籍を設置することで、戦争や反戦平和について考える場を提供することをねらいとした。

展示資料：大田昌秀直筆原稿65件、大田昌秀書斎道具10件、沖縄戦に関する写真パネル10枚

（外間　一先・久部良　和子）

【民俗部門展示室】

民俗分野では、毎年季節の行事にあわせて「沖縄のすまい」コーナーにおいて、仏壇前にお供え物等を展示している。平成30年度も以下のように行った。

主　　旨：沖縄では旧暦の１日・15日に仏壇にお供え物をするほか、季節の節目の行事ごとにいろいろなお供え物をする。民俗常設展示室の民家模型にある仏壇にも行事にあわせてお供え物や説明パネルを展示した。５月５日（グングゥワチグニチ）の展示では、ハーリーの模型及び張り子を一緒に展示した。

展示期間：正月（新・旧）、清明祭、５月４日（ユッカヌヒー）と５月５日（グングゥチグニチ）、旧盆、十五夜、冬至、ムーチー等

ユッカヌヒーとグングゥワチグニチ（ハーリーの模型や張り子、ヤカジも同時展示）

旧盆（昭和初期の供物を再現）

ムーチー（軒下に吊して歳の数だけ食す）

冬至（トゥンジージューシー）

旧正月（2019年）

（大湾　ゆかり）

【常設展示室入口ミニ企画】

（1）「ここまでわかった沖縄先史文化の起源－沖縄の旧石器人と文化を考える－」

展示期間：2018年（平成30）12月４日～12月24日（日）
会　　場：博物館常設展エントランス（無料）
展示内容：九州旧石器文化研究会沖縄大会の関連企画として、近年の沖縄における旧石器時代研究の進展や、先史文化の起源に関する出土品を展示した。
展示資料：サキタリ洞遺跡出土品、藪地洞穴遺跡出土品（うるま市教育委員会所蔵）、白保竿根田原洞穴遺跡出土人骨（頭骨）レプリカ、港川人頭骨レプリカほか

博物館常設展示室入口前に展示された資料

（山崎　真治）

【ロビー（エントランスホール）展】

（1）「愛鳥週間ミニ特別企画　くちばし総選挙」

展示期間：2018年（平成30）５月８日（火）～５月27日（日）
展示内容：「愛鳥週間」（毎年５月10日～５月16日）にちなみ、当館収蔵の鳥類剥製20点を展示した。「くちばし総選挙」と題し、来館者がお気に入りの「くちばし」を投票できるよう工夫することで、大人から子供まで楽しめる参加型の展示とした。また、県自然保護課において実施された「平成29年度沖縄県愛鳥週間ポスターコンクール」入賞作品も合わせて展示した。

エントランスホールに展示された、剥製の鳥たち

（2）「鳥のほねほねミニ展示　ぼくらは恐竜を食べていた!?」

展示期間：2018年（平成30）７月31日（火）～９月２日（日）

展示内容：７月～８月に開催された特別展「ティラノサウルス展」に合わせて、当館所蔵の鳥類骨格標本10点を展示した。平易なパネルやキャプションを随所に配し、鳥が恐竜の生き残りであることを骨格から紐解くことで、来館者に学術的な興味を持っていただけるよう工夫した。また、フライドチキンから作成した手羽の骨格標本を展示するとともに、その作成方法を紹介することで、家庭でも興味関心を深めてもらえるよう工夫した。

ほねほねミニ展示の様子

（菊川　章）

４　特別展「縄文と沖縄－火焔型土器のシンボリズムとヒスイの道－」

会　　期：2018年（平成30）11月22日(木）～2019年（平成31）１月20日(日）　月曜休館
開館時間：９:00～18:00（金、土は20:00まで）
会　　場：企画展示室・特別展示室１・２
観 覧 料：一般1,100円(880円)、高大生 600円(480円)、小中学生300円(240円)
※(　)は前売及び20名以上の団体料金
※障がい者手帳をお持ちの方、及び介助者の方1名は当日料金の半額
観覧者数：7,739名（47日間）

【開催形式】
主　　催：沖縄県立博物館・美術館
共　　催：北谷町教育委員会
後　　援：信濃川火焔街道連携協議会／沖縄考古学会／沖縄タイムス社／琉球放送株式会社／琉球朝日放送株式会社／NHK沖縄放送局
協　　力:浅間縄文ミュージアム／芦屋町教育委員会／伊是名村教育委員会／伊仙町教育委員会／糸満市教育委員会／岩手県立博物館／馬高縄文館／浦添市教育委員会／うるま市教育委員会／沖縄県教育庁文化財課／沖縄県公文書館／沖縄県立芸術大学附属図書･芸術資料館／沖縄県立埋蔵文化財センター／沖縄市立郷土博物館／恩納村博物館／鹿角市教育委員会／株式会社南都（おきなわワールド・ガンガラーの谷）／関西大学博物館／宜野湾市立博物館／久米島博物館／久留米市埋蔵文化財センター／高知県立埋蔵文化財センター／国立科学博物館／佐賀県立博物館／佐世保市教育委員会／世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム／仙台市縄文の森広場／津南町教育委員会／東京国立博物館／東京大学総合研究博物館／東京都埋蔵文化財センター／十日町市博物館／長岡市立科学博物館／長崎大学生命医科学域／長崎大学大学院医薬学総合研究科／今帰仁村教育委員会／今帰仁村歴史文化センター／那覇市歴史博物館／那覇市立壺屋焼物博物館／南城市教育委員会／新潟県立歴史博物館／弘前大学人文社会学部　北日本考古学研究センター／フォッサマグナミュージアム／福岡市埋蔵文化財センター／北杜市教育委員会／宮古島市総合博物館／御代田町教育委員会／八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館／横浜市教育委員会／横浜市歴史博物館／早稲田大学文化推進部／阿部　敬／石田　肇／今村啓爾／上原　靜／大堀皓平／尾田識好／河合　望／川田伸一郎／工藤雄一郎／倉成多郎／後藤　明／坂上和弘／崎原恒寿／島袋春美／新里貴之／下釜和也／下島綾美／須藤寛史／諏訪　元／高橋

開会式（テープカット）の様子

健／滝沢由美子／竹中正巳／堤　隆／中門亮太／西田泰民／根岸　洋／比嘉清眞／平塚幸人／宮尾　亨／宮城弘樹／門田　修／横尾昌樹／分部哲秋

【開催趣旨】

１万年以上にわたって続いた縄文時代は、高度な土器工芸や石材利用技術の発達に特徴づけられる時代でした。本展覧会では、縄文人が生み出した数々の文化の中でも、縄文土器の代表例として知られる火焔型土器と、縄文人が珍重したヒスイをテーマとして、土器に込めた縄文人の思いや、驚くべき長距離に及んだ縄文時代の交易ネットワークに焦点をあてます。

約５千年前の縄文時代中期に誕生した火焔型土器は、信濃川流域を中心に新潟県下に分布し、その造形は日本の美術史上、特筆する存在となっています。また、新潟県糸魚川市周辺から産出するヒスイは、縄文時代前期以降、日本各地に広く流通し、はるか沖縄の島々にまで運ばれたことが知られています。

燃え上がる火焔のような土器の造形に、人々はどのような願いを込めたのでしょうか。はたまた、神秘的に輝くエキゾチックな緑の玉石に、人々はどのような思いを抱いたのでしょうか。本展覧会を通して、原始芸術のもつ野生的かつ豊饒なイメージと、縄文人のしなやかな生態を紹介するとともに、縄文のエナジーを身近に体感できる機会を提供します。

【展示構成】

Ⅰ. 縄文へのいざない

縄文時代のアウトラインと土器文化のはじまりについて紹介します。

Ⅱ. 火焔型土器のシンボリズム

雪国の竪穴住居をイメージした暗室で火焔型土器のシンボリズムを体験できます。

Ⅲ. 縄文のデザイン

火焔型土器をはじめとする縄文土器のデザインや、土偶・ヒスイをはじめとするシンボリック・アイテムについて紹介します。

Ⅳ. 野生の思考と造形

縄文時代だけでなく、沖縄の民俗文化や東南アジアの民俗文化に見る野生的な造形を紹介します。

Ⅴ. 南島のシンボリズム

沖縄をはじめとする南島の生態環境と縄文文化との交流の歴史、南島における先史時代の骨貝製品に見られるシンボリズムについて紹介します。

Ⅵ. 先史時代のネットワークとヒスイの道

縄文時代後晩期における文化交流の広がりと、糸魚川産ヒスイをめぐる長距離ネットワークについて紹介します。

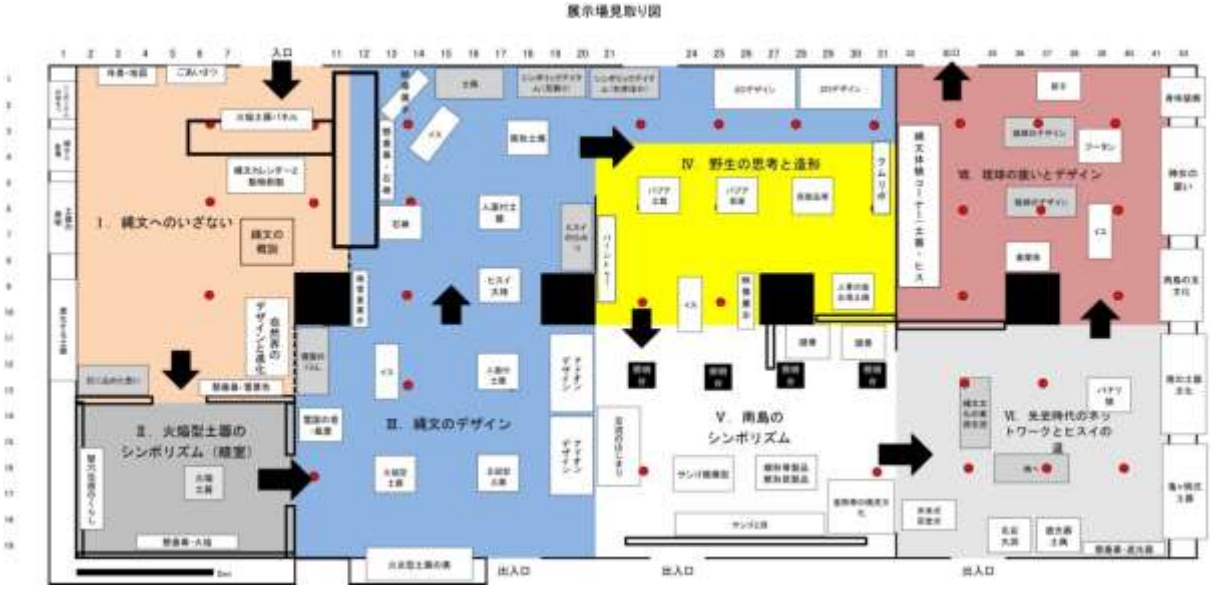
Ⅶ. 琉球の装いとデザイン

琉球王国時代の勾玉をはじめとする玉文化と、装身習俗、琉球のデザインについて紹介します。

会場の様子（Ⅱ．火焔型土器のシンボリズム）

会場の様子（Ⅴ．南島のシンボリズム）

【展示会見取図】



【関連展覧会】

平成30年度企画展「北谷の縄文～交流の軌跡～」
会　　期：2018年（平成30）年11月３日(土)～11月12日(月)
開館時間：９:00～18:00
主　　催：北谷町教育委員会
共　　催：沖縄県立博物館・美術館
会　　場：ちゃたんニライセンターカナイホール
来場者数：1,164名

【関連催事】

（１）特別展関連シンポジウム「縄文のシンボリズムとネットワーク」
日　　時：2018年11月24日（土）13:00～17:00
場　　所：講堂
パネリスト：西田泰民（新潟県立歴史博物館）、根岸　洋（国際教養大学アジア地域研究連携機構）
　　新里貴之（鹿児島大学埋蔵文化財調査センター）、山崎真治（沖縄県立博物館・美術館）
参 加 者：90名

（２）文化講座「沖縄と縄文文化」
日　　時：2018年12月15日（土）14:00～16:00
場　　所：講堂
講　　師：今村啓爾（帝京大学）
参 加 者：136名

（３）文化講座「遺跡見学バスツアー・沖縄の先史遺跡をたどる」
日　　時：2019年１月19日（土）９:30～16:30（会場：講堂）
場　　所：北谷町文化財展示室、仲原遺跡・与那城歴史民俗資料館・伊波貝塚（うるま市）ほか
講　　師：山城安生（北谷町教育委員会）、横尾昌樹（うるま市教育委員会）
参 加 者：39名
参 加 費：1,300円

（４）ワークショップ
①「ドッキーをつくろう！！！」
日　　時：2018年12月15日（土）９:30～13：00
場　　所：博物館実習室
講　　師：下島綾美
参 加 費：500円
参 加 者：10名（小学生までは保護者同伴）

②「土器文様しらべ」
日　　時：2019年１月４日（金）・１月６日（日）　午前の部：10:00～12:00　午後の部13:30～16:00
場　　所：博物館実習室
対　　象：５歳～大人
参 加 費：各回300円
参 加 者：23名（１月４日）／29名（１月６日）（小学生までは保護者同伴）

（５）パフォーマンス「土偶マイム」
日　　時：2018年12月15日（土）11:00／13:00
場　　所：エントランス
パフォーマー：白鳥兄弟
参 加 者：計76名

（６）学芸員講座
①「解説！『特別展　縄文と沖縄』のみどころ」　※終了後に展示解説会を実施
日　　時：2018年12月１日（土）14:00～15:30
場　　所：博物館講座室
講　　師：山崎真治（当館学芸員）
参 加 者：96名
②「骨を分けるコツ―骨考古学入門―」※終了後に展示解説会を実施
日　　時：2019年１月12日（土）14:00～16:00
場　　所：博物館講座室
講　　師：澤浦亮平（当館学芸員）
参 加 者：77名

（７）展示解説会（展覧会期間中５回開催）
①日　　時：2018年12月１日（土）11:00～12:00
参 加 者：21名
②日　　時：2018年12月22日（土）11:00～12:00
参 加 者：17名
③日　　時：2019年１月10日（木）15:00～16:00
参 加 者：30名
④日　　時：2019年１月14日（月）11:00～12:00
参 加 者：22名
⑤日　　時：2019年１月20日（日）11:00～12:00
参 加 者：31名

（山崎　真治）

５　企画展「新収蔵品展－平成29年度収蔵資料－」

会　　期：2018年（平成30）５月23日（火）～６月25日（日）
会　　場：企画展示室
観 覧 料：一般500円(420円)、高校・大学生300円(250円)、小・中学生以下無料
※（　）は、前売及び20名以上の団体料金

博物館企画展「新収蔵品展」は、前年度に寄贈・収集・購入・移管・修理された諸資料を一堂に集め、広く一般に公開するとともに、今後の博物館活動の充実と発展をめざして開催するものである。

【事業内容】
平成29年度に寄贈・収集・購入・修理された諸資料を地学、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野に分類し、博物館３階の企画展示室で展示・公開した。
また、本展の初日には贈者への感謝状贈呈式および開会式、各分野の学芸員による展示解説会等を実施した。

【展示内容】
平成29年度は、寄贈・収集・購入等により533件の新資料を収蔵した。自然史分野では、島尻層群豊見城層の材化石（琉球新報社寄贈）や大型岩石標本（有限会社仲座建設、沖縄県石材協同組合、琉幸建設株式会社寄贈）、

ホトトギス本剥製（沖縄県立埋蔵文化財センター寄贈）、オオハクチョウ（佐藤文保氏寄贈）そして、平成29年度特別展『海の沖縄』開催に合わせて新たに製作した体験キット石になった海の生きものや貝類切断ハンズオン標本が新たな収蔵資料に加わった。考古分野では体験キット・貝匙、銭差、石垣島屋良部崎沖海底遺跡模型、那覇湊周辺地形模型が平成29年度特別展『海の沖縄』の展示資料として新たに作成された。美術工芸部門では、県指定有形文化財である三線　与那城型　銘玉城與那（島袋正雄氏寄贈）や琉球古典焼（小林誼氏寄贈）の他、購入資料として竹林七賢人屏風図が展示された。歴史資料では琉球並三十六島之図（樋口淳氏寄贈）や、山陽姓系図家譜、松岡輝幸旧蔵「世界の貨幣」資料（松岡さよ子氏寄贈）など貴重な資料をご寄贈いただいた。

【展示風景及び展示平面図】

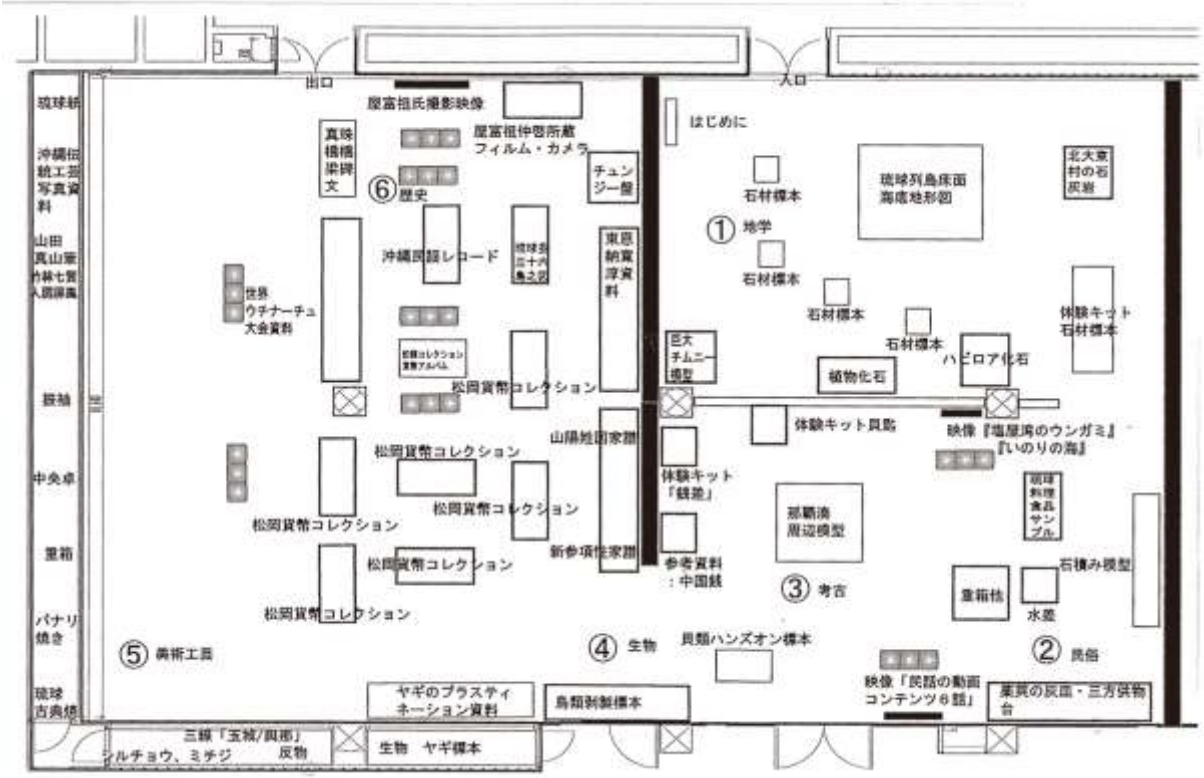
開会式テープカット

学芸員による展示解説会の様子

展示室内の様子

展示室内の様子

【展示平面図】



（山本　正昭）

６　企画展「琉球三線楽器保存･育成会創立30周年記念「沖縄が誇る家宝の三線展」」

会　　期：2019年（平成31）２月５日（火）～３月10日（日）
会　　場：企画展示室・特別展示室１
観 覧 料：一般700円（560円）高大生400円（320円）小中学生200円（160円）
※（　）は、前売及び20名以上の団体料金
観覧者数：5,064名（29日）

【展示内容】

1986年（昭和61）に発足した「琉球三線楽器保存・育成会」の創立30周年を記念して､同会の主たる活動である三線鑑定会と文化財としての三線の普及啓発を図ってきた当館の足跡をたどる展覧会を開催した。この30年間、当館（前身の沖縄県立博物館）で開催してきた三線鑑定会の中で見出したウチナーンチュが大切にしてきた「家宝三線」を中心に紹介した。また、当館所蔵の文化財指定品や現代の職人が製作した三線等を展示した。

【展示構成】

第１章　三線とは？（歴史・型の説明・類縁楽器）
- パネル（三線とは？、三線の歴史年表、７つの型の説明）
- 資　料（７つの型の三線、中国の楽器類、箏、三線製作の道具と工程見本、蓄音機で聞く琉球民謡、蓄音機）
- ハンズオン展示（材質の異なる三線の弾き比べ体験コーナー）

第２章　名器と呼ばれる三線（寄託資料を含む）（指定文化財の世界）
- 資　料（県博所蔵の三線９挺＋東京在の三線（「御茶屋御物」三線など）

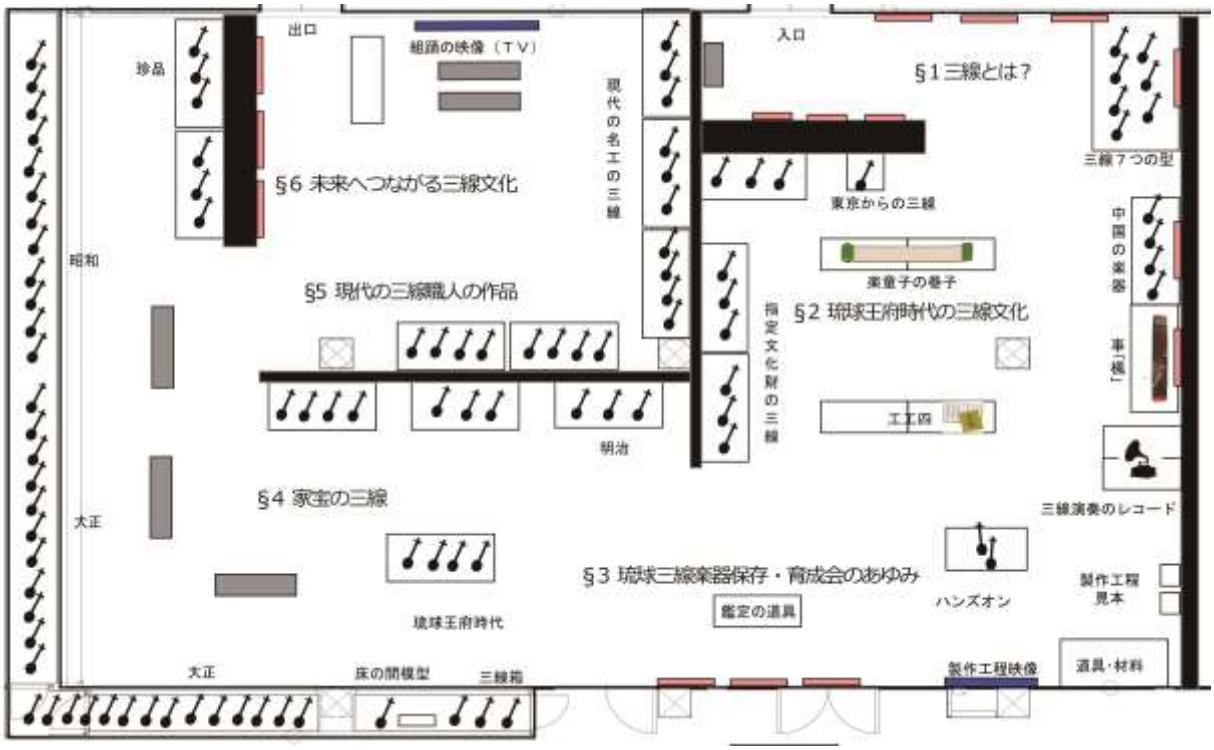
第３章　琉球三線楽器保存・育成会のあゆみ
- パネル（三線鑑定会の説明、育成会の略年表、構成員、鑑定実績等）
- 資　料（三線鑑定会で使用する道具や資料一式）

第４章　家宝の三線
- 資　料（三線鑑定会で見出された家宝の三線60挺と珍品三線６挺ほか）
  キャプションで、各々の三線の由来やエピソードを紹介

第５章　現代の職人がつくる三線
- 資　料（現代の職人による16挺の三線を展示）
- 映像資料（昭和４年と昭和62年上映の組踊り「花売りの縁」ほかを大スクリーンで上映）

エピローグ　三線の未来
- パネル（三線のブランド化事業での調査報告、クルチの森事業等の紹介パネル）
- 資　料（三線をデザインして開発した商品等）

【展示平面図】



【関連催事】

（１）琉球三線楽器保存・育成会創立30周年記念式典
日　　時：2019年２月５日（火）14:00～15:00
場　　所：講堂
内　　容：功労者表彰、三線演奏、琉球舞踊

（２）学芸員講座
日　　時：2019年２月９日（土）14:00～16:00
場　　所：博物館講座室
講　　師：園原　謙（副参事兼博物館班長）
参 加 者：100名

（３）シンポジウム「三線が奏でるウチナーンチュの心」（第500回文化講座）
日　　時：2019年２月16日（土）14:00～17:00
場　　所：講堂
内　　容：講話 「人びとの生活の中の三線」講師：上原直彦（放送人）
シンポジウム：「三線の文化財として重要性について」
パネリスト：高良倉吉（琉球大学名誉教授）
大城　学（元琉球大学教授）
谷口真吾（琉球大学教授）
コーディネーター：園原　謙（当館副参事兼博物館班長）
参 加 者：155名

上原直彦氏の講話

（４）ワークショップ「親子でつくろう！カンカラ三線」
日　　時：2019年２月23日（土）９:00～17:00
場　　所：博物館実習室
参 加 者：20組（35名）

（５）シンポジウム「沖縄県三線ブランド委員会の活動報告」
日　　時：2019年３月２日（土）14:00～17:00

場　　所：講堂
パネリスト：仲嶺　幹（沖縄県三線事業協同組合事務局長）、大城　学（元琉球大学教授）・谷口真吾（琉球大学教授）、鈴木修司（ゆいまーる沖縄(株)代表）、平田大一（沖縄文化芸術振興アドバイザー）、比嘉康春（県立芸術大学学長）、園原　謙（当館副参事兼博物館班長）、照喜名朝一（人間国宝）、知名定男（民謡団体代表）、大工哲弘(民謡団体代表)、宮沢和史（アーティスト）、渡慶次道政（三線製作事業協同組合理事長）
参 加 者：190名

（6）ワークショップ「三線製作・作業の実演」
日　　時：2019年３月２日（土）10:00～17:00
場　　所：博物館実習室
参 加 者：100名

（7）「サンシン（三線）の日」特別イベント（演奏会）
日　　時：2019年３月４日（月）12:00～12:30、13:00～13:15、14:00～14:15、15:00～15:15
場　　所：エントランスホール
参 加 者：のべ250名

「サンシン（三線）の日」特別イベントの風景

（大湾　ゆかり）

7　企画展「大嶺薫コレクション「吉祥」展」

会　　期：2019年（平成31）２月８日（金）～３月４日（日）
会　　場：特別展示室Ⅱ
観 覧 料：博物館常設展観覧料金と同じ
観覧者数：560名（20日）

【開催趣旨】

大嶺薫コレクションは、大嶺薫氏（1905～1970）が戦前・戦後をとおして収集したものである。本展は、大嶺氏の業績を顕彰し、毎年１回開催するもので、本年度は「吉祥」をテーマに大嶺氏が追及した美の世界を披露した。

「吉祥」とはおめでたい兆しの事と一括りで語られるが、その意味や表される文様はさまざまである。人々は吉祥を求め、特別な意味や願を込めてさまざまな表現をしてきた。魚や蓮などは自然から基因する豊かさの象徴として取りあげられ、人の想像から生まれた龍や鳳凰などの瑞獣は幸福をもたらす兆しとして尊ばれている。富貴の象徴としての牡丹、清雅な生活を示す松竹梅などもよく表されてきた。また、今回は、併せて、礼拝の対象としてつくられた仏像や神像なども、心の安寧をもとめた象徴として紹介した。

【展示内容】

Ⅰ　豊かさの象徴－魚文・蓮華－

赤絵急須、染付中皿、コバルト釉蓮葉碗、染付に赤絵ソバ猪口

Ⅱ　鏡に刻まれた「蓬莱文」

蓬莱山鏡、蓬莱山柄鏡、平螺鈿鳥花背円鑑、菊花双雀鏡、瑞花双鳥八稜鏡、青海波双鳥角柄鏡、双鶴文柄鏡、高砂耳蓬莱山柄鏡、丹頂耳瑞雲双鶴文柄鏡

Ⅲ　植物に込めた想い

牡丹之図、牡丹桜花図、草花之図（巻子）、老松之図、蘭之図、朱漆金蒔絵角提重、黄塗龍雀模様文箱

Ⅳ　瑞獣　－幸福の兆し－

鄭嘉訓の書「七言絶句」、鄭其昌の書「七言対句」、虎之図、白澤之図、硯、矢立、コバルト地赤絵香炉、

黒塗龍紋玉嵌盆、〈仏具〉昇り龍像、〈仏具〉不死鳥に鎮座する菩薩像、〈喫煙具〉竹に龍文様煙管、〈喫煙具〉竹腰差しに龍文様煙管

Ⅴ　祈り　－安寧を求めて－

農神の図、鐘馗之図、出山釈迦之図、歓喜天像、観世音菩薩像、寿老人像、天部形仏像、女人座像（シバ神妃）、寿老人立像、数珠玉

【関連催事】

①　展示解説会

日　　時：2019年２月８日（金）14:00～15：00

（與那嶺　一子）

Ⅲ 教育普及活動

１　博物館教育普及活動の概要

博物館は資料をわかりやすく展示し、多くの人々に観覧していただくことを大きな使命としている。同時に、来館者の知的文化的な好奇心を充実させる地域の中軸施設であることも求められている。近年博物館を訪れる来館者のニーズは多様化し、利用者はそれぞれが様々な目的をもって来館する。このような来館者の要求により多くこたえていくため、当館では今年度も多くの教育普及活動を実施してきた。

博物館の教育普及活動では、学校の計画する授業・行事等で博物館を利用する際に支援する学校連携事業と、博物館が企画運営する（文化講座、学芸員講座、体験学習教室、ボランティア養成）事業等、大きく2つの事業に分け推進してきた。

運営面では、指定管理者制度のもと、事業の計画を県職員が立案し事業の実施を指定管理者が行うことになっている。博物館が行う各種事業の中でも、県と指定管理者双方の連携が求められる分野の一つである。博物館教育普及事業の実施に際しては、指定管理者と定例の連絡会議を持ち、運営の方法を協議し事業を推進してきた。

○県内学校団体の博物館来館目的（教科内容・自由学習など）※重複あり

項　　目	小学校	中学校	高等学校	特別支援	大学	合計
下見(学習ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ作成打合せ)	27	0	0	0	0	27
民具体験(小学校3年社会科)	27	0	0	0	0	27
各教科(社会科、理科など)	62	5	12	7	0	86
領域(道徳、特活、総学の時間)	24	2	6	2	0	34
民俗ガイド(小規模校対応)	4	0	0	2	0	6
総合展示部門解説ガイド	3	0	0	2	3	8
修学旅行など	31	0	0	0	0	31
博物館活用学習(自由見学)	12	2	6	7	14	41
そ の 他	11	2	0	4	0	17
合　計	201	11	24	24	17	277

２　学校連携事業

学校連携事業は、大きく二つの事業を実施した。

一つめは、教育課程の一環として博物館を学習の場として利用する学校団体への学習支援で、館から提供できる支援内容の調整を行った。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を調整し、学校と博物館が連携していく学習プログラムを実施した。

二つめは、『出前授業等』実施要項の作成及び、『教育普及報告書』『博物館学校団体利用マニュアル』を作成し、沖縄県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援校に配布した。

（１）学校団体受入れ

９月頃から３月にかけて、県内の小学校から民具体験学習のために小学３年生が数多く来館する。この民具体験学習では、教師が生徒の実態に合わせて体験メニューを選択し、学習プログラムを組み立てることができる。今年度は、11校がボランティアを活用した学習プログラムを行った。

（2）出前授業等

博物館のもつ資源（もの、情報）を学校教育の場で有効に活用することを趣旨とし、平成28年度から出前授業等を実施している。今年度は、小中並置校１校・小学校２校・中学校３校・高等学校５校・その他２施設（合計13校・施設）での授業及び校内研修で出前授業等を実施した。

３　博物館体験学習教室

沖縄の自然や歴史、文化と結びつけた体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵等を学ぶ機会としている。博物館の各分野（自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗）の展示と関連する体験を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供している。

（1）体験学習教室実施一覧

回数/開催日	題	講師名	内容	参加者
第１回講座 12月15日（土）	①ドッキーをつくろう！	①下島　綾美	①土器の破片を模したクッキーづくり	10組
	②パフォーマンス土偶マイム	②高橋　健	②パントマイム	76名
第２回講座 ２月23日（土）	親子でつくろう､カンカラ三線	町田　宗男 町田　宗武	空き缶を利用した三線づくり	20組
第３回講座 ２月24日（土）	ヤコウガイのひみつを知りアクセサリーを作ろう	池村　茂	ヤコウガイを利用したアクセサリー作り	39名
第４回講座 ３月３日（日）	Okimuでサンゴを知ろう！ サンサンゴーゴー！	菊川　章（生物） 宇佐美賢（地学）	①ワークショップ	126名
			②展示解説会	３名
			③ふれあい体験室サンゴフェア	自由体験

第1回講座「ドッキーをつくろう！」　12月15日（土）特別展「縄文と沖縄」関連催事

ドッキー作りの様子。実際に土器を観察し、形や色を工夫してドッキーを作った

同日、白鳥兄弟（高橋健氏）による土偶マイムも行われた

第２回講座「親子でつくろう、カンカラ三線」　２月23日（土）

第３回講座「ヤコウガイのひみつを知りアクセサリーを作ろう」　2月24日（土）

第４回講座「Okimuでサンゴを知ろう！サンサンゴーゴー！」　３月３日（日）サンゴ礁ウィーク関連催事

ワークショップ「砂になった生き物をさがそう

展示解説会「さんごのおはなし」

ふれあい体験室サンゴフェア
ふれあい体験室において、サンゴに関わりのあるハンズオンキットを展示した。

４　博物館文化講座

博物館文化講座は、博物館の展示内容と関連する自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野について分かりやすい内容で楽しく学習が出来ることを目的に1974年から始まった事業である。講演、展示解説、実技指導、現地研修などを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施している。

（１）文化講座開催一覧

回	期　日	演　　題	講　師　名	定員	参加
490	４/21（土）	沖縄と台湾、歴史の接点を考える	笠原　政治	200	177
491	５/19（土）	阿児奈波と大和	井上　さやか	200	95
492	６/16（土）	沖縄と東京大学野球部	浜田　一志	200	69
493	７/14（土）	日本の恐竜化石　～篠山層群の化石を中心として～	三枝　春生	200	80
494	８/18（土）	最新恐竜学	真鍋　真	200	143
495	９/15（土）	修復師の手わざ～文化財継承の裏側に迫る～	當間　巧・土井　菜々子	200	87
496	10/20（土）	孫億の絵画	湊　信幸	20	33
497	11/17（土）	北東アジアの中世城郭	臼井　勲	200	80
498	12/15（土）	沖縄と縄文文化	今村　啓爾	200	136
499	１/19（土）	遺跡見学バスツアー　沖縄の先史遺跡をたどる	山城　安生 横尾　昌樹	200	37

回	期　日	演　　題	講　師　名	定員	参加
500	2/16(土)	三線が奏でるウチナーンチュの肝心(チムグクル) ○講話　　◎シンポジウム シンポジウムコーディネーター：園原　謙	○上原　直彦 ◎高良　倉吉 ◎大城　學 ◎谷口　真吾	200	155
501	3/9(土)	旧円覚寺仁王像に秘められた歴史と復元制作への挑戦	岡田　靖	200	60

5　学芸員講座

学芸員講座は、本館の学芸員が研究成果や収蔵品の調査成果等を報告すると共に、館を訪れる人々に博物館内部の紹介をする良い機会となっている。各分野の充実した講話は博物館をより身近に捉え、参観者の層を拡大する大切な役割を果たしている。

（1）学芸員講座開催一覧

回	期　日	演　　題	講　師　名	定員	参加者
1	4/14（土）	沖縄の城、その起源について～グスクの意味を考える～	山本　正昭	80	190
2	5/12（土）	沖縄・高校野球　～ネバーエンディングストーリー～ 熱闘　本気の夏100回目	外間　一先	80	60
3	6/2（土）	染織こぼれ話　美の秘密を探る	与那嶺一子	80	70
4	7/15（日）	きれいな「模様」、おもしろい「形」 ～琉球の工芸品に表される意匠～	篠原あかね	15	23
5	8/4（土）	博物館バックヤードたんけん	大川　剛	80	13
6	9/1（土）	沖縄の民話からみた民俗文化の世界～デジタル民話ミュージアムの開設に向けて～	大湾ゆかり	80	35
7	10/6（土）	『おきなわ生きものカルタ』で学ぶ沖縄の自然と生きものたち	菊川　章	80	43
8	11/10（土）	台湾原住民セーダッカ族の「祖霊観」「共同墓地」30年の変容から考える	久部良和子	80	39
9	12/1（土）	特別展「縄文と沖縄」のみどころ	山崎　真治	80	96
10	1/12（土）	骨を分けるコツ～骨考古学入門～	澤浦　亮平	80	77
11	2/9（土）	三線の正体　～棹や銘書きからわかること～	園原　謙	80	107
12	3/23（土）	ジオツアー国指定天然記念物「名護市嘉陽層の褶曲」	宇佐美　賢	20	20

（大川　剛）

6　学芸員による常設展示解説会

常設展の展示解説会は、展示資料を前に解説パネルだけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介。参加者の内訳は、初めて参加するお客様のみならず年間パスポートの個人のリピーターの参加が定着している。各学芸員が１回ずつ担当した。

学芸員による展示解説会開催一覧

	日　時	分　野	講　師　名	定　員	参　加　者
1	4/12（木）	地　　学	宇佐美　賢		16
2	5/10（木）	美術工芸	篠原　あかね		9
3	6/14（木）	美術工芸	園原　謙		8
4	7/12（木）	教育普及	大川　剛	な　し	6
5	8/9（木）	美術工芸	與那嶺　一子		6
6	9/13（木）	考　　古	山本　正昭		19
7	10/11（木）	民　　俗	大湾　ゆかり		11

	日　時	分　野	講　師　名	定　員	参　加　者
8	11/８（木）	歴　　史	外間　一先		17
9	12/13（木）	生　　物	菊川　章		21
10	１/10（木）	人　　類	山崎　真治	な　し	20
11	２/14（木）	歴　　史	久部良　和子		24
12	３/14（木）	人　　類	澤浦　亮平		17

（大濵　萌子）

７　学芸員によるバックヤードツアー

バックヤードツアーは、より専門性を生かした内容とリピーターづくりを目指し、学芸員が月ごとに講師を務め、建物の構造やIPM（Integrated Pest Management：総合的有害生物管理）の取り組み、資料の修復について解説するなど、来館者に博物館の役割や使命を理解してもらうための工夫が担当毎に見られた。

（１）学芸員によるバックヤードツアー開催一覧

	日　時	分　野	講　師　名	定　員	参　加　者
1	４/28（土）	美術工芸	與那嶺　一子		3
2	５/26（土）	地　　学	宇佐美　賢		15
3	６/23（土）	教育普及	大川　剛		12
4	７/28（土）	考　　古	山本　正昭		9
5	８/25（土）	生　　物	菊川　章		13
6	９/22（土）	人　　類	澤浦　亮平		10
7	10/27（土）	美術工芸	園原　謙	な　し	8
8	11/24（土）	歴　　史	外間　一先		13
9	12/22（土）	人　　類	山崎　真治		13
10	１/26（土）	民　　俗	大湾　ゆかり		8
11	２/23（土）	美術工芸	篠原　あかね		8
12	３/23（土）	歴　　史	久部良　和子		9

（大濵　萌子）

８　夏休み！博物館学芸員教室

夏休み！博物館学芸員教室は、学芸員が夏休みの課題に取り組む子供たちに向けて、沖縄の自然・歴史・文化に関する自由研究のテーマを提供する場である。全９回の教室を開講した。

（１）夏休み！博物館学芸員教室開催一覧

期日・教室内容・講師		参　加　者
【7月24日（火）】		
①『民俗手帳を作ろう！』	大湾　ゆかり【民俗担当】	12
②『貝の拓本をやってみよう！』	山崎　　真治【人類担当】	16
③『アンモナイトの秘密を探せ！』	宇佐美　　賢【地学担当】	16
【7月25日（水）】		
④『神が宿る石、勾玉を削り出そう！』	山本　　正昭【考古担当】	12
⑤『世界の貨幣（お金）を知ろう！』	久部良　和子【歴史担当】	16
⑥『琉球ボードゲーム！チュンジー対決』	外間　　一先【歴史担当】	16
【7月26日（木）】		
⑦『ダンゴムシ迷路作り』	菊　川　　章【生物担当】	15
⑧『波を切り紙で表現してみよう！』	与那嶺　一子【美術工芸担当】	12
⑨『やきものを作ろう！』	篠原　あかね【美術工芸担当】	14

（大川　剛）

９　博物館ボランティア活動

博物館では、県民の自己啓発や学習発表の場の提供を行うと共に、博物館支援活動を目的とした「博物館ボランティア」を導入している。平成30年度は、多様化する来館者のニーズに対応し、よりきめ細かなサービスの寄与を目的として、第８期博物館ボランティアを募集し、18名新規ボランティア員の登録ができた。例年募集・講座開催を行っているふれあい体験室専属ボランティア養成講座については、募集者なしのため、開催を行わなかった。平成30年度現在では、総勢79名のボランティアを登録している。

（大川　剛）

10　ふれあい体験室

（１）ふれあい体験室の位置づけと目的

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている“おきなわ”との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は、常設展示として、総合展示・部門展示と補完しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を併せ持っている。

さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。平成30年度の利用者数は78,429人であった。

（２）体験キットの位置づけ

展示物（体験キット）は、沖縄の「自然のしくみ」と「先人の知恵」を触れる・見る・聞くなどの五感で体感できる操作や組立てなどの遊びを通じて、展示資料を深く学ぶことができる。

体験キットは、教育普及資料として位置づけられるもので、沖縄の自然、考古、歴史、美術工芸及び民俗などの内容に基づき、すべてが触れることのできるものとする。

体験キットは、来館者が資料に触れあうことで目的が達成するものとして準備されている。来館者が自主的に触れることができるようにするために、職員や親子、一般の方々といった様々な人が参加する雰囲気作りを心がけていく。ふれあい体験室では、能動的に“沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」”を発見・再発見することができる展示を行う。

（３）ふれあい体験室・体験キットの対象者

基本的に小学校中学年（３年生以上）を対象とする。しかし、テーマに沿った展示手法の工夫により、幼児から就学年齢の子ども、または大人にとっても楽しめる空間創りを目指す。

（４）体験キットの分類

ふれあい体験室は、自由に体験キットを利用することを基本としている。しかし、体験キットによっては安全性や耐久性の面で使用時の注意や制限がかかるものもある。ふれあい体験室では、体験キットを分類し、配置されているゾーンによって、使用制限のランクを分けている

（比嘉　麻乃）

11　常設展に関する取り組み

（１）博物館常設展見どころマップ「ここだけは見逃すな！」の活用

博物館常設展の見学の手助けとして、平成23年度に作成した見どころマップ「ここだけは見逃すな！」を引き続き常設展入口のラックに設置し、今年度は、10,000枚を配布した。また、英語版「ここだけは見逃すな！」も3,000枚を配布した。

（２）博物館・美術館連携事業「博物館・美術館で平和を考えるイベント」

博物館・美術館連携催事として、慰霊の日に「博物館・美術館で平和を考えるイベント」を開催した。美術館で戦争に関する絵画作品を中心に鑑賞ツアーをおこなった後、博物館へ移動し近現代史の展示資料を解説しながら戦前戦後の沖縄について解説した。そして、最後に黙祷を捧げた。

実施日：６月23日（金）10:00～10:50
場　所：博物館常設展示室
担　当：外間一先（歴史担当学芸員）
参加者：18名（定員なし）
参加費：無料

（比嘉　麻乃）

12　普及資料の活用

（1）教育普及資料貸出一覧

博物館の教育普及関係資料等を貸出している。今年度の次のとおりで、貸出団体数は19件であった。

	利用者	資料名	利用目的	貸出期間
1	OIST	芭蕉布着物（２点）	芭蕉布展	08/22～09/25
2	中城村護佐丸歴史資料図書館	螺鈿体験キット 螺鈿製作写真集	施設企画展	08/20～09/20
3	久米島博物館	貝匙キット	施設リニューアルに伴う常設展示	09/06～03/31
4	内閣府沖縄県総合事務局	けんぱくキット（農機具）ほか農具等	明治150年展	09/28～10/05
5	那覇市立古蔵小学校	民具体験キット	社会科授業	10/31～11/09
6	豊見城市立とよみ小学校	民具体験キット	民具体験学習授業	11/09～11/16
7	県立大平特別支援学校	万国津梁ゲーム	授業活用	11/27～11/30
8	浦添市立仲西小学校	民具体験キット	授業活用	12/01～12/07
9	那覇市立曙小学校	民具体験キット	社会科授業	01/05～01/18
10	那覇市立銘刈小学校	民具体験キット	民具体験学習授業	01/16～01/23
11	浦添市立港川小学校	民具体験キットほか	民具体験学習授業	01/22～01/29
12	那覇市立石嶺小学校	民具体験キットほか	民具体験学習授業	01/29～02/01
13	浦添市立宮城小学校	民具体験キットほか	民具体験学習授業	02/01～02/08
14	南風原町立津嘉山小学校	民具体験キットほか	民具体験学習授業	02/07～02/14
15	那覇市立垣花小学校	民具体験キットほか	民具体験学習授業	02/06～02/08
16	南城市立玉城小学校	民具体験キット	民具体験学習授業	02/22～03/01
17	沖縄カトリック小学校	民具体験キットほか	民具体験学習授業	02/19～02/22
18	那覇市立真嘉比小学校	民具体験キットほか	民具体験学習授業	03/01～03/08
19	那覇市立松川小学校	民具体験キットほか	民具体験学習授業	03/01～03/08

（2）他館における体験キット活用（平成30年度）

博物館の教育普及関係資料等を活用し、学校団体以外にもアウトリーチ活動を展開した。今年度の貸出団体数は４件であった。

	開催地	活用資料	活動内容	期日
1	京都市みやこめっせ	三線キットデジタルミュージアム民話	ミュージアムキッズ全国フェスタ	09/01～09/02
2	沖縄市体育館	「化石組み立てパズル」ほか	沖縄市サイエンスフェスタ2018	10/21
3	大阪市立自然史博物館	「化石組み立てパズル」	第19回こどものためのジオカーニバル	11/02～11/04
4	21世紀の森体育館	「化石組み立てパズル」ほか	ナゴサイエンスフェスタ	01/26

（大川　剛）

13　職場体験受入

指定管理者が窓口となり、職場体験およびインターンシップを受け入れた。

平成30年度は、中学校・高等学校・大学など５校16名を受け入れた。学生たちは、もぎりやミュージアムショップでの接客業務や情報センターでの資料整理他、ふれあい体験室における対応やワークショップの下準備等を体験した。また、博物館・美術館職員による学芸業務の紹介やバックヤード見学なども実施。博物館・美術館に関わる様々な職種を体験することができた。

（1）体験内容

○もぎり(入場券の確認)　　○ふれあい体験室(ワークショップの準備)
○ミュージアムショップ(接客、商品の管理)　　○情報センター(新聞の切り抜き作業・その他資料整理)
○博物館・美術館班(バックヤードおよび学芸業務の見学)

（2）受入校：５校16人(中学校３校、高等学校１校、大学１校)

①那覇市立古蔵中学校(４名)　５月22日～24日(３日)
②浦添市立神森中学校(３名)　６月14日～15日(２日)
③沖縄県立沖縄工業高等学校(４名)　９月11日～13日(３日)
④那覇市立那覇中学校(３名)　11月20日～22日(３日)
⑤琉球大学留学生（２名）２月28日～３月３日、３月６日～３月９日（各４日）

（保久村　智恵）

14　ボランティアによる展示ガイド

博物館ボランティアの活動の一つに、展示解説ガイドがある。これは、来館者サービス向上の一環として、博物館常設展示室の「民俗部門」と「総合展示部門」で、ボランティアがわかりやすく解説することを目指している。

まず、民俗部門展示室においては、民俗勉強会のボランティア有志メンバーが中心となり、沖縄県内の離島をはじめとする小規模校（20名以下）の子供たちを対象に解説ガイドを実施している。来館当日は、指定管理者のスタッフが引率教員と担当ボランティアとを引き合わせるが、＜教員との打ち合わせ～オリエンテーション～展示ガイド～まとめ＞までボランティアが先導し行っている。今年度は、合計３校43名を受け入れた。

そして、総合展示部門解説ガイドは平成26年度から本格実施し、今年度は18団体509名を受け入れた。こちらは、県外の修学旅行や一般団体の他、県内小学校、海外からの修学旅行下見などで利用しており、県内外のみならず国外の来館者に向けてガイドを実施することができた。また、週３回（８月は週４日）午後に待機型ガイドでは、1,171人（３月時点）に対応した。

広報については、ホームページ掲載、団体受付窓口の情報センターから直接案内することもあり、年間を通じて実績を残すことが出来た。これらは、リピーターによる依頼のみならず、口コミなどで情報を得て利用している様子も窺える。

（大濵　萌子）

教育普及の活動は、学芸員・文化講座や学芸員の派遣授業、学生ボランティアの受け入れなど多岐にわたる。

Ⅳ 資料の収集・保存管理

1 収蔵資料現在高

分類		購入	寄贈	収集	移管	分担管理	小計	総計
自然史	地学	635	27,876	3,076	1	0	31,588	57,098
	動物	1,514	18,728	523	141	0	20,906	
	植物	38	4,563	0	0	0	4,601	
	菌類	3	0	0	0	0	3	
人類資料		92	30	6	0	2	128	128
美術工芸	絵画	103	585	2	4	0	694	10,932
	書跡	180	489	49	6	0	724	
	彫刻	9	115	136	7	0	267	
	陶磁器	634	3,531	466	538	0	5,169	
	漆器	234	367	195	19	0	815	
	染織	1,288	1,791	51	27	0	3,157	
	その他	14	92	0	0	0	106	
歴史資料		2,925	10,218	674	456	0	14,273	14,273
考古資料		297	6,639	2,820	1	0	9,757	9,757
民俗資料		594	6,039	1,072	178	0	7,883	7,883
総計		8,560	81,063	9,070	1,378	2	100,071	100,071

（注）2017年度（平成29）実績をまとめるにあたり収蔵資料高の数値を修正しました。

2 2018年度（平成30）新収蔵資料高

分類		購入	寄贈	収集	移管	小計	総計
自然史	地学	3	4	11	0	18	42
	動物	0	24	0	0	24	
	植物	0	0	0	0	0	
	菌類	0	0	0	0	0	
人類資料		0	7	0	0	7	7
美術工芸	絵画	1	0	0	0	1	28
	書跡	0	0	0	0	0	
	彫刻	1	0	0	0	1	
	陶磁器	2	6	0	0	8	
	漆器	1	0	0	0	1	
	染織	5	4	0	0	9	
	その他	8	0	0	0	8	
歴史資料		4	149	1	0	154	154
考古資料		0	1	0	0	1	1
民俗資料		1	4	0	0	5	5
総計		26	199	12	0	237	237

3　2018年度（平成30）新収蔵資料目録

【購　入】

分類		資料名	数量	提供者・製作者	所在地等
自然史	地学	ヒスイ原石	3	小さなヒスイ原石館、ヒスイの店 窪田	新潟県糸魚川市
美術工芸	絵画	孔子像及び四聖配像（模造復元）	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町/一括交付金（琉球王国文化遺産集積・再興事業）成果品
	彫刻	龍淵橋勾欄羽目（模造復元）	1	〃	〃
	漆芸	朱漆巴紋沈金大御供飯（模造復元）	1	〃	〃
	染織	木綿紺地格子に緯浮花織衣裳（裏：木綿黄色地紅型）（模造復元）	1	〃	〃
		木綿紺地緯絣に経浮花織衣裳（模造復元）	1	〃	〃
		絹経縞ロートン織衣裳（模造復元）	1	〃	〃
		苧麻紺地鶴に波頭文様紅型幕（模造復元）	1	〃	〃
		絹紺地巴紋入松竹梅模様紅型風呂敷（模造復元）	1	〃	〃
	陶器	擬宝珠型丁子風炉（模造復元）	1	〃	〃
		赤絵枝梅竹文碗（模造復元）	1	〃	〃
	金工	千代金丸（模造復元）	1	〃	〃
	その他	江戸与那（模造復元）	1	〃	〃
		志多伯開鐘（模造復元）	1	〃	〃
		盛嶋開鐘（模造復元）	1	〃	〃
		富盛開鐘（模造復元）	1	〃	〃
		拝領南風原型（模造復元）	1	〃	〃
		三線真壁型 銘西平	1		美術工芸品取得基金活用
		三線屋良部崎開鐘	1		〃
歴史		春宵弓張月 前後編	1	榕樹書林	宜野湾市
		還硯齋全集　続琉球國志略	1	〃	〃
		三御飾（美御前御揃）御酒器（金杯）（模造復元）	1	一般財団法人沖縄美ら島財団・株式会社国建共同企業体	本部町/一括交付金（琉球王国文化遺産集積・再興事業）成果品
		御玉貫（模造復元）	1	〃	〃
民俗		映像「民話の動画コンテンツ」25話一式	1	丸正印刷株式会社・NPO法人沖縄伝承話資料センター	西原町/一括交付金（デジタルミュージアム推進事業成果品）

【寄　贈】

分類		資料名	数量	提供者・製作者	所在地
自然史	地学	カメ化石一式（港川フィッシャー産）	1	長谷川善和	八重瀬町
		安山岩（久米島産）	1	大城逸朗	久米島町
		トゥファ（炭酸塩堆積物）（金城ダム産）	1	神谷厚昭	那覇市
		港川遺跡発掘写真資料等と化石一式	1	野原朝秀	八重瀬町
		嘉陽層砂岩中の水晶	2	知念秀樹	うるま市
		琉球石灰岩中の巻き貝化石	1	池原朝和	うるま市
	人類	港川人下顎骨B	1	大山盛弘	八重瀬町
		港川人下顎骨C	1	〃	〃
		港川人下顎骨D	1	〃	〃
		人骨（港川遺跡）	4	〃	〃
	生物	新島義龍植物写真資料　一式	1	撮影：新島義龍、寄贈：新島ユキ	那覇市
		貝類標本　一式	1	藤田　矗	豊見城市
		アマミノクロウサギ　本剥製	1	環境省奄美野生生物保護センター（委託製作：湘南剥製科学社）	鹿児島県
		アマミノクロウサギ　交連骨格	1	環境省奄美野生生物保護センター（委託製作：湘南剥製科学社）	鹿児島県
		リュウキュウヤマガメとセマルハコガメの交雑個体 本剥製	1	沖縄県教育庁文化財課（委託製作：湘南剥製科学社）	那覇市
		オナガミズナギドリ　本剥製	1	那覇獣医科病院（委託製作：東京内田科学社）	那覇市
		セグロアジサシ　本剥製	1	〃	〃
		ダイトウコノハズク　本剥製	1	〃	〃
		セイタカシギ　本剥製	1	〃	〃
		イソシギ　本剥製	1	〃	〃
		ツバメチドリ　本剥製	1	〃	〃

分類		資料名	数量	提供者・製作者	所在地
自然史	生物	エゾセンニュウ　本剥製	1	〃	〃
		リュウキュウハシブトガラス　本剥製	1	ＮＰＯ法人どうぶつたちの病院沖縄（委託製作：東京内田科学社）	うるま市
		リュウキュウハシブトガラス　交連骨格	1	〃	〃
		アジサシ　本剥製	1	〃	〃
		ノゴマ　本剥製	1	〃	〃
		セッカ　本剥製	1	〃	〃
		サンコウチョウ（オス）　本剥製	1	〃	〃
		サンコウチョウ（オス）　本剥製	1	村山　望 （委託製作：東京内田科学社）	
		ハシボソミズナギドリ　本剥製	1	四方正良 （委託製作：東京内田科学社）	粟国村
		ハシボソミズナギドリ　交連骨格	1	〃	〃
		オオミズナギドリ　本剥製	1	沖縄科学技術大学院大学 （委託製作：東京内田科学社）	恩納村
		ミフウズラ　本剥製	1	宮古島市総合博物館 （委託製作：東京内田科学社）	宮古島市
		アマツバメ　本剥製	1	土城勝彦 （委託製作：東京内田科学社）	石垣市
		シマアカモズ　本剥製	1	石垣動物病院 （委託製作：東京内田科学社）	石垣市
考古		石斧	1	島袋清助	浦添市
美術工芸	陶器	古典焼壺	1	前山みゆき	奈良県
		古典焼徳利	1	〃	〃
		古典焼貼付バナナ文徳利	1	〃	〃
		「琉球」銘入り小壺	1	〃	〃
		パナリ焼壺	1	大城君子	那覇市
		バーナード・リーチ作　絵付け皿	1	〃	〃
	染織	縮緬黄色地鳳凰牡丹扇面模様振袖	1	中村由記子	東京都
		絹経ずらし絣二重織帯	1	上江洲敏夫	うるま市
		絹茶地経縞着尺	1	〃	〃
		羊毛茶地経縞綾織服地	1	〃	〃
歴史		葛姓系図家譜	1	上間秀定	那覇市
		蔡氏世系図	1	具志愛子	那覇市
		呉江梁氏総世系図	1	〃	〃
		中山蔡氏世系図ニ叙テ（青焼き）	1	〃	〃
		仏像（銅製）	1	〃	〃
		具志川王子関連古文書	1	藤澤剛	埼玉県
		そのひゃん御嶽額　（拓本）	1	崎間セイ子	那覇市
		下馬碑（漢文）（拓本）	1	〃	〃
		首里城（英文）（拓本）	1	〃	〃
		複製護国寺の鐘　（拓本）	1	〃	〃
		おくのはちかち　（拓本）	1	〃	〃
		山水ん清さ　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		伊計島 歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		高人鏡　聯　（拓本）	1	〃	〃
		恩納節歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		超来節之碑　（拓本）	1	〃	〃
		超来よう　山内村　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		安波節　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		塩屋のけむり　詩碑　（拓本）	1	〃	〃
		しげま乙樽　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		小林寂鳥詩　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		山之口獏　詩碑　「座布団」　（拓本）	1	〃	〃
		一中健児塔　詩碑　（拓本）	1	〃	〃
		池宮城積宝　詩碑　（拓本）	1	〃	〃
		山城正忠　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		啄木碑　（拓本）	1	〃	〃
		平敷屋朝敏歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		恨む比謝矼や　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		伊集の木　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		謝那節　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		我部の年松　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		中城伊舎堂　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		伊野波節　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		与那節　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		火野あし平　詩碑　（拓本）	1	〃	〃
		大兼久　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		泊高橋　歌碑（拓本）	1	〃	〃
		浦々の深さ　歌碑（拓本）	1	〃	〃
		波之声とまれ　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		静　（拓本）	1	〃	〃
		御神松　詩碑　（拓本）	1	〃	〃
		名護からや羽地　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		赤犬子宮　（拓本）	1	〃	〃
		赤犬子　野村　歌碑　（拓本）	1	〃	〃
		ひめゆり（文子）　詩碑　（拓本）	1	〃	〃
		呉我春男詩碑　（拓本）	1	〃	〃
		大田昌秀氏直筆原稿資料	75	大田秀明	宜野湾市
		第11代齋藤用之助資料	6	第14代齋藤用之助	佐賀県

分類	資料名	数量	提供者・製作者	所在地
歴史	稲垣国三郎よりハガキ	2	真栄田和子	那覇市
	稲垣国三郎より手紙	4	高里盛国	那覇市
	オフリミッツ看板	1	新垣　元	糸満市
	大嶺政寛「沖縄風景」	1	真栄城美枝子	米国メリーランド州
	伊平屋島8ミリ映像資料	5	金城智子	八重瀬町
	琉球切手シート	1	上間喜允	沖縄市
	ハンタン山の枯木（写真パネル）	1	惣慶トミ子	那覇市
	百子様御婚姻関係資料	2	尚　幸江	那覇市
	1974年伊平屋村の映像8ミリフィルム	5	金城智子	八重瀬町
民俗	箏（長磯）　一式	1	前田千加子	那覇市
	藁筵（ニーブ）	1	特定非営利活動法人たきどぅん	竹富町
	蓄音機の民謡CD「昔、こんな歌があった」	1	山城政幸	那覇市
	アンガマ面の飾り物	1	宇佐美千賀子	豊見城市

【収　集】

分類		資料名	数量	提供者・製作者	所在地等
自然史	地学	伊平屋島・伊是名島の岩石	10		伊平屋村・伊是名村
		安山岩（久米島産）	1		久米島町
歴史		沖縄水産高校　甲子園記念ボール	1		那覇市

4　所蔵指定文化財

【国指定文化財（重要文化財）】　　2019年３月31日　現在

種　別	名　　称	員 数	指定年月日	所有者
工芸品	銅鐘（旧首里城正殿鐘）	１口	昭53．６．15	沖縄県
	梵鐘（旧円覚寺殿前鐘・旧円覚寺殿中鐘・旧円覚寺楼鐘）	３口	〃	〃
典　籍	おもろさうし	22冊	昭48．６．６	〃
	混効験集	２冊	〃	〃
歴史資料	明孝宗勅諭　琉球国中山王尚真宛	１巻	平11．６．７	〃
	間切図	７枚	平28．８．17	〃

【県指定文化財（有形文化財）】　　2019年３月31日　現在

種　別	名　　称	員　数	指定年月日	所有者
絵　画	絹本着色花鳥図殷元良筆	１幅	昭54．４．９	沖縄県
	紙本着色雪中雉子の図殷元良筆	〃	〃	〃
	紙本墨画竹の図殷元良筆	〃	昭57．３．４	〃
	紙本着色奉使琉球図	１巻	昭57．３．４	〃
	紙本着色冊封使行列図	１巻	平15．７．11	〃
彫　刻	木彫円覚寺白象並びに趣意書木札	１躯１枚	昭31.12.14	〃
	世持橋勾欄羽目	１括	〃	〃
	旧円覚寺関係木彫資料	35点	平15．７．11	〃
工芸品	黒塗螺鈿遊雁絵大文庫	１合	昭31.12.14	〃
	黒塗堆錦山水絵大文庫	〃	〃	〃
	黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀	〃	〃	〃
	聞得大君御殿雲龍黄金簪	１本	〃	〃
	三線江戸与那	１丁	〃	〃
	枝梅竹文赤絵碗	１口	昭54．９．３	〃
	線彫染付魚文皿	〃	〃	〃
	色象嵌栗絵菊花皿	〃	〃	〃
	象嵌色差面取抱瓶	〃	〃	〃

種　別	名　　称	員　数	指定年月日	所有者
工芸品	梵鐘（旧霊応寺鐘）	〃	昭60．6．18	〃
	梵鐘（旧普門禅寺鐘）	〃	〃	〃
	梵鐘（旧天竜精舎鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧天尊殿鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧天妃宮鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧一品権現鐘）	〃	〃	〃
	梵鐘　旧大安禅寺鐘（一名　護国寺の鐘）	〃	昭63．1．12	〃
	梵鐘（旧永福寺鐘）	１口	平２．２．６	〃
	黒漆山水楼閣人物螺鈿机	１基	〃	〃
	白密陀山水楼閣人物漆絵箔絵角盆	１枚	〃	〃
	朱漆山水楼閣人物箔絵丸型東道盆	１合	〃	〃
	黒漆薔薇堆錦軸盆	１枚	〃	〃
	朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯	１合	〃	〃
	三線盛嶋開鐘附胴	１丁	平６．３．15	〃
書　跡	程順則の書	１巻	昭42．４．11	〃
	扁額徳高　鄭元偉書	１面	平元．９．29	〃
	扁額凌雲　林麟焻書	１面	〃	〃
古文書	宮古島下地の首里大屋子への辞令書	１幅	昭31.12.14	〃
	伊平屋島仲田の首里大屋子への辞令書	１通	昭53．４．１	〃
	羽地間切の屋我のろへの辞令書	１幅	昭56．３．30	〃
典　籍	評定所格護定本　中山世鑑	６冊	昭31.12.14	〃
	評定所格護定本　中山世譜	19冊	〃	〃
歴史資料	銅鐘残欠（旧波上宮朝鮮鐘）	１点	昭60．６．18	〃
	安国山樹花木記碑	１基	平元．９．29	〃

５ 修理事業

戦後、沖縄戦を経て収集された博物館資料は、戦禍をくぐってきた貴重な資料である。特に琉球王国時代の美術工芸資料のなかには類例がない資料が多くある。資料は適正な温湿度管理のもと収蔵庫で大切に保存しているが、経年による変化で修復が必要な状態になっているものが多くある。資料によっては、当館へ収蔵された時点ですでに劣化している資料もある。

当館では、限られた予算の範囲で沖縄の歴史・文化史上重要な資料の修理事を実施した。修理を必要とする資料が多くある中で、展示公開の頻度や展示効果の高さを考慮して優先順位をつけて選定した。また博物館活動のひとつである資料の保存活用を推進するための修理事業についての理解を促すために、平成30年度新収蔵品展では修理コーナーを設けて、修理した資料の展示公開を行った。

【予算執行額】　2,110,000円

【事業内容】

修理件数：３件３点

◯美術工芸（漆器）黒塗螺鈿葡萄に栗鼠絵食籠（身のみ）（１基）

◯美術工芸（絵画）紙本著色　古琉球風俗田舎娘之図（１幅）

◯美術工芸（書跡）曽歴書（１幅）

「古琉球風俗田舎娘之図」

【修理内容】

漆器資料に関しては、経年の汚れ、乾燥による木地の収縮、漆塗膜の亀裂・剥離・劣化が生じていた。修理は、修理前の写真撮影・調査を経て、塗膜の汚れを取り除くクリーニングを行い、漆固め、塗膜と螺鈿の接着、刻苧、錆下地付けなどの作業を行った。修理後には写真撮影・報告書を作成し、修理前後の様子を記録した。作業の際には修理業者と担当学芸員が修理方針を確認し合いながら、現状保存修理を原則として行った。

絵画資料「古琉球風俗田舎娘之図」修理においては欠失箇所に補修紙で補修を施し、横折れには「折れ伏せ」の作業などを行い、長期的な保存・管理ができるようにした。また本紙を科学分析した結果、竹紙であると確認された。書跡資料においては次年度展示予定の「曽歴書」の修理を行った。

黒塗螺鈿葡萄に栗鼠絵食籠

曽歴書

【修理業者】漆器：琉球漆工藝舎、絵画・書跡：石川堂

（篠原　あかね）

6　資料保存管理事業　レプリカ・剥製製作（生物資料）

資料収集･保存は、博物館の大きな役割のひとつである。本事業は、県立の博物館施設として、沖縄県に現存する貴重な動植物を剥製やレプリカにして保存することで、その役割の一部を、継続的かつ半永久的に果たしてゆくことを目的とし、平成23年度より新たに立ち上げられた事業である。本館所蔵のレプリカ・剥製の数、種類は未だ十分とは言えず、今後も展示を視野に入れながら、少しずつ増やしてゆくことが望まれる。

剥製製作予定の標本は、多くが交通事故死等により滅失したものを、拾得者が本館へ寄贈してくれたものである。遺体は剥製にするまで冷凍室で保存している。現在、冷凍室には数百の標本が保管されているため、状態の良い物や保存価値のあるもの（希少性の高いもの）から順に、剥製（またはレプリカ）として再生してゆく。

平成30年度は、以下の動物剥製および骨格標本を委託製作した。

名　　称	提　　供	委託製作
アマミノクロウサギ　本剥製	環境省奄美野生生物保護センター	湘南剥製研究所 （神奈川県平塚市）
アマミノクロウサギ　交連骨格	〃	〃
リュウキュウヤマガメとセマルハコガメの交雑個体　本剥製	沖縄県教育庁文化財課	〃
オナガミズナギドリ　本剥製	那覇獣医科病院	東京内田科学社 （埼玉県三郷市）
セグロアジサシ　本剥製	〃	〃
ダイトウコノハズク　本剥製	〃	〃
セイタカシギ　本剥製	〃	〃
イソシギ　本剥製	〃	〃
ツバメチドリ　本剥製	〃	〃
エゾセンニュウ　本剥製	那覇獣医科病院	東京内田科学社 （埼玉県三郷市）
リュウキュウハシブトガラス　本剥製	NPO法人どうぶつたちの病院沖縄	〃
リュウキュウハシブトガラス　交連骨格	〃	〃

名　　称	提　　供	委託製作
アジサシ　本剥製	〃	〃
ノゴマ　本剥製	〃	〃
セッカ　本剥製	〃	〃
サンコウチョウ（オス）　本剥製	〃	〃
サンコウチョウ（オス）　本剥製	村山　望	〃
ハシボソミズナギドリ　本剥製	四方正良	〃
ハシボソミズナギドリ　交連骨格	〃	〃
オオミズナギドリ　本剥製	沖縄科学技術大学院大学	〃
ミフウズラ　本剥製	宮古島市総合博物館	〃
アマツバメ　本剥製	土城勝彦	〃
シマアカモズ　本剥製	石垣動物病院	〃

（菊川　章）

7　資料収集事業

（1）資料収集

資料収集事業は、文化財の収集活動によって沖縄の遺産を保存管理し、調査研究を踏まえた展示を通して、本県の教育文化の振興・向上をめざした事業である。常設展示において魅力ある展示を構成する上で、資料収集事業は不可欠である。本事業では、沖縄における文化及び、歴史的価値の高い資料の購入を計画的に行っている。

今年度は、「還硯齋全集　続琉球国志略」及び「春宵弓張月　前後」の２件を購入した。

「続琉球国志略」は、琉球国最後の国王尚泰を冊封した趙新が著した書物であり、当該資料はその還硯齋全集である。「趙新・続琉球国志略」光緒８年（1882）は、福州黄楼版として原刊本の影印がいくつか発行されたと思われるが、発行年月日は不明である。趙新への情報提供者には、琉球地名の呼び方を中国風ではなく、琉球風の呼び方が多くみられ琉球王国末期の様子が伺える貴重な資料である。

当館には周煌の「続琉球国志略」（登録番号：1741）が所蔵されており、当該資料と比較し冊封の変遷を展示紹介することができる。すでに修復がなされ保存状態も良好である。

「春宵弓張月　前後」全12冊揃。「椿説弓張月」は、曲亭馬琴作・葛飾北斎画の読本。

文化４年（1807）から同８（1811）にかけて刊行された。全５編、「保元物語」に登場する強弓の武将鎮西八郎為朝と琉球王朝開闢の秘史を描いている。物語は、琉球に渡った為朝が琉球王国を再建（為朝が琉球へ逃れ、その子が初代琉球王・舜天になったという伝説）を創作した内容になっている。日本史のなかでも悲劇の英雄の一人である源為朝の伝承に琉球国建国をからめた物語の展開は、当時好評を博し、歌舞伎や浄瑠璃、小説などに影響を与えた。当館には錦絵（登録番号：17928、17871、17872、17873）、「椿説弓張月」（登録番号：22043）を所蔵しているが保存状態がよくなく欠号があり不完全であった。

当該資料は未収集であり、琉球王朝開闢の物語がどのように描かれたかを知るうえで貴重な資料であり、琉球王国時代の研究に欠かせない資料である。当該資料は、保存状態も良好であり、全12冊揃の完全版である。

（久部良　和子）

（2）基金

【事業概要】

当館の収蔵品は、沖縄の歴史・文化を後世に伝える貴重な資料である。特に先の大戦で戦火を免れた琉球王国時代の資料は現存数が少ないことに加え、文化的・歴史的に非常に価値が高い。当館ではこのような資料を収集し、常設展や企画展において展示公開の機会を設けることにより、沖縄県の文化振興に寄与すると共に県民の学びの場を提供し、豊かな沖縄の創造を目指している。

資料収集活動の一つである沖縄県美術品等取得基金（以下「基金」という）は、貴重な資料を購入し、県外および国外に流失させないことを目的の一つとしている。当館では、調査研究や展示の充実を図るために、沖縄の歴史・文化の豊かさを表す資料を基金により継続的に収集している。なお収集にあたって外部の有識者による収集委員会を招集し、意見を求めて購入の可否を判断している。

本年度は11月30日に収集委員会（３名）を開催し、県指定有形文化財「三線真壁型　銘西平」と「三線　屋良部崎開鐘」の２挺の購入を基金財源で運用した。

三線　真壁型　銘　西平

三線　屋良部崎開鐘

（篠原　あかね）

８　資料貸出

○事 業 名：美術館企画展「涯テノ詩聲　詩人 吉増剛造展」
主　　催：沖縄県立博物館・美術館
会　　場：沖縄県立博物館・美術館　美術館１階展示場
貸出期間：2018年４月27日～６月24日
貸出資料：ミルク神面１点

○事 業 名：平成30年度那覇市歴史博物館企画展「OKINAWA BLACK」
主　　催：那覇市歴史博物館
会　　場：那覇市歴史博物館
貸出期間：2018年３月21日～2019年１月10日
貸出資料：黒朝衣　１領

○事 業 名：春日井市道風記念館特別展「琉球の書」
主　　催：春日井市道風記念館
会　　場：春日井市道風記念館
貸出期間：2018年６月20日～10月23日
貸出資料：宮古島下地の首里大屋子への辞令書、程順則の書　他７点（計９点）

○事 業 名：サントリー美術館展覧会「琉球　美の宝庫」
主　　催：サントリー美術館
会　　場：サントリー美術館
貸出期間：2018年６月24日～９月18日
貸出資料：雪中雉子の図、白地流水蛇籠に桜葵菖蒲模様衣裳　他26点
程順則像（寄託）１点　（計29点）

○事 業 名：企画展「きらきらひかる展－世界の輝く宝ものー」
主　　催：浦添市美術館
会　　場：浦添市美術館
貸出期間：2018年８月30日～11月13日
貸出資料：龍頭観音像、聞得大君御殿雲龍黄金簪（複製）、鉱物標本（アメジスト、瑪瑙、ダイヤモンド、オパール、金、銀、黄鉄鉱、水晶）

○事 業 名：「世界のナカグスクンチュに会いに行こう！2018 in 護佐丸歴史資料図書館」
主　　催：中城村護佐丸歴史資料図書館
会　　場：中城村護佐丸歴史資料図書館
貸出期間：2018年10月11日～11月20日

貸出資料：世界の貨幣85点、世界の国旗一式

○事 業 名：平成30年度那覇市壺屋焼物博物館特別展「民藝と壺屋焼」
主　　催：那覇市壺屋焼物博物館
会　　場：那覇市壺屋焼物博物館
貸出期間：2018年10月31日～2019年２月15日
貸出資料：黍文碗　１口

○借 用 先：公益財団法人沖縄こどもの国、ネオパークオキナワ
貸出期間：2019年１月22日～３月22日
貸出資料：アンモナイト化石（土橋寄託資料）一式

○借 用 先：慶良間諸島国立公園ビジターセンター　さんごゆんたく館
貸出期間：2019年３月１日～４月26日
貸出資料：沖縄県内の岩石鉱物・化石標本、地質・地史・地質図パネル

○事 業 名：2019年度新指定国宝・重要文化財展
主　　催：文化庁
会　　場：東京国立博物館
貸出期間：2019年１月22日～2019年５月31日
貸出資料：安国山樹華木記碑（拓本掛軸）、真珠湊碑文（拓本）、国王頌徳碑（拓本）合計３点

○事 業 名：文化交流展示「海の道、アジアの路」
主　　催：九州国立博物館
会　　場：九州国立博物館　文化交流展示室
貸出期間：2017年４月１日～2018年３月31日（平成18年度から継続）
貸出資料：厨子甕６点

○事 業 名：常設展示「日本の文化（沖縄のくらし）」
主　　催：国立民族学博物館
会　　場：国立民族学博物館　本館展示場
貸出期間：2013年12月10日～2023年３月31日
貸出資料：黒釉嘉瓶、張り子、農具・漁具等計33件35点及び、映像「ウミのワザ」

９ 写真貸出

博物館・美術館では、県民の財産である収蔵資料の普及的活用の一環として、資料の写真画像等の貸出も行っている。毎年多くの写真借用・資料撮影関連の依頼があり、2018年度は博物館班に195件の依頼があった。

〔利用区分〕をみると、「１．写真原板（デジタルデータ）」、「２．撮影」、「３．掲載」に分けられる。内訳は、１．写真原板（デジタルデータ）は、99件、２．撮影は20件、３．掲載は103件となっている（※件数は重複する）。

〔目的〕は、「出版物」が123件、「映画」は０件、「テレビ」が32件、「DVD」が２件、「CD」は４件、「その他」が58件で、調査研究のための資料収集のほか、展示会パネル、インターネットへの使用などがあげられる。ほか「複製」が１件となっている。

東京文化財研究所の資料調査

申請依頼先は、出版社関係が多く、次いでテレビ番組や映像製作会社、博物館・資料館などの機関、広告関連会社となっている。

分野ごとで希望の資料をみていくと、歴史分野では、「旧首里城正殿鐘」や「間切図」、「おもろさうし」などがあり、美術工芸分野では、絵画の申請がもっとも多く、「首里那覇港図屏風」や「冊封使行列図」、「琉球人座楽之図」などで、次いで、染織の紅型衣裳と続く。民俗分野では「三線」が多く、考古では「線刻石版」や土器類、自然史分野では、近年継続して成果報告があげられているサキタリ洞遺跡の出土品や「港川人復元模型」の申請が多い。

（勝連　涼子）

美 術 館

Ⅰ 調査研究等の活動
Ⅱ 展示活動
Ⅲ 教育普及活動
Ⅳ 資料収集・保存管理

Ⅰ　調査研究等の活動

１　調査研究の概要

調査研究事業（以下、本事業とする）を美術館活動の根幹と捉え、開館準備の頃より収集作品調査及び、企画展開催に伴う調査研究に重点を置いて積極的に取り組んできた。
2018年度については、前年度に引き続いて美術館紀要の充実を年度目標に掲げ、テーマを絞って考察した。

（１）調査研究の事業内容

① 美術品の収集に関すること
② 美術品の保存科学に関すること
③ 美術品の修復に関すること
④ 展示技術に関すること
⑤ 教育普及に関すること
⑥ 美術情報提供システムの活用に関すること
⑦ ボランティア育成支援に関すること
⑧ 美術館の振興に関すること

（２）学芸員研究

研究テーマを設定し、一年ないしは数年をかけて調査研究に取り組み研究紀要にまとめる。

No.	氏　名	研 究 テ ー マ
1	豊見山　愛	「儀間比呂志の世界」展を終えて－儀間の「沖縄」をめぐる表現
2	亀海　史明	伊志嶺隆と平敷兼七の初期作品について
3	玉那覇英人	上條文穂の彫刻表現について　－素材との対話－ 波多野泉の彫刻表現について　－観察と肖像－
4	梶原　正史	沖縄県立博物館・美術館における虫害について データを通しての考察Ⅱ
5	謝花　聡恵	「博物館資料のデジタルアーカイブとデータベース」研修報告

（３）調査研究体制

調査研究活動は学芸員及び、データベース担当職員で実施した。画像を含む調査によって得られたデータは研究用データベースに保存しており、展覧会事業、収集事業といった内部資料はもとより、個人情報保護の範疇にないものに限り、外部のレファレンスにも対応するよう心掛けた。その場合は熟覧申請等、正式な申請を踏まえて実施した。

（豊見山　愛）

２　調査・研究・講演・著作論文等

富原　圭子（主任学芸員／教育普及担当）

○調査・研究

沖縄美術の流れに関する調査研究

・ボランティア研修会（稲嶺成祚氏）資料調査（那覇市首里崎山稲嶺宅）（2018年３月19・26・30・４月１・５・９・13）
・コレクション３鑑賞サポートシート作成（2018年12月～３月）
・中学校出前授業教材開発「ニシムイ」（2018年12月～３月）

移動展（伊平屋島）移動展会場・借用資材調整等・ワークショップ材料・資料調査（伊平屋島）（2018年10月25日・26日）

・伊平屋中学校・伊平屋小学校・野甫小中学校・伊平屋保育園･幼稚園　趣旨説明

美術館学校支援プログラムに関する研究・教員講座・実技研修

【中学部会】（2018年６月16日）
・「中学校美術科授業作り～導入時のヒント～」
・「美術館とつながる鑑賞授業
・新学習指導要領移行期の中学校美術科授業作り

【小学部会】（2018年８月９日・８月21日）

・「たのしい図工の授業」　実技研修①　協賛：ぺんてる株式会社・日本文教出版株式会社・沖縄県学校用品株式会社

【小学校部会・幼稚園部会・保育園・こども園部会】

・「画材の基礎知識」　協賛：ぺんてる株式会社・日本文教出版株式会社

【中学部会】（2018年12月22日）

・新学習指導要領移行期のポイント
・県立美術館学校支援プログラム「ニシムイ」中学校鑑賞プログラム紹介
・学校行事とつなぐ授業の作り方

○出前講座・授業（鑑賞レクチャー）

・西原町立西原東小学校　（2018年９月10日）
・県立泡瀬特別支援学校　（2018年９月20日）
・県立島尻特別支援学校　（2018年９月25日）
・読谷村立古堅小学校　（2018年９月26日）
・南城市立百名小学校　（2018年10月１日）
・八重瀬町立新城小学校　（2018年10月10日）
・北谷町立北玉小学校　（2018年10月22日）
・西原町立西原中学校　（2018年11月１日）
・県立西崎特別支援学校　（2018年11月９日）
・うるま市立南原小学校　（2018年11月29日）
・県立森川特別支援学校　（2018年12月５日）
・本部町立瀬底小学校　（2018年12月10日）
・うるま市立平敷屋小学校（2018年12月10日）
・うるま市立宮森小学校　（2018年12月13日）
・豊見城市立伊良波中学校（2019年１月５日）
・国頭村立国頭中学校　（2019年１月10日）
・国立琉球大学附属中学校（2019年１月13日）

○著作・論文等

・『沖縄県立博物館・美術館　美術館教育普及報告書　2018年度』　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

豊見山　愛（主任学芸員）

○調査・研究　（主として研究課題が展覧会企画業務に関わるものを選定し記述）

・儀間比呂志展準備に関する調査（新川明氏）（2018年５月29日、６月４日）
・儀間比呂志展準備に関する調査（南風原文化センター）（2018年４月10日）
・儀間比呂志展準備に関する調査（ギャラリープルミエ）（2018年４月25日、５月２日、23日）
・儀間比呂志展準備に関する調査（川満信一氏）（2018年５月25日）
・儀間比呂志展準備に関する調査（琉球新報社）（2018年５月25日、６月15日）
・儀間比呂志展準備に関する調査（琉球大学図書館）（2018年５月26日、６月１日）
・儀間比呂志展準備に関する調査（佐喜眞美術館）（2018年６月12日、21日、８月５日）
・儀間比呂志展準備に関する調査（那覇市内所有者）（2018年６月14日、22日）
・儀間比呂志展準備に関する調査（ギャラリー象）（2018年６月20日）
・大城精徳氏作品に関する調査（那覇市内所有者）（2018年７月26日、21日）
・ウエチヒロ氏作品に関する調査（琉球新報社）（2018年９月13日）
・儀間比呂志展展覧会調査（名護博物館）（2018年10月４日、11日）
・センス・オブ・ワンダー展展覧会調査（OIST）（2018年10月17日）
・ゴヤフリオ展展覧会調査（那覇市内）（2018年10月18日）
・山川さやか個展調査（那覇市内）（2018年11月16日）
・展覧会等調査（広島市現代美術館・福岡アジア美術館）（2018年11月21、22日）

○講演等（外部依頼のみ）

・名　　称：「東京↹沖縄 池袋モンパルナスとニシムイ美術村」展
　期　　日：2018年４月14日（土）14:00－16:00
　依頼機関：板橋区立美術館（東京都板橋区赤塚５-34-27）
・名　　称：「追悼・儀間比呂志　沖縄を描き続けた版画家」展オープニング・トーク
　出　　演：新川明（ジャーナリスト）、豊見山愛（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）
　期　　日：2018年７月14日（土）14:15～16:00
　依頼機関：原爆の図丸木美術館（埼玉県東松山市下唐子1401）

○著作・論文等（エッセイ・新聞記事等を除く）
・「ミュージアム・ミュージアム」『デアルテ34号』　九州藝術学会
・「郷土を愛した沖縄の民衆版画家 儀間比呂志」執筆・監修『版画芸術No. 180 2018夏』pp. 110 -115　阿部出版株式会社　2018年６月１日
・「「儀間比呂志の世界」に寄せて」『「儀間比呂志の世界」展記念パンフレット』pp. 14-15　沖縄県立博物館・美術館　2018年７月13日
・「「儀間比呂志の世界」展を終えて ― 儀間の「沖縄」をめぐる表現」『沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要』第８号　pp. 9-25　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月25日

玉那覇　英人（主任）
○調査・研究　（主として展覧会企画業務に関わるものを選定し記述）
・宮城健盛アトリエ調査（南風原町）（2018年４月９日）
・彫刻作家３名アトリエ調査（南風原町、与那原町、那覇市）（2018年７月22日）
・彫刻家・上原よし氏アトリエ調査（与那原町）（2018年７月23日）
・次年度企画展出品予定作家・上條文穂氏調査（沖縄県立芸術大学）（2018年８月～11月）
・次年度企画展出品予定作家・上條文穂氏調査　（繁多川アトリエ）(2018年10月27日）
・次年度企画展上條文穂・波多野泉展調査（沖縄県立芸術大学）（2018年12月４日～25日）
・研究紀要のための作家調査（沖縄県立芸術大学）（2019年１月22日～３月16日）
○講演・発表等
・名　　称：ギャラリートーク+学芸員講座《沖縄における現代彫刻の変遷》
　日　　時：2018年11月17日（土）
　場　　所：美術館講座室
○著作・論文等
・「上條文穂の彫刻表現について　－素材との対話－」『沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要』第８号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月
・「波多野泉の彫刻表現について　－観察と肖像－」『沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要』第８号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

梶原　正史（学芸員／保存修復担当）
○調査・研究
・東京ゃ沖縄池袋モンパルナスとニシムイ美術村出品作品クーリエ業務（返却）（2018年４月15日～16日）
・奄美大島・企画展調査（2018年８月31日～９月１日）
・福岡・九州国立博物館にて平成30年度IPM研修（2018年10月24日～26日）
・京都・京都国立近代美術館「藤田嗣治展」貸出作品のクーリエ業務・作品調査（2018年12月17日～19日）
・パリ・日本文化会館「ジャポニスム2018藤田嗣治展」貸出作品のクーリエ業務（2019年１月８日～12日）
・大阪・16mmフィルム調査、名古屋・絵画修復用機材調査（2019年２月５日～28日）
・シンガポール・HCC（ヘリテージ・コンサベーション・センター）にて保存修復センター見学、シンガポール国立美術館・修復室見学、民間の絵画修復工房調査（2019年２月25日～28日）
○講演・発表等
・名　　称：学芸員講座《修復とコレクションについて》
　日　　時：2018年６月２日（土）
　場　　所：美術館講座室
・名　　称：宮城健盛展ギャラリートーク
　日　　時：2018年９月12日（水）
　場　　所：エントランス／企画展示室
・名　　称：宮城健盛展シンポジウム＋キュレータートーク
　日　　時：2018年10月13日（土）
　場　　所：美術館講座室
○著作・論文等
・「沖縄県立博物館・美術館における虫害についてデータを通しての考察Ⅱ」『沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要』第８号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

亀海　史明（学芸員／写真・映像担当）
○調査・研究
・「伊志嶺隆と平敷兼七」展に関する平敷兼七ギャラリー所蔵作品・資料調査（2018年５月、断続的に実施）
・「伊志嶺隆と平敷兼七」展に関する平敷兼七作品の実地調査、関係者聞き取り（南大東村教育委員会ほか、

南北大東島島内）（2018年７月３日～８日）
・宮城健盛展に関する文献調査（琉球大学）（2018年８月１日～２日）
・「伊志嶺隆と平敷兼七」展に関する平敷兼七・伊志嶺隆作品の実地調査、関係者聞き取り（宮古島市総合博物館ほか、宮古島、池間島、伊良部島、古宇利島島内）（2018年９月２日～４日）
・「伊志嶺隆と平敷兼七」展に関する平敷兼七・伊志嶺隆作品の実地調査、関係者聞き取り（武蔵野美術大学、南灯寮、慶應義塾大学メディアセンター、東京綜合写真専門学校ほか、東京都区内、横浜市内）（2018年９月25日～30日）
・「伊志嶺隆と平敷兼七」展に関する伊志嶺隆作品調査（沖縄市）（2018年10月10日）
・「伊志嶺隆と平敷兼七」展に関する平敷兼七関係者取材（那覇市）（2018年10月14日）
・「伊志嶺隆と平敷兼七」展に関する平敷兼七関係者取材（本部町）（2018年12月２日）
・「伊志嶺隆と平敷兼七」展に関する文献調査（国立国会図書館ほか、東京都区内）（2018年12月７日～９日）
・「伊志嶺隆と平敷兼七」展に関する自費調査、関係者取材（那覇市、東京都区内、千葉県船橋市内）（2018年12月28日～31日）
・照屋勇賢に関する作家調査（上海当代芸術博物館ほか、中国・上海市内）（2019年２月25日～３月１日）
・次年度企画展に関する作品調査（沖縄市）（2019年３月20日）
・全国美術館会議学芸員研修会参加（東京都区内）（2019年３月22日）
・真喜志勉に関する資料調査（浦添市）（2019年３月26日）

○講演・発表等
・名　　称：学芸員講座＋キュレータートーク「伊志嶺隆と平敷兼七について」
　日　　時：2019年３月９日（土）
　場　　所：美術館講座室

○著作・論文等
・「伊志嶺隆と平敷兼七　試論」『伊志嶺隆と平敷兼七』（展覧会パンフレット）　沖縄県立博物館・美術館　2019年２月
・「伊志嶺隆と平敷兼七の初期作品について」『沖縄県立博物館・美術館　美術館紀要』第８号　沖縄県立博物館・美術館　2019年３月

Ⅱ 展示活動

１　展示活動概要

美術館のコレクション展は、通年３期に分けて展示替えを行うが、本年度は本数を制限して企画性の高いコレクション展「儀間比呂志の世界」と「伊志嶺隆と平敷兼七」を開催した。

その内容は、収蔵作品と寄託作品をテーマ展示の形式で公開した。コレクションギャラリー１では、小品の写真、版画、水彩画、エスキースを中心に展示をし、ギャラリー２では絵画や彫刻、大型の写真や現代美術等、ギャラリー３では沖縄の戦後美術を、これまで系統的に展示をしてきた。

企画展では郷土の芸術家や、沖縄ゆかりの国内外の優れた芸術家、あるいは現在活躍する現代美術について、学芸員の調査研究を基に、その成果を自主企画展や、他館との連携なども行いながら展示公開した。

（豊見山　愛）

２　コレクション展（常設展）

（１）「儀間比呂志の世界」【絵画・版画】

会　　場：コレクションギャラリー１・２
会　　期：2018年（平成30）７月13日（金）～2019年（平成31）１月６日（日）
担　　当：豊見山愛
内　　容：本展覧会は、2017年４月11日に没した、儀間比呂志の版画と絵画とを展示する追悼展である。儀間比呂志は、沖縄県那覇市生まれの美術家・絵本作家である。儀間の作品には、一貫して郷土・沖縄へのたゆまない愛が流れており、その沖縄を踏みにじった、戦争の不条理さを赤裸々に表現している。当館が所蔵する儀間比呂志の戦争版画シリーズは『戦がやってきた』（1979年）、『沖縄の悲哭』（1982年）、『りゅう子の白い旗』（1985年）、『沖縄戦　朝鮮人軍夫と従軍慰安婦』（1995年）らの絵本に収められている。戦後、儀間が大阪へ定住しながらも、郷土の戦後復興に視線を向けていたことが偲ばれる。絵本作家として著名な儀間の、画家としての仕事と、そこから派生したプロレタリアアートとしての版画、絵本の仕事を通して、その世界観を感じることのできる初の

追悼展となった。

（豊見山　愛）

（2）「伊志嶺隆と平敷兼七」【写真】

会　　場：コレクションギャラリー１・２
会　　期：2019年（平成31）１月11日（金）～６月23日（日）
担　　当：亀海史明
内　　容：伊志嶺隆（1945-93）と平敷兼七（1948-2009）は、同年代に生まれた沖縄の写真家である。ふたりは沖縄の日本への復帰という激動の時代に20代を過ごし、その後も沖縄をどのように撮るべきかを模索し続け、独自の表現を切り開いていった作家といえる。本展では、当館所蔵の作品とともに関連資料を紹介し、ふたりが独自の表現を見いだすまでに至った足跡をたどった。

（亀海　史明）

（3）「沖縄美術の流れ」

会　　場：コレクションギャラリー３
会　　期：前期　2018年７月13日（火）～2019年１月６日（日）
　　後期　2019年１月12日（土）～2019年６月23日（日）
担　　当：玉那覇英人
内　　容：沖縄には、本土と異なる風土と歴史の中から育まれてきた独特な文化がある。沖縄の美術もまた、その中から生み出され育まれてきた。現代までのさまざまな時代の変容は、沖縄の美術家とその作風に大きく影響を与えてきたと言える。「沖縄美術の流れ」では、沖縄の画家や沖縄に影響を与えた画家、又は沖縄と交流があった画家の作品を、戦前、戦後、復帰後、現代に章分けし、その変遷を紹介した。

（玉那覇　英人）

３　企画展　「涯（ハ）テノ詩聲（ウタゴエ）　詩人 吉増剛造展」

会　　期：2018年（平成30）４月27日（金）～ ６月24日（日）
会　　場：美術館企画ギャラリー１・２、アトリウム

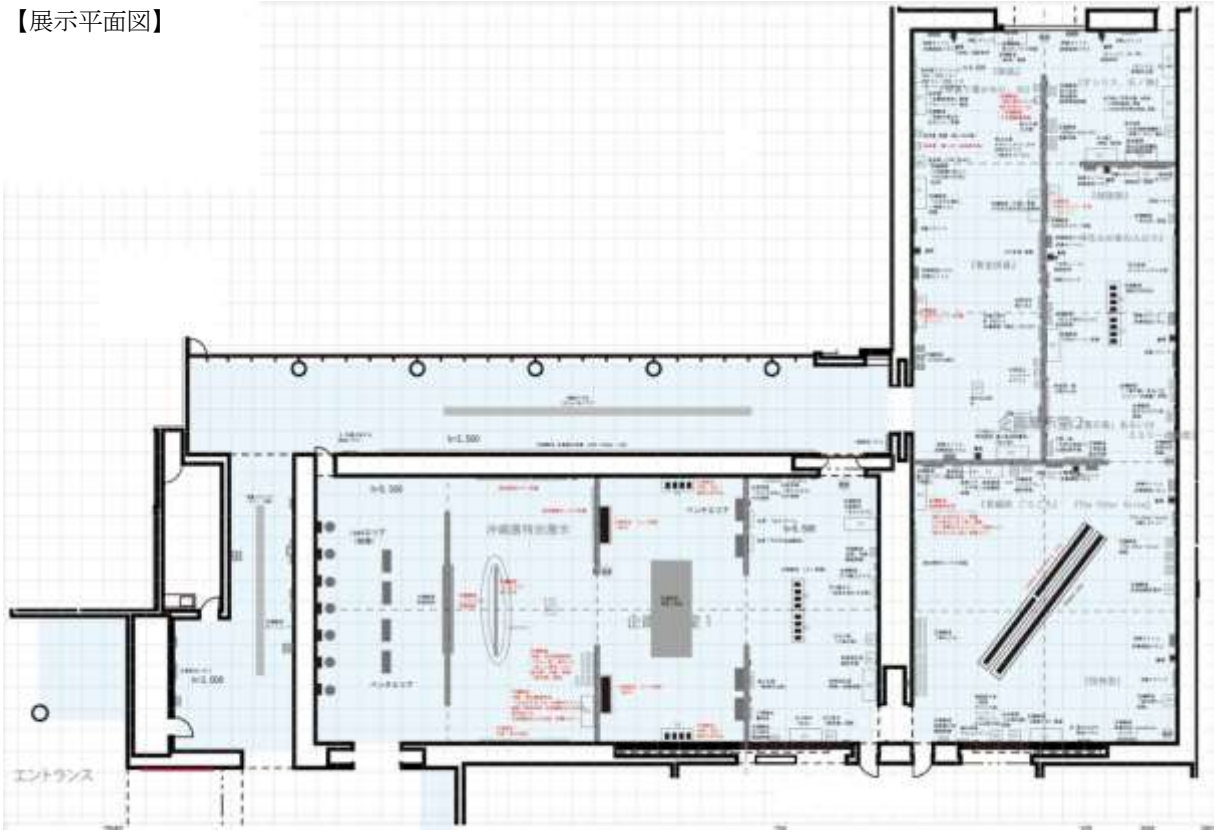
【開催形式】
主　　催：沖縄県立博物館・美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協　　賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

【内　　容】
吉増剛造（よします・ごうぞう 1939～）は、1960年代から現在にいたるまで、日本の現代詩をリードし続けてきた。その活動は、詩をはじめとすることばの領域にとどまらず、写真や映像、造形など多岐に広がり、私たちを魅了し続けている。

常にことばの限界を押し広げてきた吉増の詩は、日本各地、世界各国をめぐり、古今東西、有名無名の人々との交感を重ねる中で綴られてきた。本展では、吉増が半世紀以上の間に残してきた数多くの詩集の中から、『黄金詩篇』（思潮社　1970年）、『草書で書かれた、川』（思潮社　1977年）、『熱風 a thousand steps』（中央公論社　1979年）、『オシリス、石ノ神』（思潮社　1984年）、『螺旋歌』（河出書房新社　1990年）、『花火の家の入口で』（青土社　1995年）、『「雪の島」あるいは「エミリーの幽霊」』（集英社　1998年）『The Other Voice』（思潮社　2002年）、『長篇詩 ごろごろ』（毎日新聞社　2004年）、『怪物君』（みすず書房　2016年）を各時代の代表的な詩作品として位置付け、展示の柱とした。そして、吉増の詩、写真、映像、造形作品に加えて、関連するさまざまな表現者の作品や資料と共に展示し、そこから、彼の詩が巨大な背景を含んで成り立っていることを明らかにした。

【出 品 者】
吉増剛造／赤瀬川原平／芥川龍之介／荒木経惟／石川啄木／浦上玉堂／折口信夫／加納光於／川合小梅／川端康成／北村透谷／島尾敏雄／島尾ミホ／ダイアン・アーバス／高村光太郎／瀧口修造／東松照明／中上健次／中西夏之／中平卓馬／奈良原一高／西脇順三郎／萩原朔太郎／柳田國男／吉本隆明／松尾芭蕉／南方熊楠／森山大道／与謝蕪村／良寛／若林奮

【展示平面図】



（玉那覇　英人）

4　企画展　「沖縄の美術シリーズⅦ　宮城健盛展 －人と美術をつなぐものー」

会　　期：2018年（平成30）９月12日（水）～10月28日（日）
会　　場：美術館企画ギャラリー１・２
観 覧 料：一般1,000円（800円）高校・大学生600円（480円）小・中学生300円（240円）
※（　）内は前売・団体料金。※障がい者手帳をお持ちの方と介助者の方１名は半額。
観覧者数：2,341名

【開催形式】
主　　催：沖縄県立博物館・美術館
協　　力：国立大学法人琉球大学、那覇市、南風原町立南風原文化センター、南城市教育委員会（佐敷小学校）、沖縄平和祈念堂美術館、世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム後援ー沖縄県教育委員会、沖縄県文化協会、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、那覇市教育委員会、那覇市文化協会、一般社団法人沖縄県美術家連盟、沖縄タイムス社、琉球新報社、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、NHK沖縄放送局、fm那覇、沖縄県立美術館支援会happ（順不同）

【内　　容】
本展は、戦後草創期の沖縄の美術家にスポットをあてた「沖縄の美術シリーズ」の第７回で、宮城健盛を紹介するものである。
宮城健盛（1915－2001）は、戦後復興期の沖縄美術界を支えたアーティストの一人である。南風原村（現・南風原町）で生まれ、1941年東京美術学校の図画師範科を卒業、奄美大島に渡り、大島中学校の美術教員となった。1950年に帰沖後、知念高校、琉球大学に勤め、広く美術教育に関わり、多くの後進を育てた。いまもなお沖縄近代美術の重要な画家とみて間違いない。
本展は、コレクターをはじめ、沖縄県内に散逸する作品を中心に作品や資料を借用して、130点ほどの作品により、多面的な宮城の世界を紹介する、沖縄で25年ぶりとなる回顧展である。さらにその影響を受けた後進にも迫ることで、宮城健盛の足跡を辿る内容とした。

【展示構成】
展示は、プロローグ～第３章に分けて構成し、関連する資料をはじめ、宮城健盛の生涯、絵画の変遷を展示す

ることによって宮城の人物像と芸術を紹介。

プロローグ　生い立ちから東京美術学校入学、帰沖するまで

宮城健盛は、1915年沖縄県南風原村で生まれた。沖縄県立第一中学校へ入学、美術部に所属し、絵を描くことに夢中になった。1938年東京美学校図画師範科へ入学した。卒業後は鹿児島県名瀬市奄美大島の大島中学校で美術教員としての日々を送った。次第に戦火が忍び寄り、沖縄へ帰沖後、佐世保海軍へ入隊、対馬で終戦を迎える。奄美大島時代に描いたと思われる油彩作品、東京美学校時代の資料などを中心に展示した。

第１章　変容するスタイル

1950年、念願かなって帰沖した宮城は絵を描きながら暮らすことを考えつつ、知念高校で美術教員として後進の指導にあたる。自身も沖縄の美術グループ「1955年協会」、「創斗会」に加わるなどし、さまざまな芸術の影響を受け、作品を発表し続けた。画風はどっしりとした構図に土着的なにおいを感じさせる風景画から、1960年代初めはシャープな線と重厚なマチェールによる画風へ変化する。1960年代後半から70年代にかけてはアクションペインティングのような様式へと挑戦も見られた。この章では帰沖後の作品群と宮城が影響を受けた美術グループの作品を併せて展示した。

第２章　美術教育者として

宮城は1957年に琉球大学美術工芸科講師となり、1981年に定年退職するまで、同大学において教鞭をとった。主に水彩画、毛筆写生、石膏版画、美術科教育法の授業を受け持った。また沖縄造形教育連盟にも深くかかわり、幼児画教育研究会も立ち上げた。教え子と美術団体を繋げ、美術教育者を育て、宮城は自身の画業だけでなく、教鞭をとる中で様々な人物との交流を深めていった。主にこの章では1970年代以降の作品、宮城と関係のあった画家の作品、教育関係の資料を併せて展示した。

第３章　繋いできたもの

宮城の晩年は、風景作品が多くみられ、自身が旅行した場所を写真に収め、同じような構図で仕上げていった作品が多い。琉球大学を退官後は水墨画教室を開き、頼まれれば静物画を描き、サムホールサイズの水彩画など小品を仕上げ、描く喜びを謳歌したような情趣溢れる作品を残した。この章では晩年の作品を主に展示し、使用していた描画材などの資料も展示した。

【展示平面図】

【関連催事】

（1）オープニング＋ギャラリートーク
日　時：2018年９月12日（水）９:30～10:30
会　場：エントランス／企画展示室
参加者：50名

（2）シンポジウム＋キュレータートーク
日　時：2018年10月13日（土）14:00～17:00
会　場：美術館講座室／企画展示室
参加者：48名
講　師：稲嶺成祚(画家)・喜久村徳男(画家)・梶原正史(当館学芸員)

【会場風景】

（梶原　正史）

Ⅲ 教育普及活動

１　美術館教育普及活動の概要

美術館の教育普及活動は、「鑑賞活動の支援プログラム」「実技体験の支援プログラム」「発表活動の支援プログラム」という３つの柱に沿って展開している。

鑑賞活動のプログラムでは、ガイドボランティアによる「対話による鑑賞」を展開し、今年度は学校団体への対応に加えと連携した新たな親子向け鑑賞プログラムを実施した。

実技体験では、夏休み子どもフェスタにおいて多彩なプログラムで多くの児童生徒が参加し、また、展覧会と関連させたワープショップも実施した。その他、学芸員によるキュレータートーク、作品制作者やその関係者によるアーティストトークやギャラリートークなどを美術館講座室と展示室で実施した。

本年度の教育普及事業では、従来から取り組んでいる学校との連携を図る鑑賞プログラムである「学校団体対応プログラム」や当館がバスを手配し美術館に招待する「美術館へ行こう」を実施するとともに、学校に出向いて先生方に向けた鑑賞授業のサポートを行う「出前授業」を実施した。

また、小学校・中学校・高校・大学と美術館の連携授業としても、キャリア教育、鑑賞プログラムを取り入れた対応が出来た。特に特別支援学校と連携した鑑賞プログラムには大きな成果があった。そして中学生・高校生向けにニシムイ鑑賞プログラムを作成し、出前授業に出向くことができ、館内には鑑賞サポートワークシートの設置も復活することが出来た。

今年度の新しいプログラムとして地元の素材・題材にこだわった、大人も子どもも参加出来るワークショップOKINAWA アートワークショップ」を開催した。新たな取り組みを行うことで様々な個人・団体との連携を図ることができ、新規来館者の開拓に繋がったと考えられる。

２　鑑賞活動支援

開館記念展より継続で、作品の鑑賞をより深めるために各展示担当によるキュレータートークや、作品の制作を行った作家や関係者を招き、アーティストトーク、ギャラリートークを行った。また来館者に対して鑑賞ボランティアによる「鑑賞ツアー」を、展示室内で作品を観ながら行った。

（1）キュレータートーク・学芸員講座

展覧会を企画した担当学芸員が、作家や作品、展示に関する意図、また開催するにあたり進めてきた調査・研

究した内容を語る場でもある。観覧者にとっては、学芸員の話を聞くことにより「美術作品」への関心を高め、より作品理解を深めることができる。また学芸員にとっては、観覧者に展示会がどう伝わったかを知る重要な機会となり、今後の展覧会に向けての情報収集となる。

玉那覇学芸員

回	月　日	曜	展示会名	担　当	参加者
1	６月２日	土	「沖縄美術の流れ」キュレータートーク+学芸員講座	梶原　正史	17
2	７月21日	土	「儀間比呂志の世界展」について	豊見山　愛	34
3	11月17日	土	「沖縄美術の流れ」　キュレータートーク+学芸員講座 「沖縄における現代彫刻の変遷」講師：西村貞雄（彫刻家）	玉那覇英人	26
4	３月９日	土	「伊志嶺隆と平敷兼七」キュレータートーク+学芸員講座	亀海　史明	26

（2）アーティスト（ギャラリー）トーク

アーティストトーク、ギャラリートークは、作家本人や作家とゆかりがある、あるいは研究者から話しを聞く機会である。作家自身から作品、制作に関することや思いを直接聞くことで作家の人柄や思想、歩んできた人生、客観的な事実や制作スタイル、モチーフの変遷などについて新たな気付きや理解がより深まっていくことに繋がっていく。

稲嶺成祚氏

西村貞雄氏

篠原誠司氏

回	月　日	曜	展覧会名	参加者
1	４月14日	土	「沖縄美術の流れ」ギャラリートーク 講師：稲嶺成祚（画家）	54
2	４月27日	金	「涯テノ詩聲　詩人　吉増剛造展」　オープニング＋アーティストトーク 講師：吉増剛造（現代詩人）	91
3	５月19日	土	「大和コレクション」ギャラリートーク　講師：清水穣（同志社大学 教授）	31
4	５月19日	土	「涯テノ詩聲　詩人　吉増剛造展」関連催事ギャラリートーク 講師：篠原誠司（足利市立美術館 学芸員）	21
5	７月13日	金	「儀間比呂志の世界」オープニング+ギャラリートーク 講師：豊見山 愛（美術館主任学芸員）	38
6	８月４日	土	「儀間比呂志の世界」関連催事 「南洋から沖縄へ−儀間比呂志と丸木俊の交錯するまなざし」 講師：岡村幸宣（原爆の図丸木美術館）	32
7	８月18日	土	「儀間比呂志の世界」関連催事「絵本読み聞かせ」 講師：平良京子（沖縄子どもの本研究会）	32
8	９月１日	土	「沖縄美術の流れ」関連催事　アーティストトーク 講師：与那覇大智（画家）	18
9	９月12日	土	「宮城健盛展」オープニング+ギャラリートーク 講師：梶原正史（美術館学芸員）	50
10	12月８日	土	「儀間比呂志の世界」関連催事　美術講座 講師：齋木喜美子（関西学院大学教育学部教授）	28
11	２月23日	土	「伊志嶺隆と平敷兼七」ギャラリートーク 講師：中嶋興（映像作家）、石川竜一（写真家）	36
12	３月２日	土	「沖縄美術の流れ」ギャラリートーク 沖縄における彫刻－西村貞雄の仕事－ 講師：西村貞雄（彫刻家）	51

（3）学校団体対応

学校団体に対して展示作品の鑑賞を支援するプログラムを行った。鑑賞ボランティア員が案内役となり、コレクション展の中から２～３作品程度をグループ別に「対話による鑑賞」を通してお互いに共感し合いながら作品理解を深めた。

回	月　日	曜日	学　校　名	内　容	参加者
1	５月２日	水	南城市立大里中学校	美術館常設展・博物館常設展	174
2	７月20日	金	豊見城市立豊寿大学	バックヤード・学芸員鑑賞ガイド	35
3	７月27日	金	那覇市立真嘉比小学校職員研修	バックヤード・学芸員鑑賞ガイド	18
4	10月２日	土	沖縄県立泡瀬特別支援学校中学部	ボランティア対応・鑑賞ツアー	6
5	10月27日	土	県立芸術大学	バックヤード・鑑賞ツアー	13
6	11月２日	金	北谷町立北玉小学校	ボランティア対応・鑑賞ツアー	100
7	11月21日	水	沖縄県立西崎特別支援学校（５・６年）	ボランティア対応・鑑賞ツアー	19
8	11月22日	木	沖縄市立室川小学校　（５年）	ボランティア対応・鑑賞ツアー	40
9	12月13日	木	沖縄県立浦添工業校デザイン科	バックヤード・鑑賞ツアー	74
10	３月15日	金	沖縄市立沖縄東中学校（１年）	美術館常設展・美術館企画展	226
11	２月16日	土	島尻地区美術部	美術館常設展・美術館企画展	56
12	２月17日	日	琉球大学附属中学校美術部	美術館常設展・美術館企画展	16
13	２月20日	水	社会教育主事研修	バックヤード・鑑賞ツアー	9

浦添工業デザイン科

県立芸術大学

豊寿大学

３　ミュージアム・ツアー

収蔵庫や修復室、工作室といった通常一般開放していない美術館のバックヤードを案内する事業。学芸員の仕事や美術作品に対する保存、展示についても学ぶ機会となっている。前年度からコレクションギュラリーの鑑賞と合わせて行っている。

	月　日	担　当	参加者
1	５月19日	富　原	12
2	７月21日	富　原	9
3	９月15日	富原・梶原	中止
4	11月３日	富原・梶原	22
5	１月26日	富原・梶原	8

＊トラックヤード
＊企画準備室
＊エレベータ
＊一時保管庫
＊収蔵庫
＊工作室
＊展示室作品鑑賞

修復室

トラックヤード

概要説明

工作室

4　コレクション・企画展関連催事

（1）大和コレクションⅧ

会　　期：2018年（平成30）２月23日（火）～６月24日（日）

①　ギャラリートーク

日　時：2018年５月19日（土）14:00～15:30
会　場：美術館講座室
参加者：31名
講　師：清水譲（同志社大学グローバル地域文化学部教授）
内　容：展示している作品について、専門家の見地や美術品コレクターから観た視点を紹介し、作家の魅力や作品の面白さを参加者と共有した。
展示作品作家：
１．アンドレアス・スロミンスキー《Untitled》
２．アントン・ヘニング《Quadrinom No.4》
３．フェデリコ・エレーロ《landscape》
４．照屋　勇賢《For the World to Come》
５．森　千裕《ヘクトパスカル（台風の目）》
６．竹岡　雄二《浮いた台座》
７．鯉江　良二《泥ing》

（2）儀間比呂志の世界展

会　期：2018年（平成30）７月13日（金）～2019年（平成31）１月６日（日）
＊コレクションギャラリー１　儀間比呂志・版画のヴァリエーション
＊コレクションギャラリー２　儀間比呂志の初期油絵と絵本の世界

①　オープニング＋ギャラリートーク

日　時：2018年７月13日（金）　10:30～11:00
会　場：コレクションギャラリー・ホワイエ
参加者：38名
講　師：新川明（ジャーナリスト）
儀間進（親族）
平良京子（沖縄子どもの本研究会会長）

②　ギャラリートーク＋学芸員講座

日　時：2018年８月４日（土）14:00～15:30
会　場：美術館講座室／コレクションギャラリー
参加者：32名
講　師：岡村幸宣（原爆の図丸木美術館学芸員）
豊見山愛（当館儀間比呂志展担当学芸員）
内　容：「南洋から沖縄へ―儀間比呂志と丸木俊の交差するまなざし」と題して原爆の図丸木美術館学芸員の岡村幸宣氏に、儀間比呂志と同じ時期に南洋群島へ渡った赤松俊子（丸木俊）についてお話いただいた。

③　ワークショップ（読み聞かせ）

日　時：2018年８月18日（土）14:00～15:30
会　場：コレクションギャラリー２
参加者：32名
講　師：平良京子（沖縄子どもの本研究会会長）
内　容：読み聞かせ
『ふなひき太良』儀間比呂志（文・絵）
『りゅう子の白い旗』新川明（文）儀間比呂志（絵）

④　シンポジウム

日　時：2018年９月22日（土）14:00～17:00
会　場：講堂

参加者：81名
講　師：新川 明（ジャーナリスト）
　　川満信一（詩人）
　　三木健（ジャーナリスト）
　　佐喜眞道夫（佐喜眞美術館館長）
内　容：「儀間比呂志について」
　　「儀間比呂志をめぐる沖縄の表現」
　　2017年に94歳で他界した、多作で多彩な儀間比呂志の1950年代から2000年代までの作品を紹介した。儀間と親交の深い４名の方々をお招きして、儀間の沖縄への思いについて、作品の画像や生前の写真を見ながら表現の魅力について探っていった。

⑤　美術講座

日　時：2018年12月８日（土）14:00～15:30
会　場：美術館講座室
参加者：28名
講　師：齋木喜美子（関西学院大学教育学部教授）
内　容：「儀間比呂志・絵本の魅力」
　　儀間比呂志の創作の絵本が伝える沖縄の伝承から、今を生きる私たちが何を受け取ることができるのかを、絵本作家としての儀間を長年研究しておられる、齋木喜美子にご講演いただき、その考察を深めた。

（3）伊志嶺隆と平敷兼七展

会　　期：2019年（平成31）１月12日（土）～６月23日（日）

①　ギャラリートーク

日　時：2019年２月23日（土）14:00～15:30
会　場：美術館企画ギャラリー
参加者：36名
講　師：中嶋興（ビデオアーティスト）、石川竜一（写真家）
内　容：平敷兼七について関わりの深いゲストをお招きし、東京綜合写真専門学校時代に関わりのあった映像 作家・中嶋興氏には、東京時代の平敷の人物像について取り上げた。また、現代の写真家・石川竜一氏には平敷の写真の撮り方について、現代の写真家からはどのように見えるのかを伺いながら、平敷の作家像に迫った。

②　学芸員講座＋キュレータトーク

日　時：2019年３月９日（月）14:00～15:30
会　場：美術館講座室
参加者：35名
講　師：亀海史明（当館学芸員）
内　容：戦後間もない頃に生まれた沖縄の写真家・伊志嶺隆と平敷兼七は、ほぼ同じ頃に東京と沖縄を行き来し、復帰後は沖縄で写真を撮り続けた。ふたりはそれぞれ独自の作風を確立している。そのふたりを取り上げた展覧会ができるまでのプロセスについて、担当学芸員による解説とともに紹介した。

（4）沖縄美術の流れ

会　　期：前期＊2018年２月23日（金）～2018年６月24日（日）
会　　期：後期＊2018年７月13日（金）～2019年６月23日（日）
　　第１章　戦前の沖縄美術（～1945年）
　　第２章　戦後復興期の美術（1945～1972）
　　第３章　復帰からアイデンティティーの希求（1972～）

① ギャラリートーク
日　時：2018年４月14日（土）14:00～15:30
会　場：美術館講座室
参加者：54名
講　師：稲嶺成祚（画家）
内　容：元琉球大学教授の稲嶺成祚氏による作品解説とご自身の今までの作品や制作活動、作品の遷についてお話し頂いた。また、沖縄美術の流れを稲嶺氏の視点から解説して頂き、展示作品について鑑賞者の理解を深めた。

② 学芸員講座＋キュレータートーク
日　時：2018年６月２日（土）14:00～15:30
会　場：美術館講座室
参加者：17名
講　師：梶原正史（当館学芸員）
内　容：「美術品の保存について」当館で所蔵している作品の保存・管理の方法やIPMについて説明し、後半は修復室を見学しながら絵画作品の修復・保存の仕方ついて解説した。

③ アーティストトーク
日　時：2018年９月１日（土）14:00～15:30
会　場：美術館講座室／コレクションギャラリー３
参加者：18名
講　師：与那覇大智（画家）
内　容：「沖縄美術の流れ」・「与那覇絵画の変遷」今展の覧会で展示されている与那覇氏の作品を時の状況から最近の取り組みについて、ポートフォリオや作品を振返りながら作家自身の考えを語った。そしてギャラリーにて沖縄美の流れをめぐるトークで楽しんだ。

④ 学芸員講座＋キュレータートーク
日　時：2018年11月17日（土）14:00～15:30
会　場：美術館講座室／コレクションギャラリー３
参加者：26名
講　師：西村貞雄（彫刻家）
内　容：「沖縄における現代彫刻の変遷」
戦後から現在まで沖縄の彫刻界を牽引した作家や、同時代に活躍した彫刻家の作品を、琉球大学名誉教授であり彫刻家の西村貞雄氏と当館学芸員が画像を交えながら対談形式で紹介した。

⑤ ギャラリートーク
日　時：2018年３月２日（土）14:00～15:30
会　場：美術館講座室／コレクションギャラリー３
参加者：30名
講　師：西村貞雄（彫刻家）
内　容：西村氏をお招きし、沖縄の彫刻の歴史とともに歩んだ自身の作家活動の変遷のほか、「二科展」の会員としの精力的な活動、首里城の復元、モニュメント制作、沖縄の著名人の肖像などの制作してきたことについても伺うことができた。

（５）吉増剛造展
会　　期：2018年（平成30）４月27日（金）～６月24（日）

① オープニング＋アーティストトーク
日　時：2018年４月27日（金）10:00～12：00
会　場：エントランス／美術館企画ギャラリー

参加者：91名
講　師：吉増剛造（詩人）
　　篠原誠司（足利市立美術館学芸員）
　　福士千恵子（読売新聞社東京本社取締役事業局長）

② 対　談
日　時：2018年４月29日（日）14:00～17:00
会　場：講堂
参加者：81名
講　師：吉増剛造（現代詩人）
　　鶴岡真弓（多摩美術大学教授）
　　篠原誠司（足利市立美術館学芸員）
内　容:「螺旋から地底へ」
　　吉増剛造の詩的活動を通し、吉増の表現を巡りながら過去現在へといたる世界中の詩人や画家、また文化について言及され、まさに芸術そのものの真髄へと対話は、美術、芸術へ新たなまなざしを投げかけた。

③ ギャラリートーク
日　時：2018年５月27日（日）14:00～15:30
会　場：美術館講座室／美術館企画ギャラリー
参加者：21名
講　師：篠原誠司（足利市立美術館学芸員）
内　容:「吉増剛造の世界」詩人・吉増剛造をめぐるひと時の旅」を、1980年代より、30年以上にわたって吉増氏の作品に触れてきた展覧会キュレーターの篠原誠司氏が案内した。

④ 関連催事ー　アウトリーチ（出前特別授業）
憧れの人と夢の授業・作家が教室へオーサービジット　2018（朝日新聞社主催・美術館協力）
日　時：2018年６月８日（金）13:00～16:00
対　応：那覇市立真嘉比小学校（重信知雅子校長）（木村純子先生）
会　場：那覇市立真嘉比小学校３年１組
参加者：45名
講　師：吉増剛造（詩人）
関係者：赤田康和（朝日新聞社読書推進事務局長）
　　篠原誠司（足利市立美術館学芸員）
　　富原圭子（当館教育普及担当学芸員）
内　容:「言葉に出会おう」
　　＊ことばの面白さを見つけよう
　　＊新しいことばをつくってみよう

⑤ ワークショップ
日　時：2018年６月10日（金）13:00～17:00
会　場：博物館講座室
参加者：83名
講　師：吉増剛造（詩人）／大友良英（音楽家）有馬恵子（企画協力）
内　容：①ワークショップ・トークセッション

（６）沖縄の美術シリーズⅦ　宮城　健盛展ー人と美術をつなぐものー
会　　期：2018年（平成30）９月12日（水）～10月28日（日）

＊ 第１章　変容するスタイル
＊ 第２章　美術教育者として
＊ 第３章　繋いできたもの

① オープニング＋ギャラリートーク

日　時：2018年９月12日（水）9:30～10:30
会　場：エントランス／美術館企画ギャラリー
参加者：50名
　　宮城篤正（元沖縄県立芸術大学学長）
　　冨秋道子（宮城健盛の長女）
　　砂川恵光（沖縄旺玄会会長）
内　容：担当学芸員が本展覧会に向けて行った調査でのエピソードや作家の生い立ち、作風について解説した。

② シンポジウム＋キュレータートーク

日　時：2018年10月13日（土）14:00～17:00
会　場：美術講座室／美術館企画ギャラリー
参加者：48名
講　師：稲嶺成祚（画家）
　　喜久村徳男（画家）
　　梶原正史（当館学芸員）
内　容：稲嶺成祚氏が録音した生前の宮城健盛の音声を中心に、創斗会や沖縄旺玄会での芸術家としての活動に迫った。キュレータートークでは、変化し続けた健盛の独特の作風について、展覧会担当学芸員（梶原）が解説した。

5　ワークショップ

（1）「涯テノ詩聲　詩人　吉増剛造展」関連催事

ワークショップ“k-oto-ba”（こ・と・ば）
コレクティブ・オーケストラ
日　時：2018年６月10日（日）13:00～18:00
内　容：言葉と音を融合させた作品作りを作家と共に行う
講　師：吉増剛造（現代詩人）、大友良英（ミュージシャン）
対　象：小学生３年から18歳ぐらいまで
会　場：博物館講座室
参加者：83名

（2）美術館夏休み子供ワークショップ①「おばけ！妖怪！大集合」

日　時：2018年７月28日（土）　9:30～12:00
内　容：おばけ、妖怪をテーマにオリジナルの妖怪を描き、エントランスの柱に展示
講　師：植田瑞生（教育普及担当）
対　象：未就学から一般
会　場：エントランス
参加者：68名

（3）　美術館夏休み子供ワークショップ②「写生大会」

日　時：2018年７月28日（土）　9 ：00～12 ：00
内　容：博物館屋外展示周辺の風景を描く水彩画に挑戦
講　師：沖縄県美術家連盟会員
対　象：小学校１年から中学校３年
会　場：博物館屋外展示スペース
参加者：20名

（4）　美術館夏休み子供ワークショップ③「身近な人の似顔絵を描こう！」

日　時：2018年７月28日（土）13:00～16:00
内　容：似顔絵の描き方のコツを教えてもらい家族や友人と一緒に似顔絵を描く
講　師：仲本 賢、又吉 浩（沖縄県立芸術大学）

対　象：小学校１年から中学校３年
会　場：こどもアトリエ、県民アトリエ
参加者：23名

（５）美術館夏休み子供ワークショップ④「宇宙モビール大作戦」

日　時：2018年７月29日（日）９:00～12:00
内　容：宇宙をテーマに自由な発想でオリジナルモビールを制作
講　師：吉田俊景（彫刻家）
対　象：小学校３年から中学校３年
会　場：こどもアトリエ、県民アトリエ
参加者：14名

（６）美術館夏休み子供ワークショップ⑤「墨で自分の龍を描こう」

日　時：2018年７月29日（日）13:00～16:00
内　容：大学院生を講師に、それぞれが想像する龍を墨で描く
講　師：仁添まりな、仲地華（沖縄県立芸術大学大学院生）
対　象：小学校３年から中学校３年
会　場：こどもアトリエ、県民アトリエ
参加者：13名

（７） OKINAWAワークショップ特別編「書画に遊ぶ」

日　時：2018年１月26日（土）13:30～16:30
内　容：アダンの気根を使った筆を作り体験と、書き初めを行う
講　師：伊江隆人（美術家）
対　象：５才から一般
会　場：博物館実習室
参加者：20名

６　美術館招待事業（美術館へ行こう2018）

児童生徒をバスで送迎し、コレクション展示作品を使って、鑑賞ボランティアと対話による鑑賞学習指導を行う

対　象：県内小中学校、特別支援学校　学年単位で９～11校程度
方　法：公募により学校を決定
場　所：コレクション展示室
内　容：鑑賞ボランティアによる鑑賞学習支援
参加者：合計617名

	学校招聘事業	下　見	事前学習	来館日	参加(人)
1	西原町立西原東小学校	８月10日	９月10日	９月27日	76
2	読谷村立古堅小学校	８月21日	９月26日	２月15日	99
3	県立島尻特別支援学校	８月８日	９月25日	10月10日	21
4	八重瀬町立新城小学校	８月22日	10月10日	10月16日	55
5	南城市立百名小学校	８月３日	10月１日	10月18日	63
6	西原町立西原中学校	な　し	11月１日	11月14日	9
7	森川特別支援学校	８月28日	12月５日	12月18日	26
8	本部町立瀬底小学校	８月８日	12月10日	12月19日	19
9	うるま市立平敷屋小学校	８月２日	12月10日	12月20日	40
10	うるま市立宮森小学校	な　し	12月13日	12月21日	58
11	国頭村立国頭中学校	12月12日	１月10日	１月24日	53

鑑賞ボランティア

鑑賞ボランティア

鑑賞ボランティア

7　アートコンクール

児童・生徒にアートコンクールへの参加の機会を提供し、親しめる美術館づくりを目指したている。第２回目のテーマは「宝」。「あなたにとっての宝とは・・」で募集した。沖縄造形連盟と美術館班職員が審査に携わり、535作品の中から特に色彩豊かで独創性に優れた作品が入賞に選ばれ、11月３日に表彰式を挙行した。当日は、入賞者のご家族がたくさん列席いただき、晴れやかな表彰式となった。

【展示期間：2018年11月２日～11月12日】

審査の様子

賞状授与

表彰式

平成30年度　沖縄県立博物館・美術館企画　　第２回アートコンクール　入賞者

賞	小学校の部	中学校の部	高校の部	特別支援の部
最優秀賞	◎呉屋遥飛 西原町立西原東小４年	◎宇治愛乃 那覇市立安岡中３年	◎根間笑花 県立那覇高３年	◎高橋琉華 県立美咲特別支援 はなさき分校高等部１年
優秀賞	◎仲程一樹 西原町立坂田小１年 ◎山城隼翔 糸満市立真壁小２年	◎名嘉柚羽 西原町立西原中２年 ◎大城百合愛 うるま市立あげな中３年	◎砂川真生 県立開邦高３年 ◎生盛愛彩 県立開邦高３年	◎宮城翔 県立沖縄盲学校中学部１年 ◎玉寄七帆 県立西崎特別支援小学部６年
優良賞	◎冨里琉百 西原町立西原東小４年 ◎神田廉 国頭村立奥間小１年 ◎山城陽 糸満市立真壁小２年	◎前川寧皇 那覇市立石田中３年 ◎西口優希 西原町立西原中２年 ◎伊良部朱那 南城市立知念中２年	◎喜納そら 県立開邦高３年 ◎比嘉鈴音南 県立那覇高３年 ◎吉田琴音 県立開邦高３年	◎大城梨音 県立沖縄盲学校中学部１年 ◎渡眞利玲美 県立森川特別支援中学部３年 ◎上原愛 県立西崎特別支援小学部６年
優　秀 団体賞	八重瀬町立 新城小学校	西原町立 西原東小学校	西原町立 西原中学校	県立沖縄盲学校	県立西崎 特別支援学校

8　「移動展 in 伊平屋島」

場　　所：伊平屋村産業連携拠点センター
会　　期：2019年（平成31）１月18日（金）～20日（日）
開 催 地：伊平屋島
内　　容：〇美術館展示　これまでの展覧会概要パネル

『吉屋チルー物語』『執念の毒蛇』上映
○教育普及活動　アウトリーチ、（お箸作り）沖縄遊具体験
参 加 者：448名

開会式

知事観覧

【アウトリーチ】
伊平屋島内の野甫小中学校と伊平屋中学校の２校でアウトリーチを実施した。今回は、工房うるはしの鈴木仁氏と美智子氏を講師としてお招きし、シークヮ-サーの剪定木を箸木地とした「マイ箸作り体験」を実施した。
見過ごしがちな地元の材料の良さや日常の大切さを改めて考えるきっかけになって欲しいと企画した。

お箸作り　講師：鈴木氏

野甫小中学校

伊平屋中学校

9　OKINAWAアートワークショップ　2018

美術館のアトリエには、充実した造形活動が出来るスペースがあり、様々な創造活動を体験することが出来る。「知っているようで知らない《おきなわ》を触って作って再発見！」をテーマに沖縄の地域素材を生かした、大人も子どもも楽しめるワークショップを実施している。身近なモノでモノづくりが出来る素晴らしさやアイデア・発想につながる考え方の修得につながるようなワークショップを集結した！

回	月　日	曜日	講師（県内・県外）	内　　容	参加者
1	６月16日	土	ウージ染め協同組合	Cool　GreenU-ji　ウージ染め色さし	16
2	７月15日	土	鈴木仁・美智子夫妻	シークヮーサーの木のお箸づくり	29
3	８月18日	土	伊是名教子	沖縄の植物クロトンで押し花アート	18
4	10月20日	土	沖縄県芸(坂元蘭・金城辰海)	ボク・わたしの山羊	11
5	12月15日	土	山城信吾・吉濱愛	干支紅型でお正月仕度	40
6	１月26日	土	伊江隆人	書画に遊ぶ	20
7	２月16日	土	若山大地・恵里夫妻	石獅子　守り神つくり	10

ウージ染め色さし体験

シークヮーサーの木で作り

クロトンで押し花アート

ボク、わたしの山羊

干支紅型でお正月の仕度

石獅子　守り神づくり

10　学芸員講座

学芸員が展覧会調査や作家調査の成果、あるいは、美術館業務で担当している内容等を広く県民皆様に公開することを目的に開催し、今年度は計４回実施した。ギャラリートークとアーティストトークとタイアップすることで充実が図られた。

豊見山学芸員

梶原学芸員

亀海学芸員

11　教職員講座・実技研修会

県内の中学校美術教師、並びに小学校・幼稚園教諭を対象として、美術館内のアトリエにおいて図画工作・美術に関する研修を定期的に開催している。

図工・美術における授業の指導向上や美術館を利用した鑑賞授業の方法などを紹介し、学校現場での教育普及に役立ててもらうことを目的とした。

【沖縄県造形教育連盟中学部会Ⅰ】
日　時：６月16日（土）14：00～15：30（受付13：30～）
会　場：県民・子どもアトリエ
参加者：県内美術教諭（15名）
内　容：①「中学美術科授業づくり～導入時のヒント～」（富原圭子／沖縄県立博物館・美術館学芸員）
②美術館とつながる鑑賞の授業（富原圭子／沖縄県立博物館・美術館学芸員）
③新学習指導要領移行期の中学美術科授業づくり（上原進／県立総合教育センター／研究主事）

【沖縄県造形教育連盟中学部会Ⅱ】
日　時：12月22日（土）14：00～15：30（受付13：30～）
会　場：県民・子どもアトリエ
参加者：県内美術教諭（15名）
内　容：①新学習指導要領移行期のポイント（上原進／県立総合教育センター／研究主事）
②県立美術館学校支援プログラム「ニシムイ」（富原圭子／沖縄県立博物館・美術館学芸員）
③学校行事とつなぐ授業の作り方（田仲浩美／国頭村立国頭中学校／教頭）

美術館学校支援プログラム

学校行事とつなぐ授業の作り方

学習指導要領移行期のポイント

これまでの造形活動、図画工作、美術の授業を振り返り、「こどもに表現の自由をかえそう」との合い言葉を掲げ、子どもたちの明朗で創造性豊かな表現を目指して先生方に研修の機会をもうけた。

【教員実技研修会①「たのしい図画の授業」】

平成30年 6月24日

小学校校長 殿

沖縄県造形教育連盟 公印
会 長 池原 直弘 省略

ご案内

2018 造形教育ゼミナール

たのしい図工の授業 実技研修会 その1

この夏、図画工作の授業に活かせる実技研修会を行います。図画工作の基本技能である、はさみ・のり・粘土を使った実技研修を造形的な会話をしながら研修をしましょう。多くの先生方の参加申し込みをお待ちしております。

●日 時 平成30年8月9日(木) 受付9:30 実技10:00～12:00
●会 場 沖縄県立沖縄博物館美術館 美術館子どもアトリエ
●対 象 小学校教諭 他 ※定員20名程度
●目 的 楽しい図画工作の授業をめざし指導技術の向上を図る。
●内 容 図画工作の基本の実技講習。
●日 程 受付 9:30～

10:00 全体会（開会式）趣旨説明

研修内容		○持参するもの
切る編	はさみの使い方の実技・指導上の留意事項	○はさみ ○カッターナイフ
はる編	のりやボンド実技・指導上の留意事項	○のり ○木工ボンド
ねる編	市販粘土の特性と実技・指導上の留意事項	

12:30～ 閉会式（各部会で片付け、情報交換、閉会）

●参加費 500円（材料費を含みます。）
●持参物 材料・道具は可能な限り持参お願いします。
●申込期限 8月3日（金）
●留意点 ※連絡等の都合で、定員に達し次第締め切らせていただきます。（20名程度）
●主 催 沖縄県造形教育連盟
●協 賛 べんてる株式会社 日本文教出版株式会社 沖縄県学校用品株式会社

【教員実技研修会②「画材の基礎知識」】

平成30年6月24日

幼稚園・保育園・子ども園長
小学校長 殿

沖縄県造形教育連盟 公印
会 長 池原 直弘 省略

ご案内

2018 造形教育ゼミナール特別講習会

画材の基礎知識

この夏、くれよん・絵具を活かせる研修会を行います。クレヨン・クレパス・絵具等の画材について、開発メーカの講師や実技講習です。多くの先生方の参加申し込みをお待ちしております。

●日 時 平成30年8月21日(火)
幼稚園・保育園・子ども部（定員25名程度）9：30受付 10：00～12：00
小学部（定員25名程度）13：30受付 14：00～16：00
●会 場 沖縄県立博物館・美術館 子どもアトリエ
●対 象 幼稚園・保育園・こども園教諭、小学校教諭 他
●目 的 画材の基礎知識（クレヨン・クレパス・絵具）
●講 師 大澤貴彦（べんてる）
●日 程

部	時 間	内 容
幼稚園 保育園 子ども園	09：30 10：00～12：00	受付 画材の基礎知識 （クレヨン・パス・ゆび えのぐ等の特性および実技講習）
小学部	13：30 14：00～16：00	受付 画材の基礎知識 （クレヨン・パス・えのぐ等の特性および実技講習）

●参加費 500円
●申込期限 8月10日（金）
●留意点 ※連絡等の都合で、定員に達し次第締め切らせていただきます。（各部25名限定）
●主 催 沖縄県造形教育連盟
●協 賛 べんてる株式会社 日本文教出版株式会社

小学校部会の研修会の様子

講師説明

絵の具遊び

保育園・幼稚園部会

12　ボランティア活動

美術館のボランティアスタッフは、学校団体に向けた作品鑑賞を実施するガイドボランティア、作品づくりのワークショップをサポートするワークショップボランティア、美術関連書籍を整理する資料整理ボランティアと３つのグループに分かれ、それぞれが特技を活かし美術館の活動を盛り上げている。

【ボランティア養成講座　2018】
（コレクション展に関する内容と鑑賞法の講義　10:00～12:00）　　対象：登録ボランティア員

回	月　日	曜日	講義内容	参加
1	４月25日	水	ボランティア体験会	13
2	５月９日	水	職員紹介・活動計画と事務手続き等説明会	17

回	月　日	曜日	講義内容	参加
3	５月29日	火	足利市立美術館の篠原氏による「吉増剛造展」の解説	16
4	６月13日	水	アートカードを使った対話型鑑賞の勉強会	19
5	７月11日	水	壷屋焼もの博物館　見学（台風のため中止）	－
6	７月 18日	水	儀間比呂志の世界展、沖縄美術の流れの展示解説	14
7	８月15日	水	外部講師 篠原誠司氏による講座「美術館鑑賞」	21
8	９月５日	水	ボランティア証交付式、勉強会	14
9	９月19日	水	宮城健盛展の展示解説と招聘事業に向けた実践練習	13
10	11月14日	水	車椅子での鑑賞体験会	5

作品選定

展示解説会

車いす体験

13　学芸員実習

美術館では、開館３年目の2009年から実習受入を行っている。受け入れにあたっては、学芸員資格養成課程を有する県内の（琉球大学、県立芸術大学）を優先し、人員枠にゆとりがある場合、県外大学に在籍する県出身の学生を優先的に受け入れている。定員は10名以内としている。時期は８月中旬から２週間で、美術館学芸員全員でそれぞれの専門分野の講義にあたっている。

【美術館学芸員実習カリキュラム】

		実習内容（午前）	実習内容（午後）
第１日	月	開講式、ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、IPM	美術館業務の考え方・博物館施設説明
第２日	火	美術館活動の概要及び施設・設備、	常設展示の実際Ⅰ、共通課題研究
第３日	水	共通課題研究、収集事業概要	資料の修復実習、教育普及事業Ⅰ
第４日	木	共通課題研究、資料の分類	常設展示の実際Ⅱ、保存修復の実際
第５日	金	共通課題研究、常設展の実際Ⅲ	調査研究概要、企画展の実際Ⅰ
第６日	月	共通課題研究、資料に関する情報処理	立体資料の取扱い実習（彫刻）
第７日	火	共通課題研究、平面資料の取扱（油彩・水彩画）	平面資料の取扱い（版画）
第８日	水	共通課題研究、教育普及Ⅱ	平面資料の取扱い実習Ⅰ・Ⅱ
第９日	木	共通課題研究、作品調査の方法	平面資料の取扱い実習Ⅲ・Ⅳ
第10日	金	共通課題発表、平面資料の実習Ⅴ	実習のまとめ、閉校式

平面資料の取り扱い

共通課題発表

集合写真

14　職場体験

キャリア教育の具体的理解として、生徒が職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習。館内施設を見学し、博物館・美術館交互に業務体験。

対　象：本島域内中学校・高等学校
方　法：各学校の依頼受け入れ
場　所：コレクション展示室・バックヤード・美術館資料室
内　容：施設見学、美術館班資料整理、各業務体験

回	月　日	曜日	学校名	内　容	見学者
1	５月22日	火	那覇市立古蔵中学校（１年）	施設見学、美術館班資料整理	4
2	６月14日	木	浦添市立神森中学校（１年）	施設見学、美術館班資料整理	3
3	９月13日	木	沖縄県立沖縄工業高校（２年）	施設見学、展覧会補助	4
4	11月21日	水	那覇市立那覇中学校（１年）	施設見学、美術館班資料整理	3
5	１月23日	金	那覇市立金城中学校（１年）	施設見学、美術館班資料整理	4
6	３月１日	金	琉球大学　留学生	施設見学	1

修復室見学

概要説明

美術館長挨拶

15　出前授業

来館前の出前授業で、先生方に鑑賞授業のレクチャーを行った。ティーチャーズキットやアートカードを活用した鑑賞の授業とマナーについて学んだ。

当日、児童にとってこの体験が美術館鑑賞のスタートとなり、今後の美術館での鑑賞に大きな期待をもたらすきっかけになることを期待する。さらに今年度は、中学校鑑賞支援プログラムの作成にも取り組んだ。各自が自分の視点で作品鑑賞できる鑑賞サポートシートも作成した。出前時に各学校に配布することにした。

事前学習「出前授業」＊資料＊
○授業プレゼン（45分用）
○授業指導案
○ティーチャーズキット
○アートカード
○鑑賞のヒント
○実物大コピー絵画
○招聘事業アンケート（教師用）
○振り返りシート（生徒用）

回	月　日	学校名	回	月　日	学校名
1	９月10日	西原町立西原東小学校（４年）	10	11月29日	うるま市立南原小学校
2	９月20日	県立泡瀬特別支援学校	11	12月５日	森川特別支援学校
3	９月26日	読谷村立古堅小学校	12	12月10日	本部町立瀬底小学校
4	９月26日	県立島尻特別支援学校	13	12月10日	うるま市立平敷屋小学校
5	10月１日	南城市立百名小学校	14	12月13日	うるま市立宮森小学校
6	10月10日	八重瀬町立新城小学校	15	１月５日	豊見城市立伊良波中学校
7	10月22日	北谷町立北玉小学校	16	１月10日	国頭村立国頭中学校
8	11月１日	西原町立西原中学校	17	１月13日	琉球大学附属中学校
9	11月９日	県立西崎特別支援学校			

瀬底小学校

平敷屋小学校

国頭中学校

16　名画を贈ろう！「私たちの学校へ沖縄の名画を贈ろう！キャンペーン」への協力

沖縄明治乳業株式会社が取り組む「私たちの学校へ世界の名画・沖縄の名画を贈ろう！キャンペーン」において、高精細レプリカ作成のために美術館所蔵作品の画像を無償で提供する協力を平成26年度より行っている。明治乳業の教育支援活動は、小学校への教育、学校教材の充実化、沖縄文化芸術の普及伝承につながるなどの多方面へ大きく影響を与えるものとして沖縄県立博物館・美術館が協力してきた。５年目となる今年度は、昨年新規に稲嶺成祚作《太陽のある家族》を加えた11作品の画像提供を行い、９校の応募があった。

（2019年２月28日　現在）

作品の検品を行う

検品後に日付と館名を署名する

梱包作業

学校名	応募作品名	作家名	号数
那覇市立安謝小学校	八重山風景	大嶺政寛	20
那覇市立石嶺小学校	八重山風景	大嶺政寛	20
沖縄市立越来小学校	太陽のある家族	稲嶺成祚	6
浦添市立仲西小学校	八重山風景	大嶺政寛	6
浦添市立浦添小学校	希望	久場とよ	20
那覇市立泊小学校	八重山風景	大嶺政寛	6
那覇市立高良小学校	太陽のある家族	稲嶺成祚	6

「県内の名画」大謝名小に
沖縄明治乳業がレプリカ

県内の小・中学校などに絵画のレプリカを贈る取り組みを続けている沖縄明治乳業は３日、那覇市の県立博物館・美術館で贈呈式を開き、今回のキャンペーンに応募があった宜野湾市立大謝名小に、県内の画家の作品３点を贈呈した。

同社は、子どもたちに名画を通じて豊かな心を育む環境をつくろうと、1993年からキャンペーンを実施。今までに県内小中学校や特別支援学校に延べ883校、計1288点の絵画のレプリカを贈っている。

大謝名小６年の又吉七海さん（12）は「牛乳をたくさん飲んでマークを12枚集めた。絵はみんなと学校で鑑賞したい」と喜んだ。

（富原　圭子）

Ⅳ 資料収集・保存管理

1　収蔵作品現在高

2019年３月31日　現在

分　類	購　入	寄　贈	移　管	その他	小　計	寄　託	総　計
平　面	367	1,337	64	2	1,770	180	1,950
立　体	30	221	0	8	259	10	269
写真・映像	366 (映像:20)	2,152 (映像:6)	0	0	2,518 (映像:26)	767 (映像:0)	3,285 (映像:26)
その他	13	12	1	3	29	41	70
総　計	776	3,722	65	13	4,576	998	5,574

※「写真・映像」の収蔵数に含まれる、映像作品数をカッコ内に記した。

2　2018年度（平成30）　新収蔵作品高

分　類	購　入	寄　贈	移　管	小　計	寄　託	総　計
平　面	1	26	0	27	9	36
立　体	1	0	0	1	0	1
写真・映像	1	435	0	436	0	436
その他	0	0	0	0	0	0
総　計	3	461	0	464	9	473

3　2018年度（平成30）　新収蔵作品目録

【購　入】　2018年４月１日～2019年３月31日

分類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面	絵画	川端　彌之助	南方夕照	1941年頃	キャンバス／油彩	1	星野画廊
立体	彫刻	波多野　泉	Okinawa tolerance －画家の肖像－	2013年	木、漆、ガラス	1	波多野泉
写真・映像	映像	石田　尚志	渦巻く光	2015年	HDビデオ（サイレント）２分40秒	1	タカ・イシイギャラリー

【寄　贈】

分類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面	絵画	高良　憲義	故郷１	1998年	コピー用紙、ポスターカラー	1	高良憲義
		高良　憲義	故郷２ －厨子瓶と龍舌蘭のある祖父母の島―	1998年	コピー用紙、ポスターカラー	1	高良憲義
		山川　清	那覇久米町の家	1944年	キャンバス／油彩	1	星野画廊
		山川　清	墳墓	1944年	キャンバス／油彩	1	星野画廊
		田川　勤次	南国	1935年	キャンバス／油彩	1	星野画廊
		奥原　崇典	カタブイ－空空	2011年	紙に漆喰／針金、墨、アクリル、水彩	1	奥原美紗
		奥原　崇典	カタブイ	2009年	紙に漆喰／墨、アクリル、水彩	1	奥原美紗
		大城　精徳	風景	1983年	キャンバス／油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	花	1977年10月	キャンバス／油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	港の風景	1959年	キャンバス／油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	貝がらとヤシの実	1983年	キャンバス／油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	海	1988年3月	キャンバス／油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	ガラサーとガラサーマーミ	1965年	キャンバス／油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	三月の久茂地川	不明	キャンバス・ベニヤパネル貼／油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	枯木のある風景	1987年	キャンバス・ベニヤパネル貼／油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	御願所幻想	1983年4月	キャンバス／油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	カンナと石垣	1982年	キャンバス／油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	傷ついた石垣	1982年	キャンバス／油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	アマリリス咲く	1988年3月	ベニヤ板／セメント・油彩	1	小林藤子
		大城　精徳	あざみ	1995年	石膏ボード／油彩	1	小林藤子

分類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面	絵画	大城　精徳	スケッチ①	1970年	紙／パステル、クレヨン	1	小林藤子
		大城　精徳	スケッチ②	1964年	紙／パステル、クレヨン	1	小林藤子
		大城　精徳	本部町伊豆味のパイン園	1970年	紙／パステル、クレヨン	1	小林藤子
		大城　精徳	愛地部落の古道	1968年	紙／パステル、クレヨン	1	小林藤子
		大城　精徳	スケッチ③	不明	紙／パステル、クレヨン	1	小林藤子
		大城　精徳	国場河畔	1962年	紙／パステル、クレヨン	1	小林藤子
写真・映像	写真	伊志嶺　隆	海の旅人	1989年–92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年–92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1990年代	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　橋間天福	1987年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑	1987年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分野		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
写真・映像	写真	伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分野		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
写真・映像	写真	伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分野		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
写真・映像	写真	伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラプリントチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　竹富町上原	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　比嘉みつ（みのる）	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　宇多良	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分野		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
写真・映像	写真	伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　浦内川附近	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　宇多良	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　竹富町大室	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　浦内川附近	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　内離島八抗	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　宇多良	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　宇多良	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分野		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
写真・映像	写真	伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　内離上原小学校	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　宇多良	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　竹富町白浜	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　成屋（内離島）	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分野		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
写真・映像	写真	伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市宮良	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	鐘が鳴る（アル日アル時）	1970年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　宇多良	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　内離島八抗	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　元成屋（木炭村）	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　内離島成屋	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　成屋	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　白浜	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　宇多良	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　宇多良	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　浦内川附近	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　浦内川附近	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　宇多良	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　比嘉ミツ	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　成屋（内離島）	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	西表炭坑　石垣市宮良	1986年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1990年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	鐘が鳴る（アル日アル時）	1970年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分野		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
写真・映像	写真	伊志嶺　隆	東大解放講堂	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	鐘が鳴る（アル日アル時）	1970年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1968年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	銀座沖縄デー	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1968年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1968年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1968年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1968年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	全共闘統一デモ	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	東大解放講堂	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	鐘が鳴る（アル日アル時）	1970年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	鐘が鳴る（アル日アル時）	1970年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	428沖縄デー	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	鐘が鳴る（アル日アル時）	1970年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	東大解放講堂	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	428沖縄デー	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	新宿西口広場	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	新宿西口広場	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	東大解放講堂	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	東大解放講堂	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	鐘が鳴る（アル日アル時）	1970年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	428銀座沖縄デー	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	鐘が鳴る（アル日アル時）	1970年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	東大解放講堂	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	東大解放講堂	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	鐘が鳴る（アル日アル時）	1970年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	鐘が鳴る（アル日アル時）	1970年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	（東京時代）	1966年－70年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	428銀座沖縄デー	1969年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市

分野		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
写真・映像	写真	伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	沖縄にて	1968年－69年頃	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1991年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1992年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	海の旅人	1989年－92年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	72年の夏	1970年－72年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	72年の夏	1970年－72年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	72年の夏	1970年－72年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	72年の夏	1970年－72年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	72年の夏	1970年－72年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
		伊志嶺　隆	72年の夏	1970年－72年	ゼラチン・シルバー・プリント	1	那覇市
	映像	石田　尚志	海の映画	2007年	HDビデオ（サウンド）10分	1	タカ・イシイギャラリー
		石田　尚志	部屋／形態	1999年	16mmフィルム、HDビデオ（サウンド）７分	1	タカ・イシイギャラリー

４　作品収集事業

本美術館は、県民に多様な芸術鑑賞の機会や創造性を高める場を提供し、地域の文化芸術の拠点となると同時に、芸術文化活動を通じて、アジア地域や沖縄の発展に貢献する国際化の拠点となることを目的としている。収集事業は、本県独自で個性あるコレクションを形成するために不可欠な事業である。

平成30年度は、１回の美術品等収集委員会を実施し、購入３点、寄贈461点、寄託９点について諮った。作品

の収集に当たっては、事前調査を基に、美術館学芸会議で一次審査、二次審査を行い、県内外の有識者で構成された収集委員会で審議した。その結果を参考に所定の手続きを経て収集した。購入は、石田尚志、川端彌之助、波多野泉の作品であった。寄贈は、石田尚志、伊志嶺隆、大城精徳、奥原崇典、高良憲義、田川勤次、山川清の作品があり、寄託は金城安太郎の作品があった。

（亀海　史明）

5　保存管理事業

（1）保存環境の整備

沖縄県民の財産である収蔵美術作品の適切な保存を目的として、収蔵庫及び展示スペース内の温湿度が年間を通して一定に維持されるよう管理を徹底し、保存環境の整備を行う。具体的には、IPM管理による虫菌害予防（ペストコントロールを含む）が、まず挙げられる。収集等の際に、新たな美術作品を館に入れる前の消毒など、対策の強化を重点的に行っている。さらに収蔵作品においては効率的な状態調査を計画し、実施することで、今後の修復計画をよりスムーズかつ安全に行うよう配慮している。

（2）収蔵作品の保存修復

収蔵作品のコンディション調査を行い、生物劣化や物理劣化、化学劣化等に応じた修復計画を立てて、実施する。また、その作業内容に沿った修復家への依頼、招聘を行い、当館保存修復室にて共同で修復作業を行うこととしている。本年度の外部への委託業務はなかった。

具体的には、企画展及び常設展へ出品するための状態チェック、修復作業、額装及び金具等整備作業、版画作品のマウント作業、借用作品の状態チェックなどを行った。保存修復内容の詳細は以下の通りである。

（3）収蔵品修復（館内処置）

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
藤田嗣治	孫	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着、額装の改善	県外企画展貸出
新城征孝	テトラポット	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面の乾式洗浄。作品裏面の汚損の除去	H30年度　常設展
金城正栄	廃船	油彩・板	額装の改善	H30年度　常設展
リン・チー	ムン族の娘と蘭	絹絵	ブックマウント、作品固定方法の改善。画面の乾式洗浄	前年度　常設展
リン・チー	不明	絹絵	ブックマウント、作品固定方法の改善。画面の乾式洗浄	前年度　常設展
リン・チー	田植え	絹絵	ブックマウント、作品固定方法の改善。画面の乾式洗浄	前年度　常設展
宮城健盛	くり舟	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面洗浄。剥落部への充填・補彩。キャンバス裏面の汚損の除去	H30年度　企画展（個人蔵）
宮城健盛	老樹	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面洗浄。剥落部への充填・補彩。キャンバス裏面の汚損の除去	H30年度　企画展（個人蔵）
宮城健盛	失地	油彩・キャンバス	額装の改善	H30年度　常設展
宮城健盛	題不詳	水彩・和紙	ブックマウント、作品固定方法の改善。画面の乾式洗浄	H30年度　常設展
宮城健盛	題不詳	水彩・和紙	ブックマウント、作品固定方法の改善。画面の乾式洗浄	H30年度　常設展
宮城健盛	黒い街	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	H30年度　常設展
大城皓也	老樹	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面の乾式洗浄、キャンバス裏面の汚損の除去	H30年度　常設展

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
山里永吉	ポーチ	油彩・キャンバス	額装の改善	H30年度　常設展
喜久村徳男	ムーサイのかげり	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着	H30年度　常設展
宮城健盛	中国風景など14点	画仙紙・墨・インク・顔彩	ブックマウント 作品固定方法の改善	H30年度　企画展 （個人蔵）
儀間比呂志	浜、かしかきなど54点（前・後期含む）	紙・手彩色	ブックマウント 作品固定方法の改善	H30年度　企画展 （個人蔵）
石川真生	反戦地主の知花さん親子	ゼラチン・シルバープリント	ブックマウント、作品固定方法の改善	H30年度　常設展
伊志嶺隆	光と影の島他約70点（前・後期含む）	ゼラチン・シルバープリント	ブックマウント、作品固定方法の改善	H30年度　常設展
平敷兼七	山羊の肺他約40点（前・後期含む）	ゼラチン・シルバープリント	ブックマウント、作品固定方法の改善	H30年度　企画展 （個人蔵）

注記

・館内処置について

作品における処置は全て当館保存修復学芸員　梶原正史が行った。
額装の改善とは主に入れ子へのフェルト貼りや、スペーサー装着、額縁裏面・泥足の補強、ぐらつき防止のネジ止め、割れの接着、汚損の除去など。

・修復に使用した材料について

作品に悪影響を及ぼすことがないこと、材質的に安定していて、将来的に除去が可能なことを前提に、様々な作品状態にあったものを使用している。

6　作品貸出

2018年度は、下記のとおり４件の館外貸出を行った。なお美術館では、借用先のファシリティーズレポートの提出と、温湿度管理に関する情報提供を求めた後に、厳正な審査の下で可否を決定している。また、輸送会社へ貸出作品の状態に合わせた梱包仕様の提案を行い、作品貸出及び返却作業には、美術館職員と借用先職員の両者が立ち合い、作品状態の点検を行っている。

①展覧会名：「神戸発掘映画祭」
展覧会場：神戸映画資料館（兵庫県神戸市）
貸出期間：2018年10月28日～10月29日
貸出作品：１点（収蔵品１点）

	作家名	作品名	制作年	作品_材質
1	吉野　二郎	執念の毒蛇	1932年	ブルーレイディスク 当館クレジット入

②展覧会名：「長尾　紀壽」展
展覧会場：佐喜眞美術館（沖縄県宜野湾市）
貸出期間：2018年９月３日～11月中旬
貸出作品：２点（収蔵品２点）

	作家名	作品名	制作年	作品_材質
1	長尾　紀壽	沖縄の一月（さとうきび畑）	2001年	麻紙、墨、顔料
2	長尾　紀壽	海辺のアダン	2003年	麻紙、墨、顔料

③展覧会名：「没後50年　藤田嗣治」展
展覧会場：東京都美術館（東京都）、京都国立近代美術館（京都府）
貸出期間：2018年７月上旬～2019年12月中旬
貸出作品：１点（収蔵品１点）

④展覧会名：「ジャポニスム2018　藤田嗣治」展
展覧会場：パリ日本文化会館（フランス）

貸出期間：2018年12月下旬～2019年４月初旬
貸出作品：１点（収蔵品１点）

	作家名	作品名	制作年	作品_材質
1	藤田　嗣治	孫	1938年	キャンバス、油彩

（梶原　正史）

一般財団法人
沖縄美ら島財団
（指定管理者）

Ⅰ 沖縄美ら島財団の概要
Ⅱ 運営方針
Ⅲ 組織
Ⅳ 展示活動
Ⅴ 教育・イベント活動
Ⅵ 広報事業に関する業務
Ⅶ 調査・研究・講演・著作論文等の活動
Ⅷ その他

Ⅰ　沖縄美ら島財団概要

【沿　革】

1976年（昭和51）７月16日、海洋博覧会記念公園管理財団発足。同年８月１日、国営沖縄海洋博覧会記念公園維持管理業務受託開始。1991年（平成３）８月、首里城基金を設立。1992年（平成４）11月、首里城公園（国営沖縄記念公園首里城地区、県営公園の一部、城郭）の維持管理業務受託開始。同年営業契約により特定公園施設（正殿、南殿・番所、北殿、奉神門、御庭等）の管理運営を開始。2002（平成14）11月、営業契約により特定公園施設（沖縄美ら海水族館）の管理運営を開始。2004年（平成16）12月、ISO14001認証取得。2008年（平成20）12月、総合研究センター発足。2012年（平成24）10月１日、一般財団法人沖縄美ら島財団に改称。

【業務内容】

1976年（昭和51）８月開園以来海洋博公園の維持管理業務、1992年（平成４）11月開園以来首里城公園国営公園部分と首里城城郭を含む県営公園部分の維持管理業務の受託を行っている。首里城有料区域及び沖縄美ら海水族館については、独立行政法人都市再生機構との営業契約で運営していたが、2019年（平成31）年２月から沖縄県が管理者となったことから、「沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）」及び、「沖縄県国営沖縄記念公園内施設（海洋博覧会地区内施設）」の指定管理者として運営している。2006年度（平成18）からは指定管理者として県営首里城公園、2013年度（平成25）から県立名護青少年の家、2014年（平成26）からなごアグリパーク（名護市農産物６次産業支援拠点施設）の管理運営を行う他、2015年（平成27）より名護市の小学校跡地に沖縄の自然に関する調査研究・普及啓発活動の拠点施設として「美ら島自然学校」を開校し運営している。2014年より国際通りの沖縄美ら海水族館アンテナショップ「うみちゅらら」、2015年より、なごアグリパーク内に設置された沖縄本島北部の農産物加工品や健康食品等を扱うショップ「しまちゅらら」、2019年より那覇空港内に「うみちゅらら那覇空港店」を開店・運営している。また、2008年（平成20）に「総合研究センター」を設立し、海洋生物や亜熱帯植物、海洋文化、首里城等琉球王朝文化の調査・研究普及啓発、社会貢献・地域連携活動を行い、2014年には文部科学省により科学研究費補助金取扱規程に定める研究機関に指定された。2016（平成28）４月より沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として同館の管理・運営にあたっている。指定期間は2016年４月～2021年（令和３）３月までの５年間。

Ⅱ　運営方針

１　管理運営の基本方針

（１）基本的な考え方

沖縄県立博物館・美術館の設置目的及び基本理念等を理解し、業務仕様書に基づき沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課や博物館・美術館との調整を的確に実施し、管理運営上の課題に適切に対応していきます。

また、当財団では以下に示す管理理念の下、６つの基本方針と具体的な取組を展開することで施設が保有する多くの貴重な収蔵品等を守り、育み、伝える使命を果たすとともに、県民をはじめ多くの方に開かれた館となることを目指し21世紀ビジョン等に掲げられた施策目的が達成できるよう努めます。

２　管理理念

理念１：「沖縄の輝き」を守り育み、御万人へ、そして未来へとつなぎます。

沖縄県立博物館・美術館（以降、本館という）が保有する多くの貴重な資料は、守り、育み全ての方へそして未来へつないでいくべき「沖縄の輝き」です。

私たち（一財）沖縄美ら島財団（以下、財団）は「沖縄美ら海水族館」や「首里城公園」等、沖縄県を代表する博物館や文化施設の運営を行うとともに、当財団の「総合研究センター」による独自の調査研究・普及啓発活動により、沖縄の自然、文化、歴史等の「沖縄の輝き」を守り育み、多くの方へ伝えて参りました。そのノウハウや人材、ネットワークを活かし、本館が行う博物館資料の保管や展示、調査研究普及啓発事業を強力にサポートし、県全体の文化芸術や教育学習の発展、調査研究の発展に寄与します。

理念２：観覧者の心へ「沖縄の魅力」をダイレクトに伝えます。

沖縄県は「唯一無二の素晴らしい」自然文化、歴史を持つ「魅力的な」地域です。博物館・美術館には、その沖縄を代表する沢山の収蔵品がありますが、情報量が多くアカデミックな展示であるため、沖縄の魅力が観覧者の心に伝わりにくいという一面もあります。私たちは心に響く「鮮烈な」展示解説やライブプログラムによる「体験」を充実させることで観覧者の心へ「沖縄の魅力」をダイレクトに伝える管理運営を目指します。

理念３：観光客を誘致し「観光立県おきなわ」の推進に寄与します。

「観光立県」を標榜する沖縄県において「沖縄の自然・歴史・文化・美術作品をトータルに紹介」できる本館の役割は非常に重要です。私たちは沖縄県の観光事業を牽引する「沖縄美ら海水族館」や「首里城公園」を支えるブランディング力、プロモーションネットワーク、誘客力を活かし、沖縄を訪れる多くのお客様を、積極的に本館に誘致し、地域の活力向上に寄与します。

３　運営方針

方針１：誰もが使いやすい「開かれた博物館・美術館」を目指します。

・法令の遵守と平等性の確保

本館の基本理念及び管理規則を遵守するとともに個人情報の保護を徹底し、公平・公正で開かれた館の運営を行います。

・リスクマネジメント

事件・事故・災害等のリスクを予め想定して対策と訓練を行い、お客様と資料の安全確保に努めます。

・お客様の立場に立った接客

観光施設で培ったホスピタリティ溢れる接客・接遇を行うとともに、お客様の声を収集し、サービスの向上に努めます。

・「利用しやすい」環境の整備

ユニバーサルデザインの推進と海外観光客対応の強化のため、サインやHP等を見直すとともに県民活動の場としても利用しやすい環境を整えます。

・総合案内機能の向上

沖縄県の自然・歴史文化・美術作品に関する案内やレファレンスサービスの強化を図るとともに沖縄の観光案内も行います。

・衛生的で快適な施設の提供

清掃と衛生管理の徹底を図り誰もが快適に利用できる施設環境を整えます。

方針２：沖縄県が目指す「博物館・美術館の将来像の実現」をサポートします。

・関連計画に掲げられた目標達成への努力

「沖縄21世紀ビジョン」や「沖縄県教育振興基本計画」、「沖縄県立博物館・美術館中長期事業計画」等に示された将来像の実現と入館者数の達成を目指します。

・本館の「拠点機能」「ネットワークハブ機能」構築のサポート

本館が目指す沖縄県の教育学習や県内文化芸術関連施設、沖縄県の主要観光資源のネットワークハブ機能構築に向けて当財団が保有する国内外観光・学術ネットワークを最大限に活用し、その構築をサポートします。

方針３：「博物館・美術館の本来機能の向上」を強力にサポートします。

・膨大な標本等資料・美術工芸品を活用した展示サポート

当財団が所有する沖縄の生物・植物標本（約51,000点）や琉球王朝に関連する美術工芸品（約1,400点）を活用し、本館の展示をサポートします。

・調査・研究成果、豊富な普及啓発プログラムの活用

当財団の「総合研究センター」による独自の調査研究の成果や普及啓発プログラムを活用し、本館の調査・研究や普及啓発事業をサポートします。

・本館での学びを助ける「活動フィールド」と「研究人材」の提供

体験・活動フィールドと、それをサポートする人材の提供により本館での学びをサポートします。

・（独）東京文化財研究所主催の「保存担当学芸員講習受講者」による適切な資料管理

首里城公園で美術工芸品を扱う「保存担当学芸員講習受講者」の指導の下、適切な資料管理をサポートします。

方針４：「沖縄県の主要観光施設」に相応しい経営と運営を行います。

・本館の魅力を引き出し高める「ブランディング・マーケティング」の実施

沖縄観光の二大拠点を支えるブランディング・マーケティングノウハウを基に、「経営戦略会議」を引き続き実施し本館の企画や運営を総合的に検討します。

・観覧者の心に響く「展示解説」の工夫と「ライブプログラム」の実施

観覧者の心に響く「鮮烈な展示解説」や観覧者が「参加・体験でき、思い出に残るプログラムやイベント」、展示を短時間で分かりやすく解説する「ガイドツアー」、観覧者の興味・注目を引き付ける「誰かに伝えたくなる」情報の発信を行います。

・首里城公園や沖縄美ら海水族館との連携による「新たな沖縄観光」の提案

首里城公園と連携した「琉球王朝文化ガイドツアー」や「催し」を実施し、「首里城公園」や「沖縄美ら海水族館」の半券提示で企画展が割引になるサービスや、旅行会社へ営業活動を行う中でクーポン券でのセット割引サービスの導入を検討します。

方針５：県民・観光客に「選ばれる」ために、積極的な誘客・広報活動を行います。

・「県内外広報ネットワーク」を活用した誘客につながる情報発信

国内外での観光プロモーションや県内老人会への個別訪問、お客様の手元に本館の情報が直接届く「スマホアプリ」の活用まで、広域かつ緻密なネットワークを活かした広報・プロモーション展開を行います。

・国内外の観光客に「選ばれるため」に積極的な誘客・広報活動を行います。

旅行社とタイアップした「ツアー等旅行商品」の造成や修学旅行の誘致について旅行社への営業、周辺ホテル・商業施設と連携した誘客広報、県外観光客・海外観光客向けの誘致活動を行います。

・質の高い広報を支える「豊富な人材」の活用

沖縄美ら海水族館及び海洋博公園・首里城公園の広報・PR経験者を「企画広報事業部責任者」に配置します。また、当財団の実績豊富なデザイナーやIT技術者が、デザイン制作及びITを活用したPRをバックアップします。

方針６：県民・観光客に「選ばれる」ために、積極的な誘客・広報活動を行います。

・地域コミュニティを育成するイベントや取り組みの実施

お祭りやワークショップ等の「地域と連携したライブイベント」の実施や本館を拠点とした「教室・文化サークル」の運営、カフェやホワイエを活用した「ギャラリー」「定期講演会」等を実施し県民が集い・学び・発表できる「地域活動の舞台づくり」を検討します。

・開館10周年にちなんだ「オリジナルミュージアムグッズ」の開発・販売

館の収蔵品などを活用した「オリジナルミュージアムグッズ」の開発・販売を検討します。

・地域活動団体、博物館・美術館支援組織との「協働」による館の運営

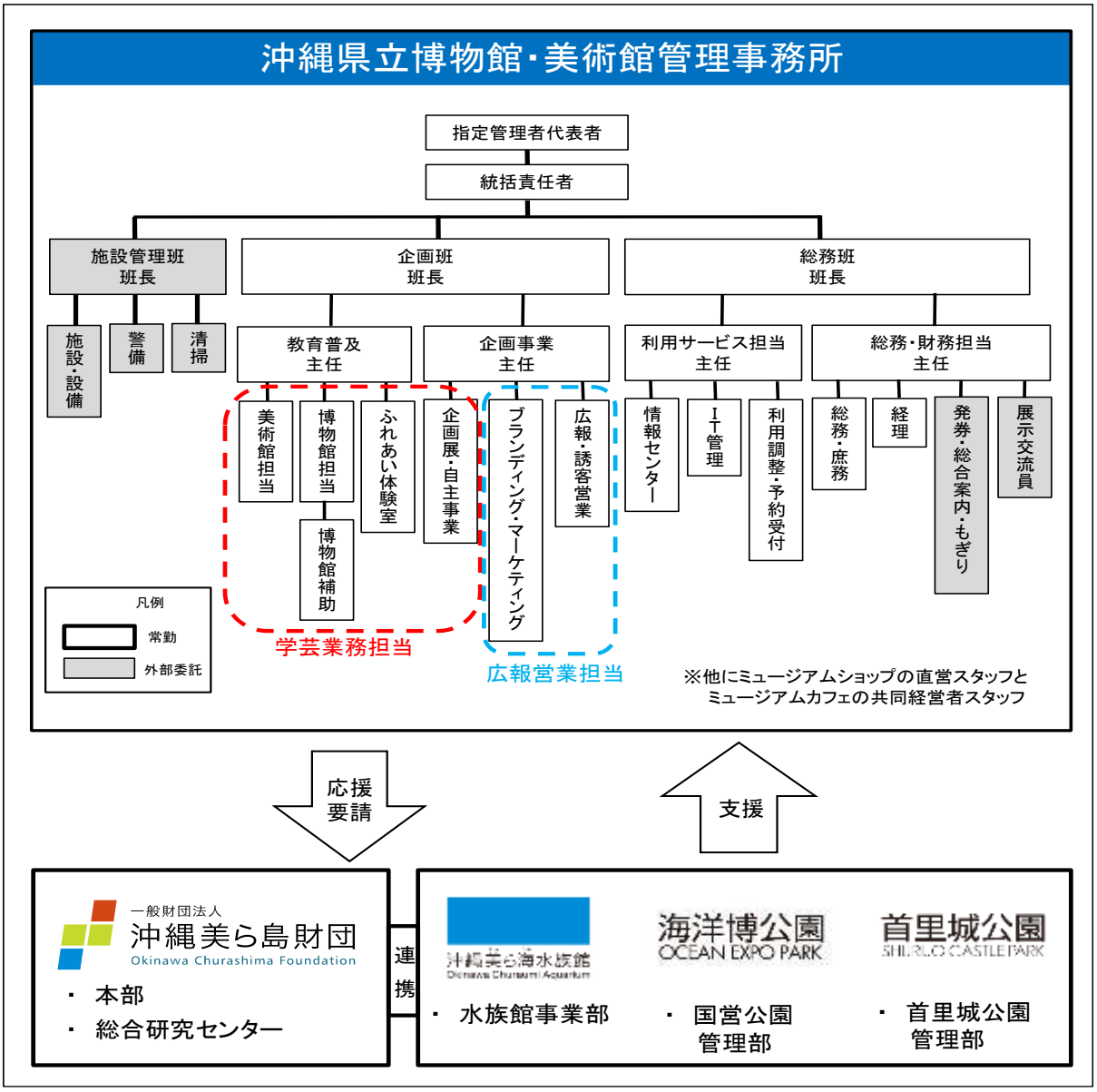
地域活動団体である「那覇市新都心通り会」とともに、団体が行う「アートのまちづくり」活動等を連携して行います。また、博物館支援団体「博物館友の会」、美術館支援団体「NPO happ」「博物館・美術館ボランティア」との「連絡会議」を行い、意見や情報交換の活発化、業務連携による事業効率化、研修会等人材育成事業のサポートを行います。

Ⅲ　組織

1　管理組織図

前年度同様に下図のとおり実施します。カフェについては共同運営者を企画コンペにより選定し、より魅力ある施設運営を目指します。

管　理　組　織　図



【職員構成】　　2019年３月31日　現在

		氏　　名	担　当　業　務
統　括		瑞慶山　昇	指定管理業務の統括に関すること
副統括		木下　龍太	総務全般、県や博物館・美術館との現場調整に関すること
総務班	総務・財務	平良　亜紀子	予算、料金申請、人事管理（展示交流員等）に関すること
		仲里　沙也加	総務補助、クーポン券やその他総務全般に関すること
		仲宗根　めぐみ	ショップ、カフェの管理
	利用サービス	具志堅　春樹	企画、施設貸出に関すること
		玉城　照美	施設貸出に関すること
		宮里　宗彦	施設貸出に関すること
		仲本　美奈子	情報センターの管理・運営に関すること
		名嘉　百恵	情報センター業務

		氏　　名	担　当　業　務
事業広報営業班	学芸業務	金城　美奈子	広報業務、自主事業に関すること
		國吉　貴奈	広報業務、自主事業に関すること
		渡久地　雅代	広報業務、自主事業に関すること
		謝花　佐和子	広報業務、自主事業に関すること
	教育普及	大濵　萌子	教育普及（博物館業務）に関すること
		保久村　智恵	教育普及（美物館業務）に関すること
		植田　瑞生	教育普及（博物館、美術館業務）に関すること
		比嘉　麻乃	ふれあい体験室、教育普及に関すること
	広報	福治　広規	営業、広報業務に関すること
		金城　正仁	営業、広報業務に関すること

【人事異動】　　2019年３月31日　現在

	氏　　名	適　　用
転　入	木下　龍太	2019年２月１日　転出
転　出		
退　職	瑞慶山　昇	2019年３月31日　退職
	池宮城　啓子	2019年３月31日　退職
	謝花　佐和子	2019年３月31日　退職

Ⅳ　展示活動

１　展示活動概要

一般財団法人沖縄美ら島財団の指定管理３年目となる平成30年度は、自主企画事業として「懐かさん戦前の首里城～森政三コレクション古写真展～」「追悼水木しげる　ゲゲゲの人生展」、「ティラノサウルス展－進化の謎に迫る－」「MONGOL800 ga EXHIBITION　モンパチ展 in Okinawa－20th Anniversary」「新海誠展―『ほしのこえ』から『君の名は。』まで―」の５つの展覧会を開催した。

２　指定管理者主催企画展等

（１）自主企画展「懐かさん戦前の首里城～森政三コレクション古写真展～」

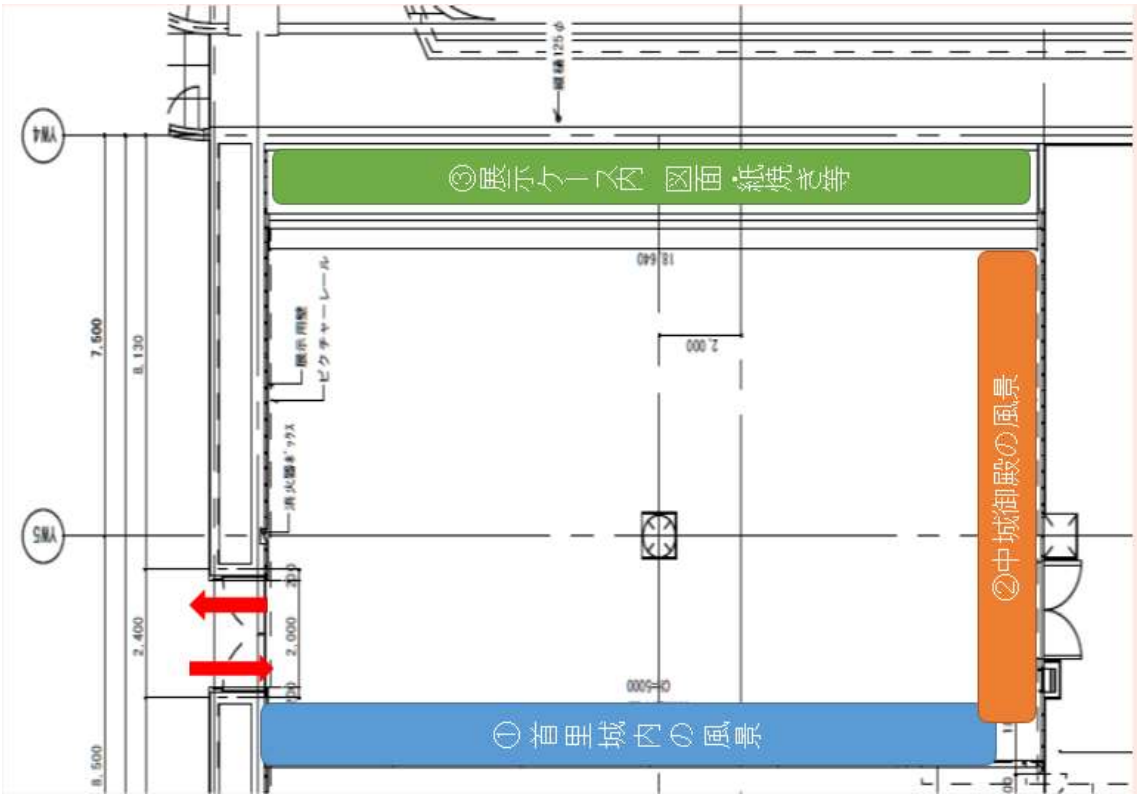
会　　期：2018年（平成30）５月22日（火）～６月24日（日）（開催日数30日）
場　　所：特別展示室２
観 覧 料：無料
観覧者数：3,941名（１日平均131.3名）
担当学芸員：幸喜淳（首里城公園管理部 調査展示係係長）
　　國吉貴奈

【開催形式】
主　　催：一般財団法人沖縄美ら島財団

【開催趣旨】
当財団にて所蔵する森政三コレクションの中から、戦前の首里城内や琉球王国時代の王子の屋敷である中城御殿の古写真を展示した。展示では古写真とともに、琉球処分後の首里城の使われ方や国宝指定された首里城などの解説パネルも展示。また中城御殿について、古写真に記された板図（図面）により中城御殿の建物全体の間取りが判明したことも紹介した。これらの展示を通し、在りし日の首里王府関連の生活の様子などに思いを馳せてもらうことを目的とした。

【展示内容】
首里城古写真、中城御殿古写真、板図写真

【展示平面図】



（國吉　貴奈）

（２）自主企画展「追悼水木しげる　ゲゲゲの人生展」

会　　期：2018年（平成30）７月11日（水）～９月２日（日）（開催日数47日）
場　　所：美術館企画ギャラリー１・２
観 覧 料：一般1,100円（880円）、高校・大学900円（720円）、小・中学生600円（480円）
※（　）は前売および20名以上の団体料金
※障がい者手帳をお持ちの方と介助者１名は当日料金の半額
観覧者数：32,774名（１日平均697.3名）
担当学芸員：金城美奈子

【開催形式】

主　　催：一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄テレビ放送、朝日新聞社
企画協力：水木プロダクション
協　　賛：ライブアートブックス
協　　力：テクノネット、クロステック
後　　援：琉球新報社、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

【企画概要】

2015年、93歳であの世へと旅立った水木しげる。「ゲゲゲの鬼太郎」「悪魔くん」「河童の三平」などのヒット作を生み出したほか、妖怪研究家としても高く評価された。本展では、少年期の習作、戦地で描いたスケッチ、漫画や妖怪画の原稿に加え、エッセイ原稿や私物などを一堂に展示し、水木しげるの人生に迫る展覧会。また、本展では沖縄特別企画として「水木しげるが描いた沖縄戦」「水木しげるが描いた沖縄の妖怪たち」の展示コーナーを設け、沖縄に関連する水木作品も紹介した。

展示室内の様子

【展示内容】

水木しげるの人生を以下の６章構成で紹介した。
第１章　「境港の天才少年画家（少年時代）」
第２章　「地獄と天国を見た水木二等兵（従軍時代）」
沖縄特別展示　「水木しげるが描いた沖縄戦」
第３章　「貧乏神との戦い（貧乏時代）」

第４章　「福の神来たる!!（多忙時代）」
第５章　「妖怪に取り憑かれて（妖怪研究家）」
沖縄特別展示　「水木しげるが描いた沖縄の妖怪たち」
第６章　「エピローグ・水木しげるは永遠に」

【関連催事】

①　開会式
日　　時：2018年７月11日（水）９：15～９：30
場　　所：美術館企画ギャラリー入口
あいさつ：久保田憲二（沖縄テレビ放送 株式会社　代表取締役社長）
　　花城良廣（一般財団法人沖縄美ら島財団　理事長）
テープカット：武良布枝（水木しげる夫人）
　　原口尚子（水木プロダクション代表）
　　田名真之（沖縄県立博物館・美術館　館長）
　　伊東聖（朝日新聞社那覇総局長）
　　久保田憲二（沖縄テレビ放送 株式会社　代表取締役社長）
　　花城良廣（一般財団法人沖縄美ら島財団　理事長）

②　夜の上映会「琉球トラウマナイト　リアルストーリー」
日　　時：７月13日（金）、28日（土）、８月10日（金）、17日（金）、31日（金）
　　各日19：00～19：50（開場18：30）※５回実施
会　　場：講堂
参加方法：当日先着順（各回定員200名）※要展覧会チケットまたは半券
参加者数：５回合計243名　※以下、内訳
　　７月13日（金）24名、７月28日（土）46名、８月10日（金）61名
　　８月17日（金）70名、８月31日（金）42名

③　京極夏彦講演会「水木サンの見ていたもの」
日　　時：７月15日（日）14：00～16：00（開場13：30）
会　　場：講堂
講　　師：京極夏彦（小説家）
参加方法：当日先着順（定員200名）
　　※要展覧会チケットまたは半券
参加者数：200名

④　「水木しげるの絵本読み聞かせ会」
日　　時：７月18日（水）14：00～14：30
場　　所：エントランスホール
講　　師：金城わか菜、小林美沙希（沖縄テレビアナウンサー）
参加方法：当日先着順（定員なし）※無料
参加者数：36名

⑤　「鳥取県観光PRイベント　鬼太郎来たる！」
日　　時：７月28日（土）、７月29日（日）
　　※各日３回実施11:00～11:30、13:30～14:00、15:00～15:30
場　　所：エントランスホール
参加方法：整理券配布による先着順（定員各回50組）
　　※要展覧会チケットまたは半券
参加者数：２日間合計178組（675名）
　　※以下、内訳
・７月28日（土）11:00～11:30／32組（107名）
　　13:30～14:00／41組（109名）
　　15:00～15:30／30組（87名）
・７月29日（日）11:00～11:30／50組（148名）
　　13:30～14:00／48組（130名）

15:00～15:30／27組（94名）

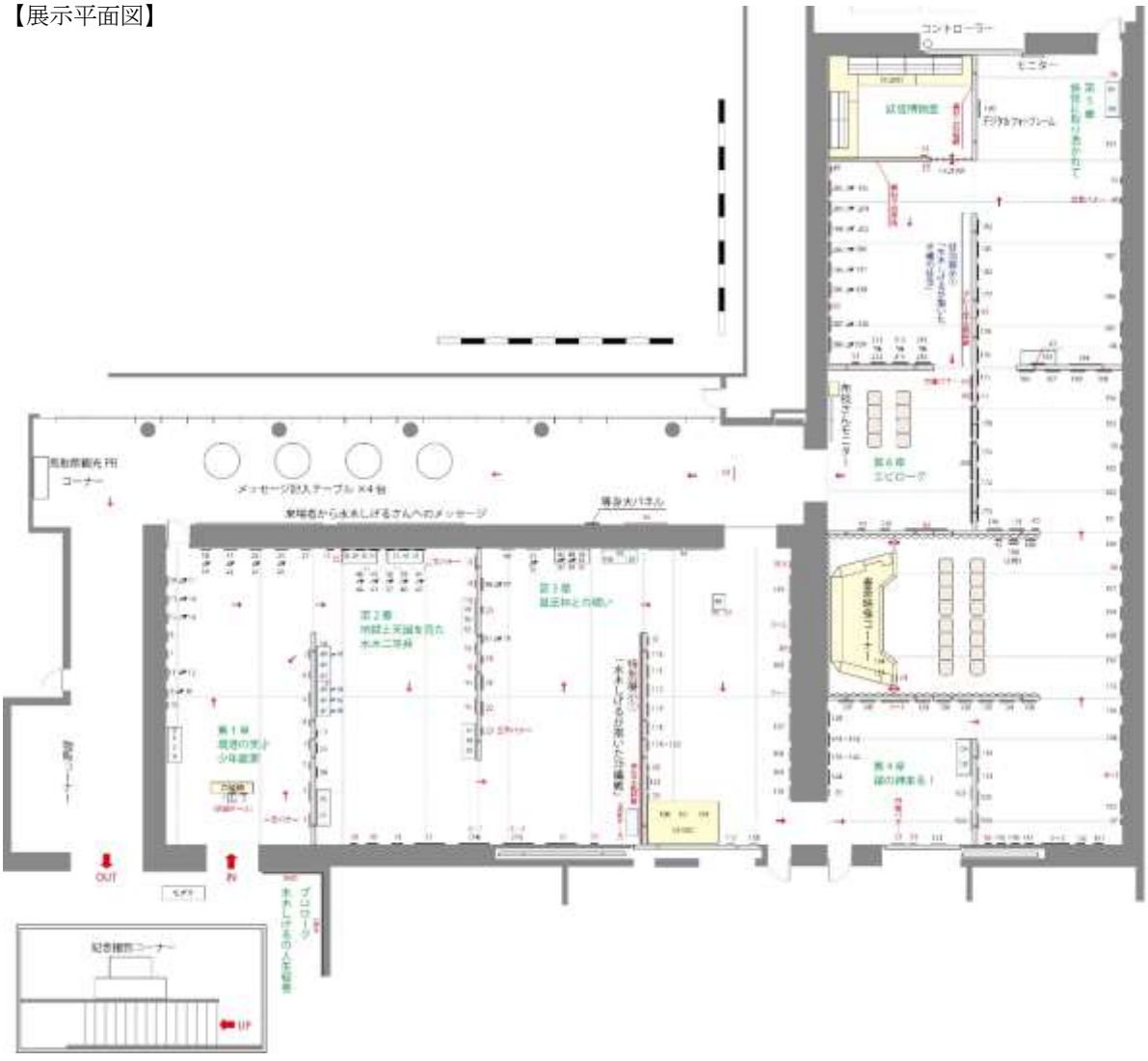
⑥　夜のおはなし会「沖縄妖怪話」

日　　時：８月３日（金）19：00～20：00
　　８月11日（土）19：00～20：00
　　※７月20日の回は台風10号接近のため、８月11日に延期して実施した。
場　　所：８月３日（金）博物館屋外展示場の庭
　　８月11日（土）美術館講座室
　　※台風14号の影響で屋内に会場変更
講　　師：小原猛（作家）
参加方法：当日先着順（定員８月３日／20名、８月11日／50名）
　　※要展覧会チケットまたは半券
参加者数：８月３日（金）　52名
　　８月11日（土）　62名
　　※会場変更に伴い講座室の定員に変更

⑦　終戦記念日特別企画「沖縄戦の語り」

日　　時：８月15日（水）14：00～15：05（開場13：30）
場　　所：美術館講座室
講　　師：上原美智子（沖縄県平和祈念館友の会副会長）
参加対象：当日先着順（定員50名）
　　※要展覧会チケットまたは半券
参加者数：45名

【展示平面図】



（金城　美奈子）

（3）自主企画展「ティラノサウルス展－進化の謎に迫る－」

会　　期：2018年（平成30）７月13日（金）～９月９日（日）（開催日数51日）
場　　所：企画展示室、特別展示室１・２
観 覧 料：一般1,200円（960円）、高校・大学1,000円（800円）、小・中学生800円（640円）、３歳以上小学生未満300円（240円）
※（　）は前売及び20名以上の団体料金
※障がい者手帳をお持ちの方と介助者１名は当日料金の半額
入場者数：83,923名（１日平均1,645.5名）
担当学芸員：謝花佐和子

【開催形式】
主　　催：一般財団法人沖縄美ら島財団、琉球新報社
協　　力：天草市立御所浦白亜紀資料館、群馬県立自然史博物館、沖縄県立博物館・美術館
後　　援：沖縄県、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、沖縄県専修学校各種学校協会、沖縄県PTA連合会、沖縄県学童保育連絡協議会、沖縄県私立幼稚園連合会、沖縄県私立保育園連盟

【企画概要】
当館において10年ぶりに恐竜をテーマにした展示会。なかでも人気の高い「ティラノサウルス」をテーマに、研究者監修を受けた巡回展として開催した。展示内容は、近年の「ティラノサウルス」に関する新たな知見や研究成果に加え、恐竜の進化などを分かりやすく紹介し、さらに操作型展示や体験型展示で体感し楽しみながら学ぶことのできる構成とした。

展示室内の様子

【展示内容】
・複製標本（ティラノサウルス成体、亜成体など　約60点）
・化石標本（14点）
・化石標本ハンズオン展示（７点）
・映像展示（１点）
・その他展示物（フォトスポットなど）　　合計約80点

【関連催事】
①　開会式
日　　時：2018年７月13日（木）14：00～14：30
場　　所：博物館企画展示室入口
あいさつ：花城良廣（一般財団法人沖縄美ら島財団　理事長）
玻名城泰山（株式会社　琉球新報社　代表取締役社長）
テープカット：玻名城泰山（株式会社　琉球新報社　代表取締役社長）
田名真之（沖縄県立博物館・美術館　館長）
花城良廣（一般財団法人沖縄美ら島財団　理事長）

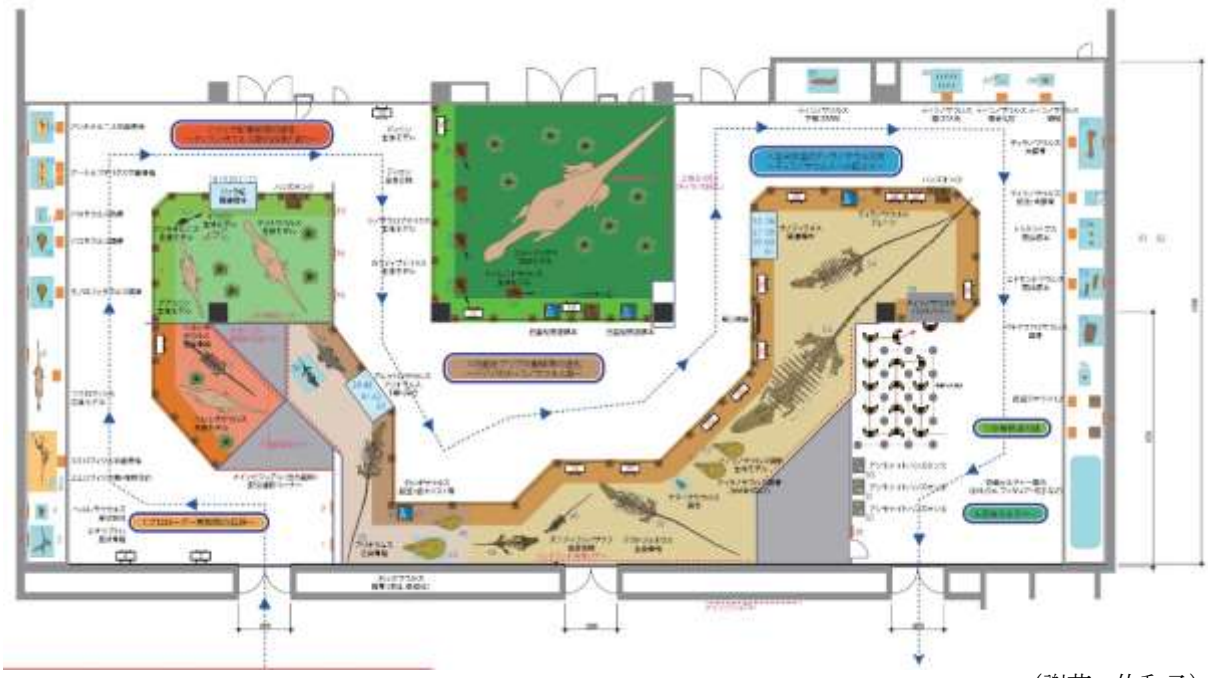
②　展示解説会「せいた先生と行く！ティラノサウルス展！！」
日　　時：７月15日（日）９:30～10:50、11:30～12:50
場　　所：ティラノサウルス展会場、博物館実習室
講　　師：嶺井聖太（アポロサイエンス科学実験教室 サイエンスインストラクター）
参加方法：当日先着（各回定員20名）
※当日有効の「ティラノサウルス展」の観覧券が必要
参加者数：40名（９：30／20名、11：30／20名）

日　　時：８月11日（日）16:00～17:30
場　　所：ティラノサウルス展会場、博物館実習室（自由見学）
講　　師：嶺井聖太（アポロサイエンス科学実験教室 サイエンスインストラクター）
参加方法：当日先着（定員なし）　※当日有効の「ティラノサウルス展」の観覧券が必要
参加者数：30名　※ほか保護者20名

③　ワークショップ「化石のレプリカ作り体験」

日　　時：８月18日（土）10:00～11:10、12:30～13:35
　　８月19日（日）10:00～11:10、12:30～13:35
場　　所：博物館実習室
講　　師：廣瀬浩司（天草市立御所浦白亜紀資料館 学芸員）
参加方法：当日先着（各回定員30名）※無料
　　※「未就学児童」と「小学生」は保護者同伴で参加
参加者数：117名　※ほか保護者約80名
　　（各回定員30名×４回＝120名）
　　８月18日（土）58名
　　（10:00～11:10／29名、12:30～13:35／29名）
　　８月19日（日）59名（10:00～11:10／30名、12:30～13:35／29名）

【展示平面図】



（謝花　佐和子）

（４）自主企画展「MONGOL800 ga EXHIBITION　モンパチ展 in Okinawa—20th Anniversary」

会　　期：2018年（平成30）10月６日（土）～11月５日（月）（開催日数27日）
場　　所：博物館企画展示室、特別展示室１・２
観 覧 料：一般1,200（1,000）円、高校・大学800（600）円、小・中学生400（300）円
　　※（　）は前売及び20名以上の団体料金
　　※ 障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名は当日料金の半額
観覧者数：9,322名（１日平均345.2名）
担当学芸員：國吉貴奈

【開催形式】

主　　催：一般財団法人沖縄美ら島財団、株式会社ハイウェーブ
協　　賛：株式会社琉球銀行、株式会社沖縄ファミリーマート、日本トランスオーシャン航空株式会社、TshirtsYA.com、株式会社国際ビル産業
協　　力：株式会社琉球広報、ピーエムエージェンシー
後　　援：沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、NHK沖縄放送局、琉球新報社、沖縄タイムス社、エフエム沖縄、ラジオ沖縄、FMレキオ、那覇新都心通り会、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

【開催趣旨】

沖縄で生まれ育ち、音楽を通して沖縄、日本、世界へ様々なメッセージを伝えてきた沖縄を代表するロックバンド、モンゴル800。2018年に結成20周年を迎えたことを記念して、活動を振り返る展覧会を企画した。本企画

展では、結成時からのアルバムや関連グッズ、衣装、交流のあるアーティストの作品、メンバーそれぞれの活動を展示したほか、貴重な初期の演奏映像、ライブのVR映像などを上映。展示をとおして、モンパチの全活動と発信し続けたメッセージを振り返った。

【展示内容】

モンパチ年表、モンパチディスコグラフィー、モンパチ関連グッズ、メンバーそれぞれの活動、儀間比呂志作品、関連アーティスト作品、初期映像、塗り絵コーナー、VR上映、楽器展示、ワッタワンダフルワールド関連展示

【関連催事】

① 開会式

日　　時：10月６日（土）10：00～10：15
場　　所：博物館企画展示室入口
あいさつ：比嘉瑩（株式会社ハイウェーブ　代表取締役社長）
　　MONGOL800代表あいさつ：上江洌清作
テープカット：上江清洌（MONGOL800）
　　儀間崇（MONGOL800）
　　高里悟（MONGOL800）
　　田名真之（沖縄県立博物館・美術館　館長）
　　比嘉瑩（株式会社ハイウェーブ　代表取締役社長）
　　花城良廣（一般財団法人沖縄美ら島財団　理事長）

展示室内の様子

② パーカープレゼント

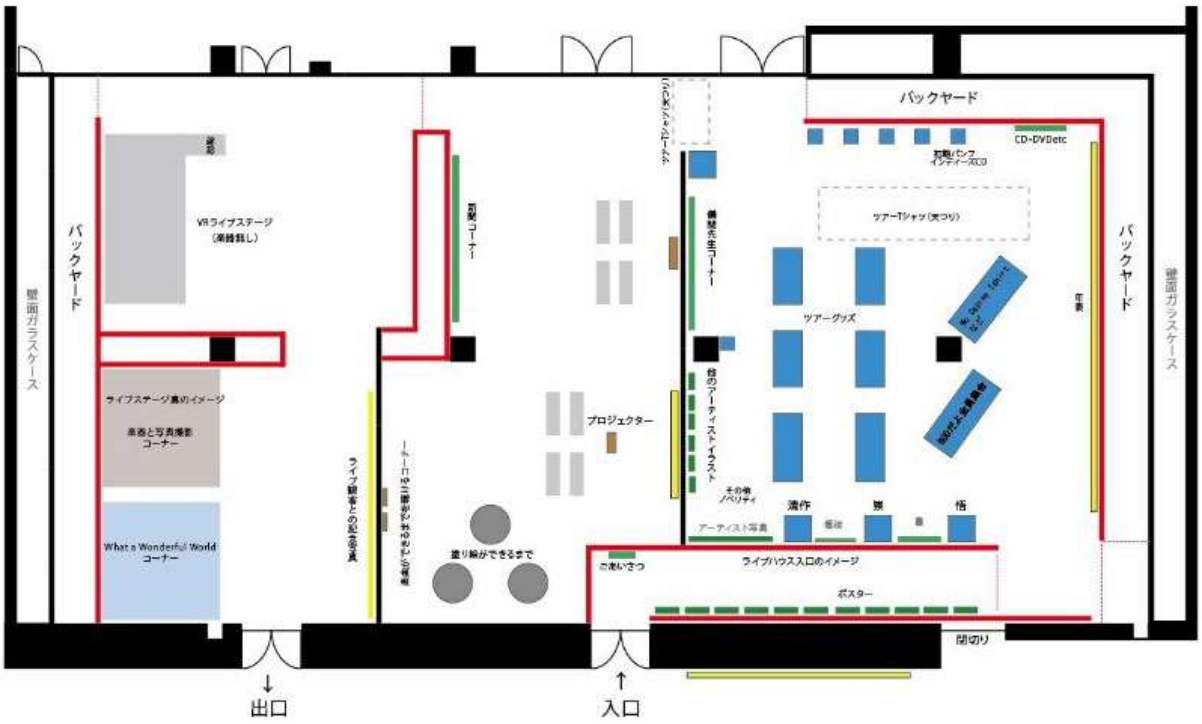
実 施 日：10月７日（日）、10月13日（土）、10月20日（土）、
　　10月27日（土）、11月５日（月）
場　　所：企画展示室・特別展示室前
当 選 者：５名

パーカープレゼント当選者

③ 日本トランスオーシャン航空券プレゼント

実 施 日：11月１日（木）、11月５日（月）
場　　所：企画展示室・特別展示室前
当 選 者：２名

【展示平面図】



（國吉　貴奈）

（5）自主企画「新海誠展―『ほしのこえ』から『君の名は。』まで―」

会　　期：2018年（平成30）12月18日（火）～2019年（平成31）２月３日（日）（開催日数37日）
場　　所：美術館企画ギャラリー１・２
観 覧 料：一般1,200円（960円）、高大生800円（640円）、小中生500円（400円）
※（　）は前売および20名以上の団体料金
※ 障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名は当日料金の半額
ペアチケット一般1,800円、ペアチケット高大生1200円　※前売券のみ
観覧者数：12,731名（１日平均344名）
担当学芸員：渡久地雅代

【開催形式】
主　　催：一般財団法人沖縄美ら島財団
協　　賛：沖縄ホンダ、りゅうせき商事株式会社
協　　力：コミックス・ウェーブ・フィルム、東宝
後　　援：沖縄テレビ放送、琉球朝日放送、琉球放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、FMレキオ、沖縄タイムス社、琉球新報社、沖縄観光コンベンションビューロー、那覇新都心通り会

【企画概要】
アニメーション監督 新海誠氏の商業デビュー15周年を記念し企画され、全国巡回している展覧会で沖縄は12番目の開催地であった。
新海監督のこれまでのフィルモグラフィーを振り返りつつ、アニメーション制作の際の設定資料、作画資料、絵コンテ、ロケハン写真、模型、映像資料等約750点を展示した。

【展示内容】
オープニングムービー
第１章　ほしのこえ
第２章　雲のむこう、約束の場所
第３章　秒速５センチメートル
第４章　星を追う子ども
第５章　言の葉の庭
第６章　君の名は。
第７章　アザーワークス
第８章　榎本先生コーナー
クロージングムービー

展示室内の様子

【関連催事】
①　開会式
日　　時：2018年12月18日（火）10：00～10：15
場　　所：美術館企画ギャラリー入口
あいさつ：後藤和夫（一般財団法人沖縄美ら島財団　常務理事）
テープカット：伊東聖（朝日新聞社那覇総局・総局長）
田名真之（沖縄県立博物館・美術館　館長）
小林久夫（沖縄ホンダ株式会社　代表取締役社長）
後藤和夫（一般財団法人沖縄美ら島財団　常務理事）

②「『ほしのこえ』上映会」新海監督の商業デビュー作沖縄初上映
日　　時：12月21日（金）18:30～18:30（上映時間25分）
場　　所：県民ギャラリー・スタジオ
参加方法：当日先着（定員30名）　※要展覧会チケット、もしくは半券
参加者数：６名

③「『ほしのこえ』を聴こう！ 冬の星空観察会」～『ほしのこえ』関連イベント～
日　　時：ａ）12月22日（土）17:30～19:30
ｂ）12月23日（日）17:00～19:00　※雨天プログラム変更
場　　所：ａ）県民ギャラリー・スタジオ
ｂ）美術館講座室

講　　師：嶺井聖太（アポロサイエンス科学教室）
参加方法：事前申込制　定員：ａ）30名、ｂ)50名　無料
参加者数：ａ)５名、ｂ）47名

④　「今日は１日新海DAY！ 新海作品１日上映会」
日　　時：ａ)12月26日（水）終日
　　ｂ)１月４日（金）終日
場　　所：講堂
参加方法：当日先着順（定員200名）　無料
参加者数：ａ)89名、ｂ)120名

⑤　「『雲のむこう、約束の場所』上映会」
日　　時：12月27日（木）14:00～上映開始（91分）
場　　所：講堂
参加方法：当日先着順（定員200名）　※要展覧会のチケット、もしくは半券
参加者数：23名

⑥　「作って飛ばそう！ 紙飛行機！」　～『雲のむこう、約束の場所』関連イベント～
日　　時：１月12日（土）９:30～初級編開始　11:00～上級編開始
場　　所：博物館講座室
講　　師：國頭いずみ　ほか（日本トランスオーシャン航空株式会社）
参加方法：当日先着順（定員80名）　※要展覧会のチケット、もしくは半券
参加者数：49名

⑦　「桜吹雪制作&桜吹雪体感ワークショップ」　～『秒速５センチメートル』関連イベント～
日　　時：ａ)１月５日（土）10:00～
　　ｂ)１月６日（日）10:00～
場　　所：エントランスホール一角
講　　師：金城靖信（読谷高等学校　教頭）
参加方法：事前申込制（各回定員20名）　※参加費300円（税込・材料費として）
参加者数：ａ)５名、ｂ)10名

⑧　「『秒速５センチメートル』上映会」
日　　時：１月５日（土）18:30～上映開始（63分）
場　　所：講堂
参加方法：当日先着順（定員200名）　※要展覧会チケット、もしくは半券
参加者数：30名

⑨　「組紐風・カード織ワークショップ」～『君の名は。』関連ワークショップイベント～
日　　時：ａ)１月12日（土）10:30～
　　ｂ)１月13日（日）10:30～
場　　所：県民アトリエ・子どもアトリエ
講　　師：柳悦州（沖縄県立芸術大学 非常勤講師）
参加方法：10歳以上。事前申込制（各回定員12名）
　　※参加費500円（税込・材料費として）
参加者数：ａ)６名、ｂ)８名

「組紐風・カード織ワークショップ」の様子

⑩　「アフレコ体験ワークショップ」
日　　時：ａ)１月12日（土）10:00～
　　ｂ)１月13日（日）10:00～
場　　所：県民ギャラリー・スタジオ
講　　師：幸地松正（声優）
参加方法：中学生以上。事前申込制（各回定員15名）
　　※要展覧会チケット、もしくは半券
参加者数：ａ)１名、ｂ)４名

⑪　「鉱石ラジオ制作ワークショップ」　～『星を追う子ども』関連イベント～
日　　時：１月14日（月・祝）９:30～
場　　所：博物館実習室
講　　師：濱川武司（沖縄県立総合教育センター 研究主事）
参加方法：小学生以上。小学校低学年は親子参加。事前申込制（定員20組）
※参加費800円（税込・材料費として）
参加者数：13名

⑫　「『星を追う子ども』上映会」
日　　時：１月19日（土）９:30～上映開始（116分）
場　　所：博物館講座室
参加方法：当日先着順（定員100名）　※要展覧会チケット、もしくは半券
参加者数：40名

⑬　「アンコール上映会」新海監督の５作品を２日間に分けてアンコール上映
日　　時：ａ）１月19日（土）13:00～
ｂ）１月20日（日）９:30～
ｃ）２月１日（金）16:00～
ｄ）２月２日（土）17:30～
場　　所：ａ）博物館講座室、ｂ）美術館講座室他、ｃ）講堂、ｄ）美術館講座室他
参加方法：当日先着順　定員　ａ）200名、ｂ）50名、ｃ）200名、ｄ）50名）　※無料
参加者数：ａ）40名、ｂ）146名、ｃ）40名、ｄ）146名　※参加者数は累計

⑭　「短歌と返歌のワークショップ」～『言の葉の庭』関連イベント～
日　　時：ａ）１月23日（水）14:00～
ｂ）１月25日（金）18:00～
場　　所：ａ）美術館講座室、ｂ）県民ギャラリー・スタジオ
講　　師：名嘉真恵美子（歌人）
参加方法：中学生以上／事前申込制　定員　ａ）50名、ｂ）30名
※要展覧会チケット、もしくは半券
参加者数：ａ）７名　ｂ）７名

⑮　「『言の葉の庭』上映会」
日　　時：１月27日（日）13:30～上映開始（46分）
場　　所：美術館講座室
参加方法：当日先着順（定員50名）　※要展覧会チケット、もしくは半券
参加者数：50名

⑯　「榎本先生講演会『新海誠の表現世界－「半分」が「半分」と出会う物語』」
日　　時：１月20日（日）14:00～15:30
場　　所：講堂（定員200名）　無料
参加方法：当日先着順（定員200名）
参加者数：33名

⑰　大平特別養護支援学校招聘（展示解説）
日　　時：１月31日（木）10:00～11:00
場　　所：美術館企画ギャラリー１・２
参加者数：９名（中等部生徒７名、引率２名）

【展示平面図】

（渡久地　雅代）

Ⅴ　教育・イベント活動

博物館、美術館のファン育成を目的とし、大人から子どもまで気軽に参加できる楽しいプログラムを企画立案、実施した。

1　ワークショップ等

（1）　ふれあい体験室ワークショップ

体験キットの充実・発展を目的に、各分野担当学芸員や専門の指導者と協力して３か月毎に４つのプログラムを提供した。未就学児から大人まで幅広い世代に参加してもらえるよう、難易度を低くすることや短時間で取り組める内容を選定した。講座の要点をまとめた「博士カード」を参加者へ配布し、カードを集める楽しさを取り入れながら学びを深められるように工夫した。

講　　師：比嘉麻乃、大濵萌子（一般財団法人沖縄美ら島財団）
場　　所：ふれあい体験室前エントランスホール

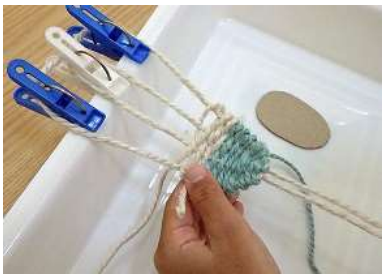
①４、５、６月「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」
体験キットNo.19「いろいろな玩具」より、アダン葉細工の「カジマヤー・ウマグヮー・星コロ・ハブグヮー」をカラフルな色画用紙で製作した。
時　　間：10:00「カジマヤー」／10:30「ウマグヮー」
　　11:00「星コロ」／11:30「ハブグヮー」
参 加 費：100円
実施日／参加人数：４月７日（土）29名、14日（土）21名

21日（土）34名、28日（土）21名
5月5日（土）43名、12日（土）36名、19日（土）28名、26日（土）37名
6月2日（土）50名、 9日（土）28名、16日（土） 4名、17日（日）17名
23日（土）47名
※各日定員40名（各回10名）

② 7、8、9月「ふれたい博士のかんたん化石のレプリカづくり」
体験キットNo.10「化石」より、アンモナイトや三葉虫などの化石の型を使い、脂粘土を流し込んで化石のレプリカを製作した。

時　　間：10:00／10:30／11:00／11:30
参 加 費：150円
実施日／参加名数：7月7日（土）30名、14日（土）42名
28日（土）52名
8月4日（土）60名、11日（土）60名
25日（土）64名、26日（日）60名
9月1日（土）60名、8日（土）60名、15日（土）48名、22日（土）48名
※7月21日、8月18日、9月29日は台風襲来のため中止。
※各日定員60名（各回15名）8月より増員

③ 10、11、12月「ふれたい博士のアダン葉サバづくり」
体験キットNo.17「いろいろな道具」より、沖縄の代表的な民具である「アダン葉サバ」を、麻ひもを用いて3分の1スケールで製作した。



時　　間：10:00／10:30／11:00／11:30
参 加 費：200円
実施日／参加名数：10月6日（土）11名、13日（土）11名、
20日（土） 5名、27日（日）13名
11月3日（土）12名、10日（土） 9名
17日（土） 4名、24日（土） 4名
12月1日（土）14名、8日（土）10名、15日（土）13名、22日（土）18名

④ 1、2、3月「ふれたい博士の凧づくり ～カーブヤーに挑戦！」
体験キットNo.19「いろいろな玩具」より、沖縄の伝統的な子ども凧「カーブヤー」を、カラフルなビニール袋を用いて28cm角で製作した。

時　　間：10:00／10:30／11:00／11:30
参 加 費：300円
実施日／参加名数：1月5日（土）22名、12日（土）13名、
26日（土）8名
2月2日（土）8名、9日（土）20名、
16日（土）2名、23日（日）7名
3月2日（土）1名、9日（土）14名、16日（土）7名、23日（土）2名、
30日（土）21名
※各日定員40名（各回10名）

⑤ 移動展ワークショップ「かんたん化石のレプリカづくり」
「第11回移動展 in 伊平屋島」と関連してワークショップを実施した。体験キットNo.10「化石」から、アンモナイトや三葉虫などの化石の型を使い、脂粘土を流し込んで化石のレプリカを製作した。
日　　時：2019年1月20日（日）10:00／11：00／14:00／15:00
場　　所：伊平屋村産業連携拠点センター
講　　師：比嘉麻乃（一般財団法人 沖縄美ら島財団）
参 加 費：150円
参加者数：65名（定員60名）

（比嘉 麻乃）

（2）「ほうかご美術のきょうしつ 第1期 わざをみがこう手のワーク」

県内の子供たちが放課後に美術館へ足を運び、美術に触れるきっかけを作ることを目的に美術の教室を開講した。第1期は8月～9月まで全4回講座とし、絵を描くコツを伝えるプログラムとした。10・11月は首里城と連

携した写生大会を実施し館内のみならず外へ出て絵を描く楽しさを伝えることができた。

日　　時：８月10日(金)17：30～19：00、９月７日(金)17：30～19：00
　　10月６日(土)９：30～13：00、11月10日(土)９：30～13：00
場　　所：県民アトリエ、こどもアトリエ、首里城公園周辺
講　　師：絵本作家sava（和田瑞希）
　　大村郁乃（画家）
参 加 費：4,000円（全４回）
参加者数：20名（定員20名）

①　作品展
会　　期：12月11日（火）～12月28日（金）
会　　場：エントランスホール

（３）「理研よこはまサイエンスカフェ」

体を守る細胞たちを光らせた動物を最先端の顕微鏡で観察しながら、病気になるメカニズムを解説した。沖縄県で初開催となった本催事は、当館に同様の催事経験者がおり地元の広報網が整っていることから、理研から広報協力を条件に共催依頼を受け実現した。

日　　時：11月９日（金）18：00～19：30
場　　所：カメカメキッチン
講　　師：岡田峰陽（理化学研究所　生命医科学研究センター　組織動態研究チーム　チームリーダー）
参 加 費：無料
参加者数：34名（定員30名）*座席に空きがあったため定員を超えたが受入れた

（４）「おきみゅーゆんたく（おしゃべり）デー」

内閣府が定める「家族の日」に合わせ、普段は来館を躊躇しがちな子育て世代を含む全ての来館者が、気兼ねなく会話を楽しみ観覧できる環境をつくり、当館を楽しんでもらう事を目的とした。また、今回は次年度の本格実施に向けたプレイベントとしてモニタリングを兼ねて実施した。

日　　時：11月18日（日）９：00～18：00
場　　所：沖縄県立博物館・美術館　全館
参加者数：1,632名（定員なし）

（５）「ほうかご美術のきょうしつ　第２期 えほんづくりを通してイメージ力をみがこう頭のワーク」

第１期とは内容を変えた第２期のプログラムは12月～３月まで全４回講座とし、「閉館後の真夜中のOkiMuではどんなことが起こっているんだろう…」をテーマに当館を舞台にしたえほんづくりのワークショップを実施した。

日　　時：12月14日（金）、１月11日(金)、２月８日（金）、
　　３月８日（金）17：30～19：00
講　　師：絵本作家sava（和田瑞希）
参 加 費：4,000円（全４回）
参加者数：19名（定員20名）

①　作品展
会期／会場：３月23日（土）～３月31日（日）　情報センター
　　４月９日（火）～５月６日（月）　カメカメキッチン

（６）ワークショップ「土器文様しらべ」

企画展「縄文と沖縄」の付帯催事として子どもから大人まで楽しめるワークショップを行い、展示をより楽しめる情報を伝えることを目的に開催した。

日　　時：１月４日（金）、１月６日（日）
　　10：00～12：00、13：30～16：00

場　　所：エントランスホール
講　　師：植田瑞生、大濵萌子（一般財団法人　沖縄美ら島財団）
参 加 費：300円
参加者数：52名（定員60名）

（7）美ら島サンゴカフェ「サンゴとサンゴ礁と宝石サンゴのおはなし」

次年度から本格的に実施を予定しているサイエンスカフェのモニタリングを兼ねて実施した。当日は沖縄県が企画運営している「サンゴ礁ウィーク」の関連催事として位置づけ、当財団職員が研究成果を話題に参加者と対話しながらサンゴの生態を考える時間を過ごした。
日　　時：２月23日（土）18：00～19：30
場　　所：カメカメキッチン
講　　師：野中正法（一般財団法人 沖縄美ら島財団）
参 加 費：800円
参加者数：25名（定員20名）*座席に空きがあったため定員を超えたが受入れた。

（大濵　萌子）

（8）しまくとぅばプロジェクト2018

「しまくとぅば」は沖縄独自の伝統文化、芸能など世界観・価値体系の源である。その一方、「しまくとぅば」への関心と話者の広がりは、未だ充分とはいえない。各地域で伝えられてきた「しまくとぅば」を理解し継承していくために、「しまくとぅば」の現状を考え、聞き・話し・理解し・さらに学ぶ機会を提供する必要がある。沖縄文化の発信拠点である文化施設として、その世界観―歴史・民俗・自然・芸術など―を展示や体験などで理解し学習できる環境を生かし、「しまくとぅば」の復興、普及、発展的継承を事業の目的とし、事業を実施した。今年度は６月から事業を始め、５つの催事を実施。延べ250名が参加した。

①　しまくとぅば鼎談　慰霊の日企画「沖縄戦（うちなーせ）のー　ちゃーし　継承さんねー　ならんが？」
日　　時：６月23日（土）　16:00～19:10
場　　所：博物館講座室
登 壇 者：伊佐眞一（沖縄近代史家）、屋嘉宗彦（法政大学 名誉教授）、 比嘉豊光（写真家）
参 加 費：500円
内　　容：「沖縄戦（うちなーせ）のー　ちゃーし　継承さんねー　ならんが？」と題し、伊佐氏が考える沖縄戦の継承のあり方について提起し説明。鼎談では、屋嘉氏、比嘉氏が加わり、「慰霊の日」における慰霊碑での光景や、次世代とのかかわりから見える「慰霊の日」への想いや彼らへの期待などについて語った。
参加者数：71名　※定員100名

②　しまくとぅばの日企画「しまくとぅば復興への取り組みと出版物－沖縄県・市町村の教材を中心にー」
日　　時：９月22日（土）　17:00～19:30
場　　所：博物館講座室
登 壇 者：當山奈那（琉球大学 准教授）、中本謙（琉球大学 教授）、西岡敏（沖縄国際大学 教授）、宮城一春（フリー編集者・ライター）
コーディネーター：仲原穣（沖縄県立芸術大学ほか 非常勤講師）
参 加 費：500円
内　　容：沖縄県や市町村のしまくとぅば関連の出版物に焦点を当てたシンポジウム。これらの教材が、しまくとぅば復興に向けて、どのような役割を担い、どう利用され、どのような課題があるのかについて話し合い、今後どのような教材が必要となるのかなどについて議論した。
参加人数：22名　※定員100名

③　しまくとぅば鼎談
「南米んじ　琉球（るーちゅー）しまくとぅばー、ちゃー　なとーが？」
日　　時：10月14日（日）　14:00～17:10
場　　所：博物館講座室
登 壇 者：大城和喜（南風原文化協会 会長）、伊佐眞一（沖縄近代史家）、屋嘉宗彦（法政大学 名誉教授）、比嘉豊光（写真家）
参 加 費：500円
内　　容：基調講話は「南米のウチナーンチュの暮らしと言葉」と題し、

基調講演の様子

大城氏が長年通っている南米のウチナーンチュの日常生活や生活に根づく沖縄文化について画像を使いわかりやすく解説した。対談では、伊佐氏、屋嘉氏、比嘉氏が加わり、「移民」「海外のウチナーンチュに息づくウチナーグチ」「明治期の歴史・社会的状況と沖縄の言語教育」「言霊としてのウチナーグチ」「やーなれーるふかなれー（家庭教育）としまくとぅば」など、多様な考え方が語られた。

参加者数：68名　※定員100名

④　しまくとぅば鼎談

「『琉球処分』から140年 ウチナーぬ歴史とぅ文化から、県民投票やちゃーし 見ぃーゆが？」

日　　時：2019年２月23日（土）14:00～17:10
場　　所：博物館講座室
登 壇 者：伊佐眞一（沖縄近現代史家）、比嘉豊光（写真家）、屋嘉宗彦（法政大学 名誉教授）
参 加 費：500円
内　　容：伊佐氏が沖縄近現代史における「沖縄人の権利」について、屋嘉氏は新崎盛暉氏の研究を基礎資料として沖縄における「県民投票」の歴史について、比嘉氏とそのゲストの安里長従氏（司法書士／やいまむに）が、文化活動としての「県民投票」について、各者の考えをしまくとぅばで述べた。対談では、沖縄の文化人の発言から読み解く「県民投票」、「沖縄の歴史と文化的背景を理解し社会問題を捉えること」「個人の生き方としての文化」「沖縄文化の正負に収斂される社会問題」などについて、クロストークが展開された。

参加者数：80名　※定員100名

⑤　「ワークショップ　しまくとぅばライティング　第２回」

日　　時：２月24日（日）14：00～16：10
場　　所：美術館講座室
講　　師：西岡敏（沖縄国際大学 教授）
参 加 費：400円
内　　容：「しまくとぅば」に関する表記の歴史、研究者による「表記法」の考え方、沖縄県内での「正書法」についての取組み、また表記する際に特に注意すべき発音について解説した。続いて、ラジオ放送の「方言ニュース」を聞き取り、穴埋め方式の問題に取り組んだ。

参加者数：９名　※定員50名

会場の様子

（謝花　佐和子）

２　その他

（1）ミュージアム・コンサート「君を追う旅～新海誠の調べ」

地域連携・人材育成事業として沖縄県立芸術大学の学生が主体的に活動する場を提供。テーマは「新海誠展」と関連して「恋愛」とし、年齢層や集客規模の予測、曲目の選定、出演者への交渉、広報活動など催事運営に関わる様々な業務を、学生が主体となって約半年間をかけて準備し、コンサートを実施した。

日　　時：12月23日（日）14：30～20：00
場　　所：エントランスホール
出 演 者：沖縄県立芸術大学音楽学部　音楽表現専攻・琉球芸能専攻有志
参 加 費：無料
参加者数：230名（定員なし）

（植田　瑞生）

（2）おきみゅー誕生祭

開館11年目を祝う誕生祭として11月３日に「食とアートと音楽で楽しむ」をテーマに様々な催事を実施した。県内各地の人気パン屋さんを集めて実施したパン博物館、アートマーケット他、音楽ライブで賑いを演出した。また、文化の日のため無料開放とした「博物館常設展」と「美術館コレクション展」では展示内容を題材とした穴埋めクイズを出題し観覧促進を図った。

日　　程：11月３日（土）
場　　所：全館
出 店 者：
・パンミュージアム／Zazou、いまいパン、coco begel、Pain de Kaito、パン屋水円、八重岳ベーカリー
・カメカメキッチンアートマーケット／凸凸製作所、陶芸 金城彩子、Binju、山ちゃんの絵Artギャラリー、Sheep's、ひゅーまん's、ハンドメイドショップHello、フィンガーペインター由郁子、ROSE・WATER、若布（わかめ）、KAORU SHIO
出 演 者：音楽ライブ／HIRARA、JUJUMO
来場者数：5,373名

（３） 旧正月イベント「旧正月はおきみゅーへ行こう2019」

旧正月に合わせて沖縄の伝統文化や生活文化に触れる様々な体験ワークショップや旧正月関連イベントを実施した。春節で中国から訪れる観光客や県民が多く訪れた。５日のオープニングイベント「小禄高校 書き初めパフォーマンス」の様子はテレビ３局（沖縄テレビ、琉球放送、琉球朝日放送）の取材が入り、旧正月のニュースとして報道された。

日　　程：２月５日（火）～２月11日（日）
場　　所：全館
出 演 者：書き初めパフォーマンス/小禄高校書道コース学生
来場者数：11,938名

（福治　広規）

Ⅵ　広報事業に関する業務

広報業務では、一般財団法人沖縄美ら島財団本部と連携し財団のネットワークや管理施設を活用した広報及び、有料・無料の媒体利用により当館の展覧会や事業・活動を県民や観光客に広くアピールし、博物館・美術館活動への理解を深めてもらうとともに一層の集客を図った。

当館で開催される展示会と関連イベント、教育普及事業、講演会、県民ギャラリーなどの催しについては「県立博物館・美術館　週間展示会・イベント情報」及びニュースリリースを作成し、県内の主要マスコミ各社（下記※印参照）へFAXやメールで配信し、情報の告知や取材を依頼した。

※マスコミ各社：新聞社（沖縄タイムス社、琉球新報社）、テレビ局（NHK沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ、沖縄ケーブルネットワーク）、ラジオ局（RBCiラジオ、NHK沖縄放送局、ラジオ沖縄、FM沖縄）

沖縄タイムス紙面の朝刊情報面には当日開催の展覧会情報を発信している（休館日を除く）。また文化面・社会面などに随時展覧会や講演会、県民ギャラリーの催事情報を掲載。琉球新報でも情報面や文化面、社会面で展覧会や催事情報を掲載。沖縄タイムスの副読誌「週刊ほーむぷらざ」や琉球新報の副読誌「週刊レキオ」、そのほか県内外で発行される観光・ガイド・情報関連誌、Facebook（当館FB及び財団FB）も幅広く活用し、館情報の発信に努めた。

（１）年間行事案内

前年度の１月に展覧会の会期や内容を掲載した「平成30年度 沖縄県立博物館・美術館 展覧会のご案内」（リーフレット、15,000部）を作成。県内外の文化・観光施設やホテル、レンタカー会社、那覇空港案内所、旅行会社などへ配布・設置の依頼をし、配布に努めた。さらにパンフレット配布業者へ委託し全島の観光施設、ホテルなどにも設置した。

（２）チラシ・ポスター

県内の学校や図書館、文化施設、教育機関、銀行、病院などには展覧会ごとにチラシやポスターを配布し、展覧会の告知を行った。また県内の観光施設やレンタカー会社、那覇市内外の主要ホテル、県内書店、観光案内所、モノレール駅、那覇空港などにもチラシやポスターの設置協力を求めた。また展覧会によってはコープ配達会員へのチラシ折込みを活用し、誘客に努めた。さらに沖縄美ら島財団独自のネットワーク約1,300か所にも毎月チラシやポスターを郵送し全島にPRした。

（3）広報誌

季刊広報誌として「おきみゅー通信」【８Ｐ・カラー】を発行し、展覧会やイベント情報、他様々な取組みなどをわかりやすく掲載し当館の活動をPRした。県内の図書館や文化施設、銀行、病院などに送付し県内全域に行き渡るようにした。またホームページ上でも専用ページを設け、最新号～バックナンバーまでも閲覧できるようにした。

（4）懸垂幕

館外正面入口側に横２ｍ×縦６ｍの懸垂幕を設置し、博物館企画展や美術館企画展の告知を行った。

（5）館内外ターポリン

館内は博物館企画展示室入口付近に横３ｍ×縦3.8mのターポリンを、美術館企画展示室入口付近に横3.6m×縦3.4mのターポリンを掲出した。館外には多目的広場付近に博物館企画展、美術館企画展２ヶ所に横2.85m×縦3.4mのターポリンを掲出した。

（6）沖縄美ら海水族館・首里城公園との連携（トートトリップキャンペーン）

沖縄美ら島財団が管理運営する二大観光施設である「沖縄美ら海水族館（年間372万人）」「首里城公園（年間281万人）」と連携し誘客促進に努めた。両施設のどちらかの半券提示でミュージアムショップゆいむいでガチャを回してノベルティグッズが当たるキャンペーンを実施。両施設からの誘客促進を図り年間4,932人（昨年度5,166人）の来館者増に繋がった。「沖縄美ら海水族館」では告知用のA6サイズフライヤーを設置。「首里城公園」では「首里杜館県内文化施設情報コーナー」を設置し全館告知や展覧会告知を実施し、レストランには「トートトリップキャンペーン」のポップを設置した。

トートトリップ参加者

首里城公園特設情報コーナー

（7）モノレール駅内広告

沖縄都市モノレール（ゆいレール）では有料スペース県庁前駅ドアステッカー広告で全館、展覧会情報を告知した。またプラットホームの階段壁面広告（２か所）と改札前床面広告を掲出し、おもろまち駅で下車する人々に告知を行った（～８月まで）。その他、おもろまち駅改札外付近に当館までの誘導サインの立て看板として港川人の立て看板とチラシラックを設置し、当館の情報を発信した。

プラットホーム

改札出口正面

（8）新聞紙面（無料）・新聞広告（有料） 掲載928回

無料告知では展覧会や開会式、関連催事やワークショップの取材依頼や、沖縄タイムス「インフォ」副読誌「ほーむぷらざ」、琉球新報「情報市場」副読誌「週間レキオ」に毎週の情報掲載を依頼した。「ティラノサウルス展」では琉球新報社と共催した為、新聞記事や広告などを中心に広報展開ができた。

（9）テレビ（無料）・テレビCM（有料） 放送197回

無料告知では展覧会や開会式、関連催事やワークショップの様子などを取材依頼しニュースなどで報道してもらえるように努めた。今年度の実績ではNHK沖縄放送局「おきなわHOTeye」「ニュース シブ５時」「きんくる～沖縄金曜クルーズ～」、沖縄テレビ「OTVプライムニュース」「ひーぷー☆ホップ」「ウィンウィン」、

琉球放送「RBCザ・ニュース」「金曜日のゆうわく」、琉球朝日放送「旬感！Qアプリ」「ニュースQプラス」、OCN「OCNインフォメーション」などがあり、またパブリシティでの無料告知枠で視聴者向けにプレゼント企画を実施し誘客を図った。「ゲゲゲの人生展」では共催相手の沖縄テレビでテレビCMやニュース番組内での紹介、ニュース番組内ボード告知、新シリーズアニメ「ゲゲゲの鬼太郎」の放映計９回（７月：７回、８月：２回）などを中心に広報展開ができた。有料でテレビCMを放映した展覧会は「ゲゲゲの人生展」「ティラノサウルス展」「モンパチ展」「縄文と沖縄展」。

（10）ラジオ（無料）・ラジオCM（有料） 放送372回

無料告知では展覧会や開会式、関連催事、ワークショップの様子などの取材依頼をFAXで流しニュースで報道してもらえるように努めた。パブリシティやラジオカーの無料告知枠を活用し、その他コミュニティFMなども展覧会告知のため担当学芸員が出演する取り組みも実施した。全館告知CMでは沖縄美ら島財団のスケールメリットを活かし「首里城と博物館・美術館のコラボCM」を毎日放映した。有料でラジオCMを放映した展覧会は「ティラノサウルス展」「モンパチ展」。

（11）雑誌、機関紙 掲載76回

雑誌社や出版社の取材には積極的に応じ、様々な媒体への露出を高めるよう努力した。県民へのPRを目的として県内イベント情報誌「おきなわ倶楽部」「オキナワグラフ」「be-o」「篦柄暦」「話くわっちー」「モモト」などに展覧会の告知を掲載。沖縄美ら島財団の広告枠を利用し県内在住外国人向けの「オキナワワンダラー」で展覧会情報などの告知を行った。無料告知枠「ちゅらナビ」「ココミル沖縄」「るるぶ沖縄ベスト18」「JAFP LUS」「るるぶこどもと行く沖縄18」「沖縄ロードマップ」「楽楽沖縄」などでは主に博物館常設展や美術館コレクション展を紹介した。また「新美術新聞」「美術手帖」「KADOKAWAプレミアムアートブック」では展覧会の紹介記事を掲載した。

（12）インターネット 掲載213回

様々なイベント情報サイトで広報展開した。今年度の実績では、館全体のPRを目的として「YahooJAPAN 地域情報」「じゃらんnet」「観光ガイド」「JTBるるぶインターネットサイト」など、個別の展覧会の告知を目的として「YahooJAPAN 地域情報」「じゃらんnet」「JTBるるぶインターネットサイト」「ミュージアムカフェ」「CALEND-OKINAWA」「篦柄暦」「Art scape」「Internet Museum」「Art Show.jp」「Artgene」などへ掲載し告知を図った。

その他、動画共有サイト「YouTube」に企画展テレビCMをアップロードし、通常であればテレビでしか見ることが出来ないテレビCMが、YouTubeにアップロードすることでいつでも見ることができるようになった。また「ティラノサウルス展」「儀間比呂志の世界」「宮城健盛展」「縄文と沖縄展」ではオリジナル動画を制作し館内入口付近のモニターでの動画放映やFacebookやInstagram、YouTubeにアップし告知を行った。

（13）地域との連携

おもろまち周辺施設で連携し、OMOROMACHI SHOPPING MAP（外国人向け誘客リーフレット）を制作。モノレール全駅やMAP掲載商業施設で配布し、当館の認知度を高め、海外観光客への来館を促した。

（14）誘客パンフレット

県外観光客向けに当館の魅力を発信する為に博物館や美術館、ふれあい体験室などの見どころを解説する誘客パンフレットを２万部追加で印刷した。また外国人誘客パンフレットについては【英・繁】を各５万部追加で印刷し海外観光客にアピールした。各言語の誘客パンフレットは県内のホテル145ヶ所、レンタカー営業所35か所に設置しており、今後も常に設置している状態を保っていく予定。

日本語版誘客パンフレット

海外用誘客パンフレット【英・繁・簡・韓】

（15）プレイガイド

前売券の販売及びチラシ・ポスターの設置場所としてプレイガイド（ミュージアムショップゆいむい、リウボウサービスカウンター、コープあぷれ（もしくはコープおきなわ）、ファミリーマート各店（イープラス）、ローソン各店、ジュンク堂書店那覇店など）で販売を行った。前売券販売をしている企画展の情報をコープあぷれ発行の「Aple」に無料で掲載し、前売券の販売促進を行った。「新海誠展」ではTSUTAYA全店（離島除く）やローソン沖縄全店舗での告知と併せて前売券を販売した。

また観光客向けには沖縄ツーリストラウンジ・レンタカー営業所で博物館常設展、美術館コレクション展の前売券の販売を行った。

（16）SNS

当館公式Facebookの「いいね！」（ファン数）は今年度約7,200件、当館公式Instagramのフォロワーは約2,400件となった。「新海誠展」ではSNSでの情報拡散や満足度の向上を狙った缶バッチや図録が当たるキャンペーンでは合計235件の応募があった。また本展の内容でSNSに投稿した件数は公開されているだけで500件（Facebook35件、Twitter271件、Instagram194件）となっておりSNSを利用する人々の関心の高さが伺えた。有料でのSNSプロモーションを行った展覧会は「ゲゲゲの人生展」「ティラノサウルス展」「モンパチ展」「縄文と沖縄展」「新海誠展」。

（17）おきみゅースタンプラリー

屋外展示作品をめぐるスタンプラリーを実施し、展示作品（「旧大聖禅寺鐘」「民家」「高倉」「シーサー」「湧田窯」「CONCRETE AND STEEL」「太陽と月のロマンス」）のPR及びお客様満足度の向上を図った。今年度は7,440人が参加した。

（18）県外でPR活動

東京ビッグサイトで開催された「2018ツーリズムEXPOジャパン」（９月20日～23日、４日間の来場者数191,577人）において、沖縄エリアの沖縄美ら島財団のブースにて、当館の誘客リーフレットを配布し県外の方へPRを行った。

（19）１DAY PASSPORT

開催中の全ての展覧会が観覧できるお得な一日利用券として「1DAY PASSPOOT」を販売（販売数15,501人）。特に観光客に好評で、博物館と美術館および展覧会間の相互送客促進に成功した。入場料収益は前年度比で博物館常設展136％、美術館コレクション展142％増に繋がった。

（20）表通り街路樹への展覧会ポスター掲出

那覇市に申請し、館正面表通り街路樹（10本）へB２サイズ立て看板20基を設置。展覧会告知ポスターを掲出し、通りを歩く通行人にPRした。今後も博物館常設展や美術館コレクション展、企画展のPRを随時続ける予定。

（福治　広規）

Ⅶ　調査・研究・講演・著作論文等の活動

１　調査・研究等

國吉　貴奈（学芸業務担当主任／学芸員）

○調査・研究等

- 「新海誠展」展示調査（北九州市漫画ミュージアム・福岡県／2018年８月12日）
- 「ホキ美術館展」展示調査（ホキ美術館・千葉県／2018年11月26日）
- 「東京富士美術館コレクション展」全体会議（光村印刷・東京都／2019年１月30日）

比嘉　麻乃（教育普及業務／学芸員）

○調査・研究等

- 「ミュージアムキッズ！全国フェア」調査：（京都市勧業館みやこめっせ・京都府／2018年９月１日～２日）

大濵　萌子（教育普及担当主任／学芸員）

○調査・研究等

- 「第19回こどものためのジオ・カーニバル」調査（大阪市立自然史博物館・大阪府／2018年11月３日～４

日）

植田　瑞生（教育普及担当／学芸員）

○調査・研究等

・「足利市立美術館が実施している鑑賞教育事業」調査（足利市立富田小学校・栃木県／2018年11月６日）

Ⅷ　その他

１　職員研修（研修会）

金城　美奈子（企画班長／学芸員）

・名　　称：「平成30年度ミュージアム・マネジメント研修」（文化庁主催）
　場　　所：東京国立博物館 附属黒田記念館セミナー室（東京都）
　期　　間：2018年12月19日～21日

國吉　貴奈（学芸業務担当主任／学芸員）

・名　　称：「第40回文化財の虫菌害・保存対策研修会−予防−」
　場　　所：国立オリンピック記念青少年総合センター　カルチャー棟小ホール（東京都）
　期　　間：2018年７月５日～６日
・名　　称：「文化財IPM実践のための研修」
　場　　所：新宿歴史博物館（東京都）
　期　　間：2018年11月８日～９日

植田　瑞生（教育普及担当／学芸員）

・名　　称：「平成30年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修」
　場　　所：国立西洋美術館、国立新美術館（東京都）
　期　　間：2018年８月６日～７日

保久村　智恵（教育普及担当／学芸員）

・名　　称：「第１回全日本博物館学会・博物館教育研究会」
　場　　所：三重県総合博物館（三重県）
　期　　日：2018年12月１日

全館共同事業

Ⅰ 学芸員実習
Ⅱ 国際博物館の日
Ⅲ 移動展
Ⅳ 燻蒸・消毒処理
Ⅴ 刊行物
Ⅵ 展覧会一覧

Ⅰ 学芸員実習

1 博物館実習

当館では、1969年（昭和44）に最初の実習生を受け入れてから、2006～2007年度の新館準備のための休止年度を除き毎年学芸員実習を実施してきた。2000年度までは、実習生の在籍する大学毎に個別に実習期間を設置して対応してきたが、2001年度以降は年２回（６月、８月）に実施している。

2018年度の学芸員実習は前期（６月12日～25日）、後期（８月14日～27日）とも内容は下記のとおり実施した。実習生のミニ企画展のテーマは、前期は「自然は大きな薬箱～『有能』植物　Do you know？～」、「会いに行ってほしい系神様！－土帝君42!!―」、後期は「ジャ ジャ ジャの民俗展」、「この木、なんの木!?黒檀の不思議発見！」、「ナチュラルパレット～色とりどりの動物たち～」であった。

（1）実習内容と指導職員

講義・実習	指導者
博物館施設・事業概要	園原
IPMへの取り組み	大湾、宇佐美
物館展示の実際	與那嶺
課題研究 実習生は前期では「自然史」、「考古・民俗」の２班、後期は「民俗」、「美工・自然史」、「自然史」の３班に分かれ、ロビーで３日間のミニ企画展を実施した。その過程には次の作業が含まれる。 （・展示企画立案 ・資料調査・選定・借受交渉 ・展示環境調査（美工・歴史班） ・パネル・キャプション作成 ・資料移動・開梱・梱包、開梱・梱包に伴う検品 ・資料配置・撤収）	「自然史班」 菊川、宇佐美 山崎、澤浦 「美工・歴史班」 與那嶺、篠原 外間、久部良 「民俗・考古班」 大湾、山本 勝連
教育普及実習	大川、玉城

（2）実習生

前期			後期		
1	永山　遥	琉球大学	1	楠田　大介	琉球大学
2	上原　望生		2	喜久永　りとこ	
3	伊藤　典子		3	玖久津　歩	
4	影山　友則		4	鈴木　理仁	
5	寺井　駿志		5	吉田　拓海	
6	米谷　公佳		6	新垣　佑弥	沖縄県立芸術大学
7	仲原　沙希		7	石井　紘斗	
8	大城　沙織	筑波大学	8	崎村　歩未	
			9	新垣　美文	沖縄国際大学
			10	島田　泰盛	
			11	津波古琴乃	

（園原　謙）

2 美術館実習

美術館では、県内大学や県出身者で県外の大学で学芸員資格所得を目指す実習生を対象に、2018年度は８月６日（月）～８月17日（金）の10日間、学芸員実習を下記の通り実施した。

（1）実習内容と指導職員

	月日	実習内容（午前）	担　当	実習内容（午後）	担　当
1日目	8／6	開講式、オリエンテーション	全職員・梶原	美術館業務の考え方･博物館施設説明	池原・大川
2日目	8／7	美術館活動の概要及び施設・設備 教育普及事業、企画展示の実際Ⅰ	富原 豊見山	IPM講習 資料分類／情報処理	梶原・渡邊 謝花
3日目	8／8	共通課題研究、常設展示の実際Ⅰ 常設展示の実際Ⅱ	富原・豊見山 玉那覇	資料の概要・修復実習、 保存修復の実際	亀海 梶原
4日目	8／9	共通課題研究Ⅰ、展示企画 調査研究の概要･作品調査の方法	富原・亀海 玉那覇	資料の修復実習 資料調査実習	梶原・渡邊 謝花
5日目	8／10	共通課題研究Ⅰ 平面資料の取扱い（写真・版画）	富原 亀海	平面資料の取扱い（油彩画・水彩画） 共通課題研究Ⅱ	富原 豊見山
6日目	8／13	鑑賞プログラムⅠ（対話型鑑賞実践） 共通課題研究Ⅰ	富原	立体資料の取り扱い（彫刻） 共通課題研究Ⅱ	玉那覇 富原
7日目	8／14	共通課題研究Ⅰ 観覧者調査（交流員体験・聞き取り）	富原 富原･渡邊	資料調査実習 共通課題研究Ⅱ	謝花 富原
8日目	8／15	共通課題研究Ⅰ 鑑賞プログラムⅡ（外部講師）	富原 富原･渡邊	共通課題研究Ⅱ	富原
9日目	8／16	共通課題研究Ⅰ	富原	共通課題研究Ⅱ	富原
10日目	8／17	共通課題研究まとめ 共通課題研究発表Ⅰ	富原 全職員	共通課題研究発表Ⅱ･実習まとめ 閉講式準備　・閉講式	富原 全職員

（2）実習生

No.	氏　名	学年	大　学　名
1	廣川　迪咲	3年次	沖縄県立芸術大学美術工芸学部絵画専攻
2	山本　恭平	4年次	沖縄県立芸術大学美術工芸学部彫刻専攻
3	砂川侑莉子	4年次	沖縄県立芸術大学美術工芸学部デザイン専攻
4	高田　琳子	3年次	沖縄県立芸術大学美術工芸学部芸術学専攻
5	桃原　真紀	3年次	沖縄県立芸術大学美術工芸学部芸術学専攻
6	末藤　　悠	3年次	沖縄県立芸術大学美術工芸学部工芸専攻織分野

Ⅱ　国際博物館の日

名　称：2018年５月18日「国際博物館の日」
会　期：2018年（平成30）５月12日（土）～５月22日（火）　（10日間）
会　場：パネル展ーエントランスホール

【開催趣旨】
毎年５月18日は、全世界で博物館活動の普及と向上を目的に、国際博物館会議（通称ICOM：アイコム）によって「国際博物館の日」と定められている。日本博物館協会の会員である当博物館・美術館もこれに伴い、より多くの人々に博物館活動を広く報せ、博物館・美術館に対してより興味・関心、親近感を抱かせるとともに、博物館・美術館や社会教育の意義をさらに普及・啓発するために行う。

【実施内容】
博物館・美術館の活動を広く一般県民に伝えるためにエントランスホールにてパネル展示を実施した。無料入館日の設定や、バックヤードツアー、ワークショップ等を実施した。

○パネル展：2018年５月12日（土）～５月22日（火）
パネル展の目的、ICOM・「国際博物館の日」の説明、今年度の行事や講座などの紹介、沖博協加盟館の紹介、「沖縄の博物館ガイド」の紹介、展示会の様子、学芸員の仕事、ボランティア・友の会・happ等の活動の様子、指定管理者の仕事、過去に実施した展覧会のチラシ展示

○無料入館日：2018年５月19日（土）（企画展は除く）

○博物館：学芸員講座「沖縄・高校野球　ネバーエンディングストーリー　本気の夏100回目」
　担　当：外間一先　　2018年５月12日（土）14:00～16:00

○ワークショップ：ふれたい博士の「てづくりおもちゃ」
　日　程：2018年５月19日（土）
　時　間：１回目10:00　２回目10:30　３回目11:00　４回目12:00
　　各回30分（同一内容）
　受　付：９:00～　ふれあい体験室にて
　定　員：当日先着40名（各回とも10名まで）
　参加料：100円

（外間　一先）

Ⅲ　移動展

　名　　称：2018年度　沖縄県立博物館・美術館　「第11回　移動展 in 伊平屋島」
　会　　期：2019年（平成31）１月18日（金）～20日（日）　９:00～17:00
　開 催 地：伊平屋村産業連携拠点センター
　観 覧 料：無料

【開催形式】
　主　　催：沖縄県立博物館・美術館、（一財）沖縄美ら島財団、伊平屋村、伊平屋村教育委員会
　協　　力：沖縄県立博物館友の会、県立美術館支援会happ

【開催趣旨】
　沖縄県立博物館・美術館では、県民が本県の自然・歴史・文化や芸術を正しく認識できるよう、これまで収集・寄贈された資料を常設展示やコレクション展示で公開してきた。しかしながら島嶼県である本県では、当館の利用に不便を感じている離島や遠隔地に住む方々が多く、県民が等しく当館を利用することが難しい現状にある。移動展は、離島や遠隔地の方々に収蔵資料の展示をみていただくことによって、沖縄の自然・歴史・文化や、芸術への理解を深めていただくことを目的として1974年から開催してきた。

【展示内容・参加人数・関連催事】　　○会場への来場448名　　○関連催事への参加人数延べ153名

	期　　日	内　　訳
展示内容	博物館展示	■「世界の化石と輝く石」・・・・・・・・恐竜の骨格標本、岩石の展示 ■沖縄の地学・生物・歴史・民俗・考古・美術工芸に関する総合展示 ■伊平屋島総合調査に係る報告概要展示 ■琉球王国文化集積・再興事業成果資料パネル展示 ■デジタルミュージアム事業成果資料展示
	美術館展示	□「展覧会展示パネル」・・・・・・・・・・これまでの展覧会概要パネルの展示 □「沖縄の映画」・・・・・・・・・・・・・・・県出身映画監督作品を上映
来場人数	1月18日（金）	■来場139名（70歳以上０名、一般97名、高大０名、小中０名、未就学児42名）
	1月19日（土）	■来場128名（70歳以上４名、一般49名、高大０名、小中50名、未就学児25名）
	1月20日（日）	■来場181名（70歳以上12名、一般90名、高大０名、小中52名、未就学児27名）

	期　　日	内　　訳
関連催事	1月18日(金)	■館長による講座「近世の伊平屋のはなし」　参加者数：41名 19：00～20：30　伊平屋村歴史民俗資料館　講師：田名　真之（沖縄県立博物館・美術館 館長）
	1月19日(土)	■関連催事①（博物館）『フィールドツアー in 伊平屋島』 参加者数：20名（参加20名）　8:45集合９:00～14:30　集合場所：移動展会場 ○ヤヘー岩周辺　→　○ヤヘーグスク　→　腰岳周辺　→ ○野甫海岸　→　解散 ○ジオツアー（地学担当：宇佐美賢）○遺跡ツアー（考古担当：山本正昭） 準備：送迎用バス、救護車両１台～、各車両ドライバー、そのほか必要品 ※博物館・美術館関係者からは、10名ほどの参加を見込。（雨天決行） 参加費：50円（保険ほか）
		■関連催事②（博物館）『野甫島採石場遺跡ナイトツアー』 『野甫小中学校運動場星空観察会』 参加：30名（参加27名）　19:00～21:30 ○野甫島採石場遺跡ナイトツアー（地学担当：宇佐美　賢）19:00～19:40 ○野甫小中学校運動場星空観察会（考古担当：山本正昭）20:00～21:30 集合場所：野甫島小中学校近く石切り場跡 準備：救護車両１台～、各車両ドライバー 参加費：50円（保険ほか）
	1月20日(日)	■関連催事③「かんたん化石のレプリカ作り」 時間・回数：各30分、計4回　10:00、11:00、14:00、15:00開始 場所：移動展会場内 参加：5歳から大人まで、先着60名：各回15名（参加65名） 内容：ワークショップ　　「ふれたい博士のかんたん化石のレプリカ作り」 講師：比嘉　麻乃 参加費：各回150円

■博物館　□美術館　☆沖縄美ら島財団（指定管理者）

【展示品リスト　―博物館―】

〔地　学〕

No.	名　　称	数	種　別	No.	名　　称	数	種　別
1	琉球列島の海底地形図（第11管区海上保安本部制作図に加筆）	2	床面用 壁面用	17	魚化石	1	資　料
				18	水晶	1	資　料
2	アンモナイト（小）	1	資　料	19	カルサイト	1	資　料
3	ハロビア　本部町産	1	資　料	20	レインボーストーン小	1	資　料
4	琉球石灰岩	2	資　料	21	黒曜石	1	資　料
5	伊平屋の岩石	2	資　料	22	赤鉄鉱	1	資　料
6	チムニーと化学合成生態系生物群集	1	委託製作模型	23	黄鉄鉱	1	資　料
7	サウロロフス	1	模　型	24	黄銅鉱	1	資　料
8	サウロロフスの皮膚化石	1	資　料	25	ガーネット		資　料
9	アンモナイト大	2	資　料	26	ザクロ石片麻岩（南極）		資　料
10	マンモスの歯	1	資　料	27	蛍光鉱物一式		資　料
11	マンモスの毛	1	資　料	28	隕石	1	資　料
12	アンモナイト	1	資　料	29	地質図	1	パネル
13	ハロビア	1	資　料	30	蛍光鉱物説明用パネル	1	パネル
14	珪化木	1	資　料	31	地質年表	1	パネル
15	貝化石	1	資　料	32	古地理図	1	パネル
16	植物化石	1	資　料				

〔生　物〕

No.	名　　称	数	種　別	No.	名　　称	数	種　別
1	ナミガエル	1	レプリカ	20	アオサギ	1	剥　製
2	ホルストガエル	1	レプリカ	21	クロツラヘラサギ	1	レプリカ
3	イシカワガエル	1	レプリカ	22	オオコノハズク	1	剥　製
4	ハナサキガエル	1	レプリカ	23	ハシビロガモ	1	剥　製
5	イボイモリ	1	レプリカ	24	ヤマシギ	1	剥　製
6	ヤエヤマセマルハコガメ	1	剥　製	25	ハシブトガラス	1	剥　製
7	リュウキュウヤマガメ	1	剥　製	26	ハチクマ	1	剥　製
8	アカマタ	1	剥　製	27	カワウ	1	剥　製
9	ハブ	1	剥　製	28	ササゴイ	1	剥　製
10	ヨナグニシュウダ	1	剥　製	29	コハクチョウ		剥　製
11	リュウキュウアカショウビン	1	剥　製	30	イリオモテヤマネコ		剥　製
12	ミサゴ	1	剥　製	31	オリイオオコウモリ		剥　製
13	ホウロクシギ	1	剥　製	32	カグラコウモリ		剥　製
14	コゲラ	1	剥　製	33	ケナガネズミ		剥　製
15	ヤンバルクイナ	1	剥　製	34	オキナワトゲネズミ		剥　製
16	アマツバメ	1	剥　製	35	オキナワトゲネズミ		骨格標本
17	ツクシガモ	1	剥　製	36	昆虫類標本	2	標本箱
18	カワセミ	1	剥　製	37	昆虫類標本	6	標本箱
19	アオツラカツオドリ	1	剥　製				

〔人　類〕

No.	名　　称	数	種　別	No.	名　　称	数	種　別
1	港川人復元模型	1	模型･背景ﾊﾟﾈﾙ	6	沖縄県内の出土人骨	1	パネル
2	港川人1号頭骨複製	1	複　製	7	大山盛保氏と港川人の発券	1	パネル
3	山頂洞101号人頭骨	1	複　製	8	琉球列島更新世の動物	1	パネル
4	クロマニヨン人頭骨	1	複　製	9	リュウキュウジカ（オス）	1	レプリカ
5	ホモサピエンスの拡散	1	パネル	10	リュウキュウムカシキョン（メス）	1	レプリカ

〔民　俗〕

No.	名　　称	数	種　別	No.	名　　称	数	種　別
1	ニシチー	1	資　料	9	お手玉（複数）		資　料
2	八角凧（八重山凧）	1	資　料	10	駒	1	資　料
3	風弾	1	資　料	11	駒	1	資　料
4	マッタクー	1	資　料	12	手まり	3	資　料
5	チンチンウマグワー（張り子）	1	資　料	13	我喜屋のウンジャミのエーク	3	資　料
6	虎グワー（張り子）	1	資　料	14	『いのりの海』DVD	1	資　料
7	ウッチリクブサー（張り子）	3	資　料	15	民話の動画コンテンツ	6	資　料
8	ビー玉（複数）						

〔歴　史〕

No.	名　　称	数	種　別	No.	名　　称	数	種　別
1	旧首里城正殿鐘（複製）・台	2	レプリカ	6	間切図（離れ）（複製）	1	レプリカ
2	琉球明細総図	1	レプリカ	7	田名家文書（複製）	1	レプリカ
3	おもろそうし（複製）	1	レプリカ	8	伊平屋大屋子辞令書	1	パネル
4	1974年伊平屋島８ミリビデオ映像DVD	1	資　料	9	琉球王国写真パネル	1	パネル
5	地図写真パネル	1	パネル				

〔美術工芸〕

No.	名　　称	数	種　別	No.	名　　称	数	種　別
1	黒漆双龍螺鈿盆	1	資　料	10	紅型の道具キット	1	キット
2	沖縄の漆器（ミニパネル）	1	パネル	11	芭蕉布	1	資　料
3	螺鈿づくり用キット	3	キット	12	芭蕉布について（ミニパネル）	1	パネル
4	金城次郎　線彫魚文抱瓶	1	資　料	13	芭蕉の糸づくりキット	1	キット
5	金城次郎　指描角瓶	1	資　料	14	苧麻の糸づくりキット	1	キット
6	金城次郎　線彫花文蓋物	1	資　料	15	玉陵石獅子（レプリカ）	2	レプリカ
7	やきものについて（パネル）	1	パネル	16	玉陵（パネル）	1	パネル
8	木綿白地飛鳥に琉水蛇籠葵菖蒲文様衣裳	1	レプリカ	17	沖縄の彫刻	1	パネル
9	紅型について（ミニパネル）	1	パネル				

〔考　古〕

No.	名　　称	数	種　別	No.	名　　称	数	種　別
1	荻堂式土器	1	資　料	22	類須恵器の壺	1	資　料
2	大当原式土器	1	資　料	23	炭化米	1	資　料
3	下田原式土器	1	レプリカ	24	青磁碗	1	資　料
4	骨製鏃	1	資　料	25	青磁皿	1	資　料
5	骨製針	1	資　料	26	白磁小皿	2	資　料
6	蝶形骨器	1	資　料	27	染付碗	1	資　料
7	〃	1	レプリカ	28	染付皿	1	資　料
8	〃	1	レプリカ	29	線刻石板	1	資　料
9	ゴホウラ製貝輪（金隈型）	1	レプリカ	30	沖縄考古学年表	1	パネル
10	ゴホウラ製貝輪（立岩型）	1	レプリカ	31	先史時代の生活	1	パネル
11	ゴホウラ製貝輪（大友型）	1	レプリカ	32	遺跡から出土する生物の生息域	1	パネル
12	イモガイ製貝輪（縦型）	1	レプリカ	33	貝が運ばれた道	1	パネル
13	イモガイ製貝輪（横型）	1	レプリカ	34	貝輪の製作工程	1	パネル
14	貝斧	1	資　料	35	イモガイ・ゴホウラ製品の主な出土地	1	パネル
15	貝斧着柄	1	資　料	36	グスクとその時代	1	パネル
16	貝符	3	資　料	37	線刻石板の謎	1	パネル
17	ゴホウラ	1	資　料	38	久里原貝塚出土遺物	2	資　料
18	イモガイ	1	資　料	39	久里原貝塚概説	1	パネル
19	ヤコウガイ	1	資　料	40	御物グスク表採陶磁器	15	資　料
20	貝匙	1	レプリカ	41	銭差	3	資　料
21	石斧	1	資　料	42	御物グスクとは	1	パネル

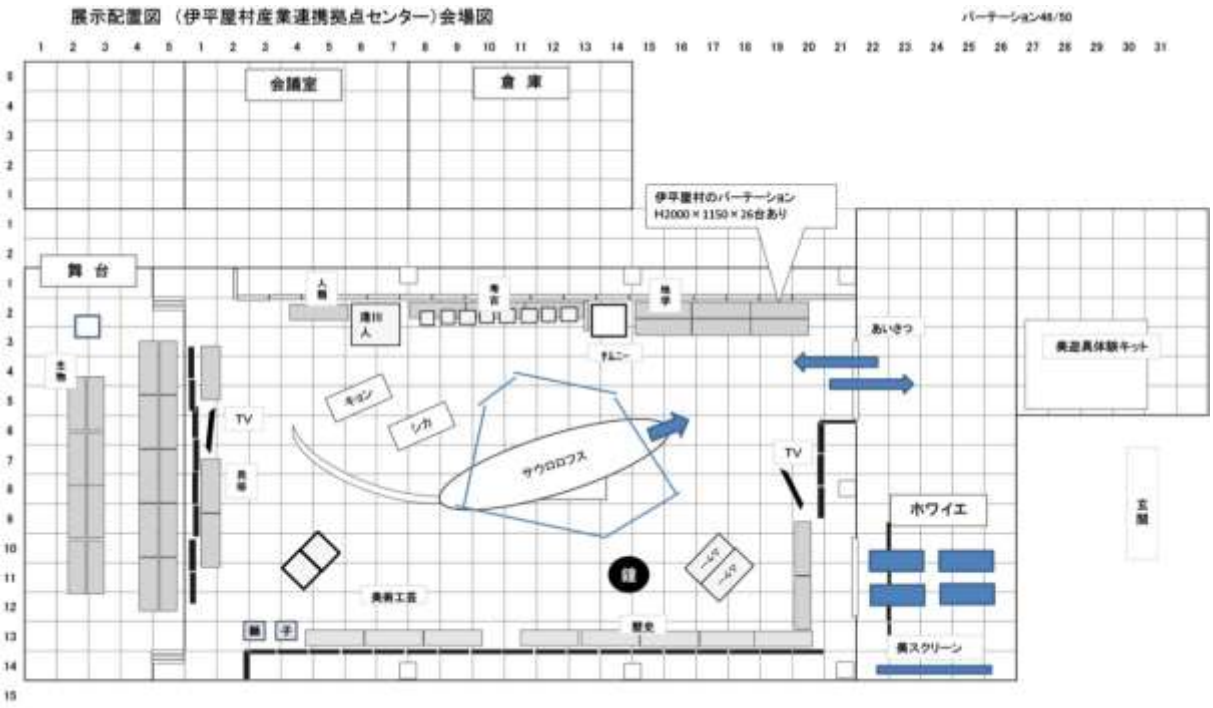
〔教育普及〕

No.	名　　称	数	種　　別
1	むかしむん	1	ハンズオンkit
2	ちむどんどん	1	ハンズオンkit
3	骨スーツ（１セット）	1	ハンズオンkit

【展示品リスト　－美術館－】

No.	名　　称	作家名	規格	製作年	種別
1	沖縄アート遊具				
2	執念の毒蛇	吉野二郎	70分		映像資料
3	吉屋チルー物語	金城哲夫	98分		映像資料

【博物館展示配置・沖縄美ら島財団ワークショップ配置図】



（大川　剛・富原　圭子）

Ⅳ　燻蒸・消毒処理

2018年度は、開館当初から実施している総合的防害虫管理（IPM）の運用を継続して行い、活動として、年２回の全館を休館しての燻蒸・消毒処理、簡易燻蒸・消毒処理、IPMモニタリング等を行い、毎月１回のIPM全体会議にて連絡・報告などを行った。その目的は、収蔵資料の保存管理のため、定期的な消毒作業を行うともに、博物館においては常設展示室月１回の全職員による清掃活動を実施し、資料の適正な保存環境の整備に努めている。

（１）燻蒸・消毒処理（年２回実施）

○第１回全館燻蒸・消毒作業

期　　間：2018年（平成30）６月28日（木）～７月６日(金）９日間
使用薬剤：シフェノトリン（商品名：ブンガノン）
処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

○第２回　収蔵庫関係の燻蒸・消毒作業

期　　間：2019年（平成31）２月20日（火）～２月22日（木）３日間
消毒箇所：収蔵庫・バックヤード（美）・実習準備室
使用薬剤：シフェノトリン（商品名：ブンガノン）
処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

（２）簡易燻蒸・消毒処理

博物館と美術館のトラックヤードに自動噴霧装置設置（博物館３か所、美術館２か所、県民ギャラリー１か所）を設置、毎日深夜に散布（スミスリン乳剤）し、外部と接触するエリアの水際の害虫駆除に実施した。

また、新たな収蔵資料等を簡易に燻蒸・消毒する装置（商品名「ふくろうくん」（二酸化炭素）を活用して適宜、簡易燻蒸を実施した。

（宮里　宗彦）

Ⅴ　刊行物

（全　体）

	刊　行　物　名	種 類	部 数	規格（頁）	内　容
1	沖縄県立博物館・美術館　年報 （平成29年度実績報告）No.11	定 期	400	A４（220）	前年度の博物館・美術館活動報告
2	平成30年度　沖縄県立博物館・美術館展覧会のご案内	〃			博物館・美術館行事案内
3	沖縄県立博物館・美術館開館10周年記念誌　10年のあゆみ	不定期	1,500	A４（262）	開館10周年記念刊行物（10年間の事業活動概要）

（博物館班）

	刊　行　物　名	種 類	部 数	規格（頁）	内　容
1	企画展「新収蔵品展 －平成29年度収蔵資料－」	不定期	500	A４（26）	企画展　図録
2	〃　　ポスター	〃	5	A２	展示会告知ポスター（手作り）
3	〃　　チラシ	〃	10,000	A４	展示会告知チラシ
4	特別展『縄文と沖縄展』図録	不定期	500	B５（103）	特別展　図録
5	〃　　ポスター	〃	1,200	A２	展示会告知ポスター
6	〃　　チラシ	不定期	118,000	A４	展示会告知チラシ
7	企画展『沖縄が誇る家宝の三線展』図録	不定期	1,000	A４（112）	特別展図録　外部資金活用
8	〃　　ポスター	〃	900	B２	展示会告知ポスター
9	〃　　チラシ	〃	50,000	A４	展示会告知チラシ
10	伊是名島・伊平屋島総合調査報告書	〃	500	A４（242）	総合調査報告書
11	沖縄県立博物館・美術館　博物館紀要 第12号	定期	500	A４（138）	博物館学芸員の調査研究報告書
12	平成30年度　博物館教育普及活動	〃	800	A４（63）	博物館教育普及活動報告

（美術館班）

	刊　行　物　名	種 類	部 数	規格（頁）	内　容
1	美術館企画展「涯テノ詩聲　詩人 吉増剛造展」チラシ	不定期	40,000	A４	展覧会告知チラシ
2	美術館企画展「涯テノ詩聲　詩人 吉増剛造展」ポスター	〃	1,000	B２	展覧会告知ポスター
3	美術館企画展「涯テノ詩聲　詩人 吉増剛造展」小冊子	〃	1,000	205×205㎜	展覧会小冊子
4	美術館コレクション展「儀間比呂志の世界」「沖縄美術の流れ」チラシ	〃	10,000	A４	展覧会告知チラシ
5	美術館コレクション展「儀間比呂志の世界」パンフレット	〃	500	A４	展覧会パンフレット
6	美術館企画展「宮城健盛展」チラシ	〃	50,000	A４	展覧会告知チラシ
7	美術館企画展「宮城健盛展」ポスター	〃	1,100	B２	展覧会告知ポスター
8	美術館企画展「宮城健盛展」図録	〃	800	A４判変形	展覧会図録
9	美術館コレクション展「伊志嶺隆と平敷兼七」「沖縄美術の流れ」チラシ	〃	10,000	A4	展覧会告知チラシ
10	美術館コレクション展「伊志嶺隆と平敷兼七」パンフレット	〃	300	A４判変形	展覧会パンフレット
11	平成29年度　美術館教育普及活動報告書	定期	700	A４	美術館教育普及活動報告書
12	沖縄県立博物館・美術館美術館紀要　第８号		500	A４	美術館学芸員による調査研究報告書

（指定管理者）

	刊　行　物　名	種　類	部　数	規格（頁）	内　容
1	懐かさん戦前の首里城～森政三コレクション古写真展～　ポスター	不定期	500	Ｂ２	企画展　告知ポスター
2	〃　チラシ	〃	10,000	Ａ４	〃告知チラシ
3	追悼水木しげる　ゲゲゲの人生展　ポスター	〃	1,500	Ｂ２	〃告知ポスター
4	〃　チラシ	〃	100,000	Ａ４	〃告知チラシ
5	ティラノサウルス展－進化の謎に迫る－　ポスター	〃	1,500	Ｂ２	〃告知ポスター
6	〃　チラシ	〃	100,000	Ａ４	〃告知チラシ
7	MONGOL800 ga EXHIBITION　モンパチ展 in Okinawa―20th Anniversary　ポスター	〃	800	Ｂ２	〃告知ポスター
8	〃　チラシ	〃	65,000	Ａ４	〃告知チラシ
9	新海誠展―『ほしのこえ』から『君の名は。』まで―　ポスター	〃	1,100	Ｂ２	〃告知ポスター
10	新海誠展先行ポスター	〃	200	Ｂ３	〃告知ポスター
11	新海誠展先行チラシ	〃	3,000	Ａ５	〃告知チラシ
12	〃　チラシ	〃	100,000	Ａ４	〃告知チラシ
13	おきみゅー通信　春号	季刊誌	6,000	Ａ４（８頁）	館広報誌
14	おきみゅー通信　夏号	〃	〃	〃	〃
15	おきみゅー通信　秋号	〃	〃	〃	〃
16	おきみゅー通信　冬号	〃	〃	〃	〃
17	2019年度年間展覧会スケジュール リーフレット		10,000		年間展覧会スケジュール
18	外国人向け誘客リーフレット（英語）	増刷	50,000	A4変形横長　観音開き巻三つ折り	誘客リーフレット
19	外国人向け誘客リーフレット（繁体字）	増刷	50,000	A4変形横長　観音開き巻三つ折り	誘客リーフレット
20	日本人向け誘客リーフレット	増刷	10,000	A3変形横長 観音開き巻三つ折り	誘客リーフレット
21	貸施設営業チラシ	不定期	5,000	Ａ４	施設PRチラシ
22	トートトリップキャンペーンＡ６フライヤー	不定期	20,000	Ａ６	誘客チラシ
23	おきみゅー誕生祭	不定期	10,000	Ａ４	イベントチラシ
24	おきみゅー旧正月	不定期	10,000	Ａ４	イベントチラシ
25	フロアMAP	不定期	10,000	Ａ３	施設PRチラシ
26	年パスギフトチラシ	不定期	45,000	Ａ４	営業チラシ
27	スタンプラリー台紙	不定期	20,000	Ａ５	スタンプラリー
28	OMOROMACHI SHOPPING MAP	不定期	50,000	A3変形横長 観音開き巻三つ折り	誘客リーフレット

Ⅵ　展覧会一覧（2018年度）

（博物館班）

	展　示　会　名	場　所	主　催	期　間
1	博物館常設展海と島に生きる －豊かさ、美しさ、平和を求めて	博物館常設展示室 （総合展示室）	県（博物館班）	4／1～3／31
2	博物館常設展部門展示 第１期　「旅立ち」	博物館 美術工芸部門展示室	〃	4／10～7／16
3	博物館常設展部門展示 第２期　「模様を愛でる　詩を楽しむ」	〃	〃	8／1～11／25
4	博物館常設展部門展示 第３期　「鶴は千年、亀は万年」	〃	〃	12／4～4／7
5	博物館常設展部門展示 熱闘高校野球　本気の夏100回目	博物館 歴史部門展示室	〃 沖縄県高等学校野球連盟	6／5～7／29
6	博物館常設展示 正月、清明、ユッカヌヒー、旧盆、十五夜、ムーチー、冬至（仏前供物替え）	博物館 民俗部門展示室	県（博物館班）	各時季
7	新収蔵品展－平成29年度収蔵資料－	博物館企画展示室・ 特別展示室１	〃	5／22～6／24
8	特別展　縄文と沖縄－火焔型土器のシンボリズムとヒスイの道－	博物館企画展示室・ 特別展示室１・２	〃	11／22～1／20
9	企画展　沖縄が誇る家宝の三線展	博物館企画展示室・ 特別展示室１	〃 琉球三線楽器保存・育成会	2／5～3／10
10	企画展　大嶺薫コレクション展	博物館特別展示室２	県（博物館班）	2／8～3／4
11	ロビー展 愛鳥週間ミニ特別企画 くちばし総選挙	エントランスホール	〃	5／8～5／27
12	ロビー展 国際博物館の日　パネル展 「博物館・美術館をもっと知ろう」	〃	県（博物館班・美術館班）、指定管理者	5／12～5／22
13	ロビー展 鳥のほねほねミニ展示 ぼくらは恐竜を食べていた!?	〃	県（博物館班）	7／31～9／2
14	ロビー展 10･30世界ウチナーンチュの日パネル展	〃	〃	10/16～10/28
15	ロビー展 灯台150周年記念展 沖縄県の灯台と海図の歩み	〃	〃 第11管区海上保安部	10/30～11/11
16	ロビー展 遺跡から見た宮古のくらし －宮古諸島の集落遺跡をさぐる－	展示室入り口	県（博物館班）	2／5～2／17

（美術館班）

	展　示　会　名	場　所	主　催	期　間
1	涯テノ詩聲　詩人 吉増剛造展	美術館企画ギャラリー１・２	県（美術館班）	4／27～6／24
2	儀間比呂志の世界	〃	〃	7／13～1／6
3	沖縄美術の流れ	美術館コレクションギャラリー３	〃	7／13～6／23
4	沖縄の美術シリーズ７　宮城健盛展	〃	〃	9／12～10/28

	展　示　会　名	場　所	主　催	期　間
5	伊志嶺隆と平敷兼七	〃	〃	1/12～6/23

（指定管理者）

	展　示　会　名	場　所	主　催	期　間
1	懐かさん戦前の首里城～森政三コレクション古写真展～	博物館企画展示室２	一般財団法人沖縄美ら島財団	5/22～6/24
2	追悼水木しげる　ゲゲゲの人生展	美術館企画ギャラリー１・２	一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄テレビ放送、朝日新聞社	7/11～9/2
3	ティラノサウルス展－進化の謎に迫る－	博物館企画展示室、特別展示室１・２	一般財団法人沖縄美ら島財団、琉球新報社	7/13～9/9
4	MONGOL800 ga EXHIBITION　モンパチ展 in Okinawa―20th Anniversary	博物館企画展示室、特別展示室１・２	一般財団法人沖縄美ら島財団、株式会社ハイウェーブ	10/6～11/5
5	新海誠展―『ほしのこえ』から『君の名は。』まで―	美術館企画ギャラリー１・２	一般財団法人沖縄美ら島財団	12/18～2/3

2018年度（平成30）展示会チラシ（一部）

2018年４月27日（金）～６月24日（日）開催　「涯テノ詩聲　詩人　吉増剛造展」（美術館班）

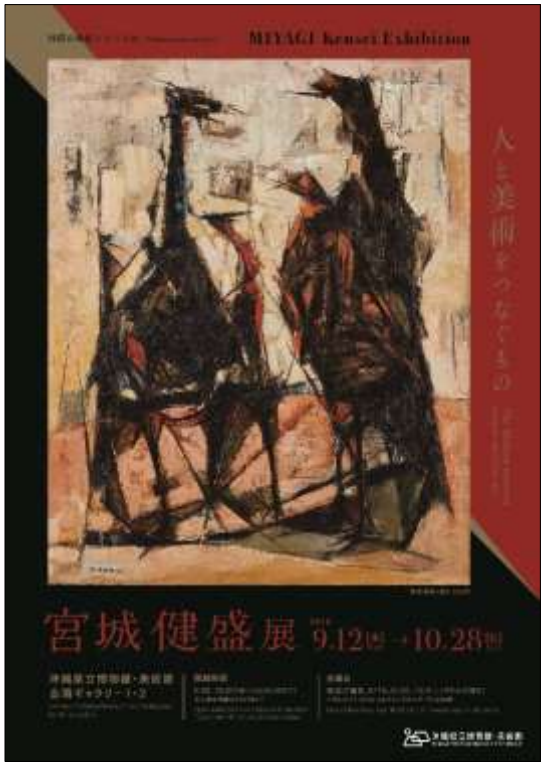
2018年５月22日（火）～６月24日（日）開催　「懐かさん戦前の首里城～森政三コレクション子写真展」
（指定管理者：（一財）沖縄美ら島財団）

2018年５月22日（火）～６月24日（日）開催　「新収蔵品展－平成29年度収蔵資料－」（博物館班）

2018年７月11日（水）～
９月２日（日）開催
「追悼水木しげる　ゲゲゲの人生展」
（（一財）沖縄美ら島財団）

2018年７月13日（金）～2019年１月６日（日）開催　「儀間比呂志の世界」　（美術館班）

2018年７月13日（金）～９月９日（日）開催　「ティラノサウルス展－進化の謎に迫る－」
（（一財）沖縄美ら島財団）



2018年９月12日（水）～10月28日（日）開催　「宮城健盛展」（美術館班）

2018年10月６日（土）～11月５日（月）開催
「MONGOL800 ga EXHIBITION モンパチ展 in Okinawa－20th Anniversary」（（一財）沖縄美ら島財団）

2018年12月18日（木）～2019年２月３日（日）開催

「新海誠展－『ほしのこえ』から『君の名は。』までー」
（（一財）沖縄美ら島財団）

2019年１月12日（土）～６月23日（日）開催　「伊志嶺隆と平敷兼七」（美術館班）

2019年２月８日（金）～３月４日（月）開催　「大嶺薫コレクション展　－吉祥－」（博物館班）

2019年２月５日（火）～３月10日（日）開催　「沖縄が誇る家宝の三線展」（博物館班）

その他の活動

Ⅰ　沖縄県博物館協会
Ⅱ　全国組織との関わり
Ⅲ　沖縄県立博物館友の会
Ⅳ　happ（美術館友の会）

Ⅰ 沖縄県博物館協会

沖縄県博物館協会（沖博協）は、1977年（昭和52）に、「沖縄の特色ある自然・歴史・文化を一般県民に広く認識していただき、もって地域文化の向上発展に寄与する」ことを目的に発足当初24団体23館から発足した。現在69団体64館が加盟する県内最大の博物館関連組織である。毎年春と秋の年2回、本島北部、中部、南部、宮古、八重山、奄美地区の６ブロックに分けて、輪番制に総会並びに研修会を開催し、学芸員や事務職員の資質向上を図っている。

当館からの参加者については「博物館　Ⅰ．調査研究等の活動　７．職員研修」の項を参照のこと。

【総会・春の研修会】

期　日：2018年５月10日（木）～11日（金）
総　会：博物館講座室
内　容：議案第１号　平成29年度事業実施報告について
　　議案第２号　平成29年度収支決算報告について
　　議案第３号　平成30年度事業計画案について
　　議案第４号　平成30年度予算案について
　　議案第５号　役員の改選について
　　そ　の　他　退会者と新規入会者について
　　事務局からの連絡事項

研修会１日目　会　　場：沖縄県立博物館・美術館　講堂
　　講 演 会：「戦争遺跡の保存と活用」池田栄史氏（琉球大学法文学部教授）
　　※九州博物館協議会と合同で開催

研修会２日目　会　　場：南風原文化センターおよび周辺
　　Ａコース：「南風原町の戦跡コース視察」南風原平和ガイドの会
　　飯上げの道～沖縄陸軍病院南風原壕群20号
　　Ｂコース：「織物コース」上原美智子氏（あけず羽織り）
　　琉球かすり会館～かすりの道

【秋の研修会】

期　日：2018年12月６日（木）～12月７日（金）

研修１日目　会　　場：恩納村博物館
　　講　　演：「これからの博物館-『対話と連携』の博物館づくり-」
　　園原謙氏（沖縄県立博物館・美術館　副参事兼博物館班班長）
　　報 告 Ⅰ：「北谷町立博物館建設について」
　　藤　彰矩氏（北谷町教育委員会　社会教育課　文化係　学芸員）
　　報 告 Ⅱ：「名護博物館のこれまでとこれから」
　　村田尚史氏（名護博物館　学芸員）
　　報 告 Ⅲ：「宜野湾市立博物館常設展示室リニューアル整備について」
　　平敷兼哉氏（宜野湾市立博物館　学芸係長）

研修２日目　会　　場：世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム
　　研　　修：施設概要説明及び施設見学

Ⅱ 全国の組織との関わり

１ 日本博物館協会

（１）日本博物館協議会参与会・支部長会
日　時：2018年７月11日（火）
場　所：日本博物館協会黒田記念館別館
参加者：田名　真之（館長）

（２）全国博物館館長会議
日　時：2018年７月12日（水）
場　所：文部科学省講堂
参加者：田名　真之

（３）全国博物館大会
日　時：2018年11月29日（日）～12月１日（水）
場　所：東京都文化センター
参加者：園原　謙

２ 九州博物館協議会

（１）九州博物館協議会理事会・総会・現地研修
日　時：2018年５月10日（水）～12日（金）
場　所：熊本県立美術館（熊本市）
参加者：田名　真之、園原　謙

（２）第47回九州博物館協議会秋季研修会
日　時：2018年10月19日（木）～20日（金）
場　所：宮崎県総合博物館（宮崎市）
参加者：田名　真之、篠原あかね

Ⅲ 沖縄県立博物館友の会

沖縄県立博物館友の会は、「博物館の事業に積極的に参加、協力し、さらに会員相互の教養を高め、親睦をはかる」ことを目的として1980年（昭和55）に発足した。

本年度の会員の内訳は、一般会員298名、家族会員47家族（95名）、賛助会員４か所。

博物館・美術館の諸事業に積極的に参加し、博物館ボランティア活動への支援、広く県民を対象とした文化講演会や会員を対象とした研修会を開催し、博物館常設展示室への展示交流員事業を実施した。

2018年度（平成30）の事業内容は以下のとおり。

	事業名及び事業内容	
1	【展示交流員研修】 『展示交流員研修・懇親会』 開催日：2018年６月25日（月） 研　修：首里城周辺散策 講　師：仲間　孝藏（友の会会長） 懇親会：首里杜館（すいむい） 参加者：49名	
2	【文化講演会】 『―再生する沖縄―』 開催日：2018年９月２日（日） 共　催：沖縄美ら島財団 講　師：金城　善氏（元糸満市立中央図書館長） 聴　講：121名	
3	【民俗探訪】 『かすりの街　南風原を歩く』 開催日：2018年10月11日（木） 内　容：かすり会館、かすりロード、大城廣四朗織物工房、丸正織機工房、大城織機製作所 参加者：15名	
4	【歴史探訪】 『首里の石碑めぐり～首里城とその周辺～』 開催日：2018年11月12日（月） 講　師：高里　盛国氏（友の会会員、交流員） 参加者：25名参加	
5	【県外研修】 『琉球を探しに薩摩（鹿児島）へ』鹿児島、宮崎（都城市） 開催日：2019年２月12日（火）～14日（木） 内　容：仙巌園、尚古集成館、琉球館跡、鹿児島市立美術館、鹿児島県歴史資料センター黎明館、都城島津伝承館 参加者：24名参加（添乗員１名）	

【会誌発行】

『博友』の発行（年１回）

【会員への情報提供】

①友の会通信「ちゃーびら」隔月発行・送付

②友の会事業の講演会・研修旅行・印刷物の案内及び文書発送

【サークル活動】
家譜サークル（毎月1回勉強会実施）
辺境＆市場サークル（海外研修の実施）

【博物館サポート】
①博物館常設展示室展示交流員の配置業務
②文化講演会および学芸員講座当日の資料整理と受付
③「ボランティア通信」発送、支援
④博物館・美術館移動展支援

Ⅳ happ（特定非営利活動法人 沖縄県立美術館支援会happ）

happは2005年（平成17）に沖縄県立美術館の活躍をサポートする組織として誕生した。同年９月に特定非営利活動法人の認証を受ける。happという名称は、happyやhappenの起源となるスカンジナビア語の「happ（幸福）」からきている。h=happiness（しあわせ）・happening（できごと）、a=art（アート）、p=people（人々）、p=place（場所）の意味を込めている。アートを身近に感じ、アートを創造するような活動を通じて、それぞれの「happ＝しあわせ」を見つけられる場所を作っていきたいと考え、主に美術館の教育普及活動をサポートしていく団体です。

１　主催事業

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	ボランティア活動部会事業	ゆんたくミュージアムツアー（定期開催） 来館者へ向けた対話型ミュージアムツアーの開催 	2018年７月～2019年２月（計７回）	美術館コレクションギャラリー	のべ36名
2	企画部会事業（ボランティア活動部会、アクション部会　連携）	ミューコン（ミュージアムコンパ） happ主催のゆんたくミュージアムツアーに街コンの要素をプラス。 	2019年２月15日（金）17:30～21:00	美術館企画展示室、 県民ギャラリー １．２．３： 沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科卒業・修了作品展 懇親会：美々堂withやぶさち	13名
3	情報発信部会事業	Happ情報誌「オタカラ」の発行 	2019年２月発行開始（年４回を予定）	―	

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
4	情報発信部会事業	FMレキオ　happ step jumpミュージックアワー 	2018年４月～2019年３月 毎週水曜日12:00-12:25放送	FMレキオ	―
5	情報発信部会事業	Happ芸術講座 Happ会員の為の専門家が講師となって２回にわたる芸術講座 	2018年12月21日（金）・2019年２月23日（土）17：30～19：00	美術館講座室	のべ８名

２　受託事業

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	受託事業	美術館コレクションギャラリー展示監視業務 	2018年４月～2019年３月	美術館コレクションギャラリー、happ事務所	40名～50名
2	教育普及部会事業	夏休みこどもフェスタ2018 身近な人の似顔絵を描こう、教室運営受託 	2018年７月27日（土）13:00-16:00	県民・こどもアトリエ	30名

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
3	教育普及部会事業	沖縄県芸術文化祭　美術体験教室 似顔絵体験教室【主催】沖縄県文化振興会 	2018年11月17日（土）	エントランスホール	

3　販売事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所
1	販売事業	関連図録、冊子等の販売	2018年４月～2019年３月	ミュージアムショップ

4　連携事業

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	ボランティア活動部会事業	対話による美術鑑賞を通じて学ぶファシリテーション ファシリテーション協会とコラボし、対話型鑑賞の共通した技法を用いて鑑賞会を開催 	2018年６月９日（土） 14:15～18:00	県民ギャラリースタジオ	22名

5　協力事業

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	教育普及部会・地域連携部会事業	那覇紙ヒコーキ大会・似顔絵コーナー出展 	2018年11月25日(日)9:30～13:00	那覇新都心公園大原っぱ（芝生スペース）	120名
2	ボランティア活動部会事業	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科卒業・修了作品展鑑賞会 県立芸大への入学が決まっている高校生を対象に芸大講師・一般の方対象に鑑賞	2019年２月16日（土）14:00～16:00	美術館企画展示室 県民ギャラリー他	４名

	事業名	事業内容	日時	開催場所	参加人数
3	ボランティア活動部会事業	ゆんたくデー（主催：美ら島財団　協力：happ） ゆんたくデーと定めた11月18日に、来館されるお客様対象に対話型ミュージアムツアーの開催 	2018年11月18日（日）13:00～14:00	美術館コレクションギャラリー１・２	３名

関係法規抄録

○博物館法　○博物館法施行令
○博物館法施行規則　○博物館の登録に関する規則
○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則
○沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則
○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例
○沖縄県立博物館・美術館管理規則　○沖縄県立博物館・美術館館長執務規程
○沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領
○沖縄県立博物館･美術館共催及び後援等に関する取扱要領

関係法規抄録

○博物館法（抄）　　**昭和26年12月１日法律第285号**
〔最終改正〕平成29年５月31日法律第 41号

第１章　総則

（この法律の目的）
第１条　この法律は、社会教育法（昭和24年法律第207号）の精神に基き、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。
（定　義）
第２条　この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法 による公民館及び図書館法 （昭和25年法律第118号）による図書館を除く。）のうち、地方公共団体、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は政令で定めるその他の法人（独立行政法人（独立行政法人通則法 （平成11年法律第103号）第２条第１項 に規定する独立行政法人をいう。第29条において同じ。）を除く。）が設置するもので次章の規定による登録を受けたものをいう。
２　この法律において、「公立博物館」とは、地方公共団体の設置する博物館をいい、「私立博物館」とは、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は前項の政令で定める法人の設置する博物館をいう。
３　この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。）をいう。
（博物館の事業）
第３条　博物館は、前条第１項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。
（１）実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
（２）分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
（３）一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
（４）博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
（５）博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
（６）博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
（７）博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
（８）当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法 （昭和二十五年法律第二百十四号）の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。
（９）社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
（10）他の博物館、博物館と同一の目的を有する国の施設等と緊密に連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。
（11）学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。
２　博物館は、その事業を行うに当つては、土地の事情を考慮し、国民の実生活の向上に資し、更に学校教育を援助し得るようにも留意しなければならない。
（館長、学芸員その他の職員）
第４条　博物館に、館長を置く。
２　館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。
３　博物館に、専門的職員として学芸員を置く。
４　学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。
５　博物館に、館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。
６　学芸員補は、学芸員の職務を助ける。
（学芸員の資格）
第５条　次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員となる資格を有する。
（１）　学士の学位（学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第２項に規定する文部科学大臣の定める学位（専門職大学を卒業した者に対して授与されるものに限る。）を含む。）を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの
（２）　大学に２年以上在学し、前号の博物館に関する科目の単位を含めて62単位以上を修得した者で、３年以上学芸員補の職にあつたもの
（３）　文部科学大臣が、文部科学省令で定めるところにより、前二号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めた者
２　前項第２号の学芸員補の職には、官公署、学校又は社会教育施設（博物館の事業に類する事業を行う施設を含む。）における職で、社会教育主事、司書その他の学芸員補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものを含むものとする。
（学芸員補の資格）
第６条　学校教育法第90条第１項 の規定により大学に入学することのできる者は、学芸員補となる資格を有する。
（学芸員及び学芸員補の研修）
第７条　文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、学芸員及び学芸員補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。
（設置及び運営上望ましい基準）
第８条　文部科学大臣は、博物館の健全な発達を図るために、博物館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。
（運営の状況に関する評価等）
第９条　博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
（運営の状況に関する情報の提供）
第９条の２　博物館は、当該博物館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該博物館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

第２章　登録

（登　録）

第10条　博物館を設置しようとする者は、当該博物館について、当該博物館の所在する都道府県の教育委員会（当該博物館（都道府県が設置するものを除く。）が指定都市（地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第第１項の指定都市をいう。以下この条及び第29条において同じ。）の区域内に所在する場合にあっては、当該指定都市の教育委員会。同条を除き、以下同じ。）に備える博物館登録原簿に登録を受けるものとする。

（登録の申請）

第11条　前条の規定による登録を受けようとする者は、設置しようとする博物館について、左に掲げる事項を記載した登録申請書を都道府県の教育委員会に提出しなければならない。

（１）　設置者の名称及び私立博物館にあつては設置者の住所

（２）　名称

（３）　所在地

２　前項の登録申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

（１）　公立博物館にあつては、設置条例の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び予算の歳出の見積りに関する書類、博物館資料の目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面

（２）　私立博物館にあつては、当該法人の定款の写し又は当該宗教法人の規則の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び収支の見積りに関する書類、博物館資料の目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面

（登録要件の審査）

第12条　都道府県の教育委員会は、前条の規定による登録の申請があつた場合においては、当該申請に係る博物館が左に掲げる要件を備えているかどうかを審査し、備えていると認めたときは、同条第一項各号に掲げる事項及び登録の年月日を博物館登録原簿に登録するとともに登録した旨を当該登録申請者に通知し、備えていないと認めたときは、登録しない旨をその理由を附記した書面で当該登録申請者に通知しなければならない。

（１）　第２条第１項に規定する目的を達成するために必要な博物館資料があること。

（２）　第２条第１項に規定する目的を達成するために必要な学芸員その他の職員を有すること。

（３）　第２条第１項に規定する目的を達成するために必要な建物及び土地があること。

（４）　１年を通じて150日以上開館すること。

（登録事項等の変更）

第13条　博物館の設置者は、第11条第１項各号に掲げる事項について変更があつたとき、又は同条第２項に規定する添付書類の記載事項について重要な変更があつたときは、その旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

２　都道府県の教育委員会は、第11条第１項各号に掲げる事項に変更があつたことを知つたときは、当該博物館に係る登録事項の変更登録をしなければならない。

（登録の取消）

第14条　都道府県の教育委員会は、博物館が第12条各号に掲げる要件を欠くに至つたものと認めたとき、又は虚偽の申請に基いて登録した事実を発見したときは、当該博物館に係る登録を取り消さなければならない。但し、博物館が天災その他やむを得ない事由により要件を欠くに至つた場合においては、その要件を欠くに至つた日から２年間はこの限りでない。

２　都道府県の教育委員会は、前項の規定により登録の取消しをしたときは、当該博物館の設置者に対し、速やかにその旨を通知しなければならない。

（博物館の廃止）

第15条　博物館の設置者は、博物館を廃止したときは、すみやかにその旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

２　都道府県の教育委員会は、博物館の設置者が当該博物館を廃止したときは、当該博物館に係る登録をまつ消しなければならない。

（規則への委任）

第16条　この章に定めるものを除くほか、博物館の登録に関し必要な事項は、都道府県の教育委員会の規則で定める。

第17条　削除

第３章　公立博物館

（設　置）

第18条　公立博物館の設置に関する事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

（所　管）

第19条　公立博物館は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会の所管に属する。

（博物館協議会）

第20条　公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

２　博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条　博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第22条　博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

（入館料等）

第23条　公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。但し、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。

（博物館の補助）

第24条　国は、博物館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、博物館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

２　前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第25条　　削除

（補助金の交付中止及び補助金の返還）

第26条　国は、博物館を設置する地方公共団体に対し第24条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、第一号の場合の取消が虚偽の申請に基いて登録した事実の発見に因るものである場合には、既に交付した補助金を、第三号及び第四号に該当する場合には、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

（１）　当該博物館について、第十四条の規定による登録の取消があつたとき。

（２）　地方公共団体が当該博物館を廃止したとき。

（3）　地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。
（4）　地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第４章　私立博物館

（都道府県の教育委員会との関係）
第27条　都道府県の教育委員会は、博物館に関する指導資料の作成及び調査研究のために、私立博物館に対し必要な報告を求めることができる。
２　都道府県の教育委員会は、私立博物館に対し、その求めに応じて、私立博物館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。
（国及び地方公共団体との関係）
第28条　国及び地方公共団体は、私立博物館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき援助を与えることができる。

第５章　雑則

（博物館に相当する施設）
第29条　博物館の事業に類する事業を行う施設で、国又は独立行政法人が設置する施設にあつては文部科学大臣が、その他の施設にあつては当該施設の所在する都道府県の教育委員会（当該施設（都道府県が設置するものを除く。）が指定都市の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市の教育委員会）が、文部科学省令で定めるところにより、博物館に相当する施設として指定したものについては、第27条第２項の規定を準用する。

○博物館法施行令

昭和27年３月20日　政令第 47号
〔最終改正〕昭和34年４月30日　政令第157号

（政令で定める法人）
第１条　博物館法（以下「法」という。）第２条第１項の政令で定める法人は、次に掲げるものとする。
１　日本赤十字社。
２　日本放送協会。
（施設、設備に要する経費の範囲）
第２条　法第24条第１項に規定する博物館の施設、設備に要する経費の範囲は、次に掲げるものとする。
１　施設費　施設の建築に要する本工事費、附帯工事費及び事務費
２　設備費　博物館に備えつける博物館資料及びその利用のための器材器具の購入に要する経費。
附　則　（昭和34年４月30日　政令第157号）　抄
（施行期日）
１　この政令は、公布の日から施行する。

○博物館法施行規則

昭和30年10月４日　文部省令第24号
〔最終改正〕平成27年10月5日　文部科学省令第34号

第１章　博物館に関する科目の単位

（博物館に関する科目の単位）
第１条　博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第５条第１項第１号に規定する博物館に関する科目の単位は、次の表に掲げるものとする。

科目	単位数
生涯学習概論	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2
博物館実習	2

２　博物館に関する科目の単位のうち、すでに大学において修得した科目の単位又は第６条第３項に規定する試験科目について合格点を得ている科目は、これをもつて、前項の規定により修得すべき科目の単位に替えることができる。
（博物館実習）
第２条　前条に掲げる博物館実習は、博物館（法第２条第１項に規定する博物館をいう。以下同じ。）又は法第29条の規定に基づき文部科学大臣若しくは都道府県の教育委員会若しくは指定都市（地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第１項の指定都市をいう。以下同じ。）の教育委員会の指定した博物館に相当する施設（大学においてこれに準ずると認めた施設を含む。）における実習により修得するものとする。
２　博物館実習には、大学における博物館実習に係る事前及び事後の指導を含むものとする。

第２章　学芸員の資格認定

（資格認定）
第３条　法第５条第１項第３号の規定により学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者と認められる者は、この章に定める試験認定又は審査認定（以下「資格認定」という。）の合格者とする。
（資格認定の施行期日等）
第４条　資格認定は、毎年少なくとも各１回、文部科学大臣が行う。
２　資格認定の施行期日、場所及び出願の期限等は、あらかじめ、官報で公告する。ただし、特別の事情がある場合には、適宜な方法によつて公示するものとする。
（試験認定の受験資格）

第５条　次の各号のいずれかに該当する者は、試験認定を受けることができる。
（１）　学士の学位を有する者
（２）　大学に２年以上在学して62単位以上を修得した者で２年以上学芸員補の職(法第５条第２項に規定する職を含む。以下同じ。)にあつた者
（３）　教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第２条第１項に規定する教育職員の普通免許状を有し、２年以上教育職員の職にあつた者
（４）　４年以上学芸員補の職にあつた者
（５）　その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

（試験認定の方法及び試験科目）

第６条　試験認定は、大学卒業の程度において、筆記の方法により行う。
２　試験認定は、２回以上にわたり、それぞれ１以上の試験科目について受けることができる。
３　試験科目は、次表に定めるとおりとする。

試験科目	試験認定の必要科目	
必須科目	生涯学習概論	上記科目の全科目
	博物館概論	
	博物館経営論	
	博物館資料論	
	博物館資料保存論	
	博物館展示論	
	博物館教育論	
	博物館情報・メディア論	
選択科目	文化史	上記科目のうちから受験者の選択する２科目
	美術史	
	考古学	
	民俗学	
	自然科学史	
	物理	
	化学	
	生物学	
	地学	

（試験科目の免除）

第７条　大学において前条に規定する試験科目に相当する科目の単位を修得した者又は文部科学大臣が別に定めるところにより前条に規定する試験科目に相当する学修を修了した者に対しては、その願い出により、当該科目についての試験を免除する。
第８条　削除

（審査認定の受験資格）

第９条　次の各号のいずれかに該当する者は、審査認定を受けることができる。
（１）　学位規則（昭和28年文部省令第９号）による修士若しくは博士の学位又は専門職学位を有する者であつて、２年以上学芸員補の職にあつた者
（２）　大学において博物館に関する科目（生涯学習概論を除く。）に関し２年以上教授、准教授、助教又は講師の職にあつた者であつて、２年以上学芸員補の職にあつた者
（３）　次のいずれかに該当する者であつて、都道府県の教育委員会の推薦する者
イ　学士の学位を有する者であつて、４年以上学芸員補の職にあつた者
ロ　大学に２年以上在学し、62単位以上を修得した者であつて、６年以上学芸員補の職にあつた者
ハ　学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第１項の規定により大学に入学することのできる者であつて、８年以上学芸員補の職にあつた者
ニ　その他11年以上学芸員補の職にあつた者
（４）　その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

（審査認定の方法）

第10条　審査認定は、次条の規定により願い出た者について、博物館に関する学識及び業績を審査して行うものとする。

（受験の手続）

第11条　資格認定を受けようとする者は、受験願書（別記第１号様式により作成したもの）に次に掲げる書類等を添えて、文部科学大臣に願い出なければならない。この場合において、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第30条の７第３項の規定により同法第30条の５第１項に規定する本人確認情報の提供を受けて文部科学大臣が資格認定を受けようとする者の氏名、生年月日及び住所を確認することができるときは、第３号に掲げる住民票の写しを添付することを要しない。
（１）　受験資格を証明する書類
（２）　履歴書（別記第２号様式により作成したもの）
（３）　戸籍抄本又は住民票の写し（いずれも出願前６月以内に交付を受けたもの）
（４）　写真（出願前６月以内に撮影した無帽かつ正面上半身のもの）
２　前項に掲げる書類は、やむを得ない事由があると文部科学大臣が特に認めた場合においては、他の証明書をもつて代えることができる。
３　第７条の規定に基づき試験認定の試験科目の免除を願い出る者については、その免除を受ける資格を証明する書類を提出しなければならない。
４　審査認定を願い出る者については、第１項各号に掲げるもののほか、次に掲げる資料又は書類を提出しなければならない。
（１）　第９条第１号又は同条第２号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等
（２）　第９条第３号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等又は博物館に関する顕著な実績を証明する書類
（３）　第９条第４号により出願する者にあつては、前２号に準ずる資料又は書類

（試験認定合格者）

第12条　試験科目（試験科目の免除を受けた者については、その免除を受けた科目を除く。）の全部について合格点を得た者（試験科目の全部について試験の免除を受けた者を含む。以下、「筆記試験合格者」という。）であつて、１年間学芸員補の職にあつた後に文部科学大臣が認定した者を試験認定合格者とする。

２　筆記試験合格者が試験認定合格者になるためには、試験認定合格申請書（別記第３号様式によるもの）を文部科学大臣に提出しなければならない。

（審査認定合格者）

第13条　第10条の規定による審査に合格した者を審査認定合格者とする。

（合格証書の授与等）

第14条　試験認定合格者及び審査認定合格者に対しては、合格証書（別記第４号様式によるもの）を授与する。

２　筆記試験合格者に対しては、筆記試験合格証書（別記第５号様式によるもの）を授与する。

３　合格証書を有する者が、その氏名を変更し、又は合格証書を破損し、若しくは紛失した場合において、その事由をしるして願い出たときは、合格証書を書き換え又は再交付する。

（合格証明書の交付等）

第15条　試験認定合格者又は審査認定合格者が、その合格の証明を願い出たときは、合格証明書（別記第６号様式によるもの）を交付する。

２　筆記試験合格者が、その合格の証明を申請したときは、筆記試験合格証明書（別記第７号様式によるもの）を交付する。

３　１以上の試験科目について合格点を得た者（筆記試験合格者を除く。次条及び第17条において「筆記試験科目合格者」という。）がその科目合格の照明を願い出たときは、筆記試験科目合格証明書（別記第８号様式によるもの）を交付する。

（手数料）

第16条　次表の上欄に掲げる者は、それぞれその下欄に掲げる額の手数料を納付しなければならない。

上欄	下欄
１　試験認定を願い出る者	一科目につき1,300円
２　審査認定を願い出る者	3,800円
３　試験認定の試験科目の全部について免除を願い出る者	800円
４　合格証書の書換え又は再交付を願い出る者	700円
５　合格証明書の交付を願い出る者	700円
６　筆記試験合格証明書の交付を願い出る者	700円
７　筆記試験科目合格証明書を願い出る者	700円

２　前項の規定によつて納付すべき手数料は、収入印紙を用い、収入印紙は、各願書にはるものとする。ただし、行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律（平成14年法律第151号）第３条第１項の規定により申請等を行つた場合は、当該申請等により得られた納付情報により手数料を納付しなければならない。

３　納付した手数料は、これを返還しない。

（不正の行為を行つた者等に対する処分）

第17条　虚偽若しくは不正の方法により資格認定を受け、又は資格認定を受けるにあたり不正の行為を行つた者に対しては、受験を停止し、既に受けた資格認定の成績を無効にするとともに、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

２　試験認定合格者、審査認定合格者、筆記試験合格者又は筆記試験科目合格者について前項の事実があつたことが明らかになつたときは、その合格を無効にするとともに、既に授与し、又は交付した合格証書その他当該合格を証明する書類を取り上げ、かつ、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

３　前２項の処分をしたときは、処分を受けた者の氏名及び住所を官報に公告する。

第３章　博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たつて参酌すべき基準

第18条　法第22条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

第４章　博物館に相当する施設の指定

（申請の手続）

第19条　法第29条の規定により博物館に相当する施設として文部科学大臣又は都道府県の教育委員会の指定を受けようとする場合は、博物館相当施設指定申請書（別記第９号様式により作成したもの）に次に掲げる書類等を添えて、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人（独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第２号第１項に規定する独立行政法人をいう。第21条において同じ。）が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ提出しなければならない。

（１）　当該施設の有する資料の目録

（２）　直接当該施設の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及び図面

（３）　当該年度における事業計画書及び予算の収支の見積に関する書類

（４）　当該施設の長及び学芸員に相当する職員の氏名を記載した書類

（指定要件の審査）

第20条　文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、博物館に相当する施設として指定しようとするときは、申請に係る施設が、次の各号に掲げる要件を備えているかどうかを審査するものとする。

（１）　博物館の事業に類する事業を達成するために必要な資料を整備していること。

（２）　博物館の事業に類する事業を達成するために必要な専用の施設及び設備を有すること。

（３）　学芸員に相当する職員がいること。

（４）　一般公衆の利用のために当該施設及び設備を公開すること。

（４）　１年を通じて100日以上開館すること。

２　前項に規定する指定の審査に当つては、必要に応じて当該施設の実地について審査するものとする。

第21条　文部科学大臣又は都道府県の教育委員会の指定する博物館に相当する施設（以下「博物館相当施設」という。）が第20条第１項に規定する要件を欠くに至つたときは、直ちにその旨を、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ報告しなければならない。

第22条　削除

第23条　文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、その指定した博物館相当施設に対し、第20条第１項に規定する要件に関し、必要な報告を求めることができる。

（指定の取消）

第24条　文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、その指定した博物館相当施設が第20条第１項に規定する要件を欠くに至つたものと認めたとき、又は虚偽の申請に基いて指定した事実を発見したときは、当該指定を取り消すものとする。

第５章　雑則

（学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第25条　第５条第１号及び第９条第３号イに規定する学士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。

（１）　旧大学令（大正７年勅令第388号）による学士の称号を有する者

（２）　学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第１項第２号から第８号までのいずれかに該当する者

（短期大学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第26条　第５条第２号及び第９条第３号ロに規定する大学に２年以上在学し、62単位以上を修得した者には、次に掲げる者を含むものとする。

（１）　旧大学令、旧高等学校令（大正７年勅令第389号）、旧専門学校令（明治36年勅令第61号）又は旧教員養成諸学校官制（昭和21年勅令第208号）の規定による大学予科、高等学校高等科、専門学校又は教員養成諸学校を修了し、又は卒業した者

（２）　学校教育法施行規則第155条第２項各号のいずれかに該当する者

（修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第27条　第９条第１号に規定する修士の学位を有する者には、学校教育法施行規則第156条各号のいずれかに該当する者を含むものとする。

（博士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第28条　第９条第１号に規定する博士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。

（１）　旧学位令（大正９年勅令第200号）による博士の称号を有する者

（２）　外国において博士の学位に相当する学位を授与された者

（専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第29条　第９条第１号に規定する専門職学位を有する者には、外国において専門職学位に相当する学位を授与された者を含むものとする。

附則（平成24年６月29日文部科学省令第24号）

（施行期日）

１　この省令は、住民基本台帳法の一部を改正する法律（平成21年法律第77号）の一部及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律（平成21年法律第79号）の施行の日（平成24年７月９日）から施行する。

（経過措置）

２　この省令の施行の日から起算して６月を経過する日までの間における改正後の博物館法施行規則第11条第１項第3号の規定の適用については、同号中「住民票の写し」とあるのは、「住民票の写し（日本の国籍を有しない者にあつては、住民票の写し又は出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律第４条の規定による廃止前の外国人登録法(昭和27年法律第125号)に規定する登録原票の写し若しくは登録原票記載事項証明書)」とする。

附　則（平成27年10月２日文部科学省令第34号）　抄

（施行期日）

１　この省令は、平成27年10月５日から施行する。

○博物館の登録に関する規則

昭和50年５月８日　教育委員会規則第５号
〔最終改正〕平成６年３月31日　教育委員会規則第２号

（趣　旨）

第１条　この規則は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第16条の規定に基づき博物館の登録に関し、必要な事項を定めるものとする。

（登録原簿等の様式）

第２条　法第10条、第11条第１項及び第11条第２項に規定する登録原簿等の名称及び様式は、次の表に掲げるとおりとする。

根拠条項	名称	様式
法第10条	博物館登録原簿	第１号様式
法第11条第１項	博物館登録申請書	第２号様式
法第11条第２項	博物館資料目録	第３号様式

（博物館登録申請書の添付書類）

第３条　博物館登録申請書には、法第11条第２項に規定する書類のほか、職員名簿（第４号様式）を添付するものとする。

（登録要件の審査）

第４条　法第12条の規定による登録要件の審査及び法第14条第１項の規定による登録の取消しを県教育委員会が行う場合は、当該博物館に対し、必要な資料を求め実地調査及び学識経験者の意見を聴くことができる。

（登録事項等の変更）

第５条　法第13条第１項の規定による変更の届出は、そのつど博物館登録事項等変更届出書（第５号様式）によつて行うものとする。ただし、博物館資料目録の軽微な変更については、毎年３月末日に届け出るものとする。

（博物館の廃止）

第６条　法第15条の規定による博物館の廃止の届出は、博物館廃止届（第６号様式）により行うものとする。

（公　示）

第７条　県教育委員会は、博物館の登録若しくは登録事項等の変更があつたとき、又は登録の取消し若しくはまつ消を行つたときは、その旨を沖縄県公報により公示するものとする。

附則

（平成６年３月31日教育委員会規則第２号）

この規則は、平成６年４月１日から施行する。

第１号様式
（第２条関係）

No.

博物館登録原簿

備考	所在地	名称	※設置者の名称及び住所	事項		
				記号番号	年月日	登録
				第号	年月日	録
				年月日		登録変更
				年月日		
				年月日		登録変更
				年月日		

（※公立の場合は設置者の名称のみ記入）　（Ａ４版）

第２号様式
（第２条関係）

博物館登録申請書

文書番号
年　月　日

沖縄県教育委員会　殿

申請者　氏名　　印

博物館法第11条第１項の規定により、下記施設を博物館として登録されるよう別添関係書類等を添えて申請します。

記

設置者の名称

私立博物館設置者の住所

名称

所在地

備考　この申請書には、次の書類を添付すること。
（１）　公立博物館にあつては設置条例の写し、私立博物館にあつては、法人の定款若しくは寄附行為の写し又は宗教法人の規則の写し
（２）　館則の写し
（３）　直接博物館の用に供する建物及び面積を記載した書面並びにその図面
（４）　当該年度における事業計画書及び公立博物館にあつては予算の歳出の見積もり、私立博物館にあつては収支の見積もりに関する書類
（５）　博物館資料の目録並びに館長の氏名及び学芸員の種類ごとの氏名を記載した書面
（６）　学芸員は、その資格を有することを証するにたる書類

第３号様式
（第２条関係）

博物館資料目録

博物館名

資　料　の　種　別	資料の種類及び数量
自然科学に関する資料	
人文科学に関する資料	

種別	番号	名称	規格	品質	数量	取得年月日	備考

（Ａ４版）

第４号様式
（第３条関係）

職員名簿

博物館名

番号	氏名	職名	最終学歴	博物館職員としての勤務年数	担当職務	備考

（Ａ４版）

第５号様式
（第５条関係）

博物館登録事項変更届出書

文　書　番　号
年　　月　　日

沖縄県教育委員会　殿

施　設　名
届出者氏名　　印

博物館法第１３条第１項の規定により、下記のとおり変更届を提出します。

記

変　更　年　月　日		年　　月　　日
変　更　の　理　由		
変 更 事 項 の 種 類		
変更事項の内容	旧	
	新	

（Ａ４版）

第６号様式
（第６条関係）

博物館廃止届

文　書　番　号
年　　月　　日

沖縄県教育委員会　殿

施　設　名
届出者氏名　　印

博物館法第１５条第１項の規定により、下記のとおり届けます。

記

廃　止　年　月　日	年　　月　　日
廃　止　し　た　理　由	
廃 止 後 の 財 産 処 分	
その他参考となるべき事項	

（Ａ４版）

○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則

平成23年３月31日　教育委員会規則第２号

（趣　旨）

第１条　この規則は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の７の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任することに関し、必要な事項を定めるものとする。

（委　任）

第２条　沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務のうち、次に掲げる事務以外の事務を沖縄県部等設置条例（昭和47年沖縄県条例第32号）第２条第８号の規定により設置される文化観光スポーツ部の長（以下「部長」という。）に委任する。ただし、沖縄県立博物館・美術館管理規則（平成19年沖縄県教育委員会規則第１号）第２条第３項ただし書の規定による認定に関する事務にあつては、知事が定める沖縄県立博物館・美術館の組織に関する規則の規定により設置される館長に委任する。

（１）　沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）及び沖縄県立博物館・美術館管理規則（以下「条例等」という。）の改正及び廃止に関すること。

（２）　博物館法（昭和26年法律第285号）第21条及び沖縄県立博物館・美術館管理規則第12条第1項の規定による博物館・美術館協議会の委員の任免に関すること。

（合議等）

第３条　前条の規定により事務の委任を受ける者は、当該事務の執行について、この規則以外の教育委員会規則その他の規定により教育委員会又はその補助職員に対し、合議、協議、報告等（以下「合議等」という。）を要する定めのある事務については、合議等をしなければならない。

２　前条の規定にかかわらず、委任された事務に関し、重要かつ異例の事態が生じたときは、あらかじめ、その処理方針について、教育委員会の承認を受けなければならない。

附　則

（施行期日）

１　この規則は、平成23年4月1日から施行する。

（経過措置）

２　この規則の施行の際条例等の規定により教育委員会がした処分その他の行為で現にその効力を有するもの又はこの規則の施行の日（以下「施行日」という。）前に条例等の規定により教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、施行日以後においては部長に委任されることとなる事務に係るものは、施行日以後における条例等の適用については、部長がした処分その他の行為又は部長に対してなされた申請その他の行為とみなす。

（沖縄県教育庁組織規則の一部改正）

３　沖縄県教育庁組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第１号）の一部を次のように改正する。

第11条第８号を次のように改める。

（８）　博物館・美術館に関すること（沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第２号）により委任される事務に関するものを除く。）。

（沖縄県立教育機関組織規則の一部改正）

４　沖縄県立教育機関組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第２号）の一部を次のように改正する。

第１条中「、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）」を削る。

第４条を削り、第４条の２を第４条とする。

第６条を次のように改める。

（職制等）

第６条　総合教育センター、図書館、埋蔵文化財センター及び青少年の家（以下「教育機関」という。）に、所長又は館長（以下「所長等」という。）を置く。

２　所長等は、上司の命を受け、当該教育機関が所掌する事務を掌理する。

第７条及び第８条を削り、第９条を第７条とする。

第９条の２の表中「総合教育センター（総務班を除く。）　博物館・美術館」を「総合教育センター（総務班を除く。）」に改め、同条を第８条とする。

第10条を第９条とし、第11条を第10条とし、第11条の２を第11条とする。

第12条第１項中「及び博物館・美術館」を削る。

第21条を第23条とし、第20条を第22条とし、第19条を第21条とする。

第18条中「第７条から第16条まで」を「第６条から第18条まで」に改め、同条の表中

「	学芸員	上司の命を受け、博物館・美術館の専門的事務に従事する。」

及び

「	学芸員補	上司の命を受け、学芸員の職務を助ける。」

を削り、同条を第20条とする。

第17条を第19条とする。

第16条中「第７条」を「第６条」に改め、同条を第18条とする。

第15条を第17条とし、第14条を第16条とし、第13条を削り、第12条の４を第15条とする。

第12条の３第１項中「、博物館・美術館」を削り、同条を第14条とする。

第12条の２を第13条とする。

（沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則の一部改正）

５　沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第22号）の一部を次のように改正する。

第４条第２項中「沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター、」を「沖縄県立埋蔵文化財センター及び」に改める。

○沖縄県博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則

平成23年３月31日　規則第８号

（趣　旨）

第１条　この規則は、沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第２号。以下「教育委員会事務委任規則」という。）第2条の規定により知事の補助職員に委任された沖縄県立博物館・美術館（沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成19年沖縄県条例第72号）で設置された沖縄県立博物館・美術館をいう。以下「博物館・美術館」という。）の管理に関する事務を執行するための組織その他必要な事項について定めるものとする。

（博物館・美術館の管理に関する事務の所掌）

第２条　博物館・美術館の管理に関する事務のうち、教育委員会事務委任規則第2条本文の規定により文化観光スポーツ部の長（以下「文化観光スポーツ部長」という。）に委任された事務は、沖縄県行政組織規則（昭和49年沖縄県規則第18号。以下「行

政組織規則」という。）第76条の規定により設置する文化観光スポーツ部文化振興課が所掌する。
２　博物館・美術館の管理に関する事務のうち、前項に定める事務以外の事務は、博物館・美術館が所掌する。

（内部組織）

第３条　博物館・美術館に総務班、博物館班及び美術館班を置く。

（所掌事務）

第４条　総務班の分掌事務は、次のとおりとする。
（１）　予算、決算その他会計事務に関すること。
（２）　公印の保管に関すること。
（３）　職員の服務及び福利厚生に関すること。
（４）　博物館・美術館協議会に関すること。
（５）　指定管理者との連絡調整に関すること。
（６）　他班の所掌に属さない事務に関すること。
２　博物館班の分掌事務は、次のとおりとする。
（１）　博物館・美術館の博物館施設に係る資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
（２）　博物館資料の利用に関すること。
（３）　博物館施設及びその他施設の利用に関すること。
（４）　博物館資料の調査研究に関すること。
（５）　博物館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
（６）　博物館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
（７）　他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。
（８）　教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。
３　美術館班の分掌事務は、次のとおりとする。
（１）　博物館・美術館の美術館施設に係る資料（以下「美術館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
（２）　美術館資料の利用に関すること。
（３）　美術館施設の利用に関すること。
（４）　美術館資料の調査研究に関すること。
（５）　美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
（６）　美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
（７）　他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。
（８）　教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。

（職の設置）

第５条　博物館・美術館に、館長、副館長、班長、主査、主事及び学芸員を置く。
２　博物館・美術館に、特に必要と認められるときは、主任学芸員、主任専門員、主任、専門員及びその他の職員を置くことができる。

（職の職務内容）

第６条　前条に掲げる職の職務内容は、上司の命を受けて次の各号に掲げるとおりとする。
（１）　館長は、博物館・美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
（２）　副館長は、博物館・美術館の事務を整理し、館長を補佐する。
（３）　班長は、班の事務を処理する。
（４）　主査は、博物館・美術館の特定事務を分掌する。
（５）　主事は、一般的な事務を処理する。
（６）　学芸員は、学芸業務に従事する。
（７）　主任学芸員は、学芸業務を処理する。
（８）　主任専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。
（９）　主任は、一般的な事務を分掌する。
（10）　専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。

（その他組織に関する事項）

第７条　第３条から前条までに定めるもののほか、博物館・美術館の組織に関し必要な事項は、博物館・美術館を行政組織規則第５条に規定する公の施設とみなして、同規則の規定を適用する。

（委任された事務に係る決裁等）

第８条　教育委員会事務委任規則第２条本文の規定により、文化観光スポーツ部長に委任された事務は、沖縄県事務決裁規定（昭和48年沖縄県訓令第89号）の規定の例により文化観光スポーツ部長が決裁するものとする。
２　教育委員会事務委任規則第２条ただし書の規定により、館長に委任された事務の決裁は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則（昭和53年沖縄県規則第67号）の規定（第３条、第５条及び第13条を除く。）を準用する。この場合において、同規則の規定中「知事」とあるのは「沖縄県教育委員会」と、「所長等」とあるのは「館長」と読み替えるものとする。
３　前２項に定めるもののほか、文化観光スポーツ部長及び館長は、教育委員会事務委任規則第２条の規定により委任された事務の執行に関し重大な疑義が生じたときは、沖縄県教育委員会に協議する等をして適正に事務を処理しなければならない。
４　館長は、前２項の規定又は教育委員会事務委任規則第３条の規定が適用される事務については、文化観光スポーツ部長を経由して同条に規定する手続きを講ずるものとする。

（委任された事務以外の事務の委任及び決裁）

第９条　博物館・美術館の管理に関する事務を執行する組織及び職員の管理その他必要な事務の処理は、館長を沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則第２条第１項第１号に規定する所長等とみなして、同規則の規定を適用する。この場合において、館長は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則の規定の適用に関し疑義を生じたときは、知事に協議しなければならない。

（委　任）

第10条　この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関する事務の執行に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長に委任された事務については文化観光スポーツ部長が、館長に委任された事務については官庁がそれぞれ定める。

附　則

この規則は、平成23年４月１日から施行する。

○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例

平成18年12月27日　条例第72号
〔最終改正〕平成26年３月31日　条例第11号

（設　置）

第１条　歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料（以下「博物館・美術館資料」という。）を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせて博物館・美術館資料に関する調査研究を行うため、博物館法（昭和26年法律第285号）第２条第１項に規定する博物館として沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）を設置する。

（位置及び施設）

第２条　博物館・美術館の位置は、那覇市おもろまち３丁目１番１号とする。

２　博物館・美術館は、次に掲げる施設をもって構成する。

（１）　博物館施設

（２）　美術館施設

（３）　その他施設

（事　業）

第３条　博物館・美術館は、次に掲げる事業を行う。

（１）　博物館・美術館資料の収集、保管及び展示に関すること。

（２）　博物館・美術館資料の利用に関すること。

（３）　博物館・美術館の施設の利用に関すること。

（４）　博物館・美術館資料の調査研究に関すること。

（５）　博物館・美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。

（６）　博物館・美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。

（７）　他の博物館等との相互協力に関すること。

（８）　教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること。

（９）　前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

（博物館・美術館の管理）

第４条　博物館・美術館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の２第３項の規定により、法人その他の団体であって教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者の業務）

第５条　指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

（１）　博物館・美術館の設置の目的を達成するために教育委員会が必要と認める事業の実施に関する業務

（２）　第11条の規定による観覧料の収受に関する業務、第12条の規定による観覧料の減免に関する業務、第13条ただし書の規定による観覧料の返還に関する業務その他の観覧料の収受に関する業務

（３）　第14条の規定による利用の許可に関する業務、第17条の規定による利用の許可の取消し等に関する業務、第18条第２項の規定による原状回復命令に関する業務その他の利用の許可に関する業務

（４）　第19条及び同条第３項において準用する第11条第５項から第７項までの規定による利用料金の収受に関する業務、第19条第３項において準用する第12条の規定による利用料金の減免に関する業務、第19条第３項において準用する第13条ただし書の規定による利用料金の返還に関する業務その他の利用料金の収受に関する業務

（５）　博物館・美術館の施設及び附属設備の維持及び修繕に関する業務

（６）　前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の管理運営に関して、教育委員会が必要と認める業務

（指定管理者の指定の申請）

第６条　第４条の規定による指定を受けようとするものは、教育委員会規則で定める申請書に事業計画書その他教育委員会則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

（指定管理者の指定）

第７条　教育委員会は、前条の規定による申請があったときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に博物館・美術館の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

（１）　事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。

（２）　事業計画書等の内容が、博物館・美術館の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。

（３）　事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。

（４）　前３号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

（指定管理者の指定等の告示）

第８条　教育委員会は、前条の規定により、指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

２　前項の規定は、地方自治法第244条の２第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

（休館日）

第９条　博物館・美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

（１）　月曜日

（２）　12月29日から翌年の１月３日までの日

２　前項第１号に規定する休館日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号）第２条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日の後日において最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。

３　前２項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

（開館時間）

第10条　博物館・美術館の開館時間は、午前９時から午後６時（金曜日及び土曜日にあっては、午後８時）までとする。

２　前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、開館時間を臨時に変更することができる。

（観覧料）

第11条　常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする者は、観覧料を指定管理者に納めなければならない。

２　常設展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第１に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。

３　企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、3,090円を超えない範囲内で、その都度指定管理者が定める

ものとする。
4　前２項の規定にかかわらず、１年間を通して常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第２に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
5　指定管理者は、第２項から前項までの規定により、観覧料を定めようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。観覧料を変更しようとするときも、同様とする。
6　教育委員会は、前項の承認をしたときは、これを告示するものとする。
7　観覧料は、指定管理者の収入とする。

一部改正〔平成26年条例11号〕

（観覧料の減免）

第12条　指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。
2　前項の規定にかかわらず、指定管理者は、教育委員会規則で定める場合は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除するものとする。

（観覧料の返還）

第13条　既に納付した観覧料は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

（利用の許可）

第14条　別表第３に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「利用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。
2　指定管理者は、博物館・美術館の管理上必要があると認めたときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
3　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、第１項の許可をしないことができる。
（１）　公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
（２）　公益を害するおそれがあると認められるとき。
（３）　施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
（４）　前３号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認められるとき。

（利用期間）

第15条　施設等を引き続いて利用することができる期間は、教育委員会規則で施設等ごとに定める日数以内とする。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該期間を変更することができる。

（権利の譲渡等の禁止）

第16条　利用者は、施設等を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

（許可の取消し等）

第17条　指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、第14条第１項の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。
（１）　この条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
（２）　偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
（３）　許可に付した条件に違反したとき。
（４）　第14条第３項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

（原状回復の義務）

第18条　利用者は、施設等の利用を終えたとき、又は前条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消されたときは、速やかに施設等を原状に回復しなければならない。
2　指定管理者は、利用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

（利用料金）

第19条　利用者は、施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。
2　利用料金は、別表第３に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
3　第11条第５項から第７項まで、第12条及び第13条の規定は、利用料金について準用する。

（事業報告書の提出）

第20条　指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

（博物館・美術館協議会）

第21条　博物館・美術館に、博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
2　協議会の委員（以下「委員」という。）の任命の基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。
3　委員の定数は、15人以内とする。
4　委員の任期は、２年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
5　委員は、再任されることができる。
6　第２項から前項までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成24年条例46号〕

（教育委員会規則への委任）

第22条　この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附　則

（施行期日）

1　この条例は、公布の日から起算して１年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。　（平成19年６月教育委員会規則第11号で、同19年11月１日から施行）

（準備行為）

2　第７条の規定による指定管理者の指定、第11条第５項の規定による観覧料の承認及び第19条第３項において準用する第11条第５項の規定による利用料金の承認並びにこれらに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、第６条から第８条まで、第11条第２項から第６項まで並びに第19条第２項並びに同条第３項において準用する第11条第５項及び第６項の規定の例により行うことができる。

（沖縄県立教育機関設置条例の一部改正）

３　沖縄県立教育機関設置条例（昭和47年沖縄県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第１条中「、図書館法」を「及び図書館法」に改め、「及び博物館法（昭和26年法律第285号）第18条」を削り、「必要な事項」を「、必要な事項」に改める。

第５条及び第６条を削り、第６条の２を第５条とし、第７条を第６条とし、第７条の２を第７条とする。

第８条中「、第５条及び第６条の２」を「及び第５条」に改める。

（沖縄県立教育機関使用料徴収条例の一部改正）

４　沖縄県立教育機関使用料徴収条例（昭和47年沖縄県条例第37号）の一部を次のように改正する。

第２条第１項中「別表第１又は別表第２」を「別表」に改め、同条第２項を削る。

別表第１を削り、別表第２を別表とする。

附　則（平成26年３月31日条例第11号抄）

（施行期日）

１　この条例は、平成26年４月１日から施行する。

別表第１（第11条関係）

区分		基準額（１人につき）	
		個人の場合	団体の場合
博物館施設	一般	410円	330円
	大学生及び高校生	260円	210円
	中学生及び小学生	150円（県外の中学生及び小学生に限る。）	120円（県外の中学生及び小学生に限る。）
美術館施設	一般	310円	250円
	大学生及び高校生	210円	170円
	中学生及び小学生	100円（県外の中学生及び小学生に限る。）	80円（県外の中学生及び小学生に限る。）

備考

１　「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。

２　「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。

３　「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

４　「団体の場合」とは、20人以上の団体で観覧する場合及び教育委員会規則で定める場合をいう。

一部改正〔平成26年条例11号〕

別表第２（第11条関係）

区分		基準額（１人につき）		
		一般	大学生及び高校生	中学生及び小学生
博物館施設	常設展	1,230円	770円	460円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展、企画展及び特別展	4,320円	2,670円	1,650円（県内の中学生及び小学生にあっては、1,180円）
美術館施設	常設展	930円	620円	310円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展及び企画展	4,010円	2,670円	1,340円（県内の中学生及び小学生にあっては、1,030円）

備考

１　「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。

２　「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。

３　「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

一部改正〔平成26年条例11号〕

別表第３（第14条、第19条関係）

１　施設利用料金

（１）　博物館施設利用料金

区分		基準額（１日につき）
企画展示室	入場料を徴収しない場合	29,930円
	入場料を徴収する場合	89,790円
特別展示室	入場料を徴収しない場合	39,190円
	入場料を徴収する場合	117,570円
実習室	入場料を徴収しない場合	9,260円
	入場料を徴収する場合	27,770円
講座室	入場料を徴収しない場合	16,350円
	入場料を徴収する場合	49,060円

（２） 美術館施設利用料金

区分		基準額（１日につき）
県民ギャラリー１		8,330円
県民ギャラリー２		7,710円
県民ギャラリー３		7,710円
県民ギャラリースタジオ		8,430円
県民アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,200円
	入場料を徴収する場合	21,600円
子供アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,710円
	入場料を徴収する場合	23,140円
企画展示室１	入場料を徴収しない場合	33,740円
	入場料を徴収する場合	101,210円
企画展示室２	入場料を徴収しない場合	41,860円
	入場料を徴収する場合	125,590円
講座室	入場料を徴収しない場合	9,360円
	入場料を徴収する場合	28,080円

（３） その他施設利用料金

区分		基準額（１時間につき）
講堂	入場料を徴収しない場合	3,500円
	入場料を徴収する場合	10,490円

２ 附属設備利用料金

種別	単位	基準額
舞台器具	１回１点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
音響器具	１回１点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
照明器具	１回１点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
冷房設備	１時間につき	3,000円以内で教育委員会規則で定める額
その他教育委員会規則で定める附属設備	１回１点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額

備考

１ 「入場料」とは、入場料、会費、会場整理費その他名称のいかんを問わず、入場の対価として徴収するものをいう。

２ 利用料金の基準額が１時間を単位として定められている施設等の利用者が許可された利用時間を超過して当該施設等を利用する場合における利用料金の基準額は、この表の区分に従い、次のとおりとする。

（１） 午前９時から午後６時（金曜日及び土曜日にあっては、午後８時）までの間は、超過時間30分間（30分間に満たない端数は、これを30分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の２分の１の額に100分の120を乗じて得た額

（２） 午後６時（金曜日及び土曜日にあっては、午後８時）後は、超過時間30分間（30分間に満たない端数は、これを30分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の２分の１の額に100分の150を乗じて得た額

一部改正〔平成26年条例11号〕

○沖縄県立博物館・美術館管理規則

平成19年３月16日 教育委員会規則第１号

〔最終改正〕 平成27年３月24日 教育委員会規則第４号

（趣 旨）

第１条 この規則は、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号。以下「条例」という。）の規定並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条第１号及び博物館法（昭和26年法律第285号）第19条の規定に基づき、沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

（寄贈及び寄託）

第２条 博物館・美術館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、博物館・美術館資料寄贈申込書（第１号様式）又は博物館・美術館資料寄託申請書（第２号様式）を提出しなければならない。

２ 受贈又は受託を決定したものについては、博物館・美術館資料受贈受諾書（第３号様式）又は博物館・美術館資料受託承認書（第４号様式）を交付するものとする。

３ 寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、博物館・美術館の館長（以下「館長」という。）が必要と認めた場合はこの限りでない。

４ 第２項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返却しない。

５ 第２項の規定により寄託を受けた資料は、寄託者の請求又は博物館・美術館の都合により返付する。

（寄贈資料及び寄託資料の管理等）

第３条 寄託された資料の管理は、博物館・美術館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

２ 寄託資料が火災その他の不可抗力により、滅失し、汚損し、又は損傷したときは、県及び館長並びに指定管理者は、損害賠償の責任を負わないものとする。

（指定管理者の指定の申請）
第４条　条例第６条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第５号様式）によるものとする。
２　条例第６条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。
（１）　法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
（２）　法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）
（３）　申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
（４）　最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
（５）　役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
（６）　前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

（観覧券の交付）
第５条　指定管理者は、博物館・美術館の展示品を観覧しようとする者が所定の観覧料を納付した場合又は指定管理者により後納が認められた場合は、観覧券を交付するものとする。

（観覧料の免除）
第６条　条例第12条第１項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ観覧料免除申請書（第６号様式）を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。
２　条例第12条第２項の規定により観覧料を免除することができる場合は、次のとおりとする。
（１）　県内の中学校の生徒及び小学校の児童並びにその他これらに準ずる者の引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合
（２）　県内の高等学校の生徒、その他これらに準ずる者及びその引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合
（３）　70歳以上の者が常設展を観覧する場合
（４）　身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第４項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合
（５）　知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第１項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合
（６）　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第２項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

（入館の禁止等）
第７条　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。
（１）　館内の秩序を乱すおそれがあると認められる者
（２）　その他指定管理者が適当でないと認める者

（施設利用の許可等）
第８条　条例別表第３に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備を利用しようとする者は、あらかじめ博物館・美術館施設利用許可申請書（第７号様式）を提出しなければならない。

（利用期間）
第９条　条例第15条本文に規定する教育委員会規則で施設等ごとに定める日数は、次の各号に掲げる施設等の区分に応じ当該各号に定める日数とする。
（１）　博物館施設の企画展示室及び特別展示室並びに美術館施設の企画展示室１及び企画展示室２並びにこれらの施設の冷房設備　６月
（２）　前号に掲げる施設等以外の施設　７日
２　条例第15条ただし書の規定により利用期間を変更しようとする者は、沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願（第８号様式）を指定管理者に提出しなければならない。

（利用料金の免除）
第10条　条例第19条第３項において準用する第12条第２項の規定により利用料金を免除することができる場合は、沖縄県が条例第３条各号に掲げる事業を行うために利用する場合とする。
２　条例第19条第３項において準用する第12条第２項の規定により利用料金の免除を受けようとする者は、博物館・美術館施設利用許
可申請書を提出する際に、併せて沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書（第９号様式）を指定管理者に提出しなければならない。
３　指定管理者は、利用料金の免除を承認したときは、沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書（第10号様式）を利用者に交付するものとする。

（事業報告書の内容等）
第11条　条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。
（１）　博物館・美術館の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
（２）　業務に係る収支状況
（３）　博物館・美術館の利用状況
（４）　前３号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

（博物館・美術館協議会の組織等）
第12条　博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）の委員は、沖縄県教育委員会が任命する。
２　協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
３　会長は協議会を代表し、会務を総理する。
４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
５　協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
６　会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
７　協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
８　協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
９　協議会の庶務は、博物館・美術館において処理する。
10　その他協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮つて定める。

（観覧料の割引）

第13条　条例別表第１備考４に規定する教育委員会規則で定める場合は、博物館施設又は美術館施設の常設展を観覧しようとする日と同じ日に博物館・美術館が行う他の展示と併せて観覧する場合とする。ただし、併せて観覧する他の展示の観覧料が無料の場合は、この限りでない。

（附属設備の利用料金の基準額）

第14条　条例別表第３第２項の表の教育委員会で定める額は、別表に掲げるとおりとする。

（補　則）

第15条　この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附　則

（施行期日）

１　この規則は、条例の施行の日〔平成19年11月１日〕から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

（準備行為として行う申請に必要な申請書等）

２

条例附則第２項の規定により準備行為として行う指定管理者の指定の申請に必要な申請書及び書類については、第４条の規定の例による。

（沖縄県立博物館の管理に関する規則等の廃止）

３　次に掲げる規則は、廃止する。

（１）　沖縄県立博物館の管理に関する規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第13号）

（２）　沖縄県立博物館協議会規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第29号）

（沖縄県教育庁組織規則の一部改正）

４　沖縄県教育庁組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第１号）の一部を次のように改正する。

第31条第３号中「沖縄県立博物館」を「沖縄県立博物館・美術館」に改める。

附　則（平成27年３月24日教育委員会規則第４号抄）

（施行期日）

１　この規則は、平成27年４月１日から施行する第33条第４号中「沖縄県立博物館協議会」を「博物館・美術館協議会」に改める。

別表（第14条関係）

１　附属設備（冷房設備を除く。）の利用料金

種別	品名	単位	基準額
舞台器具	演台	１台	310円
	花台	１台	100円
	司会台	１台	150円
音響器具	メインスピーカー	１式	1,030円
	コンデンサーマイク	１本	310円
	ワイヤレスマイク	１本	620円
	ダイナミックマイク	１本	210円
	ビデオテープレコーダー	１台	720円
	ＤＶＤプレーヤー	１台	1,290円
	ＣＤ、ＭＤプレーヤー	１台	410円
	ＨＤ／ＤＶＤレコーダー	１台	1,290円
照明器具	ボーダーライト	１列	310円
	サスペンションライト	１列	510円
	アッパーホリゾントライト	１列	720円
	シーリングライト	１列	620円
	センターピンスポットライト	１台	410円
その他	書画カメラ	１台	820円
	ビデオプロジェクター	１台	1,440円
	電動スクリーン	１式	1,130円
	35ミリフィルム映写機	１式	5,140円

備考　附属設備利用料金の基準額は、１ステージごとの額とする。ただし、長時間連続して利用する場合は、４時間ごとに１ステージとみなす。

２　冷房設備の利用料金

区分		単位	基準額
博物館施設	企画展示室	１時間までごとに	650円
	特別展示室	１時間までごとに	850円
	実習室	１時間までごとに	200円
	講座室	１時間までごとに	350円
美術館施設	県民ギャラリー１	１時間までごとに	180円
	県民ギャラリー２	１時間までごとに	170円
	県民ギャラリー３	１時間までごとに	170円
	県民ギャラリースタジオ	１時間までごとに	190円
	県民アトリエ	１時間までごとに	150円
	子供アトリエ	１時間までごとに	170円
	企画展示室１	１時間までごとに	730円
	企画展示室２	１時間までごとに	910円
	講座室	１時間までごとに	210円
その他施設	講堂	１時間までごとに	610円

第１号様式
（第２条関係）

博物館・美術館資料寄贈申込書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

申込者　住　所
氏　名　　印

私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄贈したいので、受領されるよう申込みます。

記

1　種　　別
2　作　者　名
3　作　品　名
4　製作年月日
5　附　属　品
6　資料所在地
7　時価見積額
8　寄贈の理由

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第２号様式
（第２条関係）

博物館・美術館資料寄託申請書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

申請者　住　所
氏　名　　印

私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄託したいので、受託されるよう申請します。

記

1　種　　別
2　作　者　名
3　作　品　名
4　製作年月日
5　附　属　品
6　資料所在地
7　寄託期間　　年　　月　　日　から
年　　月　　日　まで

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第３号様式
（第２条関係）

博物館・美術館資料受贈受諾書

年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長　印

　　年　　月　　日付け申込のあつた博物館・美術館資料の寄贈については下記により受諾します。ただし、寄贈を受けた資料については、沖縄県立博物館・美術館管理規則第２条第４項の規定により返却されません。

記

１　種　　別
２　作　者　名
３　作　品　名
４　製作年月日
５　附　属　品
６　資料所在地
７　時価見積額
８　寄贈の理由

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第４号様式
（第２条関係）

博物館・美術館資料受託承認書

年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長　印

　　年　　月　　日付け申請のあつた博物館・美術館資料の寄託については下記により受託します。

記

１　種　　別
２　作　者　名
３　作　品　名
４　製作年月日
５　附　属　品
６　受託期間　　年　　月　　日　から
　　年　　月　　日　まで
７　備　　考

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第５号様式
（第４条関係）

年　　月　　日

沖縄県教育委員会　殿

申請者　所　　在　　地
団 体 の 名 称
代表者の氏名　　　　　　　　　　　印

指定管理者指定申請書

沖縄県立博物館・美術館の管理に係る指定管理者の指定を受けたいので、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例第６条の規定により申請します。

添付書類
1　事業計画書

2　法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

3　法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る）

4　申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

5　最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日に属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）

6　役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

7　前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第６号様式
（第６条関係）

観覧料免除申請書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　　　　　　　　　殿

申請者　住　所
氏　名　　　　　　　　　　印
電　話

下記の理由により博物館・美術館観覧料の免除を受けたいので、沖縄県立博物館・美術館管理規則第６条第１項の規定に基づき申請します。

記

1　観 覧 者　団 体 名
引率者名

2　観覧者数　　　　　　人

3　観覧日時　　　　年　　月　　日（　　曜日）　　時～　　時

4　申請理由

・・

承　認　証

殿

年　　月　　日付け申請の博物館・美術館の観覧料免除の件、申請どおり承認します。

年　　月　　日
沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　　　　　　　　　印

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第７号様式
（第８条関係）

博物館・美術館施設利用許可申請書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館
　指定管理者　　　　　　　　　　　　殿

申請者　氏　名　　　　　　　　　　　印
　　　　電　話

　下記により貴館施設を利用したいので、申請します。

記

１　利用者　団 体 名
　　　　　　代表者名　　　　　　　　印　　職業（　　　　　　）
　　　　　　住　　所　　　　　　　　　　　電話

２　利用目的

３　利用する施設

４　利用する日時及び期間
　　　自：　　　年　　月　　日　　時　　分
　　　至：　　　年　　月　　日　　時　　分　（　　）日間

５　予定参加人数　　　　　　　人

・・

許　可　証

年　　月　　日付け申請の（　　　　　）使用の件、申請どおり許可します。

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館
　指定管理者　　　　　　　　　　　　印

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第８号様式
（第９条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館
　指定管理者　　　　　　　　　　　　殿

申請者　住　　　所
　　　　団　体　名
　　　　代表者氏名　　　　　　　　　　印
　　　　電 話 番 号

　沖縄県立博物館･美術館管理規則第９条第２項の規定により次のとおり利用期間の変更を願い出ます。

記

１　催物の名称

２　利用する日時及び期間
　　　自：　　　年　　月　　日　　時　　分
　　　至：　　　年　　月　　日　　時　　分　（　　）日間

３　利用期間の変更を願い出る理由

４　備考

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第９号様式
（第１０条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書

年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　殿

申請者　住　　所
団 体 名
代表者氏名　　印
電 話 番 号

次のとおり利用料金の免除を申請します。

記

1　催物の名称

2　利用目的

3　催物の内容

4　利用する日時及び期間
自：　　年　月　日　時　分
至：　　年　月　日　時　分
（　　）日間

5　減額・免除を申請する理由

6　備考

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

第１０号様式
（第１０条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書

年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館
指定管理者　　印

次のとおり利用料金の免除を承認します。

記

1　催物の名称

2　利用目的

3　催物の内容

4　利用する日時及び期間
自：　　年　月　日　時　分
至：　　年　月　日　時　分
（　　）日間

5　利用料金免除額

6　備考

備考　用紙の大きさは、日本工業規格A列４判とする。

○沖縄県立博物館・美術館館長執務規程

平成23年４月１日　訓令第103号
〔最終改正〕　平成25年３月30日　訓令第 63号

（趣　旨）

第１条　沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の館長（以下「館長」という。）を地方公務員法（昭和25年法律第261号）第３条第３項第３号に規定する非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関しては、この訓令によるものとする。

（任命及び任期）

第２条　館長は、博物館・美術館の管理運営に関し識見及び能力を有する者のうちから知事が任命する。

２　館長の任期は、１年以内とし、２回に限り更新することができる。

３　前項の規定にかかわらず、２回を超えて更新する必要がある場合には、文化観光スポーツ部観光政策課長は、総務部行政管理課長と協議するものとする。

（報酬等）

第３条　館長の報酬及び費用弁償の額は、沖縄県特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する規則（昭和47年沖縄県規則第111号）に定めるところによる。

（勤務条件）

第４条　館長の勤務場所は、博物館・美術館とする。

２　館長の１月の勤務日数は、16日以内とし、勤務する日は文化観光スポーツ部長が別に定める。

３　館長の勤務時間は、沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例（昭和47年沖縄県条例第43号）の適用を受ける職員の勤務時間に準ずるものとする。

（服　務）

第５条　館長は、その職務の遂行に当たつて、法令、条例、規則等に従い、かつ、上司の職務上の命令に従わなければならない。

２　館長は、その職務の信用を傷つけ、又は職員全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

３　館長は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

４　館長は、勤務時間中は職務に専念しなければならない。

（解　任）

第６条　知事は、館長が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、任期内であつても解任することができる。

（１）　館長の職務を怠つたとき。

（２）　前条の規定に違反したとき。

（３）　館長として不適当と認められる行為をしたとき。

（４）　心身の故障その他の理由により職務を行うに適しなくなつたとき。

（５）　任命の必要がなくなつたとき。

（補　則）

第７条　この訓令に定めるもののほか、館長を非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長が別に定める。

附　則

この訓令は、平成25年４月１日から施行する。

附　則（平成25年３月30日訓令第63号）

この訓令は、平成25年４月１日から施行する。

○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領

平成14年３月14日　教育長決裁
平成28年12月28日　最終改正

（目　的）

第１条　この要領は、沖縄県立博物館が保管する資料（以下「資料」という。）の利用について必要な事項を定めるものとする。

（定　義）

第２条　この要領において利用とは、次の各号に掲げることをいう。

（１）　展示会等における原資料等の借用。

（２）　同資料の撮影。

（３）　原資料等を被写体として製作された写真原板や印画などの借用。

（４）　撮影等による複製品の製作。

（５）　原資料等の閲覧。

（６）　教育普及資料の借用。

（許可の基準）

第３条　博物館長（以下「館長」という。）は、教育・学術・文化等に係わる事業、学術研究の推進並びに文化の向上に資する事業、又は館長が特に必要と認めた場合において資料の利用を許可することができる。ただし、次の各号の一に掲げる事項はこの限りでない。

（１）　資料の保存に悪影響が生じると認められる場合。

（２）　好ましくない用途に供されると認められる場合。

（３）　館の事務処理に支障が生じると認められる場合。

（４）　資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。

（５）　過去に目的外使用の事実又は許可条件に違反する事実があると認められる場合。

（６）　その他、許可することが適当でないと認められる場合。

（許可申請の手続き）

第４条　資料の利用を希望する者は、以下の各号に応じ、資料利用申請書（以下「申請書」という。）に事業の趣旨や主体者、事業計画等を記載した企画書等を添えて館長に利用開始14日前までに、申請しなければならない。

（１）　原資料等の借用（第１号様式）

（２）　写真撮影、原板・印画の借用（第２号様式）

（３）　複製品の製作（第３号様式）

（４）　原資料等の閲覧（第４号様式）

（５）　教育普及資料の借用（第５号様式）

（審査及び決定）

第５条　前条の規定による申請があつた場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

（１）　事業の趣旨及び内容。

（２）　事業の主体者。

（３）　事業計画。
（４）　その他必要な事項。

（許可書の交付）

第６条　資料利用を許可する決定を行つたときは、次の各号により当該申請者に対し別表のとおりの条件を付した資料利用許可書（以下「許可書」という。）を交付するものとする。ただし、館長が特に必要と認めた軽微なものについては、その限りでない。

（１）　原資料等の借用（第１－１号様式）
（２）　写真撮影、原板・印画の借用（第２－１号様式）
（３）　複製品の製作（第３－１号様式）
（４）　原資料等の閲覧（第４－１号様式）
（５）　教育普及資料の借用（第５－１号様式）

２　館長は前項のほか、必要と認められる場合は、別に条件を付することができる。

附　則

この要領は、平成14年４月１日から実施する。

附　則

この要領は、平成19年11月１日から実施する。

別表（第６条関係）各申請の資料利用の許可条件

利用申請の内容（各申請様式）	資料利用の許可条件	
	共通条件	個別条件
原資料等の借用（第１号様式）	①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。 ②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館所蔵」と明記すること。 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。 ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。	①資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。 ②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。 ③貸与期間は原則として２ヶ月以内とする。 ④借用によつて生じた成果品を当館に１部（１点）を納付すること。
写真撮影、原板・印画の借用（第２号様式）		①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 ②製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。 ③写真原板の貸与期間は３週間以内とする。 ④郵送費は申請者が負担すること。 ⑤資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
複製品の製作（第３号様式）		①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 ②撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。 ③製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。 ④製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。 ⑤写真原板の貸与期間は３週間以内とする。 ⑥資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
原資料等の閲覧（第４号様式）		①展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。 ②閲覧する資料は、原則として１日５点以内とする。 ③閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に１部（１点）納付すること。
教育普及資料の借用ののの（第５号様式）		①与期間は１週間以内とする。 ②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。 ③資料の利用にあたつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。 ④万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。

第１号様式（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（原資料等の借用）

平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

代表者名：　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により原資料等の館外利用を許可くださるようお願いします。

記

事　業　名			
借用希望期間	年　月　日 ～　月　日		
目　　的			
展示等場所			
資　料　名		員　数	備　考
１． ２． ３． ４．			

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧貸与期間は原則として２ヶ月以内とする。
⑨借用によつて生じた成果品を当館に１部（１点）を納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第１－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（原資料等の借用）

博　美　第　　号
平成　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成　　年　　月　　日付けで申請のあつた資料の館外利用については、下記により許可します。

記

事　業　名			
借 用 期 間	年　月　日 ～　月　日		
目　　的			
展示等場所			
資　料　名		員　数	備　考
１． ２． ３． ４．			

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧貸与期間は原則として２ヶ月以内とする。
⑨借用によつて生じた成果品を当館に１部（１点）を納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第２号様式　（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（写真撮影、原板・印画の借用）

平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

代表者名：　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により資料の写真撮影、原板・印画の利用を許可くださるようお願いします。

記

利　用　区　分		１　写真原板使用　　２　撮影　　３　掲載　　※○で囲む			
希望日時・期間		年　　月　　日　～　月　　日　　時　～　　時			
	事　項	名　　称	部　数	制作予定日	備　　考
目的	出版物 映　画 テレビ ＤＶＤ Ｃ　Ｄ その他				
資　　料　　名			数　量	仕　様	備　　考
１． ２． ３．					

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑧写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑨郵送費は申請者が負担すること。
⑩資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第２－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（写真撮影、原板・印画の借用）

博　美　第　　号
平成　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成　　年　　月　　日付けで申請のあつた資料の利用については、下記により許可します。

記

利　用　区　分		１　写真原板使用　　２　撮影　　３　掲載　　※○で囲む			
日　時・期　間		年　　月　　日　～　月　　日　　時　～　　時			
	事　項	名　　称	部　数	制作予定日	備　　考
目的	出版物 映　画 テレビ ＤＶＤ Ｃ　Ｄ その他				
資　　料　　名			数　量	仕　様	備　　考
１． ２． ３．					

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑧写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑨郵送費は申請者が負担すること。
⑩資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第３号様式（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（複製品の製作）

平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

代表者名：　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により複製品製作のため資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

利 用 区 分	１　写真原板使用　　２　撮影　　３　掲載　　※○で囲む				
希望日時・期間	年　月　日 ～ 月　日　　時 ～　時				
目　　的					
製 作 仕 様					
製作予定日	平成　年　月　日	製作点数	点	販売価格	円

資　料　名	数　量	仕　様	備　考
１． ２． ３．			

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
⑨製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑩写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑪資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第３－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（複製品の製作）

博　美　第　　号
平成　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成　　年　　月　　日付けで申請のあつた特別利用については、下記により許可します。

記

利 用 区 分	１　写真原板使用　　２　撮影　　３　掲載　　※○で囲む				
日時・期間	年　月　日 ～ 月　日　　時 ～　時				
目　　的					
製 作 仕 様					
製作予定日	平成　年　月　日	製作点数	点	販売価格	円

資　料　名	数　量	仕　様	備　考
１． ２． ３．			

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
⑨製作された写真デュープやビデオ、ＣＤ等を当館に無償で１部（１点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑩写真原板の貸与期間は３週間以内とする。
⑪資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第４号様式（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（原資料等の閲覧）

平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

代表者名：　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により原資料等の閲覧を許可くださるようお願いします。

記

目　　的			
閲覧希望日時	平成　　年　　月　　日　　時～　　時	閲覧人員	

資料名	員数	備考
1． 2． 3． 4． 5．		

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること
⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。
⑦閲覧する資料は、原則として１日５点以内とする。
⑧閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に１部（１点）納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第４－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（原資料等の閲覧）

博　美　第　　号
平成　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成　　年　　月　　日付けで申請のあつた資料の閲覧については、下記により許可します。

記

目　　的			
閲 覧 日 時	平成　　年　　月　　日　　時～ 時	閲覧人員	
担 当 学 芸 員			

資料名	員数	備考
1． 2． 3． 4． 5．		

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること
⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。
⑦閲覧する資料は、原則として１日５点以内とする。
⑧閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に１部（１点）納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第５号様式（第４条関係）

資 料 利 用 申 請 書
（教育普及資料の借用）

平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館長　殿

代表者名：　　印
申請者　団 体 名：
（担当者氏名　　）
住　　所：〒
TEL：
FAX：

下記により教育普及資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

利 用 区 分	１学校（学年・学級）行事　　２地域・団体行事　　３その他		
希望日時・期間	年　月　日（　時）～　年　月　日（　時）		
行 事 名		参加人員	
目 的			

資料名	数量	備考
１． ２． ３． ４．		

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥貸与期間は１週間以内とする。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧資料の利用にあたつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第５－１号様式（第６条関係）

資 料 利 用 許 可 書
（教育普及資料の借用）

博　美　第　　号
平成　　年　　月　　日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成　　年　　月　　日付けで申請のあつた資料利用については、下記により許可します。

記

利 用 区 分	１学校（学年・学級）行事　　２地域・団体行事　　３その他		
日 時 ・ 期 間	年　月　日（　時）～　年　月　日（　時）		
行 事 名		参加人員	
目 的			

資料名	数量	備考
１． ２． ３． ４．		

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たつては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥貸与期間は１週間以内とする。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧資料の利用にあたつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

○沖縄県立博物館･美術館共催及び後援等に関する取扱要領

平成23年５月23日 部長決裁

(目的)

第１条　この要領は、沖縄県立博物館･美術館が共催又は後援等を行う事業について必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第２条　この要領において、次の各号に定める用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

（１）　共催　　事業の企画、運営に参画し、また経費の一部を負担するなど、当該事業について責任の一部を負担することをいう。

（２）　後援等　後援、協力、協賛等で、当該事業の趣旨に賛同し、事業の実施について協力することをいう。

(名義)

第３条　この要領による共催又は後援等の名義は｢沖縄県立博物館･美術館｣とする。

(承認基準)

第４条　共催又は後援等の承認基準は別表１のとおりとする。

２　前項の規定にかかわらず、博物館活動の見地から館長が特に必要があると認めるものについては、共催又は後援等の承認をすることができるものとする。

(申請手続き)

第５条　共催又は後援等の承認を受けようとするものは、別記第１号様式又は次の事項を記載した書面を、原則として事業開催の14日前までに、沖縄県立博物館･美術館長に提出するものとする。

（１）　事業の名称、目的及び内容

（２）　主催者の職、氏名及び事務局等連絡先

（３）　開催日時(期間)及び開催場所

（４）　参加対象者及び参加見込者数

（５）　他の共催者及び後援者等(予定者を含む)

（６）　参加料金その他参考事項

(決定)

第６条　前条の規定による申請があった場合、沖縄県立博物館･美術館長はその内容を審査し、適当と認められるときは別記第２号様式の回答書により、承認できないときはその旨を、そ れぞれ当該申請者に通知するものとする。

(事業計画の変更)

第７条　共催又は後援を承認した事業であっても、申請時の事業計画を変更し、又は中止しようとするときは、申請者は速やかに当該変更又は中止に係る内容について届け出なければならない。

(承認の取消)

第８条　共催又は後援等を承認した事業であっても、その内容が第４条の承認基準に該当しなくなったときは、その承認を取り消すものとする。

２　前項の規定による承認の取消については、第６条の規定を準用する。

(事業の完了報告)

第９条　共催又は後援等を承認した事業のうち、必要があると認める場合は、別記第３号様式もしくはそれに変わる書面で報告を求めることができる。

(雑則)

第10条　共催又は後援の承認の手続きを経ずに、第３条に規定する名義を無断使用した場合（承認前に既に印刷し、公表した場合を含む。）は、警告書を出すとともに、以後の共催又は 後援等の承認は認めないものとする。

附　則

この要領は、平成23年５月23日から施行する。

別表１(第４条関係)

共催又は後援等の承認基準

主催者についての承認基準	１　国、地方公共団体及びこれらの機関並びにその連合体 ２　教育機関及び教育研究団体 ３　新聞社、放送局等報道関係 ４　公益法人その他教育、芸術、文化又はスポーツの向上普及に 　寄与する事業を行う団体(宗教団体又は政治団体を除く。)
事業内容についての承認基準	１　県及び県教育委員会の運営方針に反しないものであり、教育施策上からの効果が期待できるものであること。 ２　博物館･美術館の所掌業務と関連するもので､高い公益性を有すると認められるもの。 ３　政治的、宗教的又は商業的活動に関する宣伝、勧誘等を意図するものでないこと。 ４　特定の団体の利益を目的とするものでないこと。 ５　事業の内容及び規模からみて、営利を目的とするものでない と客観的に判断されるものであること。

備考

１　主催者については、主催者についての承認基準の１から４までのいずれかに該当するも のでなければならない。

２　事業内容については、事業内容についての承認基準のすべての項目に該当するものでな ければならない。

第１号様式

第　　号
平成　　年　　月　　日

沖縄県立博物館・美術館
館長　殿

申請者
代表者名　　印
団体名
所在地
（電話　　）

行事の共催、後援等について（申請）

次のとおり行事を開催するについて、沖縄県立博物館・美術館の共催（後援）（協力）（協賛）の承認を得たいので、申請します。

記

1　事　業　名	
2　事業の趣旨・内容（なるべく具体的に記入すること。）	
3　主催者、共催者及び後援者	
4　参加者及び参加方法	
5　参　加　者　数	
6　開催日時及び場所	
7　経費負担の区分	
8　その他の必要事項	

第２号様式

博　美　第　　号
平成　年　月　日

殿

沖縄県立博物館・美術館
館長

の　について（回答）

平成年月日付け第号で申請のあった標記のことについては、以下の条件を付して承認します。

記

1　事　業　名

2　名義使用の方法

3　名義使用の期間

4　経　　費

5　実施結果の報告の有無

6　その他

第３号様式

第　　号
平成　年　月　日

沖縄県立博物館･美術館殿

申請者
代表者名
団体名　　印
所在地
（電話　　）

の結果について（報告）

平成年月日付博美第　　号により承認のあった標記の事業の結果について、次のとおり報告します。

記

Ⅰ事業報告

１ 事　業　名	
２ 事業の概要	
３ 参　加　者	
４ 日時及び場所	
５ 所　　見 （事業の効果等を含む）	
６ 備　　考	

Ⅱ収支決算

1）収入の部	2）支出の部
円	円
円	円
円	円
円	円
円	円
合計　円	円

沖縄県立博物館・美術館年報　No.12（平成30年度実績）

2019年（令和元年）９月30日

編集・発行：沖縄県立博物館・美術館

住　　所：〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち３丁目１番１号

Ｔ　Ｅ　Ｌ：098-941-8200（代表）

Ｆ　Ａ　Ｘ：098-941-2392（代表）

ホームページ：https://okimu.jp

（沖縄県立博物館・美術館ホームページ）

印　　刷：(株)東洋企画印刷

住　　所：〒901-0306

沖縄県糸満市西崎町４丁目21-5（098-995-4444）